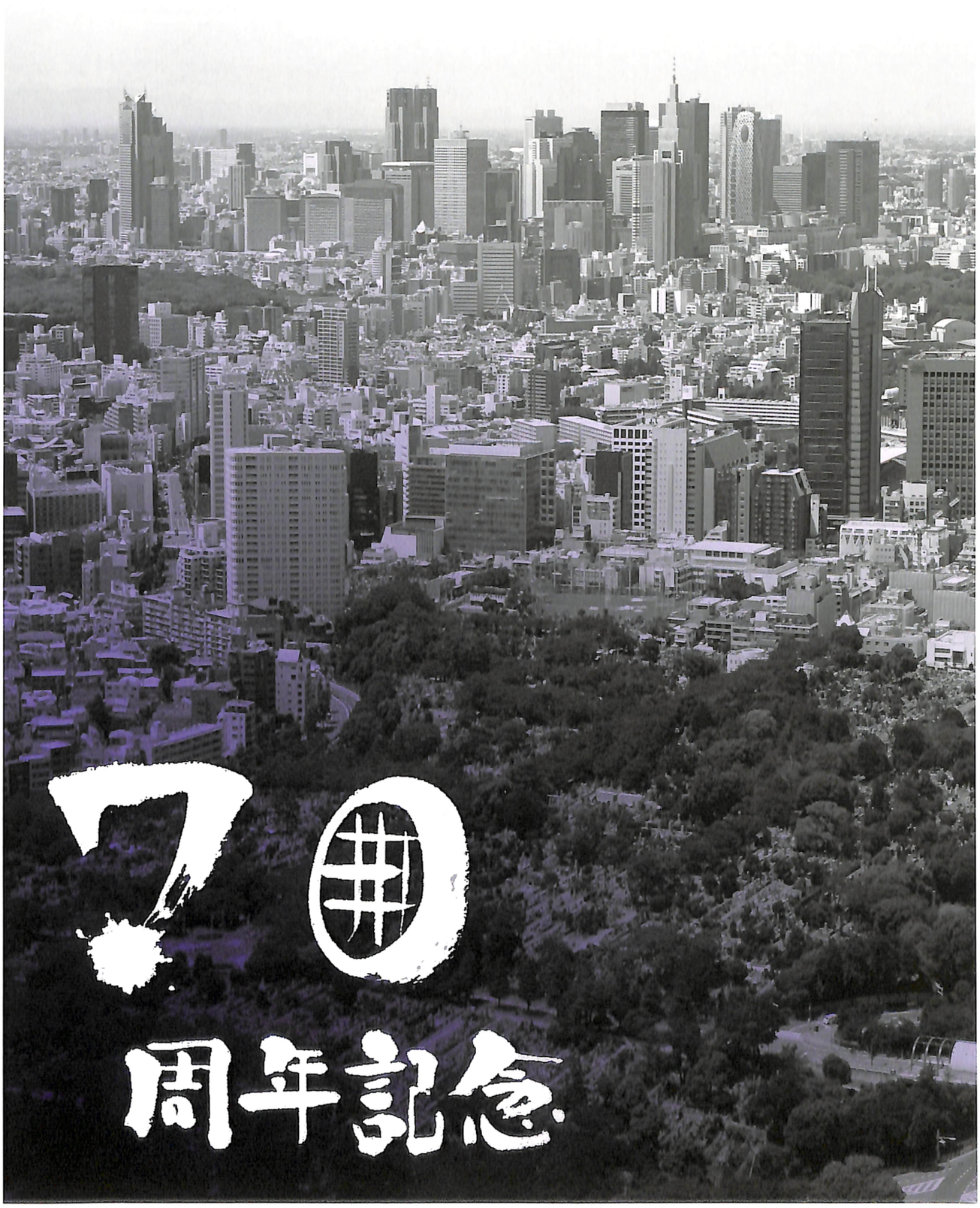
東京都バドミントン協会70周年記念誌

Tokyo Badminton Association 70th memorial book



序

ごあいさつ
祝辞

ごあいさつ



東京都バドミントン協会
会長
千葉　健夫

東京都バドミントン協会は70年前の昭和22年5月15日に創立し、(財) 日本バドミントン協会に加盟いたしました。以来、歴代会長は10名、歴代理事長は15名を数え、何よりバドミントンを愛する人々の献身的な努力と情熱によって今日の隆盛を見るにいたりました。ここまでご指導いただきました諸先輩の皆様、そして協会を支えてこられました関係各位の熱意とご尽力に対し深く敬意と感謝を申し上げます。

顧みれば協会設立以来、幾多の苦難を乗り越え、また数多くの栄光を積み重ねながら、今日まで歩んでまいりました。なかでも、数多くの国際大会を主管できましたことは、栄誉であるとともに、役員の運営技術の向上に大きく貢献いたしました。そのいくつかの大会を挙げますと、第3回アジア大会、第6回トマス杯大会、第5回ユーバー杯大会（初防衛)、第4回国際大会（日英対抗)、第5回国際大会（日独対抗)、第11回バドミントンワールドカップ　'79（ジャパンオープン)、第2回ヨネックスジャパンオープン（賞金1000万円)、第16回トマス杯/第13回ユーバー杯、そして近年では毎年東京体育館で行われ、2017年から名称が変更したダイハツ・ヨネックス・ジャパンオープンが挙げられます。そして2013年9月7日には2020年東京オリンピック・パラリンピックが決定し、2年後にはこれを迎えようとしています。オリンピックのホストシティのバドミントン協会としてこれまでの大会運営で蓄積したノウハウを最大限に動員して世界の国々から参加される皆様をしっかりとおもてなしする所存です。70年という大きな節目を機会に、オリンピックを主催する都市の協会として、ジュニア強化、そして各層のリーダーの養成を継続し、さらに世界に飛躍すべく努力していきたいと思っています。

おわりにあたり、本協会の発展に多くの力添えをいただきました、(公財) 日本バドミントン協会をはじめ関係各位に厚くお礼申し上げます。70周年を新たな機に当協会の発展と目標達成のために倍旧のご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

創立 70 周年記念誌の発刊によせて



東京都バドミントン協会
名誉会長
浅岡　　武

東京都バドミントン協会が昭和 22 年 5 月に発足して、ここに 70 周年を迎えることになりましたこと心からお祝い申し上げます。

私は清水務会長の後任として、平成 20 年 5 月から会長に就任して約 7 年間、それと昭和 49 年から 62 年まで 14 年間理事長を歴任した間、役員の皆様、会員の皆様から暖かいご指導とご支援を賜り、大過なく過ごさせていただきましたことを深く感謝いたします。本協会が年々輝かしい発展を遂げられているのも皆様の絶大なるご協力の賜物であります。

なかでも平成 25 年スポーツ祭 2013 東京国体が 10 月に開催され、その時の役員の皆様のご努力、ご協力により大会が大成功裏(成績も)に終わることができました。国体という大イベントも無事終了しましたので会長職の交代の意を表したところ役員の皆様のご理解をいただきまして、後任会長に千葉健夫氏がその大役を引き継いで戴き今日を迎えることができました。ここに改めて深甚なる謝意を込め厚くお礼申し上げます。

私が副会長の時、平成 19 年に創立 60 周年を迎え記念行事も当時の役員皆様のご協力により開催することが出来ました。理事長任期中(昭和 49 年から昭和 62 年)約 14 年間に、協会の事務所を目黒区鷹番に移し、昭和 57 年に現在事務所、西新宿に移転する間約 10 年間で、組織充実し、財政確保、普及発展に役員一同が大変努力した時期だと思います。日本協会から全日本総合大会の主管の依頼があってから、都内で開催される各種大会の主管、国際大会では主管運営まで手伝うようになりました。同時に本協会の会員の増員のため、支部対抗戦取り入れ、指導者、審判員の育成、選手の競技力の向上、東京都からの行事への協力、現在の基盤を作った時代であったと思い、改めて当時の役員皆様に感謝いたす次第です。いまや日本バドミントン界も 2012 年(平成 24 年)ロンドンオリンピックで女子複 藤井・垣岩組初銀メダル、2016 年(平成 28 年)リオオリンピック女子複 髙橋・松友組金メダル、女子単奥原選手が銅メダルを獲得する大活躍されました。その後、国際大会においてもメダルを獲得し我々バドミントン関係者始め愛好者等に、特にジュニア層には夢と希望と勇気を与えてくれたと思います。

2020 年の東京オリンピック・パラリンピックの開催あと 2 年後になり日本代表選手として本協会の所属選手が一人でも多く出場することを期待しております。

おわりになりますが、本協会がますます皆様に愛される協会になるように、そしてこれからの目標を優秀な選手の育成、指導者の養成、会員の皆さまとコミュニケーションを図ることとし、今後の協会の発展に努力してほしいと思います。

またこれからも皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくお願いすると同時に千葉会長をもりたてて協会がますます発展をいたしますようお願いいたします。皆様と 70 年という大きな節目を共に祝うことが出来ましたことを心より感謝申し上げ記念誌発刊にあたってのご挨拶といたします。

感　謝・飛　躍



東京都バドミントン協会
理事長
笹林　義春

日本バドミントン協会が設立された翌年の 1947 年５月 15 日に創立した東京都バドミントン協会は、2017 年５月に 70 周年を迎えることが出来ました。各支部・各連盟等バドミントンを愛する会員皆さまの情熱とお力添えにより、50 周年を迎えた 20 年前は、約 12,000 人、そして 70 周年を迎えた本年には約 23,000 人の会員数となりました。多くの会員の皆さま、ご指導いただきました諸先輩の皆さまに心から敬意と感謝を申し上げます。

近年、日本のバドミントン選手の活躍により、メディアでも多く取り上げられるようになりました。バドミントンが大変注目されるスポーツ競技になり、競技者や愛好者が益々増えてきております。

これも、皆さま方が取り組んでこられた底辺の拡大、ジュニア育成等の賜物だと思います。３年後の 2020 年には「東京 2020 オリンピック・パラリンピック」が開催されます。これを契機に、バドミントン競技の普及発展及び競技力の向上を目指し、協会が更に大きく飛躍できるよう会員皆さまのお力添えをいただきながら協会役員一丸となって努力していきたいと思います。

今後とも温かいご支援をお寄せくださいますよう切にお願い申し上げます。

祝　辞



公益財団法人
日本バドミントン協会
会長
綿貫　民輔

東京都協会創立 70 周年を迎えられ、心よりお喜び申し上げます。

昭和 22 年 5 月 15 日、貴協会が戦後の混乱期に競技スポーツの団体として設立され、バドミントン競技の普及発展と愛好者の交流に大きな力を発揮されましたことは、たいへん素晴らしいことと思います。また、協会を盛り立てられました会員の皆様と歴代役員、会長の皆様の努力に対し深甚な敬意を表す次第でございます。今や、会員数 22,932 名と全国一の協会に成長されましたことは喜ばしいかぎりでございます。

東京都バドミントン協会の発展は日本バドミントンの発展をリードするものであり、日本バドミントン界の一層のレベルアップにつながることは申すまでもありません。東京では、BWF Super Series であるダイハツ・ヨネックス・ジャパンオープンをはじめ多くの国際大会、そして全日本総合バドミントン選手権大会はじめ多くの国内大会が行われています。強豪が集まる試合を経験することによって選手は成長します。この面から考えても日本バドミントン界に貢献するところ大であります。この成果が昨年のリオ・デジャネイロオリンピックで髙橋礼華・松友美佐紀組の金メダル獲得、奥原希望選手の銅メダル獲得につながったものだと思います。また、この 3 人とも東京都協会登録の選手であることも偶然ではないでしょう。そして 2020 年に迫っている東京オリンピックでの日本人バドミントン選手の活躍も目に見えるようです。これからも引き続き貴協会が発展することによって、日本バドミントン界のさらなる発展を促していただきたいと大いに期待するところでございます。

ここに記念すべき創立 70 周年の記念誌が発行され、公益財団法人日本バドミントン協会の歴史の一員として記録され、次代を担う若人に引き継がれることは、わが国のバドミントン界にとってかけがえのない財産となるものと確信いたしております。どうか、東京都バドミントン協会におかれましては本誌の発刊を機に、さらに底辺の拡大と組織の充実ならびに競技力向上を目指し、輝かしい日本バドミントン界が常に輝き続けるよう、大いなる飛躍・発展を遂げられますよう祈念申しあげ、発刊に寄せる祝辞といたします。

祝　辞



東京都知事
小池百合子

このたび東京都バドミントン協会が創立 70 周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

貴協会は、戦後間もない昭和 22 年に創立され、首都東京のバドミントン競技の統括団体でありながら、東京都のみならず日本バドミントン界の発展にも大きな役割を果たして来られました。

ジュニア世代の指導育成、東京都シングルス選手権大会をはじめとする大会運営及び上級指導員養成講習等の事業活動を継続的に実施され、バドミントン競技の普及・発展に寄与されるご努力に敬意を表します。東京都とは、ジュニアスポーツアジア交流大会を共催し、都政におけるスポーツ国際交流に多大なるご貢献をいただいており感謝申し上げます。

また、バドミントンの研究研鑽だけでなく、一流選手が出場する大会の観戦情報や出場可能な大会情報等を愛好者にいち早くインターネットにより提供するなどの支援的な取り組みは、他県のバドミントン協会からも常に模範とされていると伺っております。このような事業展開には、今後も期待しております。

さて、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会まで残り 1,000 日を切りました。東京都は、大会を成功に導くため総力を挙げて準備を進めています。さらに、これを機にスポーツが日常にとけ込み、誰もがいきいきと豊かに暮らせるスポーツ都市・東京の実現を目指して、精力的に施策を展開してまいります。そのためには、貴協会との連携が不可欠であります。是非今後も引き続き、皆様の御支援と御協力をお願いいたします。

結びに、歴代会長をはじめ、今日まで東京都におけるバドミントン競技の振興に御尽力いただいた皆様に深く敬意を表するとともに、東京都バドミントン協会の今後益々のご発展と皆様のご健勝を祈念して、この慶事の祝辞といたします

祝　辞



公益財団法人
東京都体育協会
会長
山本　　博

このたび、東京都バドミントン協会が創立 70 周年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

貴協会は、戦後間もない時代から、バドミントンの普及奨励に尽力され、都民スポーツの振興とアスリートの育成・強化を通じて、東京はもとより我が国のバドミントン競技の発展に、大きな役割を果たしてこられました。この間、東京都と本会が進める各種の大会やスポーツ推進事業にも惜しみないご協力をいただいてまいりました。特に、ジュニアスポーツの裾野の拡大を目指すジュニア育成地域推進事業では、貴会傘下の地区団体の積極的な参加により、事業規模・参加者数において全競技で５本の指に入る実績を挙げていただいているほか、他団体との共催でも海外 15 都市を対象にジュニアスポーツアジア交流大会を十年以上主管され、国際競技力の強化にも大いに貢献されてきました。

こうした取り組みが実を結び、近年、男子は 2014 トマス杯、BWFスーパーシリーズ、同ファイナルズで優勝、女子は 2016 リオ五輪大会で、ダブルス優勝、シングルス３位と、東京都から輩出された選手が実に輝かしい成果を残されたことは記憶に新しいところです。これもひとえに歴代の役員の皆様をはじめ関係の皆様の並々ならぬご尽力の賜物と、心からの感謝と敬意を表します。

いよいよ東京 2020 五輪競技大会も２年後に迫り、東京都体育協会といたしましても、皆様とともにスポーツムーブメントのうねりを更に高めながら、史上最高の大会となるよう万全の準備を進めてまいりますので、引き続きのご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、創立 70 周年という大きな節目の年を迎えられた貴協会の益々のご隆盛と、関係各位のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、お祝いのことばとさせていただきます。



東京都バドミントン協会の役員紹介

東京都バドミントン協会
役員紹介

顧　問

権田正一　村山幸雄

参　与

組村　明	福井正康	杉山郁郎	三須得司
荻田　實	関　敏夫	小林健二	太田耕貴
森谷喜久男	栗田光憲	高橋英夫	菅原幸雄
水上英二	佐藤　隆	池田公子	辻澤康弘
鏑木興司	保田秀行		

名誉会長



浅岡　武

会　長



千葉健夫

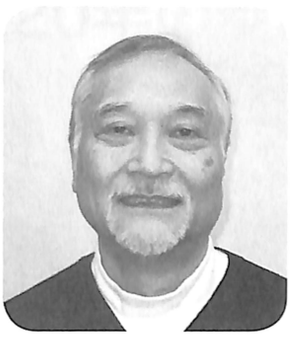
副会長



鈴　木　利　雄



今　来　サ　キ



兒　嶋　　昇



殿　川　宣　勝



竹　内　ヒロ子

理事長



笹　林　義　春

副理事長



山　中　達　雄
（事務局長・総務部）



横　山　　登
（事業部）



落　合　久　夫
（強化部）

常務理事


福島美記子
（財務）


相馬真優奈
（総務）


原　正人
（審判）


中野正一
（審判）


加藤　孝
（競技）


内村　実
（競技・国体担当）


中澤悦子
（競技）


吉田　繁
（競技）


白鳥　卓
（競技・審判）


千葉俊信
（指導強化）


上田敏之
（指導強化）


藤井弘行
（指導強化）


山城譲治
（企画渉外）


須田和裕
（企画渉外）


彌永正信
（企画渉外・ホームページ担当）

監　事


前川　正


森　麗子

沿革（東京都協会の行事20年の歩み）

1997年度（平成９年度）

主催大会等

- ５月８日 第15回 全日本家庭婦人競技大会 都予選会（板橋区上板橋体育館）
- ５月24日 平成９年度 総会(千代田区総合体育館)
- ５月25日 創立50周年記念式典・祝賀会（ホテルグランドパレス）
- ６月１日 第50回 都民体育大会
  女子（多摩市総合体育館）
  男子（武蔵野市総合体育館）
- ６月22日 第52回 国民体育大会 都予選会シングルス（江戸川区総合スポーツセンター）
- ６月29日 第52回 国民体育大会
  都予選会ダブルス（中央区総合スポーツセンター）
- ７月27日 前期支部対抗戦（葛飾区総合スポーツセンター）
- ８月23日・24日 第52回 国民体育大会
  関東ブロック大会（町田市立総合体育館）
  東京都チームは３チーム通過し、予選免除を含み全種目出場は初めて
- ９月６日・７日 関東総合選手権大会（町田市立総合体育館）
  （財）日本バドミントン協会理事に浅岡 武 副会長、花岡 牧夫 理事長が就任
- ９月７日 第９回 都民スポ・レク大会／全国青年大会 都予選会（北区滝野川体育館）
- ９月14日 東京都ダブルス選手権大会（府中市総合体育館）
- 11月８日・９日 第46回 全国青年大会主管（板橋区上板橋体育館）
  出場した国分寺市チームが優勝
- 11月30日 東京都シングルス選手権大会（荒川区総合スポーツセンター）
- 10年１月５日 新年役員懇親大会（千代田区総合体育館）
- 10年３月21日 後期支部対抗戦（立川市泉市民体育館）
- 10年３月21日～24日　第26回 全日本高校選抜選手権大会（駒沢オリンピック公園総合運動場体育館）
- 10年３月29日 東京都混合ダブルス選手権大会（板橋区立小豆沢体育館）
- 第16回 ヨネックスオープンジャパン ‘98（国立代々木競技場 第二体育館）
- 玉手庸会長退任により、新会長に清水務氏が就任
- 第52回 国民体育大会（大阪府）成年男子優勝
  監督：兒嶋 昇　選手：町田 文彦、須賀 隆弘、久保田 雄三、少年女子５位入賞
- 千葉 健夫 副理事長が日韓交流大会団長として韓国に派遣される
- 東京都体育協会表彰を池田 公子氏が受賞
- Ｃ級スポーツ指導員養成講習会（板橋区上板橋体育館）


Ｃ級スポーツ指導員養成講習会

1998年度（平成 10 年度）

主催大会等

- 5 月 14 日 第 16 回 全日本家庭婦人大会 都予選会（板橋区立上板橋体育館）
- 5 月 31 日 第 51 回 都民体育大会（第 1 部）女子の部（多摩市立総合体育館）
- 5 月 31 日 第 51 回 都民体育大会（第 1 部）男子の部（葛飾区総合スポーツセンター）
- 6 月 14 日 第 51 回 都民体育大会（第 2 部）シングルス大会（武蔵野市総合体育館）
- 6 月 28 日 第 53 回 国民体育大会 都予選会ダブルス大会（江戸川区総合スポーツセンター）
- 7 月 26 日 東京都ダブルス選手権大会（葛飾区総合スポーツセンター）
- 8 月 30 日 第 10 回 都民スポ・レク大会（北区滝野川体育館）
- 8 月 30 日 平成 10 年度 青年大会 都予選会（北区滝野川体育館）
- 9 月 13 日 東京都ダブルス選手権大会 1 部・2 部（板橋区立上板橋体育館）
- 12 月 6 日 東京都シングルス選手権大会（荒川区総合スポーツセンター）
- 1 月 10 日 東京都役員懇親大会（中央区築地社会教育会館）
- 2 月 11 日 東京都支部対抗戦（立川市泉市民体育館）
- 3 月 28 日 東京都混合ダブルス選手権大会（板橋区立上板橋体育館）
- 浅岡 武 氏が勲章「藍綬褒章」を受章



主管大会

- 7 月 29 日～ 31 日 第 16 回 全国家庭婦人大会（町田市立総合体育館）
- 10 月 8 日～ 10 日 全国高等専門学校選手権大会（八王子市）
- 11 月 4 日～ 8 日 平成 10 年度全日本総合バドミントン選手権大会（中央区総合スポーツセンター・国立代々木運動場 第二体育館）
- 11 月 7 日・8 日 第 47 回 全国青年大会（板橋区立上板橋体育館）
- 11 月 27 日 第 20 回 バドミントン日本リーグ '98（深川スポーツセンター）

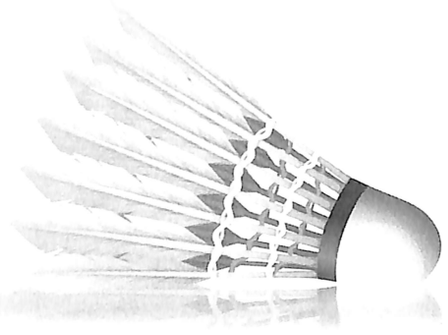
1999年度（平成 11 年度）

主催大会等

- 5 月 23 日 第 52 回 都民体育大会（第 1 部）女子の部（稲城市中央公園総合体育館）
- 5 月 30 日 第 52 回 都民体育大会（第 1 部）男子の部（武蔵野市総合体育館）
- 6 月 20 日 第 52 回 都民体育大会（第 2 部）シングルス（荒川区総合スポーツセンター）
- 6 月 27 日 第 54 回 国民体育大会 都予選会ダブルス（江戸川区総合スポーツセンター）
- 7 月 4 日 東京都ダブルス選手権大会
  （葛飾区総合スポーツセンター）
- 9 月 5 日 第 11 回 都民スポ・レク大会
  （北区滝野川体育館）
- 9 月 5 日 平成 11 年度 青年大会 都予選会
  （北区滝野川体育館）
- 9 月 26 日 東京都ダブルス選手権大会
  （板橋区立上板橋体育館）
- 第 54 回 国民体育大会（熊本県）少年男子優勝
  監督：渋谷 実
  選手：安村 康介、佐藤 翔治、佐々木 翔
- 12 月 5 日 東京都シングルス選手権大会
  （荒川区総合スポーツセンター）
- 1 月 9 日 東京都役員懇親大会
  （千代田区総合体育館）
- 1 月 10 日 東京都支部対抗戦
  （葛飾区総合スポーツセンター）
- 3 月 26 日 東京都混合ダブルス選手権大会
  （板橋区立上板橋体育館）

主管大会

- 4 月 6 日～ 11 日 第 18 回 ヨネックスオープンジャパン ‘99（国立代々木運動場 第二体育館）
- 11 月 13 日・14 日 第 48 回 全国青年大会
  （板橋区立上板橋体育館）



2000年度（平成 12 年度）

主催大会等

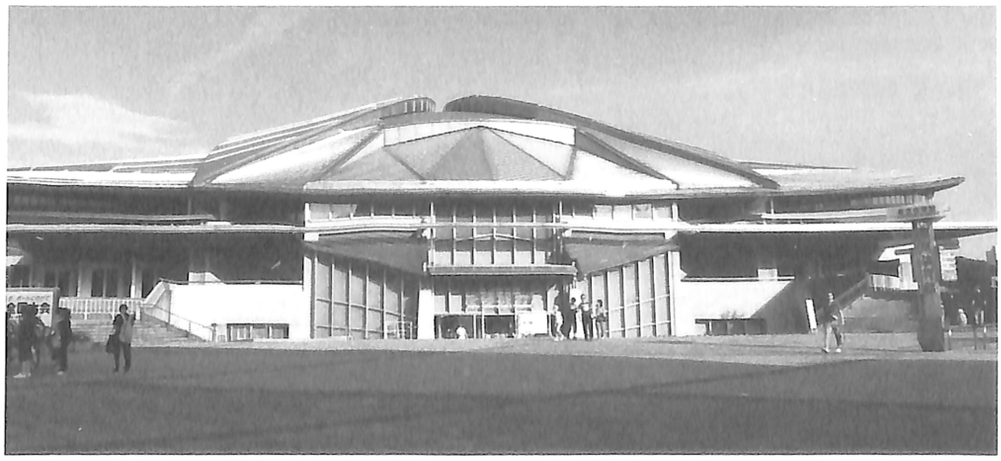
- 5 月 23 日 第 53 回 都民体育大会 女子の部
（稲城市中央公園総合体育館）
- 5 月 23 日 第 53 回 都民体育大会 男子の部
（武蔵野市総合体育館）
- 6 月 18 日 第 55 回 国民体育大会 都予選会シングルス（稲城市中央公園総合体育館）
- 6 月 25 日 第 55 回 国民体育大会 都予選会ダブルス（江戸川区総合スポーツセンター）
- 7 月 30 日 東京都ダブルス選手権大会
（葛飾区総合スポーツセンター）
- 9 月 3 日 第 12 回 都民生涯スポーツ大会
（北区滝野川体育館）
- 9 月 3 日 平成 12 年度 青年大会 都予選会
（北区滝野川体育館）
- 9 月 24 日 東京都ダブルス選手権大会
（板橋区立上板橋体育館）
- 12 月 3 日 東京都シングルス選手権大会
（荒川区総合スポーツセンター）
- 1 月 7 日 東京都役員懇親大会
（千代田区総合体育館）
- 1 月 8 日 東京都支部対抗戦
（葛飾区総合スポーツセンター）
- 2 月 4 日 東京都混合ダブルス選手権大会
（板橋区立上板橋体育館）

主管大会

- 4 月 4 日～ 9 日 第 18 回 ヨネックスオープンジャパン 2000（国立代々木運動場 第二体育館）
- 7 月 4 日～ 9 日 全日本実業団選手権大会
（東京体育館・武蔵野市総合体育館）
- 11 月 7 日～ 12 日 平成 12 年度全日本総合バドミントン選手権大会
（国立代々木運動場 第二体育館）
- 11 月 11 日・12 日 全国青年大会
（板橋区立上板橋体育館）
- 12 月 15 日～ 17 日 第 16 回 関東シニア選手権大会（町田市立総合体育館）

国際大会の成績

- 第 27 回オリンピック競技大会（2000/ シドニー）で女子シングルスの水井 泰子（フジチュー）が 5 位入賞



2001年度（平成 13 年度）

主催大会等

- 5 月 6 日 第 54 回 都民体育大会 女子の部
  （稲城市中央公園総合体育館）
- 5 月 27 日 第 54 回 都民体育大会 男子の部
  （稲城市中央公園総合体育館）
- 6 月 3 日 第 56 回 国民体育大会 都予選会シングルス（武蔵野市総合体育館）
- 6 月 24 日 第 56 回 国民体育大会 都予選会ダブルス（江戸川区総合スポーツセンター）
- 7 月 22 日 東京都ダブルス選手権大会 2 部～ 7 部
  （葛飾区総合スポーツセンター）
- 9 月 2 日 第 13 回 都民生涯スポーツ大会
  （北区滝野川体育館）
- 9 月 2 日 平成 13 年度 青年大会 都予選会
  （北区滝野川体育館）
- 9 月 30 日 東京都ダブルス選手権大会 1 部
  （板橋区立上板橋体育館）
- 第 56 回 国民体育大会（宮城県）少年男子優勝
  監督：渋谷 実
  選手：山浦 尚仁、池田 雄一、新開 慎士
- 12 月 2 日 東京都シングルス選手権大会
  （荒川区総合スポーツセンター）
- 1 月 7 日 東京都役員懇親大会
  （千代田区総合体育館）
- 1 月 14 日 東京都支部対抗戦
  （葛飾区総合スポーツセンター）
- 2 月 3 日 東京都混合ダブルス選手権大会
  （中央区総合スポーツセンター）

主管大会

- 4 月 3 日～ 8 日 第 19 回 ヨネックスオープンジャパン 2001（国立代々木運動場 第二体育館）
- 12 月 8 日 第 23 回 バドミントン日本リーグ 2001（武蔵野総合体育館）
- 11 月 10 日・11 日 全国青年大会
  （板橋区立上板橋体育館）
- 12 月 27 日・28 日 第 23 回 バドミントン日本リーグ 2001（最終日）
  （国立代々木運動場 第二体育館）

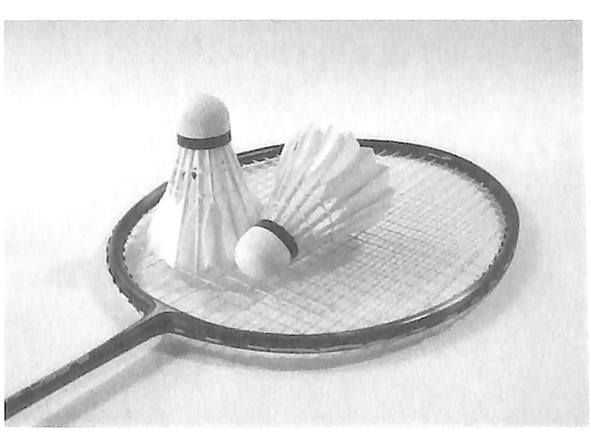
2002年度（平成 14 年度）

主催大会等

- 5 月 4 日 第 45 回 社会人大会 都予選会 シングルス・混合ダブルス（多摩市総合体育館）
- 5 月 5 日 第 45 回 社会人大会 都予選会 ダブルス（多摩市総合体育館）
- 5 月 12 日 第 55 回 都民体育大会 女子の部（稲城市中央公園総合体育館）
- 5 月 19 日 第 55 回 都民体育大会 男子の部（稲城市中央公園総合体育館）
- 6 月 2 日 第 57 回 国民体育大会 都予選会シングルス（武蔵野市総合体育館）
- 6 月 23 日 第 57 回 国民体育大会 都予選会ダブルス（江戸川区総合スポーツセンター）
- 7 月 28 日 東京都ダブルス選手権大会 2 部～ 9 部（葛飾区総合スポーツセンター）
- 9 月 1 日 平成 14 年度 都民生涯スポーツ大会（北区滝野川体育館）
- 9 月 1 日 平成 14 年度 青年大会 都予選会（北区滝野川体育館）
- 9 月 22 日 東京都ダブルス選手権大会 1 部（板橋区立上板橋体育館）
- 第 57 回 国民体育大会（高知県）少年男子優勝
  監督：渋谷 実
  選手：池田 雄一、新開 慎士、高木 洋平
  成年女子 3 位入賞
- 12 月 1 日 東京都シングルス選手権大会（荒川区総合スポーツセンター）
- 1 月 13 日 東京都支部対抗戦（葛飾区総合スポーツセンター）
- 2 月 2 日 東京都混合ダブルス選手権大会（中央区総合スポーツセンター）

主管大会

- 5 月 24 日 第 16 回 関東レディー大会（町田市立総合体育館）
- 6 月 7 日～ 9 日 第 48 回 関東高等学校選手権大会（駒沢オリンピック公園総合運動場体育館）
- 11 月 5 日～ 10 日 平成 14 年度 全日本総合バドミントン選手権大会（駒沢オリンピック公園総合運動場体育館）
- 4 月 2 日～ 7 日 第 20 回 ヨネックスオープンジャパン 2002（国立代々木運動場 第二体育館）
- 11 月 9 日・10 日 第 51 回 全国青年大会（板橋区立上板橋体育館）



2003年度（平成15年度）

主催大会等

- 5月3日 第46回 社会人大会 都予選会 シングルス・混合ダブルス（葛飾区総合スポーツセンター）
- 5月4日 第46回 社会人大会 都予選会 ダブルス（中央区総合スポーツセンター）
- 5月11日 第56回 都民体育大会 女子の部（稲城市総合体育館）
- 5月25日 第56回 都民体育大会 男子の部（稲城市総合体育館）
- 6月8日 第58回 国民体育大会 都予選会シングルス（武蔵野市総合体育館）
- 6月22日 第58回 国民体育大会 都予選会ダブルス（江戸川区総合スポーツセンター）
- 7月13日 東京都ダブルス選手権大会 1部～3部（葛飾区総合スポーツセンター）
- 9月7日 第15回 都民生涯スポーツ大会（北区滝野川体育館）
- 9月7日 第52回 青年大会 都予選会（北区滝野川体育館）
- 9月21日 東京都ダブルス選手権大会 4部～9部（板橋区立上板橋体育館）
- 第58回 国民体育大会（静岡県）成年男子優勝、少年男子準優勝
  成年男子　監督：兒嶋 昇　選手：久保田 雄三、片山 卓哉、清水 裕
  少年男子　監督：小林 重徳　選手：高木 洋平、堀川 善生、林　森
  成年女子4位入賞、少年女子5位入賞で天皇杯（総合優勝）獲得
- 12月7日 東京都シングルス選手権大会（荒川区総合スポーツセンター）
- 1月12日 東京都支部対抗戦（葛飾区総合スポーツセンター）
- 2月1日 東京都混合ダブルス選手権大会（中央区総合スポーツセンター）
- （財）日本体育協会公認C級スポーツ指導員養成講習会

主管大会

- 4月1日～6日 第21回 ヨネックスオープンジャパン2003（国立代々木運動場 第二体育館）
- 7月27日～28日 第21回全日本レディースバドミントン選手権大会（東京体育館）
- 8月7日～9日 第34回 関東中学校大会（葛飾区総合スポーツセンター）
- 11月8日・9日 第52回 全国青年大会（NTT東日本研修センター体育館）
- 11月22日・23日 第4回 関東小学生オープン大会（立川市・小平市）
- 11月29日 第25回 バドミントン日本リーグ2003（練馬区立総合体育館）
- 12月6日・7日 第39回 関東教育系大学生選手権大会
- 12月27日・28日 第25回 バドミントン日本リーグ2003（最終日）（国立代々木運動場 第二体育館）

国際大会の成績

- 第13回 世界選手権大会で 女子ダブルス
  山本 静香（ヨネックス）／山田 青子（三洋電機）
  3位入賞



国体トロフィー

2004 年度（平成 16 年度）

主催大会等

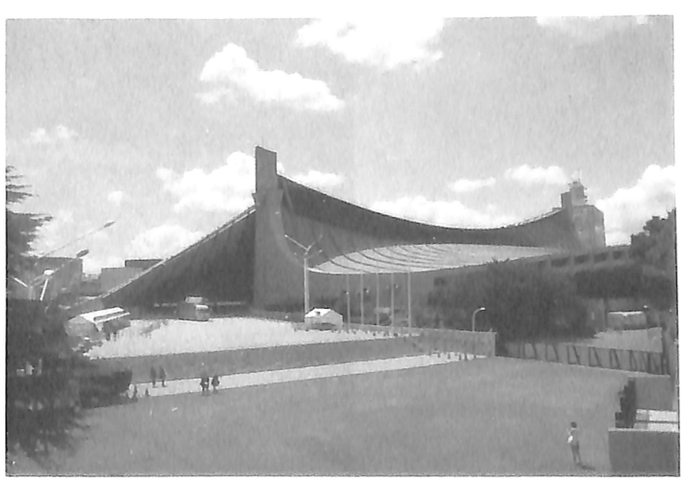
- 5 月 2 日 第 47 回 社会人大会 都予選会 ダブルス
  （板橋区上板橋体育館）
- 5 月 3 日 第 47 回 社会人大会 都予選会 シングルス・混合ダブルス（葛飾区総合スポーツセンター）
- 5 月 16 日 第 57 回 都民体育大会 女子の部
  （稲城市中央公園総合体育館）
- 5 月 30 日 第 57 回 都民体育大会 男子の部
  （稲城市中央公園総合体育館）
- 6 月 20 日 第 59 回 国民体育大会 都予選会シングルス（板橋区小豆沢体育館）
- 6 月 27 日 第 59 回 国民体育大会 都予選会ダブルス（江戸川区総合スポーツセンター）
- 7 月 4 日 東京都ダブルス選手権大会 2 部～ 9 部
  （武蔵野市総合体育館）
- 9 月 5 日 平成 16 年度 都民生涯スポーツ大会
  （北区滝野川体育館）
- 9 月 5 日 第 53 回 青年大会 都予選会
  （北区滝野川体育館）
- 9 月 12 日 東京都ダブルス選手権大会 1 部
  （板橋区立上板橋体育館）
- 第 59 回 国民体育大会（埼玉県）少年男子優勝
  監督：全 仁徹
  選手：藤田 真生、堀川 善生、高階 知也
- 12 月 12 日 東京都シングルス選手権大会 1 部～ 7 部（荒川区総合スポーツセンター）
- 1 月 10 日 東京都支部対抗戦
  （葛飾区総合スポーツセンター）
- 2 月 6 日 東京都混合ダブルス選手権大会
  （中央区総合スポーツセンター）
- 文部科学大臣賞受賞（根岸 知子）
  東京都スポーツ功労賞受賞（千葉 健夫）

主管大会

- 4 月 1 日～ 6 日 ヨネックスオープンジャパン 2004（国立代々木運動場 第二体育館）
- 8 月 13 日～ 15 日 第 42 回 関東総合選手権大会
  （町田市立総合体育館）
- 11 月 12 日～ 14 日 第 53 回 全国青年大会
  （板橋区立上板橋体育館）
- 12 月 25 日・26 日 第 26 回 バドミントン日本リーグ 2004（最終日）
  （国立代々木運動場 第二体育館）

国際大会の成績

- 第 20 回 世界女子バドミントン選手権（ユーバー杯）大会で 3 位入賞



2005 年度（平成 17 年度）

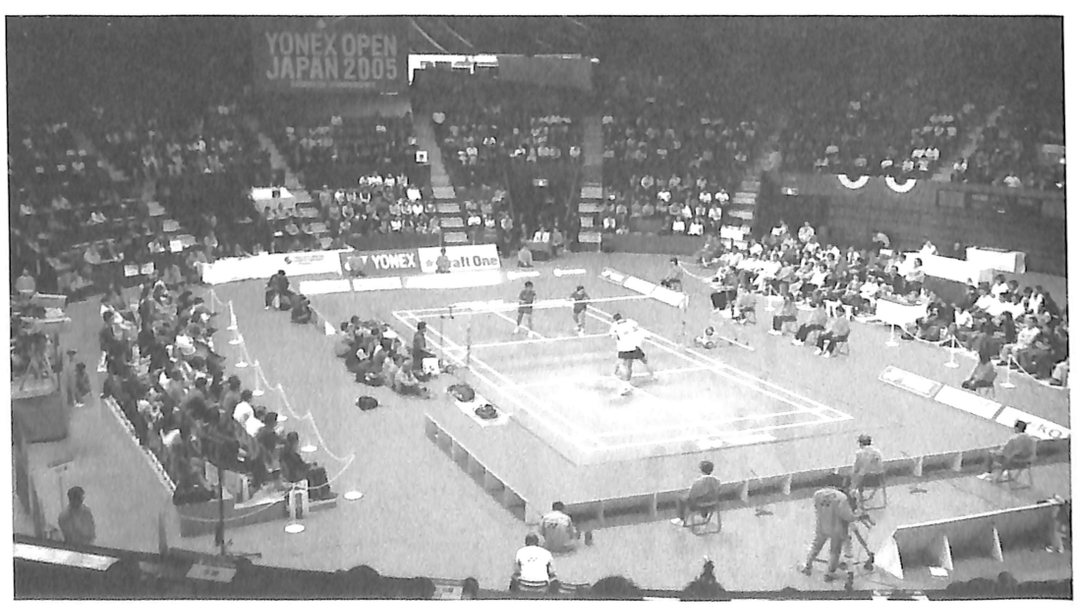
主催大会等

- 5 月 3 日 第 60 回 国民体育大会 都予選会ダブルス（板橋区立上板橋体育館）
- 5 月 4 日 第 60 回 国民体育大会 都予選会シングルス（葛飾区総合スポーツセンター）
- 5 月 15 日 第 58 回 都民体育大会 女子の部（稲城市総合体育館）
- 5 月 29 日 第 58 回 都民体育大会 男子の部（稲城市総合体育館）
- 6 月 12 日 東京都混合ダブルスオープン大会（江戸川区総合スポーツセンター）
- 7 月 10 日 東京都ダブルス選手権大会 2 部～9 部（武蔵野総合体育館）
- 9 月 4 日 平成 17 年度 都民生涯スポーツ大会（北区滝野川体育館）
- 9 月 4 日 第 54 回 青年大会 都予選会（北区滝野川体育館）
- 1 月 9 日 東京都シングルス選手権大会（葛飾区総合スポーツセンター）
- 1 月 28 日 東京都支部対抗戦（葛飾区総合スポーツセンター）
- 2 月 5 日 東京都混合ダブルス選手権大会（中央区総合スポーツセンター）
- 3 月 26 日 東京都ダブルス選手権大会 1 部（板橋区立上板橋体育館）
- 東京都スポーツ功労賞受賞（渋谷 実）

主管大会

- 4 月 1 日～6 日 ヨネックスオープンジャパン 2005（国立代々木運動場 第二体育館）
- 7 月 16 日～18 日 第 60 回 国民体育大会関東ブロック予選競技大会（稲城市総合体育館）
- 8 月 13 日～14 日 第 29 回全日本高等専門学校バドミントン選手権大会
- 10 月 22 日・23 日 第 14 回 全国小学生選手権大会 関東予選会（立川市・武蔵村山市）
- 10 月 30 日～11 月 4 日 第 48 回 全日本社会人バドミントン選手権大会
- 11 月 12 日・13 日 平成 17 年度 全国青年大会

ヨネックスオープンジャパン 2005



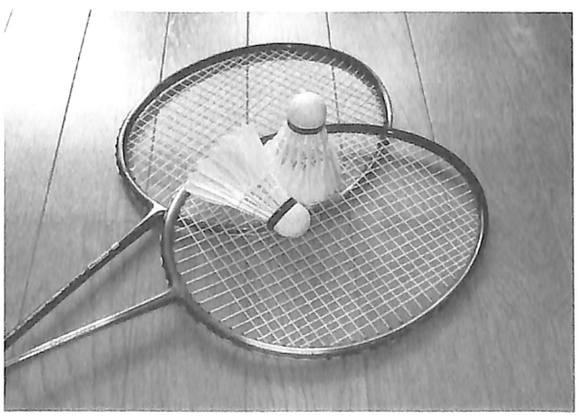
2006年度（平成 18 年度）

主催大会等

- 5 月 14 日 第 59 回 都民体育大会 女子の部
  （稲城市総合体育館）
- 5 月 21 日 第 59 回 都民体育大会 男子の部
  （稲城市総合体育館）
- 6 月 4 日 第 61 回 国民体育大会 都予選会シングルス（板橋区立上板橋体育館）
- 6 月 11 日 第 61 回 国民体育大会 都予選会ダブルス（江戸川区総合スポーツセンター）
- 7 月 8 日・9 日 東京都ダブルス選手権大会 2 部～ 9 部（武蔵野市総合体育館）
- 9 月 3 日 平成 18 年度 都民生涯スポーツ大会
  （北区滝野川体育館）
- 9 月 3 日 平成 18 年度 青年大会 都予選会
  （北区滝野川体育館）
- 9 月 10 日 東京都ダブルス選手権大会 1 部
  （板橋区立上板橋体育館）
- 12 月 24 日 東京都シングルス選手権大会 1 部～ 8 部（葛飾区総合スポーツセンター）
- 1 月 8 日 東京都支部対抗戦
  （葛飾区総合スポーツセンター）
- 2 月 4 日 東京都混合ダブルス選手権大会
  （中央区総合スポーツセンター）
- 東京都知事表彰受賞（花岡 牧夫）

主管大会

- 6 月 28 日～ 7 月 2 日第 56 回全日本実業団バドミントン選手権大会
  （東京体育館・武蔵野市総合体育館）
- 2006 ジュニアスポーツアジア交流大会
  （駒沢オリンピック公園総合運動場体育館）
- 10 月 10 日～ 15 日 ヨネックスオープンジャパン 2006（国立代々木運動場 第一体育館）
- 11 月 14 日～ 19 日 平成 18 年度全日本総合バドミントン選手権大会
  （国立代々木運動場 第二体育館）
- トマス杯・ユーバー杯（東京都／宮城県）で開催



2007年度（平成 19 年度）

主催大会等

- 5 月 3 日第 50 回 全日本社会人選手権大会 都予選会 ダブルス）（葛飾区総合スポーツセンター）
- 5 月 4 日 第 50 回 全日本社会人選手権大会 都予選会 シングルス・混合ダブルス）（葛飾区総合スポーツセンター）
- 5 月 13 日 第 60 回 都民体育大会 女子の部（稲城市総合体育館）
- 5 月 20 日 第 60 回 都民体育大会 男子の部（稲城市総合体育館）
- 6 月 3 日 第 62 回 国民体育大会 都予選会シングルス（板橋区立上板橋体育館）
- 6 月 24 日 第 62 回 国民体育大会 都予選会ダブルス（江戸川区総合スポーツセンター）
- 7 月 15 日・16 日 東京都ダブルス選手権大会 30 才～ 70 才の部（武蔵野総合体育館）
- 7 月 16 日 東京都ダブルス選手権大会 30 才～ 70 才の部（葛飾区総合スポーツセンター）
- 9 月 2 日 平成 19 年度 都民生涯スポーツ大会（新宿スポーツセンター）
- 9 月 2 日 平成 19 年度 青年大会 都予選会（新宿スポーツセンター）
- 9 月 9 日 東京都ダブルス選手権大会 1 部（板橋区立上板橋体育館）
- 浅岡 武 氏が勲章「旭日双光章」を受章



- 12 月 24 日 東京都シングルス選手権大会 1 部～ 65 才の部（葛飾区総合スポーツセンター）
- 創立 60 周年記念を新年会と合わせて行った
- 1 月 14 日 東京都支部対抗戦（葛飾区総合スポーツセンター）

創立 60 周年記念・新年会





- 2 月 3 日 東京都混合ダブルス選手権大会（中央区総合スポーツセンター）
- 東京都スポーツ功労賞受賞（今来 サキ）

主管大会

- 2007 ジュニアスポーツアジア交流大会（駒沢オリンピック公園総合運動場体育館）
- 9 月 11 日～ 16 日 ヨネックスオープンジャパン 2007（国立代々木運動場 第二体育館）
- 11 月 10 日・11 日 平成 19 年度 全国青年大会
- 11 月 13 日～ 18 日 平成 19 年度全日本総合選手権大会（国立代々木運動場 第二体育館）
- 12 月 28 日・29 日 バドミントン日本リーグ 2007（最終日）（国立代々木運動場 第二体育館）
- 2 月 25 日～ 26 日 第 2 回全日本レディース（個人戦）（東京体育館）

国際大会の成績

- 第 16 回 世界選手権大会で
  男子ダブルス 坂本 修一／池田 信太郎（日本ユニシス）が 3 位入賞
  女子ダブルス 小椋 久美子／潮田 玲子（三洋電機）が 3 位入賞

2008年度（平成 20 年度）

主催大会等

- 5 月 5 日 第 51 回 全日本社会人選手権大会 都予選会 ダブルス（葛飾区総合スポーツセンター）
- 5 月 6 日 第 51 回 全日本社会人選手権大会 都予選会 シングルス・混合ダブルス（葛飾区総合スポーツセンター）
- 5 月 11 日 第 61 回 都民体育大会 女子の部（稲城市総合体育館）
- 5 月 18 日 第 61 回 都民体育大会 男子の部（稲城市総合体育館）
- 6 月 1 日 第 63 回 国民体育大会 都予選会シングルス（ナショナルトレーニングセンター）
- 6 月 22 日 第 63 回 国民体育大会 都予選会ダブルス（江戸川区総合スポーツセンター）
- 7 月 12 日・13 日 東京都ダブルス選手権大会 30 才～ 70 才の部（武蔵野総合体育館）
- 9 月 7 日 平成 20 年度 都民生涯スポーツ大会（新宿スポーツセンター）
- 9 月 7 日 平成 20 年度 青年大会 都予選会（新宿スポーツセンター）
- 9 月 14 日 東京都ダブルス選手権大会 1 部（立川市泉市民体育館）
- 第 63 回 国民体育大会（大分県）成年男子準優勝
  監督：笹林　義春
  選手：早坂　幸平、廣部　好輝、岩脇　峰生
  成年女子 3 位入賞で天皇杯（総合優勝）獲得
- 12 月 13 日 東京都シングルス選手権大会　40 才～ 70 才の部（町田市総合体育館）
- 12 月 28 日 東京都シングルス選手権大会　1 部～ 35 才の部（葛飾区総合スポーツセンター）
- 1 月 12 日 東京都支部対抗戦（葛飾区総合スポーツセンター）
- 2 月 1 日 東京都混合ダブルス選手権大会（中央区総合スポーツセンター）
- 東京都スポーツ功労賞受賞（石森 敏男）
- （財）日本体育協会公認スポーツ指導者資格更新のための義務研修会（上級指導員・指導員）

主管大会

- 2008 ジュニアスポーツアジア交流大会（駒沢オリンピック公園総合運動場体育館）
- 9 月 16 日～ 21 日 ヨネックスオープンジャパン 2008（東京体育館）
- 11 月 11 日～ 16 日 平成 20 年度全日本総合選手権大会（国立代々木運動場 第二体育館）
- 2 月 6 日～ 8 日 第 24 回 関東シニア選手権大会（町田市総合体育館）

国際大会の成績

- 第 98 回 全英オープンバドミントン選手権大会で男子ダブルス 坂本 修一／池田 信太郎（日本ユニシス）が 3 位入賞
- 第 29 回オリンピック競技大会（2008/ 北京）で男子ダブルス 舛田 圭太／大東 忠司（トナミ運輸）が 5 位入賞
  女子ダブルス 末綱 聡子／前田 美順（ＮＥＣ ＳＫＹ）が 4 位入賞、小椋 久美子／潮田 玲子（三洋電機）第 5 位入賞



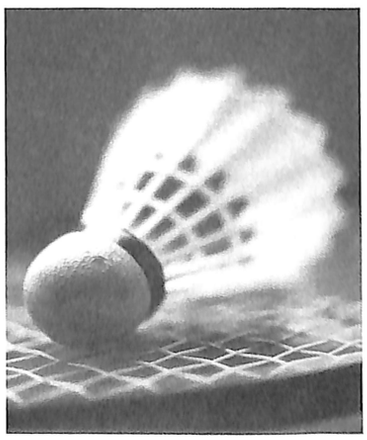
2009 年度（平成 21 年度）

主催大会等

- 5 月 4 日 第 64 回 国民体育大会予選会 ダブルス（葛飾区総合スポーツセンター）
- 5 月 5 日 東京都 全日本社会人大会予選 シングルス・混合ダブルス（葛飾区総合スポーツセンター）
- 5 月 9 日 第 64 回 国民体育大会予選会 シングルス（中央区総合スポーツセンター）
- 5 月 10 日 第 62 回都民体育大会 女子の部（稲城市総合体育館）
- 5 月 17 日 第 62 回都民体育大会 男子の部（稲城市総合体育館）
- 6 月 28 日 東京都 全日本社会人大会予選 ダブルス（江戸川区総合スポーツセンター）
- 7 月 4 日・5 日 東京都ダブルス選手権大会 30 歳～ 70 歳以上（武蔵野総合体育館）
- 8 月 30 日 平成 21 年度 都民生涯スポーツ大会（新宿スポーツセンター）
- 8 月 30 日 平成 21 年度 青年大会 都予選会（新宿スポーツセンター）
- 9 月 20 日 東京都ダブルス選手権大会 一般の部（板橋区上板橋体育館）
- 第 64 回 国民体育大会（新潟県）成年男子優勝
  監督：笹林 義春
  選手：廣部 好輝、岩脇 峰生、山田 和司
  少年男子 3 位入賞で天皇杯（総合優勝）獲得
- 12 月 26 日 東京都シングルス選手権大会 男子 35 歳～ 70 歳以上・女子 40 歳～ 70 歳以上（町田市総合体育館）
- 12 月 27 日 東京都シングルス選手権大会 男子一般、30 歳以上・女子一般、30 歳～ 35 歳以上（葛飾区総合スポーツセンター）
- 1 日 11 日 東京都 支部対抗戦（稲城市総合体育館）
- 1 月 31 日 東京都混合ダブルス選手権大会 一般・30 以上～ 70 以上（中央区総合スポーツセンター）
- 文部科学大臣賞受賞（花岡 牧夫）
  東京都スポーツ功労賞受賞（竹内 ヒロ子）

主管大会

- 5 月 21 日 第 27 回 全日本レディース関東ブロック予選会（武蔵野総合体育館）
- 2009 ジュニアスポーツアジア交流大会（駒沢オリンピック公園総合運動場体育館）
- 9 月 22 日～ 27 日 ヨネックスオープンジャパン 2009（東京体育館）
- 12 月 2 日～ 6 日 平成 21 年度全日本総合選手権大会（国立代々木運動場 第二体育館）
- 12 月 26 日～ 28 日 第 37 回 関東高等学校選抜選手権大会（駒沢オリンピック公園総合運動場体育館）



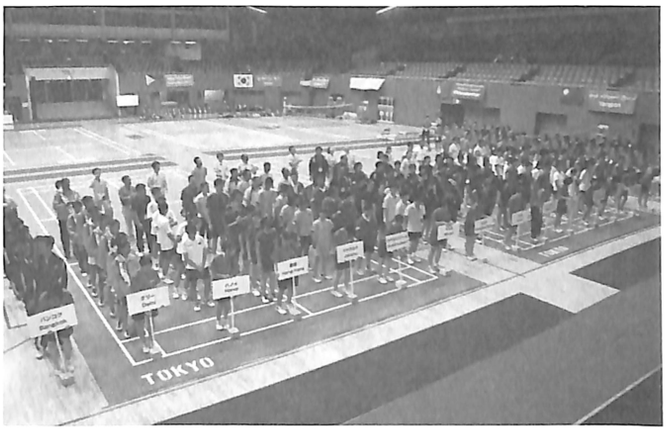
2010年度（平成 22 年度）

主催大会等

- 5 月 3 日 東京都 全日本社会人大会予選 ダブルス（葛飾区総合スポーツセンター）
- 5 月 4 日 東京都 全日本社会人大会予選 シングルス・混合ダブルス（葛飾区総合スポーツセンター）
- 5 月 9 日 第 63 回都民体育大会 女子の部（稲城市総合体育館）
- 5 月 16 日 第 63 回都民体育大会 男子の部（稲城市総合体育館）
- 5 月 22 日 第 65 回 国民体育大会予選会 シングルス（中央区総合スポーツセンター）
- 6 月 27 日 第 65 回 国民体育大会予選会 ダブルス（江戸川区総合スポーツセンター）
- 7 月 3 日 東京都 全日本シニア大会予選 ダブルス（調布市総合体育館・足立区鹿浜センター体育館）
- 7 月 31 日 東京都 全日本シニア大会予選 シングルス・混合ダブルス（葛飾区総合スポーツセンター）
- 9 月 5 日 平成 22 年度 都民生涯スポーツ大会（新宿スポーツセンター）
- 9 月 5 日 平成 22 年度 青年大会 都予選会（新宿スポーツセンター）
- 9 月 18 日 東京都シングルス選手権大会 40 歳～70 歳以上（板橋区上板橋体育館）
- 12 月 23 日 東京都シングルス選手権大会 一般～35 歳以上（稲城市総合体育館）
- 1 日 10 日 東京都混合ダブルス選手権大会 一般～70 歳以上（葛飾区総合スポーツセンター）
- 2 月 19 日 東京都ダブルス選手権大会 一般～ 70 歳以上（町田市総合体育館）
- 3 日 21 日 東京都 支部対抗戦（東日本大震災のため中止）
- 東京都スポーツ功労賞受賞（殿川 宣勝）
- （財）日本体育協会公認スポーツ指導者義務研修会（上級指導員・指導員）

主管大会

- 6 月 12 日・13 日 第 52 回 関東高等学校選手権大会（町田市総合体育館）
- 2010 ジュニアスポーツアジア交流大会（駒沢オリンピック公園総合運動場体育館）



- 9 月 21 日～ 26 日 ヨネックスオープンジャパン 2010（東京体育館）
- 10 月 15 日～ 21 日 第 61 回 全日本学生バドミントン選手権大会（東京体育館）
- 10 月 23 日 バドミントン日本リーグ 2010（武蔵野総合体育館）
- 11 月 13 日 平成 19 年度 全国青年大会
- 12 月 7 日～ 12 日 平成 22 年度 全日本総合バドミントン選手権大会（国立代々木運動場 第二体育館）
- 1 月 6 日～ 8 日 第 15 回 関東中学校オープン大会（葛飾区総合スポーツセンター）
- 12 月 25 日・26 日 バドミントン日本リーグ 2010 最終日（墨田区総合体育館）

国際大会の成績

- 第 100 回 全英オープン選手権大会 男子ダブルスで田児 賢一（NTT 東日本）が準優勝
- 第 26 回 世界男子バドミントン選手権（トマス杯）大会で 3 位入賞
- 第 23 回 世界女子バドミントン選手権（ユーバー杯）大会で 3 位入賞

2011年度（平成 23 年度）

主催大会等

- 5 月 3 日 東京都 全日本社会人大会予選（シングルス・混合ダブルス）
（葛飾区総合スポーツセンター）
- 5 日 5 日 東京都 支部対抗戦
（葛飾区総合スポーツセンター）
- 5 月 7 日 第 66 回 国民体育大会予選会 ダブルス
（江東区スポーツ会館）
- 5 月 8 日 第 64 回 都民体育大会 女子の部
（稲城市総合体育館）
- 5 月 14 日 第 66 回 国民体育大会予選会 シングルス（台東区リバーサイドスポーツセンター）
- 5 月 15 日 第 64 回 都民体育大会 男子の部
（稲城市総合体育館）
- 6 月 26 日 東京都 全日本社会人大会予選 ダブルス（江戸川区総合スポーツセンター）
- 7 月 9 日・10 日 東京都 全日本シニア大会予選
（武蔵野総合体育館）
- 9 月 4 日 平成 23 年度 都民生涯スポーツ大会
（新宿スポーツセンター）
- 9 月 4 日 第 60 回 青年大会 都予選会
（新宿スポーツセンター）
- 9 月 17 日 東京都シングルス選手権大会 男子 35 歳～ 70 歳以上・女子 40 歳～ 70 歳以上
（板橋区上板橋体育館）
- 11 月 3 日 東京都シングルス選手権大会 男子一般、30 歳・女子一般、30 歳～ 35 歳以上
（稲城市総合体育館）
- 11 月 26 日 東京都ダブルス選手権大会（一般・30 歳～ 70 歳以上）（町田市総合体育館）
- 1 日 9 日 東京都混合ダブルス選手権大会（一般～ 70 歳以上）（稲城市総合体育館）



- 東京都知事表彰受賞（鈴木 利雄）
東京都スポーツ功労賞受賞（池田 公子）

主管大会

- 8 月 22 日～ 28 日 2011ジュニアスポーツアジア交流大会（駒沢オリンピック公園総合運動場体育館）
- 8 月 8 日～ 10 日 第 42 回 関東中学生選手権大会（墨田区総合体育館）
- 9 日 1 日～ 3 日 第 49 回 関東総合バドミントン選手権大会（町田市総合体育館）
- 9 月 20 日～ 25 日 ヨネックスオープンジャパン 2011（東京体育館）
- 12 月 24 日・25 日 バドミントン日本リーグ 2011 最終日（国立代々木運動場 第二体育館）
- 11 月 13 日 第 60 回 全国青年大会（江戸川区総合スポーツセンター）
- 12 月 6 日～ 11 日 平成 23 年度 全日本総合バドミントン選手権大会（国立代々木運動場 第二体育館）
- 12 月 26 日～ 28 日 第 470 回 全関東教育系学生選手権大会（墨田区総合体育館）

国際大会の成績

- BWFスーパーシリーズファイナルズで 女子ダブルス 末綱 聡子／前田 美順（ルネサスSKY）が 3 位入賞
- 第 101 回全英オープンバドミントン選手権大会で女子シングルス 広瀬 栄理子（三洋電機）が準優勝、女子ダブルス 藤井 瑞希／垣岩 令佳（ルネサスSKY）が準優勝
- 第 19 回 世界バドミントン選手権大会で 女子ダブルス 末綱 聡子／前田 美順（ルネサス）が 3 位入賞
- BWFスーパーシリーズファイナルズ 2011 で 混合ダブルス 池田 信太郎／潮田 玲子（日本ユニシス）が 3 位入賞

2012年度（平成 24 年度）

主催大会等

- 4 月 29 日 東京都 全日本社会人大会予選 ダブルス（葛飾区総合スポーツセンター）
- 5 月 3 日 東京都 全日本シニア大会予選 ダブルス 50 歳～ 70 歳以上（葛飾区総合スポーツセンター）
- 5 月 3 日 第 67 回 国民体育大会 一次選考会 ダブルス（葛飾区総合スポーツセンター）
- 5 月 13 日 第 65 回 都民体育大会 女子の部（稲城市総合体育館）
- 5 月 20 日 第 65 回 都民体育大会 男子の部（稲城市総合体育館）
- 6 月 2 日 第 67 回 国民体育大会 一次選考会 シングルス（台東リバーサイドスポーツセンター）
- 6 月 24 日 東京都 全日本社会人大会予選 シングルス・混合ダブルス(江戸川区総合スポーツセンター)
- 7 月 14 日 東京都 全日本シニア大会予選 ダブルス 30 歳～ 45 歳（武蔵野市総合体育館）
- 7 月 15 日 東京都 全日本シニア大会予選 シングルス・混合ダブルス（武蔵野市総合体育館）
- 8 月 17 日～ 19 日 第 67 回 国民体育大会 関東ブロック大会（稲城市総合体育館）
- 9 月 2 日 平成 24 年度 都民生涯スポーツ大会（新宿スポーツセンター）
- 9 月 2 日 平成 24 年度 青年大会 都予選会（新宿スポーツセンター）
- 9 月 15 日 東京都 シングルス選手権大会 男子 35 歳～ 70 歳　女子 40 歳～ 70 歳（板橋区上板橋体育館）
- 10 月 20 日 東京都 ダブルス選手権大会 一般～ 70 歳以上（葛飾区総合スポーツセンター）
- 第 66 回 国民体育大会（山口県）成年男子 優勝
  監督：坂本 修一　選手：池田 雄一、藤田 真生、垰畑 亮太
  少年男子 3 位入賞、成年女子 5 位入賞で埼玉県と同点で優勝（天皇杯）獲得



- 11 月 3 日 東京都 シングルス選手権大会
  男子一般、30 歳
  女子一般、30 歳～ 35 歳
  （稲城市総合体育館）
- 1 月 14 日 東京都 支部対抗戦（葛飾区総合スポーツセンター）（降雪のため途中打ち切りとした）
- 2 月 2 日 東京都 混合ダブルス選手権大会 一般～ 70 歳以上（稲城市総合体育館）
- 東京都知事表彰受賞（千葉 健夫）
  東京都スポーツ功労賞受賞（兒嶋 昇）

主管大会

- 7 月 1 日 第 1 回 関東教職員選手権大会（江東区）
- 8 月 17 日～ 19 日 第 67 回 国民体育大会関東ブロック予選会（稲城市総合体育館）
- 8 月 27 日～ 30 日 全国私立高等学校選抜バドミントン大会（葛飾区）
- 8 月 28 日～ 9 月 2 日 2012 ジュニアスポーツアジア交流大会（駒沢オリンピック公園総合運動場体育館）
- 9 月 18 日～ 23 日 ヨネックスオープンジャパン 2012（国立代々木運動場 第一体育館）
- 11 月 10 日 平成 24 年度 全国青年大会
- 11 月 10 日・11 日 第 14 回 関東小学生オープン大会（府中市）
- 11 月 22 日～ 25 日 バドミントン日本リーグ 2012 2 部リーグ（町田市立総合体育館）
- 12 月 3 日～ 9 日 平成 24 年度 全日本総合バドミントン選手権大会（国立代々木運動場 第二体育館）
- 12 月 27 日・28 日 バドミントン日本リーグ 2012 最終日（国立代々木運動場 第二体育館）

国際大会の成績

- 第 102 回全英オープンバドミントン選手権大会で男子シングルス 田児 賢一（NTT東日本）が 3 位入賞、男子ダブルス 平田 典靖／橋本 博且（トナミ運輸）が 3 位入賞
- 第 27 回 世界男子バドミントン選手権（トマス杯）大会で 3 位入賞
- 第 24 回　世界女子バドミントン選手権（ユーバー杯）大会で 3 位入賞
- 第 30 回オリンピック競技大会（2012/ ロンドン）で女子ダブルスの藤井 瑞希／垣岩 令佳（ルネサス）が銀メダルを獲得する。



- BWFスーパーシリーズファイナルズ 2012 で男子ダブルス早川 賢一／遠藤 大由 組 準優勝、女子ダブルス 松尾 静香／内藤 真実 組 3 位

2013年度（平成 25 年度）

主催大会等

- 4 月 29 日 東京都 全日本社会人大会予選 ダブルス（調布市総合体育館）
- 5 月 29 日 東京都 全日本社会人大会予選 ダブルス（調布市総合体育館）
- 5 月 3 日 東京都 全日本シニア大会予選 ダブルス 45 歳～ 70 歳以上（葛飾区総合スポーツセンター）
- 5 月 3 日 第 68 回 国民体育大会 一次選考会 ダブルス（葛飾区総合スポーツセンター）
- 5 月 12 日 第 66 回 都民体育大会 男子の部（稲城市総合体育館）
- 5 月 19 日 第 66 回 都民体育大会 女子の部（稲城市総合体育館）
- 6 月 1 日 東京都 全日本社会人大会予選 シングルス・混合ダブルス（町田市総合体育館）
- 6 月 1 日 東京都 全日本シニア大会予選 シングルス・混合ダブルス 55 歳～ 70 歳（町田市総合体育館）
- 6 月 23 日 東京都 全日本シニア大会予選 シングルス・混合ダブルス 45 歳～ 50 歳（江戸川区総合スポーツセンター）
- 6 月 23 日 第 68 回 国民体育大会 一次選考会 シングルス（江戸川区総合スポーツセンター）
- 7 月 13 日 東京都 全日本シニア大会予選 ダブルス 30 歳～ 40 歳（武蔵野市総合体育館）
- 7 月 14 日 東京都 全日本シニア大会予選 シングルス・混合ダブルス 30 歳～ 40 歳（武蔵野市総合体育館）
- 8 月 17 日 東京都 ダブルス選手権大会 一般～ 70 歳以上（町田市総合体育館）
- 9 月 1 日 平成 25 年度 都民生涯スポーツ大会（新宿スポーツセンター）
- 9 月 1 日 平成 25 年度 青年大会 都予選会（新宿スポーツセンター）
- 第 68 回 国民体育大会（東京都）成年女子 優勝
  監督：清水 文武
  選手：髙橋 礼華、松友 美佐紀、土井 杏奈
- 11 月 2 日 東京都 シングルス選手権大会 45 歳～ 70 歳以上（千代田区スポーツセンター）
- 11 月 4 日 東京都 シングルス選手権大会 一般～ 40 歳以上（稲城市総合体育館）
- 1 月 13 日 東京都 支部対抗戦（葛飾区総合スポーツセンター）
- 2 日 16 日 東京都混合ダブルス選手権大会 一般～ 70 歳以上（稲城市総合体育館）
- 東京都スポーツ功労賞受賞（彌永 正信）

主管大会

- 8 月 30 日～ 9 月 1 日 2013 ジュニアスポーツアジア交流大会（駒沢オリンピック公園総合運動場体育館）
- 9 月 17 日～ 22 日 ヨネックスオープンジャパン 2013（東京体育館）
- 10 月 4 日～ 7 日 第 68 回国民体育大会バドミントン競技会（町田市立総合体育館）



- 10 月 12 日・13 日 スポーツ祭東京 2013 第 13 回 全国障害者スポーツ大会（町田市立総合体育館）
- 11 月 9 日 平成 25 年度 全国青年大会（オリンピック記念青少年センター）
- 12 月 2 日～ 8 日 平成 25 年度 全日本総合バドミントン選手権大会（国立代々木運動場 第二体育館）
- 12 月 28 日・29 日 バドミントン日本リーグ 2013 最終日（墨田区総合体育館）

国際大会の成績

- 第 103 回 全英オープンバドミントン選手権大会で男子ダブルス 早川 賢一／遠藤 大由（日本ユニシス）準優勝
  女子ダブルス 末綱 聡子／前田 美順（ルネサス）3 位入賞
- BWFスーパーシリーズファイナルズ 2013 で男子シングルス 田児 賢一（NTT東日本）が 3 位入賞

2014年度（平成 26 年度）

主催大会等

- 4 月 19 日 東京都 全日本シニア大会予選 シングルス・混合ダブルス（葛飾区総合スポーツセンター）
- 4 月 20 日 第 69 回 国民体育大会 一次選考会 ダブルス（足立区竹の塚体育館）
- 5 月 4 日 東京都 全日本社会人大会予選 シングルス・混合ダブルス（日野市市民の森ふれあいホール）
- 5 月 11 日 第 67 回 都民体育大会 男子の部（稲城市総合体育館）
- 5 月 18 日 第 67 回 都民体育大会 女子の部（稲城市総合体育館）
- 5 月 31 日 第 69 回 国民体育大会 一次選考会 シングルス（板橋区立上板橋体育館）
- 6 月 22 日 東京都 全日本社会人大会予選 ダブルス 45 才～ 70 才以上（江戸川区総合スポーツセンター）
- 7 月 19 日 東京都 全日本シニア大会予選 ダブルス 30 才～ 40 才以上（日野市市民の森ふれあいホール）
- 7 月 20 日 東京都 全日本シニア大会予選 ダブルス（町田市総合体育館）
- 9 月 7 日 第 25 回 都民生涯スポーツ大会（新宿スポーツセンター）
- 9 月 7 日 第 63 回 青年大会 都予選会（新宿スポーツセンター）
- 9 月 27 日 東京都 シングルス選手権大会 一般～ 40 才以上（稲城市総合体育館）
- 10 月 4 日 東京都 シングルス選手権大会 45 才～ 70 才以上（千代田区スポーツセンター）
- 12 月 21 日 東京都 ダブルス選手権大会（町田市総合体育館）
- 1 月 17 日 東京都 支部対抗戦（葛飾区総合スポーツセンター）
- 2 日 14 日 東京都 混合ダブルス選手権大会（稲城市総合体育館）
- 東京都スポーツ功労賞受賞（原 正人）

主管大会

- 6 月 10 日～ 15 日 ヨネックスオープンジャパン 2014（東京体育館）
- 8 月 29 日～ 31 日 2014 ジュニアスポーツアジア交流大会（駒沢オリンピック公園総合運動場体育館）
- 8 月 10 日～ 14 日 第 53 回全日本教職員バドミントン選手権大会（葛飾区総合スポーツセンター・墨田区総合体育館・他）
- 10 月 25 日～ 26 日 第 23 回 全国小学生選手権大会（墨田区総合体育館）
- 11 月 8 日 第 63 回 全国青年大会（オリンピック記念青少年センター）
- 12 月 1 日・2 日 バドミントン日本リーグ 2014（エスフォルタアリーナ八王子）
- 12 月 2 日～ 7 日 平成 26 年度 全日本総合バドミントン選手権大会（国立代々木運動場 第二体育館）
- 12 月 27 日・28 日 バドミントン日本リーグ 2014 最終日（国立代々木運動場 第二体育館）

国際大会の成績

- 第 104 回 全英オープンバドミントン選手権大会で男子ダブルス 早川 賢一／遠藤 大由（日本ユニシス）が準優勝
  女子ダブルス 髙橋 礼華／松友 美佐紀（日本ユニシス）が 3 位入賞



- 第 28 回 世界男子バドミントン選手権（トマス杯）で優勝
- 第 25 回 世界女子バドミントン選手権（ユーバー杯）で準優勝



- 第 21 回 世界バドミントン選手権大会で女子シングルス 三谷 美菜津（NTT 東日本）が 3 位入賞、女子ダブルス 前田 美順／垣岩 令佳（ルネサス）が 3 位入賞
- BWFワールドスーパーシリーズファイナルズ 2014 で女子シングルス 山口 茜（勝山高校）が 3 位入賞、男子ダブルス 早川 賢一／遠藤 大由（日本ユニシス）が 3 位入賞、女子ダブルス 髙橋 礼華／松友 美佐紀（日本ユニシス）が 3 位入賞

2015年度（平成 27 年度）

主催大会等

- 4 月 18 日 東京都 全日本社会人大会予選 ダブルス（葛飾区総合スポーツセンター）
- 5 月 4 日 東京都 全日本シニア大会予選 ダブルス 30 才～ 40 才以上（葛飾区総合スポーツセンター）
- 5 月 4 日 東京都 全日本シニア大会予選 ダブルス 45 才～ 70 才以上（日野市市民の森ふれあいホール）
- 5 月 10 日 第 68 回 都民体育大会 男子の部（稲城市総合体育館）
- 5 月 17 日 第 68 回 都民体育大会 女子の部（稲城市総合体育館）
- 5 月 30 日 東京都 全日本社会人大会予選 シングルス・混合ダブルス（板橋区立上板橋体育館）
- 6 月 6 日 第 70 回 国民体育大会 一次選考会 シングルス（足立区竹の塚体育館）
- 6 月 28 日 第 70 回 国民体育大会 一次選考会 ダブルス（江戸川区総合スポーツセンター）
- 7 月 4 日 東京都 全日本シニア大会予選 シングルス・混合ダブルス上（エスフォルタアリーナ八王子）
- 8 月 29 日 第 26 回 都民生涯スポーツ大会（葛飾区総合スポーツセンター）
- 8 月 29 日 第 64 回 青年大会 都予選会（葛飾区総合スポーツセンター）
- 10 月 3 日 東京都 シングルス選手権大会 一般～ 40 才以上（稲城市総合体育館）
- 11 月 14 日 東京都 シングルス選手権大会 45 才～ 70 才以上（千代田区立スポーツセンター）
- 12 月 23 日 東京都 ダブルス選手権大会（町田市立総合体育館）
- 1 月 16 日 東京都 支部対抗戦（葛飾区総合スポーツセンター）
- 2 日 6 日 東京都 混合ダブルス選手権大会（稲城市総合体育館）
- 文部科学大臣賞受賞（千葉 健夫）

主管大会

- 8 月 28 日～ 30 日 2015 ジュニアスポーツアジア交流大会（駒沢オリンピック公園総合運動場体育館）
- 9 月 8 日～ 13 日 ヨネックスオープンジャパン 2015（東京体育館）

女子シングルスで日本人同士の決勝となった。



- 11 月 14 日 第 64 回 全国青年大会（オリンピック記念青少年センター）
- 12 月 1 日～ 6 日 平成 27 年度 全日本総合バドミントン選手権大会（国立代々木運動場 第二体育館）
- 1 月 23 日 バドミントン日本リーグ 2015（町田市立総合体育館）
- 2 月 13 日・14 日 バドミントン日本リーグ 2015 最終日（国立代々木運動場 第二体育館）

国際大会の成績

- 第 105 回 全英オープンバドミントン選手権大会で 男子シングルス 佐々木 翔（トナミ運輸）が 3 位入賞、男子ダブルス 早川 賢一／遠藤 大由（日本ユニシス）が 3 位入賞
- 第 22 回 世界バドミントン選手権大会で男子シングルス 桃田 賢斗（NTT東日本）が 3 位入賞、男子ダブルス 早川 賢一／遠藤 大由（日本ユニシス）が 3 位入賞、女子ダブルス 福万 尚子／與猶 くるみ（再春館製薬所）が 3 位入賞
- BWFワールドスーパーシリーズファイナルズ 2015 で 男子シングルス 桃田 賢斗（NTT東日本）が優勝、女子シングルス 奥原 希望（日本ユニシス）が優勝、女子ダブルス 髙橋 礼華／松友 美佐紀（日本ユニシス）が 3 位入賞
- 第 14 回 バドミントン世界国別対抗戦 スディルマンカップ 2015 で 日本代表が準優勝し銀メダル獲得

2016年度（平成 28 年度）

主催大会等

- 4 月 16 日 東京都 全日本社会人大会予選 ダブルス（葛飾区総合スポーツセンター）
- 5 月 3 日 東京都 全日本シニア大会予選 ダブルス 30 歳～ 40 歳以上（葛飾区総合スポーツセンター）
- 5 月 3 日 東京都 全日本シニア大会予選 ダブルス 45 歳～ 70 歳以上（日野市市民の森ふれあいホール）
- 5 月 8 日 第 69 回 都民体育大会 男子の部（稲城市総合体育館）
- 5 月 15 日 第 69 回 都民体育大会 女子の部（稲城市総合体育館）
- 5 月 28 日 第 71 回 国民体育大会 一次選考会 シングルス（足立区江北体育館）
- 6 月 5 日 東京都 全日本社会人大会予選 シングルス・混合ダブルス（調布市総合体育館）
- 6 月 25 日 第 71 回 国民体育大会 一次選考会 ダブルス（江戸川区総合スポーツセンター）
- 7 月 9 日 東京都 全日本シニア大会予選 シングルス・混合ダブルス 30 歳～ 70 歳以上（エスフォルタアリーナ八王子）
- 9 月 11 日 第 27 回 都民生涯スポーツ大会（港区スポーツセンター）
- 9 月 11 日 第 65 回 青年大会 都予選会（港区スポーツセンター）
- 12 月 23 日 東京都 ダブルス選手権大会（町田市立総合体育館）
- 1 月 14 日 東京都 支部対抗戦（葛飾区総合スポーツセンター）
- 1 月 21 日 東京都 混合ダブルス選手権大会（稲城市総合体育館）
- 3 月 4 日 東京都 シングルス選手権大会 一般～ 40 歳以上（荒川総合スポーツセンター）
- 3 月 4 日 東京都 シングルス選手権大会 45 歳～ 70 歳以上（千代田区立スポーツセンター）

主管大会

- 8 月 15 日、16 日 第 4 回 全日本学生バドミントンミックスダブルス選手権大会（大田区）
- 8 月 26 日～ 28 日 2016 ジュニアスポーツアジア交流大会（駒沢オリンピック公園総合運動場体育館）
- 9 月 20 日～ 25 日 ヨネックスオープンジャパン 2016（東京体育館）
- 11 月 12 日～ 14 日 第 33 回全日本シニアバドミントン選手権大会（エスフォルタアリーナ八王子 他）



- 11 月 28 日～ 12 月 4 日 平成 28 年度 全日本総合バドミントン選手権大会（国立代々木競技場 第二体育館）
- 2 月 3 日～ 5 日 第 32 回 関東シニア選手権大会（町田市立総合体育館）
- 2 月 11 日・12 日 バドミントン S/J リーグ 2016 最終日（国立代々木競技場 第二体育館）

国際大会の成績

- 第 106 回 全英オープンバドミントン選手権大会で女子シングルス 奥原 希望（日本ユニシス）が優勝、男子ダブルス 早川 賢一／遠藤 大由（日本ユニシス）が準優勝、女子ダブルス 髙橋 礼華／松友 美佐紀（日本ユニシス）が優勝
- 第 26 回 世界女子バドミントン選手権（ユーバー杯）大会で 3 位入賞
- 第 31 回オリンピック競技大会（2016/ リオデジャネイロ） 女子ダブルス 髙橋 礼華／松友 美佐紀（日本ユニシス）が金メダル、女子シングルス 奥原 希望（日本ユニシス）が銅メダル、男子ダブルス 早川 賢一／遠藤 大由（日本ユニシス）が 5 位入賞、混合ダブルス 数野 健太／栗原 文音（日本ユニシス）が 5 位入賞



- BWFワールドスーパーシリーズファイナルズ 2016 で男子ダブルス 園田 啓悟／嘉村 健士（トナミ運輸）が準優勝、女子ダブルス 髙橋 礼華／松友 美佐紀（日本ユニシス）が準優勝

2017年度（平成 29 年度）

主催大会等

- 4 月 22 日 東京都 全日本社会人大会予選 ダブルス
（葛飾区総合スポーツセンター）
- 5 月 4 日 東京都 全日本シニア大会予選 ダブルス 30 歳～ 70 歳以上
（葛飾区総合スポーツセンター）
- 5 月 4 日 東京都 全日本シニア大会予選（ダブルス 30 歳～ 70 歳以上）
（日野市市民の森ふれあいホール）
- 5 月 14 日 東京都 都民体育大会 男子の部
（稲城市総合体育館）
- 5 月 21 日 東京都 都民体育大会 女子の部
（稲城市総合体育館）
- 5 月 27 日 第 27 回 国民体育大会 一次選考会 シングルス（板橋区上板橋体育館）
- 6 月 4 日 第 27 回 国民体育大会 一次選考会 ダブルス（足立区スイムスポーツセンター）
- 6 月 18 日 東京都 全日本社会人大会予選 シングルス・混合ダブルス
（江戸川区総合スポーツセンター）
- 7 月 8 日 東京都 全日本シニア大会予選 シングルス・混合ダブルス 30 歳～ 70 歳以上
（エスフォルタアリーナ八王子）
- 9 月 2 日 全国青年大会 東京都予選会 34 歳以下
（港区スポーツセンター）
- 9 月 2 日 第 28 回 都民生涯スポーツ大会
（港区スポーツセンター）
- 9 月 30 日 東京都 シングルス選手権大会 一般～ 40 歳以上（葛飾区水元総合スポーツセンター）
- 11 月 4 日 東京都 シングルス選手権大会 45 歳～ 70 歳以上（千代田区スポーツセンター）
- 12 月 23 日 東京都 ダブルス選手権大会 一般～ 35 歳以上（荒川総合スポーツセンター）
- 12 月 24 日 東京都 ダブルス選手権大会 40 歳～ 70 歳以上（町田市立総合体育館）
- 1 月 13 日 東京都 支部対抗戦
（葛飾区総合スポーツセンター）
- 2 月 10 日 東京都 混合ダブルス選手権大会 一般～ 70 歳以上（稲城市総合体育館）
- 東京都スポーツ功労賞受賞（山中 達雄）

主管大会

- 8 月 25 日～ 27 日 2017 ジュニアスポーツアジア交流大会
（駒沢オリンピック公園総合運動場体育館）
- 9 月 19 日～ 24 日 ダイハツ・ヨネックスジャパンオープン2017（東京体育館）
- 9 月 5 日～ 10 日 パラバドミントン国際大会（仮称）（町田市立総合体育館）
- 11 月 11 日 平成 29 年度 全国青年大会
（江戸川区総合スポーツセンター）
- 11 月 27 日～ 12 月 3 日 平成 29 年度第 71 回全日本総合バドミントン選手権大会
（駒沢オリンピック公園総合運動場体育館）
- 2 月 3 日・4 日 バドミントン S/J リーグ 2017 最終戦（墨田区総合体育館）

国際大会の成績

- 第 107 回 全英オープンバドミントン選手権大会で女子シングルス 山口 茜（再春館製薬所）3 位入賞、混合ダブルス 渡辺 勇大／東野 有紗（日本ユニシス）3 位入賞
- 世界国別対抗戦（スディルマンカップ）で日本代表チームが 3 位入賞
- 第 23 回 世界バドミントン選手権大会で女子シングルス 奥原 希望（日本ユニシス）が優勝、男子ダブルス 園田 啓悟／嘉村 健士（トナミ運輸）が 3 位入賞、女子ダブルス 福島 由紀／廣田 彩花（再春館製薬所）が準優勝、髙橋 礼華／松友 美佐紀（日本ユニシス）が 3 位入賞
- BWF ワールドスーパーシリーズファイナル 2017 で女子シングルス 山口 茜（再春館製薬所）が優勝、女子ダブルス田中 志穂／米元 小春（北都銀行）が優勝、福島 由紀／廣田 彩花（再春館製薬所）が準優勝、男子ダブルス園田 啓悟／嘉村 健士（トナミ運輸）が 3 位入賞

大会記録

国民体育大会の成績および選手名

年度	回数	開催地	監督	種目	選手名	成績
昭和24年	第4回	東京都千代田区 YMCA 他		成年男子	広田敏秀、藤井光男	
				成年女子		
				少年男子		
				少年女子		
昭和25年	第5回	愛知県名古屋市 白鳥小学校 他		成年男子	広田敏秀、藤井光男 小宮淳宏、山田康久	優勝
				成年女子		
				少年男子		
				少年女子		
昭和26年	第6回	広島県広島市 広大東雲分校		成年男子	広田敏秀、岡道明 山田康久	優勝
				成年女子		
				少年男子		
				少年女子		
昭和27年	第7回	宮城県仙台市 東北大	氏家三千助	成年男子	江井実、小宮章敬 佐藤芳朗、山崎茂	3位
			白石鉱造	成年女子	田村知江子、中谷成子 左之瀬教子、小野寺京子	2位
				少年男子	望月文雄、倉田一彦 力石潔、鈴木隆治	優勝
				少年女子		
昭和28年	第8回	香川県善通寺町 善通寺中 他	氏家三千助	成年男子	藤井光男、諸江秀一 相川十一郎、萩原誠	2位
			佐藤美代子	成年女子	田村知江子、畠等美智子 中谷成子、高島祥子	
				少年男子	鈴木隆治、永井栄一 大宮幹雄、三浦秀夫	
				少年女子	北島裕子、平野喜久子 加藤淑子、萩原千代子	
昭和29年	第9回	北海道札幌市 伏見高	森友徳兵衛	成年男子	藤井光男、正木繁治 鈴木峻三	
				成年女子		
				少年男子		
			佐藤美代子	少年女子	北島裕子、平野喜久子 加藤淑子	
昭和30年	第10回	神奈川県横浜市 神奈川体育館 他	森友徳兵衛	成年男子	藤井光男、藤川俊雄 葛西英俊	
			福田応彦	成年女子	氏家山紀子、平野喜久子 加藤淑子	優勝
			望月文雄	少年男子	永井栄一、北島克英 小野岡順一	
			佐藤美代子	少年女子	篠田裕子、小野寺葉子 斉藤晃江	
昭和31年	第11回	兵庫県神戸市 神戸YMCA体育館	佐藤美代子	成年男子	吉原秀雄、山崎茂 遠藤芳呂	
				成年女子		
				少年男子		
				少年女子	斉藤晃江、新谷紀代美 西野高子	

■国民体育大会の成績および選手名

年度	回数	開催地	監督	種目	選手名	成績
昭和32年	第12回	静岡県富士市 富士体育会館	森　友　徳兵衛	成年男子	鈴木峻三、望月文雄 力石　潔	2位
			佐　藤　美代子	成年女子	諸田みや子、平野喜久子 長内ひさ	
				少年男子		
				少年女子	斉藤晃江、新谷紀代美 西野高子	
昭和33年	第13回	富山県高岡市 高岡女高講堂　他 **総合優勝**	森　友　徳兵衛	成年男子	片石兼敏、越川　啓 花岡牧夫	優勝
			佐　藤　美代子	成年女子	佐藤千鶴子、諸田みや子 中込美子	
				少年男子	鈴木幸春、宮永武司 貝戸　肇	2位
				少年女子		
昭和34年	第14回	東京都足立区 足立区立体育館	森　友　徳兵衛	成年男子	岡　道明、江井　実 花岡牧夫	
			佐　藤　美代子	成年女子	佐藤千鶴子、中込美子 神道富子	
				教員男子	平田登志朗、市川和司 柳田直規	3位
				少年男子	松下邦彦、田中　進 田上十六	
				少年女子	富山陽子、飯田博子 滝沢芳江	
昭和35年	第15回	熊本県菊池市 菊池市営体育館	並　木　万次郎	成年男子	永井栄一、北島克英 貝戸　肇	優勝
				成年女子	有木とみ子、三原弘美 神道富子	
				少年男子		
				少年女子		
昭和36年	第16回	秋田県象潟町 象潟中体育館	並　木　万次郎	成年男子	片石兼敏、永井栄一 星野忠男	優勝
			福　井　正　康	成年女子	有木とみ子、三原弘美 太田良子	
				少年男子		
				少年女子		
昭和37年	第17回	岡山県倉敷市 倉敷青陵高体育館 **総合優勝**	権　田　正　一	成年男子	星野忠男、井門鎮雄 富田　豊	優勝
			並　木　万次郎	成年女子	有木とみ子、三原弘美 佐藤照子	
			本　間　正　志	少年男子	須田孝夫、西野一征 関　一誠	2位
				少年女子		
昭和38年	第18回	山口県下関市 下関市営体育館	権　田　正　一	成年男子	井門鎮雄、宮永武司 堺　栄一	2位
			並　木　万次郎	成年女子	有木とみ子、三原弘美 秋山文子	
			近　藤　　進	少年男子	関　一誠、中村　安 古賀和正	2位
				少年女子		

■国民体育大会の成績および選手名

年度	回数	開催地	監督	種目	選手名	成績
昭和39年	第19回	新潟県三条市 三条高体育館	福井正康	成年男子	永井栄一、宮永武司 堺栄一	2位
			権田正一	成年女子	秋山文子、有木とみ子 星野弘美	
				少年男子		
				少年女子		
昭和40年	第20回	岐阜県岐阜市 富田学園体育館	福井正康	成年男子	堺栄一、宮永武司 田上十六	2位
			組村明	成年女子	秋山文子、有木とみ子 功力淑子	
				少年男子		
				少年女子		
昭和41年	第21回	大分県日田市 日田林高体育館	福井正康	成年男子	堺栄一、田上十六 畠勝彦	
			組村明	成年女子	功力淑子、望月光枝 有木とみ子	
				少年男子		
				少年女子		
昭和42年	第22回	埼玉県熊谷市 熊谷市立体育館	浅岡武	成年男子	堺栄一、田上十六 本橋平八	3位
			清水善一	成年女子	功力淑子、岡部ふさ子 叶内留美子	
			大島一郎	少年男子	竹内秀樹、浅見初男 大和田盛久	
				少年女子		
昭和43年	第23回	福井県勝山市 勝山合同体育館	福井正康	成年男子	堺栄一、西野征一 関誠	3位
			清水善一	成年女子	高橋とも子、水野小夜子 田仲美津枝	2位
			里見光徳	少年男子	浅見初男、大和田盛久 堂下昇	
				少年女子		
昭和44年	第24回	長崎県諫早市 諫早市体育館　他	清水善一	成年男子	堺栄一、西野征一 関誠	3位
			三須徳次	成年女子	高橋とも子、水野小夜子 田仲美津枝	2位
				少年男子		
				少年女子		
昭和45年	第25回	岩手県釜石市 新日鉄釜石製鉄所 健康保険組合体育館	堺栄一	成年男子	鈴木健二、池田信孝 梅野尾昌一	2位
				成年女子		
				少年男子		
				少年女子		
昭和46年	第26回	和歌山県湯浅町 湯浅中体育館　他	杉田安雄	成年男子	鈴木健二、池田信孝 堺栄一	
				成年女子		
				少年男子		
				少年女子		

■国民体育大会の成績および選手名

年度	回数	開催地	監督	種目	選手名	成績
昭和47年	第27回	鹿児島県鹿児島市 鹿児島南高 **総合優勝**	杉田安雄	成年男子	鈴木健二、池田信孝 栂野尾昌一	2位
			森脇壽夫	成年女子	湯木博江、竹中悦子 石崎茂子	優勝
				少年男子		
				少年女子		
昭和48年	第28回	千葉県茂原市 茂原高体育館 **総合優勝**	鈴木潔	成年男子	池田信孝、栂野尾昌一 関誠一	2位
			川田善一	成年女子	湯木博江、相沢マチ子 竹中悦子	優勝
			前田耕作	少年男子	榎博久、中谷明人 福田利男	
				少年女子	山口久美子	
昭和49年	第29回	茨城県石岡市 石岡小体育館　他 **総合優勝**	鈴木潔	成年男子	池田信孝、栂野尾昌一 今井茂満	優勝
			関敏夫	成年女子	石崎茂子、柴山きよ子 今田眞知子	優勝
			前田耕作	少年男子	成田歓次、伊東勝之 佐々木康雄	
				少年女子		
昭和50年	第30回	三重県松阪市 松阪高体育館	関敏夫	成年男子	池田信孝、銭谷欽治 栂野尾昌一	2位
			安野智	成年女子	湯木博江、池田美加 柴山きよ子	優勝
			増田稔	教員男子	伊藤澄、中村裕 後藤哲	予選
			池田昌道	少年男子	中谷治男、沢田和峻 藤波哲治	予選
			前田耕作	少年女子	徳永順子、水野昌子 伊能悦子	
昭和51年	第31回	佐賀県牛津町 牛津高体育館　他	花岡牧夫	成年男子	今井茂満、斉藤敏行 平井克英	
			前田耕作	成年女子	湯木博江、今田眞知子 石崎茂子	優勝
			増田稔	教員男子	伊藤澄、中村裕 井上利三	予選
			池田昌道	少年男子	中谷治男、沢田和峻 漆原亨	予選
			宮崎重勝	少年女子	徳永順子、松枝睦子 水野ふみ子	
昭和52年	第32回	青森県浪岡町 浪岡町民体育館	小林健二	成年男子	池田信孝、銭谷欽治 栂野尾昌一	2位
			花岡牧夫	成年女子	湯木博江、池田美加 池田茂子	優勝
			前田耕作	少年男子		
			宮崎重勝	少年女子		

■国民体育大会の成績および選手名

年度	回数	開催地	監督	種目	選手名	成績
昭和53年	第33回	長野県塩尻市 塩尻市立体育館	栗田光憲	成年男子	今井茂満、池田隆治 関　誠	
			伊藤　澄	成年女子	稲垣和美、高田玲子 渡辺多喜子	
			小林健二	教員男子	伊藤　澄、保坂佳人 佐藤隆広	予選
			前田耕作	少年男子	西玉　靖、浅井　勉 渡辺勇樹	予選
			宮崎重勝	少年女子	平野仁子、湯浅登美子 北原美佐恵	予選
昭和54年	第34回	宮崎県西都市 西都市民体育館	小泉直坦	成年男子	角田重男、根岸　淳 遠藤正弘	予選
			宮永武司	成年女子	千葉陽子、沢内真由美 渡辺多喜子	予選
			前田耕作	少年男子	山崎夏樹、手塚雅志 佐藤次郎	
			小笠原美津子	少年女子	及川栄子、北原美佐恵 杉山紀子	
昭和55年	第35回	栃木県真岡市 真岡市総合体育館	伊藤誠彦	成年男子	遠藤正弘、宮森庄吉 佐藤隆広	予選
			宮永武司	成年女子	端　洋護、渡辺多喜子 高峯陽子	優勝
			前田耕作	少年男子	佐藤次郎、長谷川和弥 北村喬樹	予選
			金崎良三	少年女子	岡安千江美、長岡みゆき 杉村ともか	予選
昭和56年	第36回	滋賀県大津市 皇子が丘公園体育館	千葉健夫	成年男子	栂野尾昌一、林田章樹 別府雅典	予選
			伊藤誠彦	成年女子	湯木博恵、高峯陽子 月岡広美	優勝
			前田耕作	少年男子	宗形一志、北村喬樹 渋谷　実	
			野田益男	少年女子	福田晴世、和田千尋 加藤明美	
昭和57年	第37回	島根県大東町 大東町民体育館	佐賀武兵	成年男子	栂野尾昌一、宮本幸弘 別府雅典	予選
			千葉健夫	成年女子	湯木博恵、宮森ソノエ 枝　美代子	
			前田耕作	少年男子	菊池　勲、福田昭典 髙瀬　彰	予選
			金崎良三	少年女子	和田千尋、割出順子 野津山まり子	
昭和58年	第38回	群馬県桐生市 桐生市民体育館	荻田　実	成年男子	栂野尾昌一、遠藤正弘 坂井茂則	5位
			佐賀武兵	成年女子	枝　美代子、月岡広美 高峯尚子	3位
			前田耕作	少年男子	小林重徳、大富哲夫 福田昭典	予選
			金崎良三	少年女子	関　由紀、吉田孝子 湯本かおる	予選

■国民体育大会の成績および選手名

年度	回数	開催地	監督	種目	選手名	成績
昭和59年	第39回	奈良県田原本町 田原町中央体育館	菅原幸雄	成年男子	栂野尾昌一、丹藤勇一 坂井茂則	
			鈴木潔	成年女子	枝美代子、森山弘美 三田知佳子	3位
			前田耕作	少年男子	長田淳、畷津耕太郎 正田章二	予選
			佐藤清春	少年女子	大間亜希子、神崎恵子 菅野純世	
昭和60年	第40回	鳥取県大栄町 由良育英高体育館	松浪鋭四郎	成年男子	丹藤勇一、石場隆雄 長内政美	
			花岡牧夫	成年女子	三田知佳子、長谷詔子 森山弘美	
			前田耕作	少年男子	的場工、平野信治 入江俊行	
			金崎良三	少年女子	植竹由美、山本久美 奥山保子	予選
昭和61年	第41回	山梨県勝沼町 勝沼町民体育館	花岡牧夫	成年男子	長内政美、本田浩二 池田隆治	予選
			殿川宣勝	成年女子	久保知佳子、上村美香 徳光由美子	
			関根忠	少年男子	川鍋健次、大屋貴司 井部信宏	予選
			金崎良三	少年女子	青木明美、西沢亜矢子 森真由美	予選
昭和62年	第42回	沖縄県糸満町 西崎総合体育館	菅原幸雄	成年男子	栂野尾昌一、宮本幸弘 池田隆治	
			殿川宣勝	成年女子	久保知佳子、小飼真弓 青木まゆみ	
			本間研一	少年男子	野田好彦、古谷恵一 市平裕二	予選
			高橋英夫	少年女子	簑朋子、関根裕子 多田富美子	予選
昭和63年	第43回	京都府長岡京市 西山公園体育館	兒嶋昇	成年男子	笹林義春、後藤勝 小林賢治	予選
			森谷喜久男	成年女子	星野実智代、松尾知美 毛利千秋	4位
			本間研一	少年男子	渡辺哲儀、宮崎浩一 上田祐	予選
			前田耕作	少年女子	西村弘子、須藤久美子 本山友利	予選
平成元年	第44回	北海道登別市 日本工学院北海道専門学校	森谷喜久男	成年男子	本田浩二、笹林義春 矢野弘和	予選
			福島克弘	成年女子	都木弘美、毛利千秋 星野実智代	3位
			渋谷実	少年男子	榎本堅一、武田享 簑浩之	
			関根忠	少年女子	宍倉玲子、伊藤真希 安藤昌子	予選

■国民体育大会の成績および選手名

年度	回数	開催地	監督	種目	選手名	成績
平成2年	第45回	福岡県筑紫野市 農業者トレーニングセンター	兒嶋　昇	成年男子	本田浩二、高橋英治 笹林義春	
			森谷喜久男	成年女子	上村美香、都木弘美 立花久枝	
			渋谷　実	少年男子	山形誠、箕浩之 高橋真司	予選
			関根　忠	少年女子	米谷真智子、田所一美 田所宏美	予選
平成3年	第46回	石川県美川町 美川町総合スポーツセンター	兒嶋　昇	成年男子	本田浩二、高橋英治 清水保則	
			森谷喜久男	成年女子	田児よし子、都木弘美 立花久枝	優勝
			渋谷　実	少年男子	吉岡秀樹、大徳修康 戸祭潤	予選
			関根　忠	少年女子	米谷真智子、田所一美 田所宏美	予選
平成4年	第47回	山形県新庄市 新庄市体育館	兒嶋　昇	成年男子		
			森谷喜久男	成年女子	田児よし子、岡山登紀子 立花久枝	3位
			渋谷　実	少年男子		
			落合久夫	少年女子		
平成5年	第48回	香川県坂出市 坂出市立体育館	兒嶋　昇	成年男子	高橋英治、峰岸康史 須賀隆弘	優勝
			殿川宣勝	成年女子	田児よし子、岡山登紀子 立花久枝	5位
			渋谷　実	少年男子	山下大介、田口智一 山口将治	
			落合久夫	少年女子		
平成6年	第49回	愛知県大府市 大府市民体育館	兒嶋　昇	成年男子	須賀隆弘、片山卓哉 久保田雄三	優勝
			殿川宣勝	成年女子	松尾知美、道上彰子 坂本雅子	優勝
			渋谷　実	少年男子		
			落合久夫	少年女子	渡辺夕子、斉藤和美 浅野加奈子	
平成7年	第50回	福島県白川町 中央体育館	兒嶋　昇	成年男子	渡辺清一、久保田雄三 高橋英治	
			殿川宣勝	成年女子	道上彰子、坂本雅子 岩田良子	予選
			渋谷　実	少年男子	福島毅之、平山卓哉 中野亮太	予選
			落合久夫	少年女子	渡辺夕子、斉藤和美 浅野加奈子	予選
平成8年	第51回	広島県三原市 三原リージョンプラザ	兒嶋　昇	成年男子	町田文彦、渡辺清一 久保田雄三	予選
			殿川宣勝	成年女子	田児よし子、坂本雅子 太田裕子	4位
			渋谷　実	少年男子	山口博之、佐藤友彦 平場俊之	
			落合久夫	少年女子	常世菜奈、須々木志帆 山田万莉子	

■国民体育大会の成績および選手名

年度	回数	開催地	監督	種目	選手名	成績
平成9年	第52回	大阪府大東市 大東市立市民体育館	兒嶋　昇	成年男子	町田文彦、須賀隆弘 久保田雄三	優勝
			高橋英治	成年女子	田児よし子、坂本雅子 石井知恵美	
			渋谷　実	少年男子	松井洋太、坂崎勇樹 下川裕	
			落合久夫	少年女子	山田万莉子、須々木志帆 黒川真緒	5位
平成10年	第53回	神奈川県大和市 大和スポーツセンター体育会館	兒嶋　昇	成年男子	町田文彦、須賀隆弘 渡辺清	2位
				成年女子		予選
				少年男子	安村康介、全　仁徹 佐藤翔治	
				少年女子	黒川真緒、佐藤　羽 山田万莉子	5位
平成11年	第54回	熊本県八代市 八代市総合体育館		成年男子		
				成年女子		
			渋谷　実	少年男子	安村康介、佐藤翔治 佐々木　翔	優勝
				少年女子		
平成12年	第55回	富山県高岡市 高岡市民体育館	兒嶋　昇	成年男子	渡辺清一、須賀隆弘 竹鼻拓也	
			高橋英治	成年女子	井川里美、永峰弘子 山田万莉子	
			渋谷　実	少年男子	佐藤翔治、佐々木　翔 池田雄	優勝
			落合久夫	少年女子	徳留友美、横田真澄 深澤友恵	
平成13年	第56回	宮城県塩竈市 塩竈市体育館		成年男子		
				成年女子		
			渋谷　実	少年男子	山浦尚仁、池田雄一 新開慎士	優勝
				少年女子		
平成14年	第57回	高知県南国市 南国市立スポーツセンター		成年男子		
			落合久夫	成年女子	岩田良子、米倉加奈子 田井美幸	3位
			渋谷　実	少年男子	池田雄一、新開慎士 高木洋平	優勝
				少年女子		
平成15年	第58回	静岡県富士宮市 富士宮市民体育館 **総合優勝**	兒嶋　昇	成年男子	久保田雄三、片山卓哉 清水　裕	優勝
			石田　純	成年女子	市橋理恵、大塚　佳 今別府靖代	4位
			小林重徳	少年男子	高木洋平、堀川善生 林　森	2位
			関根　忠	少年女子	神　ゆかり、田丸翔子 加澤麻子	5位

■国民体育大会の成績および選手名

年度	回数	開催地	監督	種目	選手名	成績
平成16年	第59回	埼玉県久喜市 久喜市総合体育館	町田文彦	成年男子	松本　徹、川口馨士 清水　裕	5位
			岩田良子	成年女子	田井美幸、媚山映里 今別府靖代	3位
			渋谷　実	少年男子	藤田真生、堀川善生 高階知也	優勝
			関根　忠	少年女子	西山久美子、山田多恵 永山明日香	
平成17年	第60回	岡山県岡山市 岡山市総合文化体育館	町田文彦	成年男子	松本　徹、川口馨士 清水　裕	3位
			岩田良子	成年女子	田井美幸、媚山映里 今別府靖代	
			渋谷　実	少年男子	高階知也、名須賀　亮 武下利一	
				少年女子		予選
平成18年	第61回	兵庫県宝塚市 宝塚市立総合体育館	柳谷辰哉	成年男子	松本　徹、新開裕介 佐伯浩一	5位
			久保田雄三	成年女子	媚山映里、三浦ちひろ 今別府靖代	予選
			渋谷　実	少年男子	武下利一、木戸道治 埒畑亮太	
			落合久夫	少年女子	佐藤亜紗、阿蘇愛美 上田茉美	
平成19年	第62回	秋田県美郷町 美郷総合体育館	柳谷辰哉	成年男子	松本　徹、新開裕介 山口公洋	5位
			落合久夫	成年女子	今別府靖代、本田いずみ 三浦ちひろ	
			渋谷　実	少年男子	角田圭輔、藤原達矢 木戸道治	
			渋谷仁徳	少年女子	上田茉美、鈴木温子 神田織恵	
平成20年	第63回	大分県日田市 日田市総合体育館 総合優勝	笹林義春	成年男子	早坂幸平、廣部好輝 岩脇峰生	2位
			栂野尾昌一	成年女子	今別府靖代、伊東可奈 野尻野匡世	3位
				少年男子		
				少年女子		
平成21年	第64回	新潟県五泉市 五泉市総合会館 総合優勝	笹林義春	成年男子	廣部好輝、岩脇峰生 山田和司	優勝
			兒嶋　昇	成年女子	金森裕子、本間ちさと 北　はるな	
			小林重徳	少年男子	間瀬俊介、高岡透平 鄭　圭介	3位
				少年女子		予選

■国民体育大会の成績および選手名

年度	回数	開催地	監督	種目	選手名	成績
平成22年	第65回	千葉県野田市 野田市総合公園体育館 野田市関宿総合公園体育館	坂本修一	成年男子	廣部好輝、池田雄一 佐伯祐行	2位
			清水文武	成年女子	今別府靖代、佐々木彩 江渕愛美	
			小林重徳	少年男子	広瀬功樹、佐々木崇 関口直挙	
			大石宏	少年女子	関根早織、中井川夏美 秋山薫理	
平成23年	第66回	山口県光市 光市総合体育館 **総合優勝**	坂本修一	成年男子	池田雄一、藤田真生 埒畑亮太	優勝
			兒嶋昇	成年女子	今別府靖代、田村千秋 板垣有紀	
			小林重徳	少年男子	関口直挙、森田努 吉川英太郎	3位
				少年女子		予選
平成24年	第67回	岐阜県池田町 池田町総合体育館	坂本修一	成年男子	池田雄一、数野健太 埒畑亮太	
			岩田良子	成年女子	今別府靖代、田村千秋 土井杏奈	2位
			落合久夫	少年男子	吉川英太郎、興石涼 細田慎二	
			大石宏	少年女子	仲井由希乃、武田紗貴 小野寺香菜	
平成25年	第68回	東京都町田市 町田市立総合体育館	坂本修一	成年男子	数野健太、上田拓馬 早川賢一	3位
			清水文武	成年女子	髙橋礼華、松友美佐紀 土井杏奈	優勝
			関根忠	少年男子	塩田敦、山崎真央 中村大志	
			大石宏	少年女子	仲井由希乃、武田紗貴 谷澤安衣	
平成26年	第69回	長崎県長崎市 長崎市民体育館	坂本修一	成年男子	数野健太、埒畑亮太 堀内研人	3位
			内藤祐輔	成年女子	上井杏奈、鈴木温子 板垣有紀	3位
			関根忠	少年男子	山田悠起、市丸修平 進藤翔平	予選
			大石宏	少年女子	仲井由希乃、岩谷果歩 石原優美	
平成27年	第70回	和歌山県岩出市 岩出市立市民総合体育館	坂本修一	成年男子	埒畑亮太、佐伯祐行 小野寺裕介	
			内藤祐輔	成年女子	上井杏奈、鈴木温子 仲井由希乃	3位
			関根忠	少年男子	工藤達也、大久保達也 下関元	予選
			大石宏	少年女子	岩谷果歩、谷澤安衣 日高桜香	予選

■国民体育大会の成績および選手名

年度	回数	開催地	監督	種目	選手名	成績
平成28年	第71回	岩手県北上市 北上総合運動公園北上総合体育館	清水文武	成年男子	埒畑亮太、小野寺裕介 井上知也	5位
			内藤祐輔	成年女子	上井杏奈、鈴木温子 髙畑祐紀子	2位
				少年男子		予選
			関根忠	少年女子	遠山紗季、有賀玲奈 大上月佳	
平成29年	第72回	愛媛県砥部町	清水文武	成年男子	小野寺雅之、渡辺俊和 岡村洋輝	
			内藤祐輔	成年女子	上井杏奈、今別府香里 保原彩夏	4位
			関根忠	少年男子	江越恵伍、上田竜也 田中啓朗	
			堀川実穂	少年女子	大上月佳、柳原なな子 斎藤未奈	予選
平成30年	第73回	福井県勝山市		成年男子		
				成年女子		
				少年男子		
				少年女子		

全日本バドミントン選手権大会入賞者一覧

開催年回数	種目	優勝	準優勝	第3位	第4位	開催地
1947 第1回	男子シングルス	岡　淳一	藤井光男	広田敏秀	秋元	東京都
	女子シングルス	中村タキ	川俣千枝子	小仲	岡　広子	
	男子ダブルス	広田敏秀／藤井光男	相馬万吉／秋元	宮沢宏之／今村正雄	森　勇／岡　淳一	
	女子ダブルス	川俣千枝子／中村タキ	小仲　／岡　広子	川口　／金森	荒井　／新開	
	混合ダブルス	森　勇／岡　広子	新開国広／山田清子	斉藤　／中西	鈴木芳久／吉田とよ子	
1948 第2回	男子シングルス	岡　淳一	広田敏秀	佐藤　保	藤井光男	横浜市
	女子シングルス	吉田とよ子	成瀬龍子	保田久子		
	男子ダブルス	広田敏秀／藤井光男	岡　淳一／井上正春	相馬万吉／秋元		
	女子ダブルス	川俣千枝子／中村タキ	小林歌子／遠藤文子	吉沢千里／後藤範子		
	混合ダブルス	E.エマール／川俣千枝子	鈴木芳久／吉田とよ子	新開国広／山田清子		
1949 第3回	男子シングルス	岡　淳一	広田敏秀	佐藤　保	藤井光男	金沢市
	女子シングルス	吉田とよ子	貝原マサエ	吉沢千里	堀江綾子	
	男子ダブルス	岡　淳一／相馬万吉	広田敏秀／藤井光男	小宮淳宏／イスマエル	佐藤　保／村上三郎	
	女子ダブルス	吉田とよ子／田村知江子	小林歌子／遠藤文子	貝原マサエ／林　貝子	栗原澄子／佐賀信子	
	混合ダブルス	山田康久／田村知江子	爪長憲一／沢田順子	奥本暁／保田久子	蟹永男／伊与田照子	
1950 第4回	男子シングルス	岡　淳一	広田敏秀			東京都
	女子シングルス	遠藤文子	堀江綾子	吉田とよ子		
	男子ダブルス	岡　淳一／岡　道明				
	女子ダブルス	遠藤文子／小林歌子				
	混合ダブルス	山田康久／田村知江子				
1951 第5回	男子シングルス	広田敏秀	岡　淳一			奈良市
	女子シングルス	登　悦子	堀江綾子			
	男子ダブルス	広田敏秀／岡　道明				
	女子ダブルス	堀江綾子／保田久子	小林歌子／遠藤文子			
	混合ダブルス	渋谷弘敏／小島　信				
1952 第6回	男子シングルス	広田敏秀	佐藤芳朗	岡　道明	藤井晃一	新潟市
	女子シングルス	吉田光子	荒川とみ子	保田久子	伊与田照子	
	男子ダブルス	吉原秀雄／藤井晃一	岡　道明／石田　裕	佐藤芳朗／山崎　茂	広田敏秀／岡　淳一	
	女子ダブルス	遠藤文子／荒川とみ子	保田久子／伊与田照子	貝原マサエ／登　悦子	安沢　十二篤子	
	混合ダブルス	渋谷弘敏／小島　信	岩月真平／保田久子	島中貞夫／広井津奈	西野泉三／新井重子	
1953 第7回	男子シングルス	望月文雄	佐藤芳朗	岡　道明	吉原秀雄	東京都
	女子シングルス	荒川とみ子	西尾貞子	登　悦子	保田久子	
	男子ダブルス	佐藤芳朗／山崎　茂	江井　実／吉原秀雄	岡　道明／石田　裕	広田敏秀／杉田　博	
	女子ダブルス	小林歌子／荒川とみ子	遠藤文子／藤田光子	保田久子／伊与田照子	貝原マサエ／登　悦子	
	混合ダブルス	渋谷弘敏／小島　信	野口　勇／堀江綾子	高見　／後藤	岩月　／保田久子	

■ 全日本バドミントン選手権大会入賞者一覧

開催年 回数	種目	優勝	準優勝	第3位	第4位	開催地
1954 第8回	男子 シングルス	上田益弘	佐藤芳朗	片石兼敏	杉田博	高松市
	女子 シングルス	大川良子	荒川とみ子	藤田光子	小林敬子	
	男子 ダブルス	片石兼敏/加藤正則	佐藤芳朗/望月文雄	上田益弘/高谷芳明	吉原秀雄/石田裕	
	女子 ダブルス	大川良子/藤田光子	小林敬子/荒川とみ子	小野寺京子/斉藤千代子	後藤[illegible]子	
	混合 ダブルス	土谷茂巳/入沢良美	上田稔/日向幸子	中島比佐司/村[illegible]正子	藤田斉藤	
1955 第9回	男子 シングルス	片石兼敏	杉田博	佐藤芳朗	上田益弘	東京都
	女子 シングルス	権田節子	武田信子	大川良子	西堀富美子	
	男子 ダブルス	片石兼敏/加藤正則	望月文雄/永井栄一	河内[illegible]/村野	越川[illegible]石田裕	
	女子 ダブルス	戸田寿子/小林桂子	権田節子/友野文子	横井キヌエ/井上桂子	谷津京子小野寺静江	
	混合 ダブルス	小飼栄一/本庄純子	鈴木文雄/平野	毛利清志/光本政子	藤田斉藤	
1956 第10回	男子 シングルス	佐藤芳朗	片石兼敏	上田益弘	越川[illegible]	横浜市
	女子 シングルス	横井キヌエ	戸田寿子	大川良子	西堀富美子	
	男子 ダブルス	片石兼敏/永井栄一	佐藤芳朗/望月文雄	宮沢健一/北島克英	越川[illegible]豊島	
	女子 ダブルス	大川良子/小林敬子	戸田寿子/小林桂子	横井キヌエ/井上桂子	大沢節子花井洋子	
	混合 ダブルス	石原利道/戸田寿子	川崎一幸/諸田みや子	鈴木[illegible]/平野	小飼栄一本庄	
1957 第11回	男子 シングルス	永井栄一	佐藤芳朗 (神奈川)			東京都
	女子 シングルス	田島外茂子	宮川ツヤ子			
	男子 ダブルス	永井栄一/並木伸裕				
	女子 ダブルス	田島外茂子/宮川ツヤ子				
	混合 ダブルス	石原利道/戸田寿子				
1958 第12回	男子 シングルス	佐藤芳朗 (神奈川)				長野市
	女子 シングルス	田島外茂子				
	男子 ダブルス	永井栄一/並木伸裕				
	女子 ダブルス	中島玲子/高島洋子				
	混合 ダブルス	貝戸[illegible]暨/諸田みや子 (東京)				
1959 第13回	男子 シングルス	板垣隆房	永井栄一	板垣善憲	鈴木幸春	横浜市
	女子 シングルス	田島外茂子	橋[illegible]美智子	山崎紀久子	秋山文子	
	男子 ダブルス	山田善康/仲村[illegible]智	板垣隆房/小宮好雄	永井栄一/北島克英	長谷川武司板垣善憲	
	女子 ダブルス	田島外茂子/山崎紀久子	高島洋子/中島玲子	大川良子/二見文子	志村[illegible]伊沢	
	混合 ダブルス	北島克英/有木とみ子	毛利清志/根木[illegible]純	小松[illegible]貴/湯浅光枝	増田保夫布施賀世子	

全日本総合バドミントン選手権大会入賞者一覧

（大会名称を変更）

開催年 回数	種目	優勝	準優勝	第3位	第4位	開催地
1960 第14回	男子 シングルス	小宮好雄	岡崎恵三	永井栄一	板垣隆房	東京都
	女子 シングルス	橘　美智子	田島外茂子	高島洋子	中島玲子	
	男子 ダブルス	沢田　力／森　晃一 （法政大学）	板垣善憲／長谷川武司	小宮好雄／鈴木幸春	永井栄一／北島克英	
	女子 ダブルス	高橋泰子／長崎文子	高島洋子／中島玲子	根岸　純／湯浅光枝	諸田みや子／青山博子	
	混合 ダブルス	毛利清志／根岸　純	北島克英／有木とみ子	福井正康／中西	川崎　／金塚	
1961 第15回	男子 シングルス	小宮好雄	永井栄一	森　晃一	片石兼敏	京都市
	女子 シングルス	秋山文子	橘　美智子	梅野尾佳子	田島外茂子	
	男子 ダブルス	沢田　力／森　晃一 （法政大学）	板垣隆房／小宮好雄	板垣善憲／長谷川武司	片石兼敏／永井栄一	
	女子 ダブルス	木村政子／横山満子	高橋泰子／長崎文子	三原弘子／有木とみ子	秋山文子／田島外茂子	
	混合 ダブルス	杉田　博／杉田良子	毛利清志／根岸　純	平野正昭／福本和子	足立　／宮　美佐子	
1962 第16回	男子 シングルス	宮永武司 （慶応大学）	永井栄一	井門鎮雄	森　晃一	横浜市
	女子 シングルス	高木紀子	横山満子	橘　美智子	田島外茂子	
	男子 ダブルス	沢田　力／森　晃一 （法政大学）	星野忠雄／富田　豊	鈴木敏勝／岡崎恵三	堺　栄一／宮永武司	
	女子 ダブルス	高木紀子／諸田みや子	横井文子／森　久子	功力淑江／柏原智恵子	高橋泰子／長崎文子	
	混合 ダブルス	星野忠男／有木とみ子 （電電東京）	杉田　博／杉田良子	遠藤啓治／小林歌子	小泉伸坦／岸川礼子	
1963 第17回	男子 シングルス	渡部紘一 （中央大学）	東条義昭	秋山真男	沢田　力	岐阜市
	女子 シングルス	横井文子 （琴平電鉄）	高木紀子	田島外茂子	秋山文子	
	男子 ダブルス	鈴木幸春／東条義昭	渡部紘一／秋山真男	伊村　隆／中村富光	井門鎮雄／沢田　力	
	女子 ダブルス	有木とみ子／三原弘美 （電電東京）	高木紀子／天野博江	横井文子／森　久子	功力淑江／樋口	
	混合 ダブルス	星野忠男／有木とみ子 （電電東京）	杉田　博／杉田良子	足立　明／宮　美佐子		
1964 第18回	男子 シングルス	宮永武司 （明治生命）	秋山真男	堺　栄一	板垣善憲	会津若松市
	女子 シングルス	高木紀子（岐阜）	横山満子	横井文子 （琴平電鉄）	高塚淳子	
	男子 ダブルス	堺　栄一／宮永武司 （河崎ラケット／明治生命）	本田　務／鈴木健二	小宮好雄／板垣善憲		
	女子 ダブルス	高木紀子／天野博江 （岐阜）	横山満子／高塚淳子	橋本とも子／宮崎和子	横井文子／森　久子	
	混合 ダブルス	星野忠男／有木とみ子 （電電東京）	井門鎮雄／星野弘美	杉田　博／杉田良子	佐藤　小勝	
1965 第19回	男子 シングルス	秋山真男 （中央大学）	板垣善憲 （トヨタ自動車）	小島　平 （中央大学）	西野　征 （中央大学）	秋田市
	女子 シングルス	横山満子 （帝国石油）	宮崎和子 （日本女子体育大学）	高橋とも子 （日本女子体育大学）	横井文子 （琴平電鉄）	
	男子 ダブルス	堺　栄一／宮永武司 （河崎ラケット／明治生命）	小宮好雄／板垣善憲 （トヨタ自動車）	安沢武司／大竹鉦一 （立教大学）	伊藤　隆／中村富光 （法政大学）	
	女子 ダブルス	高木紀子／天野博江 （東海女子短期大学 教員）	横山満子／横井文子 （帝国石油／琴平電鉄）	高橋とも子／後藤和子 （新潟電話局／日本女子体育大学）	石崎　／竹内 （大和デハート／東和産業）	
	混合 ダブルス	東条義昭／横井文子 （琴平電鉄）	板垣善憲／逢田順子 （トヨタ自動車）	星野忠男／有木とみ子 （電電東京）	河村博之／盛野 （高岡市役所）	
1966 第20回	男子 シングルス	小島　平 （中央大学）	秋山真男 （ヨネヤマラケット）	西野　征 （中央大学）	ルディニオ　ハルトノ	東京都
	女子 シングルス	高木紀子 （東海女子短期大学 教員）	高橋とも子 （新潟電話局）	高塚淳子	近藤光枝	
	男子 ダブルス	堺　栄一／宮永武司 （河崎ラケット　明治生命）	秋山真男／小島　平	小宮好雄／板垣善憲 （トヨタ自動車）	森　芳夫／池田信孝	
	女子 ダブルス	高木紀子／天野博江 （東海女子短期大学 教員）	横山満子／高塚淳子	横井文子／渡辺百合子	功力淑江／高橋とも子	
	混合 ダブルス	小宮好雄／土野明美	板垣善憲／逢田順子 （トヨタ自動車）	星野忠男／有木とみ子 （電電東京）		

■ 全日本総合バドミントン選手権大会入賞者一覧

開催年 回数	種目	優勝	準優勝	第3位	第4位	開催地
1967 第21回	男子 シングルス	小島一平 (ヨネヤマラケット)	秋山真男 (ヨネヤマラケット)	西野一征 (中央大学)	安武武司 (トヨタ自動車工業)	横浜市
	女子 シングルス	高木紀子 (東海女子短期大学 教員)	相沢マチ子 (新潟清凌高校)	湯木博江 (日本女子体育大学)	浦[illegible]子 (日本女子体育大学)	
	男子 ダブルス	秋山真男/小島一平 (ヨネヤマラケット)	堺栄一/宮永武司 (カワサキラケット/明治生命)	森芳夫/池田信孝 (法政大学)	梅野尾昌[illegible]/里島昇 (法政大学)	
	女子 ダブルス	高木紀子/天野博江 (東海女子短期大学 教員)	高橋とも子/宮崎和子 (日本女子体育大学)	湯木博江/近藤光枝 (日本女子体育大学)	後藤和子/[illegible] (電電釧路/釧路中央高校 教員)	
	混合 ダブルス	板垣善憲/大田節子 (トヨタ自動車)	鈴木健二/有木とみ子 (電電東京)	奥村隆/山際トモ子 (名古屋鉄道)	[illegible] (電電東京)	
1968 第22回	男子 シングルス	小島一平 (ヨネヤマラケット)	本間順次 (中央大学)	高林弘則 (中央大学)	堀幸雄 (立教大学)	東京都
	女子 シングルス	高橋とも子 (北辰電機)	高木紀子 (東海女子短期大学 教員)	後藤和子 (新潟電電)	堀[illegible]子 (釧路青葉短期大学)	
	男子 ダブルス	秋山真男/小島一平 (秋山紙店/ヨネヤマラケット)	森芳夫/池田信孝 (法政大学)	高林弘則/本間順次 (中央大学)	西野一征/[illegible] (名古屋鉄道)	
	女子 ダブルス	相沢マチ子/竹中悦子 (新潟清凌短期大学)	略/湯木博江 (日本女子体育大学)	高木紀子/天野博[illegible] (東海女子短期大学 教員)	後藤和子/[illegible] (電電釧路/釧路中央高校 教員)	
	混合 ダブルス	鈴木健二/有木とみ子 (電電東京)	山本洋彦/高橋とも子 (北辰電機)	森谷喜久男/田伸美智江 (電電東京)	鈴木健[illegible]/奈良岡洋子 (電電東京)	
1969 第23回	男子 シングルス	小島一平 (ヨネヤマラケット)	本間順次 (中央大学)	西野一征 (ニシヤ)	秋山真男 (秋山紙店)	東京都
	女子 シングルス	湯木博江 (日本女子体育大学)	竹中悦子 (新潟青陵女子短大)	高橋とも子 (北辰電機)	高木紀子 (東海女子短期大学 教員)	
	男子 ダブルス	秋山真男/小島一平 (秋山紙店/ヨネヤマラケット)	堺栄一/梅野尾昌一 (河崎ラケット/法政大学)	本間順次/西野一征 (中央大学/ニシヤ)	森芳夫/池田信孝 (法政大学)	
	女子 ダブルス	相沢マチ子/竹中悦子 (新潟青陵女子短大)	高木紀子/天野博江 (東海女子短期大学 教員)	湯木博江/本間恵美子 (日本女子体育大学)	高橋とも子/水野小夜子 (北辰電機)	
	混合 ダブルス	鈴木健二/有木とみ子 (電電東京)	安沢武司/金子美智子 (トヨタ自動車工業)	杉田博/杉田良子 (横浜立野高校 教員/日本コロンビア)	森谷喜久男/田伸美智江 (電電東京)	

開催年	種目	優勝	準優勝	第3位		開催地
1970 第24回	男子 シングルス	小島一平 (ヨネヤマラケット)	秋山真男 (秋山紙店)	本間順次	梅野尾昌[illegible]	東京都
	女子 シングルス	竹中悦子 (ヨネヤマラケット)	湯木博江	本間恵美子	高坂[illegible]恵	
	男子 ダブルス	堺栄一/梅野尾昌一 (河崎ラケット/[illegible])	秋山真男/小島一平 (秋山紙店/ヨネヤマラケット)	今泉勉/岩下[illegible]雄	木戸純[illegible]/門間幹夫	
	女子 ダブルス	相沢マチ子/竹中悦子 (ヨネヤマラケット)	高木紀子/天野博江 (東海女子短期大学 教員)	湯木博江/本間恵美子	柴山きよ子 高崎弘子	
	混合 ダブルス	堺栄一/天野博江 (河崎ラケット/岐阜)	山本洋彦/高橋とも子 (北辰電機)	清水芳隆/飯田恵美子	杉田博 杉田良子 (横浜立野高校 教員 日本コロンビア)	
1971 第25回	男子 シングルス	梅野尾昌一 (ヨネヤマラケット)	小島一平 (ヨネヤマラケット)	本間順次 (トヨタ自動車工業)	鈴木健[illegible] (電電東京)	東京都
	女子 シングルス	中山紀子 (弘文堂)	湯木博江 (カワサキラケット)	柴山きよ子 (東大阪短期大学)	高崎弘子 (東大阪短期大学)	
	男子 ダブルス	鈴木健二/池田信孝 (電電東京)	今泉勉/河村博之 (高岡市役所)	木戸純[illegible]/門間幹夫 (日本体育大学)	草島正治 田所光男 (法政大学)	
	女子 ダブルス	中山紀子/湯木博江 (弘文堂/カワサキラケット)	相沢マチ子/竹中悦子 (ヨネヤマラケット)	柴山きよ子/高崎弘子 (東大阪短期大学)	池田美加 塩崎睦子 (日本女子体育大学)	
	混合 ダブルス	堺栄一/天野博江 (カワサキラケット/東海女子短期大学)	杉田博/杉田良子 (横浜立野高校 教員/日本コロンビア)	星野義昭/土井治子 (電電東京)	鈴木健[illegible]/奈良岡洋子 (電電東京)	
1972 第26回	男子 シングルス	小島一平 (ヨネヤマラケット)	本間順次 (トヨタ自動車工業)	今泉勉 (高岡市役所)	梅野尾昌[illegible] (ヨネヤマラケット)	東京都
	女子 シングルス	湯木博江 (カワサキラケット)	西尾真理子 (日本体育大学)	池田美加 (日本女子体育大学)	堀田栄美子 (日本体育大学)	
	男子 ダブルス	秋山真男/小島一平 (秋山紙店/ヨネヤマラケット)	今泉勉/河村博之 (高岡市役所)	鈴木健[illegible]/池田信孝 (電電東京)	草島正治 田所光男 (法政大学)	
	女子 ダブルス	相沢マチ子/竹中悦子 (ヨネヤマラケット)	池田美加/塩崎睦子 (日本女子体育大学)	石田雅子/吉田孝子 (日本女子体育大学)	吉谷成代 佐伯智子 (日本体育大学)	
	混合 ダブルス	堺栄一/天野博江 (カワサキラケット/東海女子短期大学)	鈴木健二/石崎茂子 (電電東京)	池田信孝/阿久津まさ子 (電電東京)	佐藤信夫 高橋映子 (北辰電機)	
1973 第27回	男子 シングルス	小島[illegible]平 (ラケットショップ元町)	錢谷欽治 (中央大学)	梅野尾昌[illegible] (ヨネヤマラケット)	舟山[illegible]敏 (日本大学)	東京都
	女子 シングルス	湯木博江 (カワサキラケット)	竹中悦子 (ヨネヤマラケット)	西尾真理子 (日本体育大学)	石崎茂子 (電電東京)	
	男子 ダブルス	池田信孝/梅野尾昌[illegible] (電電東京/ヨネヤマラケット)	飯野佳孝/土田証雄 (日本大学)	本間順次/今泉勉 (トヨタ自動車工業 高岡市役所)	谷口[illegible]/草島正治 田所光男 (トヨタ自動車工業 電電東京)	
	女子 ダブルス	相沢マチ子/竹中悦子 (ヨネヤマラケット)	湯木博江/池田美加 (カワサキラケット/日本女子体育)	西尾真理子 秋本八代美 (日本体育大学)	柴山きよ子 石崎茂子 (カワサキラケット 電電東京)	
	混合 ダブルス	梅野尾昌[illegible]/竹中悦子 (ヨネヤマラケット)	木戸純[illegible]/相沢マチ子 (ヨネヤマラケット)	堺栄[illegible]/天野博[illegible] (カワサキラケット 東海女子短期[illegible]子	鈴木健[illegible]石崎茂子 電電東京	

■ 全日本総合バドミントン選手権大会入賞者一覧

開催年回数	種目	優勝	準優勝	第3位		開催地
1974 第28回	男子シングルス	錶谷欽治（中央大学）	栂野尾昌一（ヨネックス）	小島一平（ラケットショップ元町）	本間順次（トヨタ自動車工業）	東京都
	女子シングルス	湯木博恵（カワサキラケット）	池田美加（カワサキラケット）	竹中悦子（ヨネックス）	西尾真理子（日本体育大学）	
	男子ダブルス	池田信孝／栂野尾昌一（電電東京／ヨネックス）	本間順次／谷口寛（トヨタ自動車工業）	今泉勉／河村博之（高岡市役所）	飯野佳孝／土田証雄（日本大学）	
	女子ダブルス	湯木博恵／池田美加（カワサキラケット）	相沢マチ子／竹中悦子（ヨネックス）	秋本幸子／徳田敦子（四条畷学園短期大学）	西尾真理子／秋本八代美（日本体育大学）	
	混合ダブルス	栂野尾昌一／竹中悦子（ヨネックス）	堺栄一／湯木博恵（カワサキラケット）	今井茂満／池田美加（カワサキラケット）	田所光男／今田真知子（電電東京）	
1975 第29回	男子シングルス	小島一平（ラケットショップ元町）	錶谷欽治（カワサキラケット）	辻敏弘（法政大学）	秋山真男（秋山紙店）	東京都
	女子シングルス	湯木博恵（カワサキラケット）	徳田敦子（四条畷学園短期大学）	竹中悦子（ヨネックス）	ソン・ヒヤン・スーン（韓国）	
	男子ダブルス	飯野佳孝／土田証雄（ヨネックス／日本大学）	池田信孝／栂野尾昌一（電電東京／ヨネックス）	本間順次／谷口寛（トヨタ自動車工業）	今泉勉／河村博之（高岡市役所）	
	女子ダブルス	竹中悦子／植野恵美子（ヨネックス／四条畷学園高校）	湯木博江／池田美加（カワサキラケット）	矢口洋子／沢内真由美（東京女子体育大学）	徳田敦子／高田幹子（四条畷学園短期大学）	
	混合ダブルス	今井茂満／池田美加（カワサキラケット）	田所光男／今田真知子（電電東京）	栂野尾昌一／竹中悦子（ヨネックス）	飯野佳孝／陣内裕子（ヨネックス）	
1976 第30回	男子シングルス	錶谷欽治（河崎ラケット）	土田証雄（電電東京）	谷口寛（トヨタ自動車工業）	小島一平（ラケットショップ元町）	東京都
	女子シングルス	湯木博恵（河崎ラケット）	栂野尾悦子（ヨネックス）	植野恵美子（ヨネックス）	呉研漢	
	男子ダブルス	池田信孝／栂野尾昌一（電電東京／ヨネックス）	飯野佳孝／土田証雄	今泉勉／牧野光男（高岡市役所）	尾崎幹雄／錶谷欽治	
	女子ダブルス	栂野尾悦子／植野恵美子（ヨネックス）	湯木博江／池田美加（河崎ラケット）	谷美津代／秋本幸子	秋本八代美／徳田敦子	
	混合ダブルス	栂野尾昌一／栂野尾悦子（ヨネックス）	今井茂満／池田美加（河崎ラケット）	堺栄一／湯木博恵（河崎ラケット）	大場和博／古谷茂代（ヨネックス）	
1977 第31回	男子シングルス	錶谷欽治（河崎ラケット）	土田証雄（電電東京）	小島一平（ラケットショップ元町）	谷口寛（トヨタ自動車工業）	東京都
	女子シングルス	近藤小織（日本女子体育大学）	湯木博恵（河崎ラケット）	池田美加（河崎ラケット）	関根和子（日本体育大学）	
	男子ダブルス	飯野佳孝／土田証雄（ヨネックス／電電東京）	池田信孝／栂野尾昌一（電電東京／ヨネックス）	中井基夫／錶谷欽治（河崎ラケット）	尾崎幹雄／辻敏弘（電電東京／ヨネックス）	
	女子ダブルス	徳田敦子／高田幹子（サントリー）	湯木博江／近藤小織（河崎ラケット／日本女子体育大学）	田所静子／石原英子（琴平電鉄）	谷美津代／秋本幸子（サントリー）	
	混合ダブルス	日下昇／牛田真由美（百十四銀行）	今井茂満／池田美加（河崎ラケット）	中井基夫／千葉陽子（河崎ラケット）	田所光男／今田真知子（電電東京）	
1978 第32回	男子シングルス	錶谷欽治（河崎ラケット）	土田証雄（電電東京）	飯野佳孝（ヨネックス）	小島一平（ラケットショップ元町）	東京都
	女子シングルス	徳田敦子（サントリー）	近藤小織（河崎ラケット）	湯木博恵（河崎ラケット）	米倉よし子（電電東京）	
	男子ダブルス	飯野佳孝／土田証雄（ヨネックス／電電東京）	池田信孝／栂野尾昌一（電電東京／ヨネックス）	尾崎幹雄／辻敏弘（電電東京／ヨネックス）	田所光男／大場和博（電電東京／ヨネックス）	
	女子ダブルス	徳田敦子／高田幹子（サントリー）	米倉よし子／植野恵美子（電電東京／ヨネックス）	近藤小織／渡辺多喜子（河崎ラケット）	谷美津代／秋本幸子（サントリー）	
	混合ダブルス	中井基夫／千葉陽子（河崎ラケット）	西野一征／飯野裕子（ヨネックス）	秋元英美／松田敦子（中央スポーツ館／青森県営体育館）	日下昇／牛田真由美（百十四銀行）	
1979 第33回	男子シングルス	錶谷欽治（河崎ラケット）	土田証雄（電電東京）	長谷川博幸（ヨネックス）	辻敏弘（ヨネックス）	東京都
	女子シングルス	米倉よし子（電電東京）	湯木博恵（河崎ラケット）	近藤小織（河崎ラケット）	徳田敦子（サントリー）	
	男子ダブルス	池田信孝／尾崎幹雄（電電東京）	飯野佳孝／土田証雄（ヨネックス／電電東京）	田所光男／大場和博（電電東京／ヨネックス）	辻敏弘／長谷川博幸（ヨネックス）	
	女子ダブルス	米倉よし子／徳田敦子（電電東京／サントリー）	高田幹子／近藤小織（サントリー／河崎ラケット）	谷美津代／秋本幸子（サントリー）	関根和子／大塚ソノエ（ヨネックス）	
	混合ダブルス	栂野尾昌一／栂野尾悦子（ヨネックス）	大場和博／飯野裕子（ヨネックス）	中井基夫／千葉陽子（河崎ラケット）	関誠／石田雅子（早稲田大学教授／アサヒブレット）	
1980 第34回	男子シングルス	長谷川博幸（ヨネックス）	錶谷欽治（河崎ラケット）	土田証雄（電電東京）	舛田吉光	東京都
	女子シングルス	北田スミ子（四条畷学園高校）	米倉よし子（電電東京）	徳田敦子（サントリー）	近藤小織（河崎ラケット）	
	男子ダブルス	飯野佳孝／土田証雄（ヨネックス／電電東京）	辻敏弘／長谷川博幸（ヨネックス）	田所光男／大場和博（電電東京／ヨネックス）	池田信孝／尾崎幹雄（電電東京）	
	女子ダブルス	米倉よし子／徳田敦子（電電東京／サントリー）	高田幹子／近藤小織（サントリー／河崎ラケット）	関根和子／谷美津代	栂野尾悦子／月岡広美（ヨネックス／）	
	混合ダブルス	中井基夫／端洋護（河崎ラケット）	栂野尾昌一／栂野尾悦子（ヨネックス）	大場和博／飯野裕子	斉藤敏行／渡辺多喜子	

■ 全日本総合バドミントン選手権大会入賞者一覧

開催年 回数	種目	優勝	準優勝	第3位		開催地
1981 第35回	男子 シングルス	銭谷欽治 (カワサキラケット)	長谷川博幸 (ヨネックス)	西山博司 (中央大学)	辻敏弘 (ヨネックス)	東京都
	女子 シングルス	北田スミ子 (四条畷学園高校)	東海林文子	寺内貴美子	米倉よし子 (電電東京)	
	男子 ダブルス	銭谷欽治/西山博司 (カワサキラケット/中央大学)	辻敏弘/長谷川博幸 (ヨネックス)	池田信孝/尾崎幹雄 (電電東京)	今泉勉/米沢和男 (高岡市役所)	
	女子 ダブルス	米倉よし子/徳田敦子 (電電東京/フジチュー)	北田スミ子/冨田美千代 (四条畷学園高校)	梅野尾悦子/月岡広美 (ヨネックス/)	高田幹子/河本小織	
	混合 ダブルス	梅野尾昌一/梅野尾悦子 (ヨネックス)	中井基夫/碕洋巍	宮森庄吉/三田千佳子 (電電東京)	斉藤敏行/渡辺多喜子	
1982 第36回	男子 シングルス	長谷川博幸 (ヨネックス)	土田証雄 (電電東京)	権藤浩二 (日本体育大学)	銭谷欽治 (カワサキラケット)	東京都
	女子 シングルス	北田スミ子 (三洋電機)	東海林文子 (サントリー)	米倉よし子 (電電東京)	河村竜美 (三洋電機)	
	男子 ダブルス	長谷川博幸/宮本幸弘 (ヨネックス)	土田証雄/宮森庄吉 (電電東京)	池田信孝/尾崎幹雄 (電電東京)	今泉勉/米沢和男 (高岡市役所)	
	女子 ダブルス	米倉よし子/徳田敦子 (電電東京/大阪協会)	高田幹子/河本小織 (松本組)	東海林文子/高峰和子 (サントリー)	北田スミ子/陣内貴美子 (三洋電機 サントリー)	
	混合 ダブルス	辻敏弘/徳永順子 (ヨネックス)	鈴木裕/関根和子 (三条機械/新潟ロイヤル)	宮森庄吉/三田千佳子 (電電東京)	梅野尾昌一/梅野尾悦子 (ヨネックス)	
1983 第37回	男子 シングルス	長谷川博幸 (ヨネックス)	松浦進二 (法政大学)	井上哲章 (日本体育大学)	西山博司 (電電東京)	東京都
	女子 シングルス	東海林文子 (サントリー)	河本小織 (松本組)	米倉よし子 (電電東京)	北田スミ子 (三洋電機)	
	男子 ダブルス	松野修二/松浦進二 (法政大学)	宮森庄吉/井上哲章 (電電東京/日本体育大学)	長谷川博幸/宮本幸弘 (ヨネックス)	池田信孝/尾崎幹雄 (電電東京)	
	女子 ダブルス	米倉よし子/徳田敦子 (電電東京/フジチュー)	東海林文子/菊池洋子 (サントリー)	西村美千代/岩見洋子 (サントリー)	高田幹子/河本小織 (松本組)	
	混合 ダブルス	鈴木裕/関根和子 (三条機械/新潟県体育協会)	梅野尾昌一/梅野尾悦子 (ヨネックス)	山本浩/高田幹子 (三井造船/松本組)	和田泰章/葛西明子 (永西紙器 サントリー)	
1984 第38回	男子 シングルス	銭谷欽治 (カワサキラケット)	西山博司 (電電東京)	井上哲章 (日本体育大学)	長谷川博幸 (ヨネックス)	東京都
	女子 シングルス	北田スミ子 (三洋電機)	米倉よし子 (電電東京)	今川真理子( )	葛西明子( )	
	男子 ダブルス	宮森庄吉/井上哲章 (電電東京/日本体育大学)	松野修二/松浦進二 (法政大学)	長谷川博幸/宮本幸弘 (ヨネックス)	尾崎幹雄/西山博司 (電電東京)	
	女子 ダブルス	米倉よし子/徳田敦子 (電電東京/フジチュー)	北田スミ子/冨田美千代 (三洋電機)	菊池洋子/西村美千代 ( )	月岡広美/高峯尚子 ( )	
	混合 ダブルス	工士恭司/陣内貴美子 (/)	毛利達彦/彼島佳子 ( )	梅野尾昌一/梅野尾悦子 (ヨネックス)	西山博司/三田千佳子 (電電東京)	
1985 第39回	男子 シングルス	西山博司 (NTT東京)	松浦進二 (法政大学)	井上哲章 (日本体育大学)	銭谷欽治 (カワサキラケット)	名古屋市
	女子 シングルス	北田スミ子 (三洋電機)	陣内貴美子( )	鴻原春美( )	平山美恵子( )	
	男子 ダブルス	松野修二/松浦進二 (法政大学)	宮森庄吉/井上哲章 (NTT東京/日本体育大学)	辻田泰昌/片桐哲也 ( )	尾崎幹雄/西山博司 (電電東京)	
	女子 ダブルス	高峯和子/星和枝 (サントリー)	陣内貴美子/高峯尚子 ( )	北田スミ子/鴻原春美 (三洋電機)	米倉よし子/徳田敦子 (NTT東京/フジチュー)	
	混合 ダブルス	冨田章夫/冨田美千代 (NTT関西/三洋電機)	工士恭司/陣内貴美子 (/)	谷田尚嗣/高峯和子 (/)	舛田吉光/小路和代 ( )	
1986 第40回	男子 シングルス	松浦進二 (ヨネックス)	松野修二 (山梨県教育委員会)	長谷川博幸 (ヨネックス)	西山博司 (NTT東京)	東京都
	女子 シングルス	北田スミ子 (三洋電機)	陣内貴美子 (ヨネックス)	米倉よし子 (NTT東京)	北本久美子 (サントリー)	
	男子 ダブルス	松野修二/松浦進二 (山梨県教育委員会/ヨネックス)	宮森庄吉/井上哲章 (NTT東京/日本体育大学)	本田浩二/小飼清統 (NTT東京/)	工士恭司/権藤浩二 (RSオールマン/熊本第一高校 教員)	
	女子 ダブルス	米倉よし子/徳田敦子 (NTT東京/フジチュー)	月岡広美/上野満子 (福田組)	星和枝/小泉陽子 (三洋電機)	原田真理恵/西村美千 (サントリー)	
	混合 ダブルス	谷田尚嗣/高峰和子 (此花学院高校 教員/サントリー)	冨田章夫/冨田美千代 (NTT関西/三洋電機)	森下一夫/渡辺律子 (サントリー)	鈴木裕/月岡広美 (三条精機 福田組)	
1987 第41回	男子 シングルス	西山博司 (NTT東京)	松野修二 (NTT東京)	柳谷辰哉 (NTT東京)	江藤裕樹 (近畿大学)	東京都
	女子 シングルス	北田スミ子 (三洋電機)	田児よし子 (NTT東京)	小泉陽子 (三洋電機)	陣内貴美子 (ヨネックス)	
	男子 ダブルス	松野修二/松浦進二 (NTT東京/フジチュー)	長谷川博幸/井上哲章 (ヨネックス)	長内征美/柳谷辰哉 (NTT東京)	宮森庄吉/西山博司 (近畿大学)	
	女子 ダブルス	徳田敦子/田児よし子 (フジチュー/NTT東京)	北田スミ子/小泉陽子 (三洋電機)	廣田時子/谷地春子 (サントリー)	月岡広美/上野満子 (福田組)	
	混合 ダブルス	長谷川博幸/森山弘美 (ヨネックス)	辻田泰昌/谷地春子 (NTT関西/サントリー)	梅野尾昌一/藤井直子 (ヨネックス)	冨田章夫/田代美智世 (NTT関西 サントリー)	

■ 全日本総合バドミントン選手権大会入賞者一覧

開催年 回数	種目	優勝	準優勝	第3位		開催地
1988 第42回	男子 シングルス	松浦進二 （フジチュー）	松野修二 （NTT東京）	辻田泰昌 （NTT関西）	長谷川博幸 （東海大職員）	守口市
	女子 シングルス	北田スミ子 （三洋電機）	陣内貴美子 （ヨネックス）	鴻原春美 （三洋電機）	水井妃佐子 （四条畷学園高）	
	男子 ダブルス	松野修二／松浦進二 （NTT東京／フジチュー）	浜北和彦／木船栄士 （日本体育大学）	宮康二／佐賀史昭 （ハロースポーツプラザ／NTT東京）	村尾勉／山本裕幸 （同志社女子大教／田辺高校教）	
	女子 ダブルス	陣内貴美子／森久子 （ヨネックス）	廣田時子／谷地春子 （サントリー）	鴻原春美／新木貴子 （三洋電機）	小泉陽子／田代美智世 （三洋電機）	
	混合 ダブルス	谷田尚嗣／廣田時子 （此花学院高教／サントリー）	長谷川博幸／森山弘美 （東海大職員／ヨネックス）	辻田泰昌／谷地春子 （NTT関西／サントリー）	冨田章夫／田代美智世 （NTT関西／サントリー）	
1989 第43回	男子 シングルス	松野修二 （NTT東京）	松浦進二 （フジチュー）	辻田泰昌 （NTT関西）	江藤裕樹 （NTT東京）	東京都
	女子 シングルス	宮村愛子 （熊本中央女子高）	金井和恵 （サントリー）	小池由扶子 （サントリー）	谷地春子 （サントリー）	
	男子 ダブルス	松野修二／松浦進二 （NTT東京／フジチュー）	奥野勉／辻田泰昌 （NTT関西）	須貝英徳／古賀勝志 （トヨタ自動車）	宮康二／佐賀史昭 （NTT東京）	
	女子 ダブルス	陣内貴美子／森久子 （ヨネックス）	松尾知美／捧匡子 （NTT東京／ヨネックス）	中原敬子／甲斐美和 （九州日本電気）	鴻原春美／新木貴子 （三洋電機）	
	混合 ダブルス	谷田尚嗣／廣田時子 （此花学院高教／サントリー）	村山友二／今村薫 （NTT関西／三洋電機）	長谷川進／上浜陽子 （RSハセガワ／三協アルミ）	冨田章夫／田代美智世 （NTT関西／三洋電機）	
1990 第44回	男子 シングルス	松浦進二 （フジチュー）	松野修二 （NTT東京）	西山博司 （NTT東京）	江藤裕樹 （NTT東京）	東京都
	女子 シングルス	水井妃佐子 （四条畷女子短大）	松尾知美 （NTT東京）	陣内貴美子 （ヨネックス）	谷地春子 （サントリー）	
	男子 ダブルス	松野修二／松浦進二 （NTT東京／フジチュー）	柳谷辰哉／西山博司 （NTT東京）	長内征美／江藤裕樹 （NTT東京）	早戸敬雄／村山友二 （NTT関西）	
	女子 ダブルス	陣内貴美子／森久子 （ヨネックス）	松尾知美／捧匡子 （NTT東京／ヨネックス）	小池由扶子／廣田時子 （サントリー）	中原敬子／甲斐美和 （九州日本電気）	
	混合 ダブルス	早戸敬雄／田代美智世 （NTT関西／三洋電機）	宮康二／上村美香 （NTT東京）	村山友二／今村薫 （NTT関西／三洋電機）	毛利達彦／中尾仁美 （金沢市役所／北國銀行）	
1991 第45回	男子 シングルス	松野修二（NTT東京）	松浦進二（フジチュー）	町田文彦（NTT東京）	江藤裕樹（NTT東京）	東京都
	女子 シングルス	松尾知美（NTT東京）	水井妃佐子（四条畷女子短大）	北浦道代（三洋電機）	金井和恵（サントリー）	
	男子 ダブルス	松野修二／松浦進二 （NTT東京／フジチュー）	宮康二／町田文彦 （NTT東京）	長内征美／柳谷辰哉 （NTT東京）	早戸敬雄／村山友二 （NTT関西）	
	女子 ダブルス	松尾知美／捧匡子 （NTT東京／ヨネックス）	中原敬子／甲斐美和 （九州日本電気）	田村富士美／岩田良子 （ヨネックス）	小池由扶子／廣田時子 （サントリー）	
	混合 ダブルス	辻田泰昌／松田治子 （NTT関西／サントリー）	木船栄士／西田美和子 （トナミ運輸／ヨネックス）	宮康二／上村美香 （NTT東京）	中谷敏昭／谷藤千春 （筑波大学／千葉大学教員）	
1992 第46回	男子 シングルス	霜上和宏（日本体育大学）	本山秀昭（トナミ運輸）	辻田泰昌（NTT関西）	町田文彦（NTT東京）	守口市
	女子 シングルス	宮村愛子（サントリー）	水井妃佐子（フジチュー）	林矢須子（ヤマハ）	水井泰子（四条畷学園高）	
	男子 ダブルス	松野修二／松浦進二 （NTT東京／フジチュー）	宮康二／町田文彦 （NTT東京）	浜北和彦／木船栄士 （トナミ運輸）	辻田泰昌／今井彰宏 （NTT関西）	
	女子 ダブルス	小池由扶子／廣田時子 （サントリー）	中原敬子／甲斐美和 （NEC九州）	松尾知美／捧匡子 （NTT東京／ヨネックス）	田村富士美／岩田良子 （ヨネックス）	
	混合 ダブルス	古賀勝志／藤本鶴子 （トヨタ自動車）	吉野智昭／笠原千夏子 （ジヤトコ／ヤマハ）	植村昭彦／田中佐妃子 （NTT関西／三洋電機）	角谷淳一／田中範子 （NTT北海道）	
1993 第47回	男子 シングルス	町田文彦（NTT東京）	霜上和宏（日本体育大学）	須賀隆弘（NTT東京）	辻田泰昌（NTT関西）	東京都
	女子 シングルス	水井妃佐子（フジチュー）	水井泰子（四条畷学園高）	日野恵美里（チザキ）	井田貴子（三洋電機）	
	男子 ダブルス	松野修二／松浦進二 （NTT東京／フジチュー）	辻田泰昌／今井彰宏 （NTT関西）	太田慎二／竹島拓也 （法政大学）	宮康二／町田文彦 （NTT東京）	
	女子 ダブルス	小池由扶子／廣田時子 （サントリー）	宮村愛子／松田治子 （サントリー）	松尾知美／捧匡子 （NTT東京／ヨネックス）	中原敬子／甲斐美和 （NEC九州）	
	混合 ダブルス	今井彰宏／甲斐美和 （NTT関西／NEC九州）	早戸敬雄／西田美由紀 （NTT関西／三洋電機）	鈴木草麻生／林美希 （NTT関西／NEC九州）	古賀勝志／藤本鶴子 （トヨタ自動車）	
1994 第48回	男子 シングルス	町田文彦（NTT東京）	本山秀昭（トナミ運輸）	須賀隆弘（NTT東京）	林貴昭（日本体育大学）	守口市
	女子 シングルス	水井妃佐子（フジチュー）	大田貴子（サントリー）	坂本雅子（NTT東京）	中山智香子（三洋電機）	
	男子 ダブルス	柳谷辰哉／江藤裕樹 （NTT東京）	大堀均／氣谷篤人 （トナミ運輸）	石井隆大／谷知昌 （日本ユニシス）	今井紀夫／林貴昭 （日本体育大学）	
	女子 ダブルス	松尾知美／坂本雅子 （NTT東京）	水井妃佐子／水井泰子 （フジチュー）	中山智香子／増茂孝枝 （三洋電機）	井田貴子／貴田泉 （三洋電機）	
	混合 ダブルス	今井彰宏／甲斐美和 （NTT関西／NEC九州）	植村昭彦／田中佐妃子 （NTT関西／三洋電機）	氣谷篤人／佐々木忍 （トナミ運輸／三協アルミ）	今井紀夫／松田治子 （日本体育大学／三協アルミ）	

■ 全日本総合バドミントン選手権大会入賞者一覧

開催年 回数	種目	優勝	準優勝	第3位		開催地
1995 第49回	男子 シングルス	町田文彦（NTT東京）	舛田圭太 （金沢市立工業高校）	須賀隆弘（NTT東京）	山田英孝（早稲田大学	東京都
	女子 シングルス	水井妃佐子（フジチュー）	井田貴子（三洋電機）	中山真理子 （つくば国際大学）	水井泰子（フジチュー	
	男子 ダブルス	町田文彦／渡辺清一 （NTT東京）	太田慎二／竹鼻拓也 （法政大学）	今井彰宏／本田和裕 （トナミ運輸）	福田英高橋幸治 （筑波大学）	
	女子 ダブルス	松尾知美／坂本雅子 （NTT東京）	宮村愛子／宮村亜貴子 （サントリー）	岩田良子／石井知恵美 （ヨネックス）	水井妃佐子／水井泰子 （フジチュー）	
	混合 ダブルス	気谷篤人／佐々木忍 （トナミ運輸／三協アルミ）	大山宏司／林美希 （大阪協会／NEC九州）	今井紀夫／松田治子 （トナミ運輸／三協アルミ）	平野泰宏／谷藤千香 （福島女子短大教／千葉大教）	
1996 第50回	男子 シングルス	須賀隆弘（NTT東京）	山田英孝（早稲田大学）	町田文彦（NTT東京）	大田篤（NTT東京）	守口市
	女子 シングルス	井田貴子（三洋電機）	水井泰子（フジチュー）	中山真理子（サントリー）	米倉加奈子（つくば国際大学）	
	男子 ダブルス	片山卓哉／久保田雄三 （NTT東京）	太田慎二／竹鼻拓也 （NTT東京）	町田文彦／渡辺清一 （NTT東京）	宮東高橋英治 （NTT東京）	
	女子 ダブルス	岩田良子／松田治子 （ヨネックス／三協アルミ）	宮村愛子／宮村亜貴子 （サントリー）	水井妃佐子／水井泰子 （フジチュー）	中山智香子／増茂孝枝 （三洋電機）	
	混合 ダブルス	今井紀夫／松田治子 （トナミ運輸／三協アルミ）	宮康二／松尾知美 （NTT東京）	平井達也／貴田泉 （NTT関西／三洋電機）	気谷篤人／佐々木忍 （トナミ運輸／三協アルミ）	
1997 第51回	男子 シングルス	太田慎二（NTT東京）	舛田圭太（日本体育大学）	須賀隆弘（NTT東京）	町田文彦（NTT東京）	名古屋市
	女子 シングルス	井田貴子（三洋電機）	田中美保（三洋電機）	米倉加奈子 （つくば国際大学）	伊藤とおり（青山学院大学）	
	男子 ダブルス	太田慎二／竹鼻拓也 （NTT東京）	町田文彦／渡辺清一 （NTT東京）	岸田明宏／平井達也 （NTT関西）	今井彰宏／本田和裕 （トナミ運輸）	
	女子 ダブルス	中山智香子／増茂孝枝 （三洋電機）	村上直美／山田裕美 （三洋電機）	伊藤真弓／山本静香 （コスモ石油）	石井知恵美／大田裕子 （ヨネックス）	
	混合 ダブルス	宮康二／田児よし子 （NTT東京）	今井紀夫／松田治子 （トナミ運輸／三協アルミ）	平井達也／貴田泉 （NTT関西／三洋電機）	清水文武／田村富士美 （ベスト電器）	
1998 第52回	男子 シングルス	舛田圭太（日本体育大学）	町田文彦（NTT東京）	川口磐士（NTT関西）	山田秀樹（日本ユニシス）	東京都
	女子 シングルス	田中美保（三洋電機）	水井泰子（フジチュー）	安城美華（四天王寺高校）	森かおり（三洋電機）	
	男子 ダブルス	舛田圭太／大東忠司 （日本体育大学）	太田慎二／竹鼻拓也 （NTT東京）	片山卓哉／久保田雄三 （NTT東京）	今井紀夫／大山宏司 （トナミ運輸）	
	女子 ダブルス	岩田良子／松田治子 （ヨネックス／フジチュー）	米倉加奈子／大坂千尋 （つくば国際大学）	中山智香子／増茂孝枝 （三洋電機）	米谷真智子／関恵美 （NEC相模原）	
	混合 ダブルス	清水文武／田村富士美 （ベスト電器）	宮康二／田児よし子 （NTT東京）	平井達也／貴田泉 （NTT関西／三洋電機）	細谷幸一／渡辺真由美 （トナミ運輸／三協アルミ）	
1999 第53回	男子 シングルス	舛田圭太（日本体育大学）	霜上和宏（YKK九州）	山田英孝（日本ユニシス）	町田文彦（NTT東日本）	守口市
	女子 シングルス	水井泰子（フジチュー）	田中美保（三洋電機）	井田貴子（三洋電機）	米倉加奈子（茨城トヨペット）	
	男子 ダブルス	舛田圭太／大東忠司 （日本体育大学）	今井彰宏／本田和裕 （トナミ運輸）	片山卓哉／久保田雄三 （NTT東日本）	加賀屋洋矢部正博 （日本ユニシス）	
	女子 ダブルス	中山智香子／増茂孝枝 （三洋電機）	岩田良子／松田治子 （ヨネックス／フジチュー）	鬼池めぐみ／森かおり （三洋電機）	村上直美／山田裕美 （三洋電機）	
	混合 ダブルス	簿智彦／川口桐香 （ベスト電器）	関根靖則／末綱聡子 （NTT宮城／NEC九州）	吉川大助／舛田恵 （トナミ運輸／三協アルミ）	石橋秀法／高岩佳恵 （ヨネックス）	
2000 第54回	男子 シングルス	舛田圭太（日本体育大学）	中西洋介（日本大学）	山田英孝（日本ユニシス）	大東忠司（日本体育大学）	東京都
	女子 シングルス	米倉加奈子（茨城トヨペット）	森かおり（三洋電機）	岩松絵理子 （つくば国際大学）	田中美保（三洋電機）	
	男子 ダブルス	片山卓哉／久保田雄三 （NTT東日本）	舛田圭太／大東忠司 （日本体育大学）	松本徹／青木孝徳 （NTT東日本）	太田慎二／竹鼻拓也 （NTT東日本）	
	女子 ダブルス	山本静香／山田育子 （三協アルミ）	吉冨桂子／山崎雅美 （NEC九州）	米谷真智子／高井恵美 （NEC相模原）	中山智香子／安城美華 （三洋電機）	
	混合 ダブルス	今井紀夫／中山智香子 （トナミ運輸／三洋電機）	矢部正博／渡辺夕子 （日本ユニシス／広島ガス）	西山勝也／中島暁子 （長崎東高校教／NEC九州）	久保田雄三／田児よし子 （NTT東日本）	
2001 第55回	男子 シングルス	舛田圭太（トナミ運輸）	中西洋介（日本大学）	霜上和宏（YKK九州）	佐藤翔治（富士短期大学）	守口市
	女子 シングルス	森かおり（三洋電機）	米倉加奈子（ヨネックス）	田中美保（三洋電機）	小室基子（フジチュー）	
	男子 ダブルス	太田慎二／竹鼻拓也 （NTT東日本）	舛田圭太／大東忠司 （トナミ運輸）	片山卓哉／久保田雄三 （NTT東日本）	今井紀夫／大山宏司 （トナミ運輸）	
	女子 ダブルス	吉冨桂子／中島暁子 （NEC九州）	鬼池めぐみ／森かおり （三洋電機）	中内景子／大熊倫子 （青山学院大学）	中山智香子／安城美華 （三洋電機）	
	混合 ダブルス	今井紀夫／中山智香子 （トナミ運輸／三洋電機）	西山勝也／中島暁子 （長崎東高校教／NEC九州）	矢部正博／山本静香 （日本ユニシス／ヨネックス）	久保田雄三／田児よし子 （NTT東日本）	

■ 全日本総合バドミントン選手権大会入賞者一覧

開催年回数	種目	優勝	準優勝	第3位		開催地
2002 第56回	男子シングルス	舛田圭太（トナミ運輸）	松本徹（ＮＴＴ東日本）	大東真也（日本体育大学）	谷内貴昭（三洋電機）	東京都
	女子シングルス	小椋久美子（三洋電機）	田中美保（三洋電機）	米倉加奈子（ヨネックス）	田上千晴（三洋電機）	
	男子ダブルス	舛田圭太／大東忠司（トナミ運輸）	片山卓哉／久保田雄三（ＮＴＴ東日本）	太田慎二／竹島拓也（ＮＴＴ東日本）	今井紀夫／大山宏司（トナミ運輸）	
	女子ダブルス	中山智香子／吉冨桂子（三洋電機／ＮＥＣ九州）	岩田良子／田井美幸（ヨネックス／ＮＴＴ東日本）	中島暁子／大坂千尋（茨城トヨペット）	山崎雅美／金上路子（ベスト電器）	
	混合ダブルス	大東忠司／山本静香（トナミ運輸／ヨネックス）	本田和裕／吉冨桂子（ジヤトコ／ＮＥＣ九州）	今井紀夫／中山智香子（トナミ運輸／三洋電機）	須賀隆弘／市橋理恵（ＮＴＴ東日本）	
2003 第57回	男子シングルス	佐藤翔治（MMGアローズ）	佐々木翔（MMGアローズ）	藤本ホセマリ（日本ユニシス）	清水裕（ＮＴＴ東日本）	名古屋市
	女子シングルス	森かおり（三洋電機）	平山優（聖ウルスラ学院高校）	潮田玲子（三洋電機）	廣瀬栄理子（三洋電機）	
	男子ダブルス	舛田圭太／大東忠司（トナミ運輸）	酒井将之／木下政彦（トナミ運輸）	仲尾修一／坂本修一（日本ユニシス）	米隆夫／川口政彦（日本体育大学）	
	女子ダブルス	山本静香／山田青子（ヨネックス／三洋電機）	小椋久美子／潮田玲子（三洋電機）	中山智香子／吉冨桂子（三洋電機／ＮＥＣ九州）	松田友美／赤尾亜希（ヨネックス）	
	混合ダブルス	大東忠司／山本静香（トナミ運輸／ヨネックス）	今井紀夫／中山智香子（トナミ運輸／三洋電機）	宮田典明／松田美穂（シャトルクラブ大阪）	山下大介／引地恵（くまもと八代ＹＫＫ／ＮＥＣ九州）	
2004 第58回	男子シングルス	佐藤翔治（MMGアローズ）	大東真也（トナミ運輸）	舛田圭太（トナミ運輸）	新開裕介（日本大学）	守口市
	女子シングルス	廣瀬栄理子（三洋電機）	米倉加奈子（ヨネックス）	森かおり（三洋電機）	平山優（早稲田大学）	
	男子ダブルス	舛田圭太／大東忠司（トナミ運輸）	仲尾修一／坂本修一（日本ユニシス）	佐藤翔治／佐々木翔（MMGアローズ）	松本徹／川口磨士（ＮＴＴ東日本）	
	女子ダブルス	小椋久美子／潮田玲子（三洋電機）	山本静香／今別府靖代（ヨネックス）	松田友美／赤尾亜希（ヨネックス）	中麻依子／岩松絵理子（ＮＴＴ北海道テレマート）	
	混合ダブルス	大東忠司／山本静香（トナミ運輸／ヨネックス）	山下大介／引地恵（くまもと八代ＹＫＫ／ＮＥＣ九州）	久保田雄三／田井美幸（ＮＴＴ東日本）	今井紀夫／山崎雅美（トナミ運輸／北都銀行）	
2005 第59回	男子シングルス	佐藤翔治（ＮＴＴ東日本）	佐々木翔（北都銀行）	佐伯浩一（日本大学）	中西洋介（日本ユニシス）	宝塚市
	女子シングルス	米倉加奈子（ヨネックス）	廣瀬栄理子（三洋電機）	平山優（早稲田大学）	森かおり（三洋電機）	
	男子ダブルス	仲尾修一／坂本修一（日本ユニシス）	舛田圭太／大東忠司（トナミ運輸）	福井剛士／池田信太郎（日本ユニシス）	小宮山元／平田典靖（日体大助手／日本体育大学）	
	女子ダブルス	小椋久美子／潮田玲子（三洋電機）	松田友美／赤尾亜希（ヨネックス）	大熊倫子／田井美幸（ヨネックス／ＮＴＴ東日本）	多谷郁恵／脇坂郁（三洋電機）	
	混合ダブルス	舛田圭太／前田美順（トナミ運輸／ＮＥＣ九州）	小宮山元／松田友美（日本体育大学助／ヨネックス）	松本徹／田井美幸（ＮＴＴ東日本）	太田慎二／赤尾亜希（ＮＴＴ東日本／ヨネックス）	
2006 第60回	男子シングルス	佐藤翔治（ＮＴＴ東日本）	中西洋介（日本ユニシス）	小財和輝（日本体育大学）	竹村純（ＪＲ北海道）	東京都
	女子シングルス	廣瀬栄理子（三洋電機）	森かおり（三洋電機）	平山優（早稲田大学）	幡谷好美（ＮＥＣ九州）	
	男子ダブルス	坂本修一／池田信太郎（日本ユニシス）	川口磨士／川前直樹（ＮＴＴ東日本）	平田典靖／米隆夫（トナミ運輸／ＮＴＴ北海道）	舛田圭太／大東忠司（トナミ運輸）	
	女子ダブルス	小椋久美子／潮田玲子（三洋電機）	末綱聡子／前田美順（ＮＥＣ九州）	多谷郁恵脇坂郁（三洋電機）	松田友美／赤尾亜希（ヨネックス）	
	混合ダブルス	舛田圭太／前田美順（トナミ運輸／ＮＥＣ九州）	松本徹／田井美幸（ＮＴＴ東日本）	山下大介／山崎雅美（Ｙ．Ｂ．Ｓ．／北都銀行）	小宮山元／松田友美（日本ユニシス／ヨネックス）	
2007 第61回	男子シングルス	佐々木翔（北都銀行）	佐藤翔治（ＮＴＴ東日本）	井上知也（日本ユニシス）	竹村純（ＪＲ北海道）	東京都
	女子シングルス	今別府香里（三洋電機）	後藤愛（ＮＴＴ東日本）	梅津知恵（茨城トヨペット）	樽野恵（ＮＴＴ東日本）	
	男子ダブルス	川口磨士／川前直樹（ＮＴＴ東日本）	舛田圭太／大東忠司（トナミ運輸）	坂本修一／池田信太郎（日本ユニシス）	数野健太／早川賢一（日本大学）	
	女子ダブルス	小椋久美子／潮田玲子（三洋電機）	末綱聡子／前田美順（ＮＥＣ九州）	多谷郁恵脇坂郁（三洋電機）	松田友美／赤尾亜希（ヨネックス）	
	混合ダブルス	舛田圭太／前田美順（トナミ運輸／ＮＥＣ九州）	松本徹／田井美幸（ＮＴＴ東日本）	清水隆志／日野由希江（鳥取県体育協会／広島ガス）	天野真一／服部麻衣（ＮＴＴソルコ／七十七銀行）	
2008 第62回	男子シングルス	田児賢一（ＮＴＴ東日本）	佐藤翔治（ＮＴＴ東日本）	池田雄一（日本ユニシス）	佐々木翔（北都銀行）	東京都
	女子シングルス	廣瀬栄理子（三洋電機）	米倉加奈子（ヨネックス）	樽野恵（ＮＴＴ東日本）	後藤愛（ＮＴＴ東日本）	
	男子ダブルス	坂本修一／池田信太郎（日本ユニシス）	数野健太／早川賢一（日本ユニシス／日本大学）	小宮山元／廣部好輝（日本ユニシス）	舛田圭太／大東忠司（トナミ運輸）	
	女子ダブルス	小椋久美子／潮田玲子（三洋電機）	末綱聡子／前田美順（ＮＥＣ九州）	髙橋礼華／松友美佐紀（聖ウルスラ学院英智高校）	多谷郁恵／脇坂郁（三洋電機）	
	混合ダブルス	舛田圭太／前田美順（トナミ運輸／ＮＥＣ九州）	廣部好輝／金森裕子（日本ユニシス）	栗本克樹／藤原由衣（三洋電機／Ｅ）	小宮山元／浅原さゆり（日本ユニシス）	

■ 全日本総合バドミントン選手権大会入賞者一覧

開催年回数	種目	優勝	準優勝	第3位		開催地
2009 第63回	男子シングルス	田児賢一（NTT東日本）	佐々木翔（北都銀行）	山田和司（日本ユニシス）	佐藤翔治（NTT東日本）	東京都
	女子シングルス	廣瀬栄理子（三洋電機）	平山優（日本ユニシス）	松友美佐紀（聖ウルスラ学院英智高校）	後藤愛（NTT東日本）	
	男子ダブルス	平田典靖／橋本博且（トナミ運輸）	数野健太／早川賢一（日本ユニシス）	佐藤翔治／川前直樹（NTT東日本）	廣部好輝／米元小春（日本ユニシス）	
	女子ダブルス	松尾静香／内藤真実（三洋電機）	末綱聡子／前田美順（NEC九州）	藤井瑞希／垣岩令佳（NEC SKY）	三木佑里子／米元小春（北都銀行／日本ユニシス）	
	混合ダブルス	平田典靖／前田美順（トナミ運輸／NEC九州）	池田信太郎／潮田玲子（日本ユニシス／三洋電機）	川前直樹／田井美幸（NTT東日本）	廣部好輝／金森裕子（日本ユニシス）	
2010 第64回	男子シングルス	田児賢一（NTT東日本）	佐々木翔（北都銀行）	上田拓馬（早稲田大学）	園田啓悟（トナミ運輸）	東京都
	女子シングルス	廣瀬栄理子（三洋電機）	今別府香里（三洋電機）	三谷美菜津（NTT東日本）	後藤愛（NTT東日本）	
	男子ダブルス	平田典靖／橋本博且（トナミ運輸）	数野健太／廣部好輝（日本ユニシス）	佐藤翔治／川前直樹（NTT東日本）	早川賢一／遠藤大由（日本ユニシス）	
	女子ダブルス	末綱聡子／前田美順（NEC九州）	藤井瑞希／垣岩令佳（NEC SKY）	髙橋礼華／松友美佐紀（日本ユニシス）	三木佑里子／米元小春（三洋電機）	
	混合ダブルス	平田典靖／前田美順（トナミ運輸／NEC九州）	池田信太郎／潮田玲子（日本ユニシス／三洋電機）	川前直樹／田井美幸（NTT東日本）	数野健太／金森裕子（日本ユニシス）	
2011 第65回	男子シングルス	田児賢一（NTT東日本）	佐々木翔（トナミ運輸）	上田拓馬（日本ユニシス）	佐藤翔治（NTT東日本）	東京都
	女子シングルス	奥原希望（大宮東高校）	廣瀬栄理子（パナソニック）	三谷美菜津（NTT東日本）	後藤愛（NTT東日本）	
	男子ダブルス	平田典靖／橋本博且（トナミ運輸）	早川賢一／遠藤大由（日本ユニシス）	数野健太／廣部好輝（日本ユニシス）	佐藤翔治／川前直樹（NTT東日本）	
	女子ダブルス	髙橋礼華／松友美佐紀（日本ユニシス）	松尾静香／内藤真実（パナソニック）	末綱聡子／前田美順（ルネサス）	藤井瑞希／垣岩令佳（ルネサス）	
	混合ダブルス	池田信太郎／潮田玲子（日本ユニシス）	埒畑亮太／浅原さゆり（日本ユニシス）	数野健太／金森裕子（日本ユニシス）	黒瀬尊敏／横山めぐみ（トナミ運輸／ルネサス）	
2012 第66回	男子シングルス	田児賢一（NTT東日本）	佐々木翔（トナミ運輸）	酒井一将（日本ユニシス）	池田雄一（日本ユニシス）	東京都
	女子シングルス	今別府香里（パナソニック）	三谷美菜津（NTT東日本）	廣瀬栄理子（パナソニック）	奥原希望（大宮東高校）	
	男子ダブルス	早川賢一／遠藤大由（日本ユニシス）	平田典靖／橋本博且（トナミ運輸）	佐藤翔治／川前直樹（NTT東日本）	佐伯祐行／埒畑亮太（日本ユニシス）	
	女子ダブルス	髙橋礼華／松友美佐紀（日本ユニシス）	藤井瑞希／垣岩令佳（ルネサス）	松尾静香／内藤真実（パナソニック）	末綱聡子／前田美順（ルネサス）	
	混合ダブルス	嘉村健士／米元小春（トナミ運輸／パナソニック）	佐藤翔治／西山夕美子（NTT東日本）	橋本博且／藤井瑞希（トナミ運輸／ルネサス）	埒畑亮太／髙橋礼華（日本ユニシス）	
2013 第67回	男子シングルス	田児賢一（NTT東日本）	上田拓馬（日本ユニシス）	桃田賢斗（NTT東日本）	佐々木翔（トナミ運輸）	東京都
	女子シングルス	三谷美菜津（NTT東日本）	廣瀬栄理子（ヨネックス）	今別府香里（ヨネックス）	山口茜（勝山高校）	
	男子ダブルス	早川賢一／遠藤大由（日本ユニシス）	平田典靖／橋本博且（トナミ運輸）	佐伯祐行／埒畑亮太（日本ユニシス）	園田啓悟嘉村健士（トナミ運輸）	
	女子ダブルス	髙橋礼華／松友美佐紀（日本ユニシス）	樽野恵／新玉美郷（NTT東日本）	三木佑里子／米元小春（北都銀行）	前田美順垣岩令佳（ルネサス）	
	混合ダブルス	早川賢一／松友美佐紀（日本ユニシス）	嘉村健士／米元小春（トナミ運輸／北都銀行）	橋本博且／前田美順（トナミ運輸／ルネサス）	井上拓斗髙橋礼華（日本ユニシス）	
2014 第68回	男子シングルス	佐々木翔（トナミ運輸）	桃田賢斗（NTT東日本）	常山幹太（東大阪大学柏原高校）	酒井一将（日本ユニシス）	東京都
	女子シングルス	山口茜（勝山高校）	三谷美菜津（NTT東日本）	橋本由衣（NTT東日本）	廣瀬栄理子（ヨネックス）	
	男子ダブルス	早川賢一／遠藤大由（日本ユニシス）	平田典靖／橋本博且（トナミ運輸）	数野健太／山田和司（日本ユニシス）	井上拓斗金子祐樹（日本ユニシス）	
	女子ダブルス	福万尚子／與猶くるみ（再春館製薬所）	栗原文音／篠谷菜留（日本ユニシス）	福島由紀／廣田彩花（ルネサス）	宮内唯久後あすみ（ルネサス）	
	混合ダブルス	早川賢一／松友美佐紀（日本ユニシス）	嘉村健士／米元小春（トナミ運輸／北都銀行）	米元優樹／米元陽花（宇部興産／ACT SAIKYO）	埒畑亮太栗原文音（日本ユニシス）	
2015 第69回	男子シングルス	桃田賢斗（NTT東日本）	佐々木翔（トナミ運輸）	西本拳太（中央大学）	古賀輝（早稲田大学）	東京都
	女子シングルス	奥原希望（日本ユニシス）	佐藤冴香（ヨネックス）	今別府香里（ヨネックス）	山口茜（勝山高校）	
	男子ダブルス	園田啓悟／嘉村健士（トナミ運輸）	保木卓朗／小林優吾（トナミ運輸）	早川賢一／遠藤大由（日本ユニシス）	佐伯祐行／埒畑亮太（日本ユニシス）	
	女子ダブルス	髙橋礼華／松友美佐紀（日本ユニシス）	福万尚子／與猶くるみ（再春館製薬所）	松尾静香／内藤真実（NTT東日本／ヨネックス）	米元小春田中志穂（北都銀行）	
	混合ダブルス	数野健太／栗原文音（日本ユニシス）	早川賢一／松友美佐紀（日本ユニシス）	園田啓悟／福万尚子（トナミ運輸／再春館製薬所）	渡辺勇大東野有紗（富岡高校／日本ユニシス）	

■ 全日本総合バドミントン選手権大会入賞者一覧

開催年回数	種目	優勝	準優勝	第3位		開催地
2016 第70回	男子シングルス	西本拳太（中央大学）	坂井一将（日本ユニシス）	上田拓馬（日本ユニシス）	小野寺裕介（日本ユニシス）	東京都
	女子シングルス	佐藤冴香（ヨネックス）	山口茜（再春館製薬所）	鈴木温子（ヨネックス）	三谷美菜津（ＮＴＴ東日本）	
	男子ダブルス	園田啓悟／嘉村健士（トナミ運輸）	遠藤大由／渡辺勇大（日本ユニシス）	井上拓斗／金子祐樹（日本ユニシス）	保木卓朗／小林優吾（トナミ運輸）	
	女子ダブルス	髙橋礼華／松友美佐紀（日本ユニシス）	米元小春／田中志穂（北都銀行）	福島由紀／廣田彩花（再春館製薬所）	福万尚子／與猶くるみ（再春館製薬所）	
	混合ダブルス	嘉村健士／米元小春（トナミ運輸／北都銀行）	権藤公平／廣田彩花（トナミ運輸／再春館製薬所）	伊東克範／浦谷夏未（金沢学院クラブ／北都銀行）	埴畑亮太／篠谷菜留（日本ユニシス）	
2017 第71回	男子シングルス	武下利一（トナミ運輸）	西本拳太（トナミ運輸）	坂井一将（日本ユニシス）	常山幹太（トナミ運輸）	東京都
	女子シングルス	山口茜（再春館製薬所）	大堀彩（トナミ運輸）	佐藤冴香（ヨネックス）	峰歩美（再春館製薬所）	
	男子ダブルス	遠藤大由渡辺勇大（日本ユニシス）	保木卓朗小林優吾（トナミ運輸）	園田啓悟嘉村健士（トナミ運輸）	井上拓斗金子祐樹（日本ユニシス）	
	女子ダブルス	福島由紀廣田彩花（再春館製薬所）	髙橋礼華松友美佐紀（日本ユニシス）	米元小春田中志穂（北都銀行）	永原和可那松本麻佑（北都銀行）	
	混合ダブルス	渡辺勇大東野有紗（日本ユニシス）	小林優吾志田千陽（トナミ運輸　再春館製薬所）	米元優樹米元陽花（宇部興産　ＡＣＴ ＳＡＩＫＹＯ）	金子祐樹栗原文音（日本ユニシス）	

東京都シングルス選手権大会

（男子）

年	種目	優勝	準優勝	第3位	
平9	1部	峰岸康史	深尾昇	中島真実	
	2部	稲葉一通	上平哲也	西田宏之	
	3部	内村実	橋本栄	小塩信	
	4部	柳敬三	石原泰造	後藤勝	
	5部	松井秋男	島田稔	簑栄三	
10	1部	峰岸康史	清水保則	土屋憲法	
	2部	内村実	塚野英樹	宇田川孝	
	3部	柳敬三	有賀一秀	石原泰造	
	4部	松井秋男	菊池泰次郎	吉澤喜一郎	
11	1部	峰岸康史	荒木直人	近藤盾	
	2部	内山実	塚野英樹	市宮茂	
	3部	石原泰造	小池博幸	有賀一秀	
	4部	松井秋男	島田稔	菊池泰次郎	
12	1部	峰岸康史	上田祐一	野辺将司	
	2部	内村実	山田昇平	阿部信幸	
	3部	有賀一秀	酒井昌男	楠木啓二	
	4部	松井久美則	松井秋男	簑栄三	
13	1部	野辺将司	土屋憲法	上田祐一	
	2部	塚野英樹	渡辺春男	今田裕久	
	3部	大和田勉	山崎孝	石原泰造	
	4部	松井久美則	近藤繁	菊池泰次郎	
14	1部	野辺将司	石原信之	深尾昇	
	2部	笹林義春	内村実	谷口泰教	
	3部	大和田勉	石原泰造	山崎孝	
	4部	松井久美則	菊池泰次郎	近藤繁	
15	1部	小林徹太郎	石原信之	深尾昇	
	2部	内村実	谷口泰教	豊泉輝彦	
	3部	大和田勉	柳敬三	有賀一秀	
	4部	菊池泰次郎	山村徳太郎	松井久美則	
	5部	吉柳喜一郎	杉田光男	秋山友行	
16	1部	下川裕一	吉野健太郎	石原信之	
	2部	内村実	村上勝	若月滋人	
	3部	大和田勉	宮本道雄	神谷敏幸	
	4部	石原泰造	佐々木昭考	加藤伊佐武	
	5部	有賀一秀	町田秀和	山村徳太郎	
	6部	松井久美則	菊池泰次郎	近藤繁	
	7部	内田淳吉	高橋幸治郎	彦田勇	
17	1部	早坂幸平	下川裕一	岩脇峰生	
	2部	深尾昇	塚野英樹	田中伸幸	
	3部	宮本道雄	大和田勉	近藤盾	
	4部	神谷敏幸	小池博幸	厚川勇	
	5部	松井秋男	菅井誠	有賀一秀	
	6部	松井久美則	菊池泰次郎	近藤繁	
	7部	簑栄三	堀越進	彦田勇	
18	1部	藤本ホセマリ	下川裕一	吉野健太郎	
	2部	藤森隆	青木勇児	若月滋人	
	3部	大和田勉	近藤盾	加藤孝	
	4部	神谷敏幸	石原泰造	厚川勇	
	5部	池田隆治	有賀一秀	加藤伊佐武	
	6部	松井久美則	菊池泰次郎	安藤功	
	7部	松井秋男	内田淳吉	堀越進	
19	1部	藤本ホセマリ	下川裕一	會澤真之介	石原信之
	30才	青木勇児	藤森隆	内村実	山田昇平
	40才	清水保則	大和田勉	貫井智一	塚野英樹
	45才	神谷敏幸	石田純	松田寿	水越進
	50才	石原泰造	池田隆治	有賀一秀	柳敬三
	55才	山村徳太郎	松井久美則	松田秀和	山本義正
	60才	堀越進	登那木明雄	中村三男	吉柳喜一郎

（女子）

種目	優勝	準優勝	第3位	
1部	千葉昌恵	椿理恵	渡辺久美子	
2部	小田昌子	釘村直子	長寿恵	
3部	谷垣ゆう子	磯美和		
1部	太田裕子	石井知恵美	千葉昌恵	
2部	遠江久美子	平山久仁子	磯美和	
3部	坂巻敦子	市田礼子		
4部	光中博美	高橋靖代		
1部	津田藍子	野嶽愛	西尾陽子	
2部	遠江久美子	手塚ひとみ	笹林朋子	
3部	坂巻敦子	山田ひとみ	菊地朋子	
1部	土屋藍子	菅野純世	佐藤澄世	
2部	佐藤律子	手塚ひとみ	笹林朋子	
3部	谷口ゆう子	山田ひとみ	坂巻敦子	
1部	土屋藍子	佐藤澄世	佐藤亮子	
2部	江澤暉子	日野原繭子	笹林朋子	
3部	谷垣ゆう子	坂巻敦子	山田ひとみ	
1部	土屋藍子	荻山麻依	多田美帆子	
2部	佐々木裕子	日野原繭子	宮本美絵	
3部	谷垣ゆう子	福田かおり	坂巻敦子	
1部	神ゆかり	加澤麻子	土屋藍子	
2部	岩井直子	日野原繭子	宮本美絵	
3部	本間しのぶ	大淵良子	宮本真理子	
1部	謝婷婷	甲斐千鶴子	荻山麻衣	
2部	若月美智子	平山久仁子	宮本美絵	
3部	笹林朋子	中津恵美	佐々木裕子	
1部	志村貴子	土山さやか	荻山麻依	
2部	岩井直子	石橋律子	土屋展子	
3部	菊池葉子	遠江久美子	松岡稔子	
1部	荻山麻依	志村貴子	土山さやか	
2部	岩井直子	土屋展子	堀池由紀子	
3部	手塚ひとみ	宮本真理子	松岡稔子	
4部	遠江久美子	花岡久仁子	山田ひとみ	
1部	山田裕美	土山さやか	志村貴子	布目沙矢香
30才	岩井直子	木藪三枝	池田泰子	日野原繭子
40才	若月美智子	磯美和	宮本真理子	松岡稔子
45才	花岡久仁子	遠江久美子	山田ひとみ	岡野恵聖子

■ 東京都シングルス選手権大会

（男子）

年	種目	優勝	準優勝	第３位	
20	１部	柴原啓紀	石原信之	下川裕一	八木勇磨
	30才	富田岳彦	吉野健太郎	合田洋平	野辺将司
	35才	青木勇児	村上勝	佐藤隆昭	佐久間誠二
	40才	清水保則	内村実	近藤盾	大和田勉
	45才	小林賢治	山崎孝	松田寿	小池博幸
	50才	石原泰造	有賀一秀	一戸隆	原章智
	55才	松井久美則	山村徳太郎	森田幸男	中津不二雄
	60才	松井秋男	内田淳吉	中村三男	小西敬介
	65才	堀越進	吉柳喜一郎	髙橋幸治郎	登那木明雄
21	一般	藤本ホセマリ	下川裕一	柴原啓紀	平野拓弥
	30才	吉野健太郎	野辺将司	陶山敏樹	伴野仁朗
	35才	土屋憲法	大田頼次	田中伸幸	青木勇児
	40才	清水保則	谷地舘渉	大和田勉	近藤盾
	45才	神谷敏幸	劉春	松田寿	福田守弘
	50才	池田隆治	小池博幸	加藤伊佐武	柳敬三
	55才	有賀一秀	山本義正	石坂義弘	
	60才	松井久美則	安藤功	菊池泰次郎	
	65才	島田稔	堀越進	彦田勇	
22	一般	松丸大輝	藤本ホセマリ	下川裕一	石原信之
	30才	野辺将司	弓削登士行	大河原正晴	伴野仁郎
	35才	大貫勝	藤瀬一郎	佐久間誠二	佐藤由喜夫
	40才	村上勝	清水保則	大和田勉	岡村真一
	45才	宮本道雄	劉春	山崎孝	安田明弘
	50才	渡辺透	真鍋建史	木村博之	石原泰造
	55才	池田隆治	有賀一秀	佐々木昭孝	加藤伊佐武
	60才	松井久美則	菊池泰次郎	安藤功	
	65才	島田稔	彦田勇	吉柳喜一郎	
23	一般	松丸大輝	嘉村昌俊	下川裕一	石原信之
	30才	伴野仁郎	野辺将司	大河原正晴	佐藤憲策
	35才	大貫勝	藤瀬一郎	佐久間誠二	佐藤由喜夫
	40才	村上勝	清水保則	大和田勉	岡村真一
	45才	宮本道雄	劉春	山崎孝	安田明弘
	50才	渡辺透	真鍋建史	木村博之	石原泰造
	55才	池田隆治	有賀一秀	佐々木昭孝	加藤伊佐武
	60才	松井久美則	菊池泰次郎	安藤功	
	65才	島田稔	彦田勇	吉柳喜一郎	
24	一般	高岡秀平	武田直哉	下川裕一	松尾剛志
	30才	大河原正晴	内村実	髙田宗文	山田正史
	35才	藤井悟	大田頼次	増田朋之	文随正和
	40才	上田祐一	光永暢宏	中谷典雄	多田信之
	45才	清水保則	近藤盾	若月滋人	宗形一志
	50才	大和田勉	小池博幸	神谷敏幸	山崎孝
	55才	池田隆治	石原泰造	有賀一秀	
	60才	田中優	松井久美則	森田幸男	
	65才	松井秋男	彦田勇	島田稔	
25	一般	藤野紘史	藤本ホセマリ	齋藤雅大	赤堀豊
	30才	大河原正晴	沓掛昌俊	多田崇史	弓削登士行
	35才	伴野仁郎	髙岩由博	岡本康志	大塚龍義
	40才	中島真実	光永暢宏	田中進一	藤瀬一郎
	45才	清水保則	谷地舘渉	加藤孝	吉安隆司
	50才	神谷敏幸	小池博幸	上野裕明	水越進
	55才	石原泰造	小林賢治	落合久夫	小林寛久
	60才	渡辺敏夫	松井久美則	安藤功	
	65才	菊池泰次郎	島田稔		

（女子）

種目	優勝	準優勝	第３位	
１部	謝婷婷	岡渕恵里佳	上山さやか	藤瀬めぐ美
30才	樋口寛子	木薮三枝	浅野加奈子	髙井今日子
35才	岩井直子	土屋展子	山本泉	原田香織
40才	日野原繭子	松岡稔子	堀池由紀子	井上敦子
45才	佐々木裕子	花岡久仁子	遠江久美子	菊池葉子
50才	市田礼子	山田ひとみ	朴初恵	佐藤里奈
１部	松村愛美	滝内由香里	岡淵恵里佳	藤瀬めぐ美
30才	一戸和美	浅野加奈子	木薮三枝	
35才	岩井直子	土屋展子	野嶽愛	
40才	若月美智子	日野原繭子	山本泉	
45才	花岡久仁子	菊池葉子	佐々木裕子	
50才	土屋優美	山田ひとみ	本間しのぶ	
一般	前田彩花	松村愛美	岡淵恵里佳	笠間なつき
30才	藤瀬めぐみ	竹内郁		
35才	永春玲子	土屋展子	藤森美恵	日野原繭子
45才	佐々木裕子	花岡久仁子	今仲由香里	
50才	菊池葉子	遠江久美子	市田礼子	
一般	玉木絵里子	小崎沙織	堀場果林	伊藤美紗
30才	藤瀬めぐみ	石田麻衣		
35才	一戸和美	土屋展子		
45才	佐々木裕子	花岡久仁子	今仲由香里	
50才	菊池葉子	遠江久美子	市田礼子	
一般	関根由美花	岡渕恵里佳	武末彩花	鈴木玲緒奈
30才	小野亜希子	石田麻依		
35才	一戸和美	松本洋子		
40才	藤森美恵	土屋展子	斉尾泰子	
45才	佐々木裕子	若月美智子		
50才	菊池葉子	今仲由香里	遠江久美子	
一般	明田由佳	利光菜美子	田中恵里佳	
35才	野口恵美	久古和代		
40才	藤森美恵	土屋展子		
45才	多田慶子	堀池由紀子		
50才	佐々木裕子	菊池葉子	遠江久美子	
55才	市田礼子	河野仁美		

■ 東京都シングルス選手権大会

（男子）

年	種目	優勝	準優勝	第３位	
26	一般	藤野紘史	西村昭彦	石川佳樹	齋藤雅大
	30才	弓削登士行	宮本麗	大貫勝	吉原太郎
	35才	高岩由博	板倉正弥	池内英二	小川晃弘
	40才	中島真実	大田頼次	合田洋平	蓮池秀樹
	45才	大和田勉	谷口泰教	山田昇平	豊泉輝彦
	50才	神谷敏幸	白木耕太郎	橋本栄	山崎孝
	55才	小池博幸	池田隆治	奥山順一	石原泰造
	60才	有賀一秀	村上英紀	山本義正	
	65才	松井秋男	菊池泰次郎	安藤功	
27	一般	藤野紘史	石川佳樹	赤堀豊	
	30才	菊地功太郎	高田宗文	川口翔	
	35才	大河原正晴	弓削登士行	野辺将司	
	40才	中島真実	合田洋平	舟木康司	
	45才	谷口泰教	山田昇平	豊泉輝彦	
	50才	宗形一志	佐藤次郎	宇田川孝	
	55才	橋本栄	神谷敏幸	小池博幸	
	60才	佐々木昭孝	有賀一秀	向井晴久	
	65才	菊池泰次郎	安藤功	松井久美則	
28	一般	武田直哉	石原信之	佐野将英	
	30才	堀之内真	吉原太郎	鈴木俊介	
	35才	大河原正晴	石井暁	倉林茂治	
	40才	塚田忠伸	蓮池秀樹	増田朋之	
	45才	上田祐一	光永暢宏	田中進一	
	50才	齊藤隆	笹林義春	白木耕太郎	
	55才	小池博幸	橋本栄	厚川勇	
	60才	池田隆治	柳敬三	佐々木昭孝	
	65才	浅見初男	松井秋男	近藤良二	

（女子）

種目	優勝	準優勝	第３位	
一般	利光菜美子	菅原智子	齋藤麻由美	
35才	野口恵美	久古和代	南村真紀	
40才	髙橋まゆみ	土屋展子	斉尾泰子	
45才	多田慶子	山本泉	若月美智子	山田美佳
50才	佐々木裕子	菊池葉子	大平操	
55才	市田礼子	橋本陽子	藤平智子	
一般	佐藤綾奈	吉田智絵	荒井瑞希	
30才	小野亜希子	浅井陽子	荒真喜子	
35才	一戸和美	南村真紀	久古和代	
40才	土屋藍子	藤森美恵	髙橋まゆみ	
45才	平山久仁子	榊登司子	秋山由美	
50才	須田美由喜	花岡久仁子	岡野恵理子	
55才	菊池葉子	遠江久美子	藤平智子	
60才	光中博美	浜田久恵	宮本甲南子	
一般	中村結奈	今愛	長谷川文香	
30才	磯部静	河合愛子	藤岡奈津美	
35才	冨永美名子	板垣雅美	久古和代	
40才	松本洋子	石橋律子	北森寛子	
45才	藤森美恵	野田慶子	髙橋まゆみ	
50才	佐々木裕子	須田美由喜	山田芳香	
55才	遠江久美子	花岡久仁子	藤平智子	
60才	濱よし子	宮本甲南子	浜田久恵	

東京都ダブルス選手権大会

（男子）

年	種目	優勝	準優勝	第３位	
平成９	１部	鈴木／増田	藤瀬／吉田	田仲／兮田	
	２部	金子／牧岡	西嶋／上平	中原／岡田	
	30才	厚川／平野	江川／橋本	中津／岡田	
	40才	佐藤／山崎	菊地／佐々木	松井／小宮山	
	50才	松井／中村	美川／水上	伊藤／久富	
	60才	柳田／石松	杉田／上田	鈴木／小川	
10	１部	畴津耕太郎	柳　敬三	渡辺一人	
		稲葉敏之	清水正紀	山下大介	
	２部	芦沢康宏	宇田川　孝	小池博幸	
		谷口紀夫	渡辺雅和	太田博之	
	３部	古明地正邦	山村徳太郎	石原泰造	
		有賀一秀	中津不二雄	小名木光男	
	４部	高橋栄一	熊谷光雄	鈴木登美夫	
		永井龍夫	前田　洋	糟谷喜良	
	５部	松井秋男	簑　栄三	千葉健夫	
		中村行男	竹中将晃	殿川宣勝	
	６部	本間正志	柴崎　仁	岩本道雄	
		神　至	木下光弘	山田智孝	
	７部	石松清史	賀田昭夫	小川　弘	
		柳田直樹	久野貞夫	鈴木利雄	
11	１部	片岡直茂	貫井智一	増田直樹	
		荒木直人	上田祐一	井上敏輝	
	２部	奥山勝実	野口　清	杉山　保	
		石田世一	江川博康	堀内栄二	
	３部	落合久夫	小林静男	山村徳太郎	
		落合康夫	浅見初男	中津不二雄	
	４部	川村啓三	川村貢一	倉田　章	
		吉沢　弘	小野伸夫	菊地泰次郎	
	５部	松井秋男	熊谷光雄	竹中将晃	
		中村行男	前田　洋	簑　栄三	
	６部	本間正志	岩本道雄	柴崎　仁	
		神　至	山田智孝	木下光弘	
	７部	石松清史	賀田昭夫	小川　弘	
		柳田直樹	久野貞夫	鈴木利雄	
12	１部	中條　彪	福井剛士	藤本ホセマリ	
		荒木直人	中村憲尚	石川　澄	
	２部	内村　実	奥山勝実	小林茂靖	
		上田　学	石田世一	倉井正俊	
	３部	小池博幸	石原泰造	山村徳太郎	
		後藤　勝	厚川　勇	中津不二雄	
	４部	永井龍夫	松井久美則	川村啓三	
		高橋栄一	佐藤孝広	吉沢　弘	
	５部	松井秋男	殿川宣勝	熊谷光雄	
		中村行男	千葉健夫	前田　洋	
	６部	上野幸吉	岩本道雄	本間正志	
		中村三男	山田智孝	神　至	
	７部	高田秀直	上田益弘	石松清史	
		久野貞夫	三好敏夫	柳田直樹	
13	１部	石川竜太	荒木康伸	深尾　昇	
		山口英一	加藤　孝	神谷敏幸	
	２部	山口　壁	石田世一	内田　実	
		土屋雄一	奥山勝美	上田　学	
	３部	小池博幸	小林静男	石原泰造	
		後藤　勝	浅見初男	厚川　勇	
	４部	永井龍夫	松井久美則	佐々木昭孝	
		高橋栄一	佐藤孝広	倉田　章	
	５部	松井秋男	殿川宣勝	伊藤康利	
		中村行男	千葉健夫	久富一義	

（女子）

種目	優勝	準優勝	第３位	
１部	斉藤／菅野	西山／上田	橋本／堤	
２部	高橋／大木	加藤／加藤	市田／白鳥	
30才	小塩／平兮	遠江／長谷	太田／井上	
40才	宮崎／西村	木伏／田倉	矢代／大久保	
50才	小守／織田	米口／宮本	鳥島／遠藤	
60才	山田／前田	根岸／秋元	大井／山下	
１部	内藤智佐	植田さおり	本間千賀子	
	佐藤亮子	末原　朱	山崎絵美子	
２部	小塩和子	小庭洋子	手塚ひとみ	
	平兮章子	渡辺博美	安田由香	
３部	安藤まゆみ	佐藤裕美子	有賀みどり	
	板倉美智恵	岡田敬子	小沢京子	
４部	宮崎三江子	木伏千鶴子	井戸宣子	
	西村孝子	田倉テイ子	矢代信子	
５部	宮本容子	村田和子	後藤啓子	
	米口順子	森本浩子	酒井喜久子	
６部	大平ヒサ	中川皓子	横波千恵子	
	小守一枝	肥田木与志子	村田眞砂子	
７部	野本　泉	池田公子	大井節子	
	秋元みや子	山田みよ子	山下善子	
１部	溝口純子	林　矢須子	豊泉久美子	
	西城真理子	津田藍子	千葉昌恵	
２部	上田佳代子	手塚ひとみ	太田尚子	
	松村美知子	安田由香	井上敦子	
３部	松林則子	阿部三輪子	有賀みどり	
	松本眞佐美	梯　栄子	小沢京子	
４部	木伏千鶴子	鈴木あい子	市田礼子	
	田倉テイ子	浜田久恵	中村美千代	
５部	高橋幸枝	宮本容子	川原木邦子	
	岡田敬子	米口順子	原田恵似子	
６部	鈴木八重子	大平ひさ	宮本甲南子	
	松本三枝子	小守一枝	河西悦子	
７部	山田みよ子	栗山トミ子		
	秋元みや子	井野由美子		
１部	林　矢須子	土屋展子	豊泉久美子	
	土屋藍子	椿　理恵	千葉昌恵	
２部	鮎川十美子	手塚ひとみ	小塩和子	
	田中千登勢	安田由香	平兮章子	
３部	板倉美智恵	松本眞佐美	渡辺恵子	
	安藤まゆみ	松林則子	大野明美	
４部	木伏千鶴子	井戸宣子	荒木厚子	
	梯　栄子	田倉テイ子	中谷祥子	
５部	宮本容子	三刀良子	堀口廣美	
	米口順子	平林由美子	阿部智恵	
６部	岡戸　優	切替洋美	鈴木八重子	
	篠原まさ子	小守一枝	松本三枝子	
７部	山田ミヨ子	藤田英子	竹内ヒロ子	
	秋元みや子	佐藤富美子	池田公子	
１部	西城眞理子	野口朱美	内藤智佐	
	山田万莉子	森　眞由美	佐藤亮子	
２部	手塚ヒトミ	笹林朋子	佐々木裕子	
	安田由香	宮本美絵	山村貴子	
３部	石井笙子	谷垣ゆう子	遠江久美子	
	香川昌子	松本眞佐美	中津恵美	
４部	木伏千鶴子	荒木厚子	向笠澄子	
	梯　栄子	中谷祥子	太田美佐子	
５部	岡田敬子	原田恵以子	横倉氏子	
	高橋幸枝	斉藤くに江	六波羅和子	

■ 東京都ダブルス選手権大会

（男子）

年	種目	優勝	準優勝	第3位	
(13)	6部				
	7部	久野貞夫	杉田光男	小川弘	
		高田秀直	石松清史	鈴木利雄	
14	1部	石川竜太	平山卓哉	荒木康伸	
		山口英一	簔浩之	加藤孝	
	2部	武田亨	藤瀬一郎	後藤・石田	中谷・下野
		土屋雄一	吉田貞雄		
	3部	落合久夫	手塚浩志	佐藤・辻沢	小林・浅見
		落合康夫	大和田勉		
	4部	山村徳太郎	佐々木昭孝	浪岡・露木	小宮山・有賀
		中津不二雄	倉田章		
	5部	古明地正邦	永井龍夫	菊池・近藤	中村・松井
		川村啓三	高橋栄一		
	6部	松崎正門	藤田稔彦	伊藤・久富	栗野・椹井
		島田稔	岡本哲男		
	7部	簔栄三	岩本道雄	柴崎・木下	石松・杉田
		神至	山田智孝		
15	1部	平山卓哉	石川竜太	深尾昇	
		簔浩之	山口英一	神谷敏幸	
	2部	石田世一	後藤隆志	笠原徹	
		手島明彦	石田満	光永鴻宏	
	3部	手塚浩志	後藤勝	福田守弘	
		大和田勉	小池博幸	草場律	
	4部	小林静男	家串友治	佐々木昭孝	
		有賀一秀	真鍋建史	倉田章	
	5部	町田秀和	永井龍夫	殿川宣勝	
		水野伸夫	松井久美則	鈴木登美夫	
	6部	松井秋男	松崎正門	久富一義	
		中村行男	島田稔	伊藤康利	
	7部	簔栄三	秋山友行	加藤徳重	
		神至	斉郷秀一	登那木明雄	
	8部	賀田昭夫	杉田光男	須田和臣	
		久野貞夫	石松清史	上田益弘	
16	1部	深尾昇	三上紘由	簔浩之	
		神谷敏幸	下川裕一	平山卓哉	
	2部	石田世一	塚野英樹	佐藤由紀夫	
		手島明彦	小宮山聖文	佐久間誠二	
	3部	白木耕太郎	大和田勉	北村喬樹	
		宗形一志	手塚浩志	佐藤次郎	
	4部	浅見初男	倉田章	杉山保	
		小林静男	佐々木昭孝	中島正雄	
	5部	山村徳太郎	有賀一秀	佐藤正	
		中津不二雄	一戸隆	明田城利	
	6部	松井秋男	殿川宣勝	佐藤義廣	
		中村行男	千葉健夫	大堀慶信	
	7部	松崎正門	簔栄三	星野義昭	
		島田稔	神至	鈴木幸春	
	8部	賀田昭夫	杉田光男	鈴木利雄	
		久野貞夫	石松清史	福留晋一郎	
17	1部	下川裕一	舟木康司	佐藤憲策	
		市村悟	會澤真之介	近藤隆司	
	2部	近藤盾	加藤孝	石田満	
		袖山宏司	荒木康伸	富田岳彦	
	3部	笹林義春	佐藤次郎	石田純	
		宮本道雄	北村喬樹	貫井智一	
	4部	浅見初男	真鍋建史	石原泰造	
		小林静男	家串友治	木下幸広	

（女子）

種目	優勝	準優勝	第3位	
6部	小中一枝	藤條禎子	河本和枝	
	織田啓子	長谷川隆子	田中洋子	
7部	鈴木八重子	大神田みね子	前田規子	
	松木三枝子	大平ヒサ	栗山トミエ	
1部	林矢須子	内藤智佐	百丸和香子	
	土屋藍子	佐藤亮子	樋口寛子	
2部	椿理恵	斉藤晶子	若月・福島	山本・藤原
	多田慶子	杉谷真理		
3部	城戸真知子	遠江久美子	谷垣・松本	石井・香川
	樋田由美子	中津恵美		
4部	佐藤利子	大野明美	松本・市田	川畑・佐野
	国府田春美	大久保かよ子		
5部	井戸宣子	堀口廣美	寺本・中澤	直井・高橋
	田倉テイ子	阿部智恵		
6部	小守一枝	宮本容子	篠原・功力	桑山・藤條
	織田啓子	米口順子		
7部	鈴木八重子	天井頭佐代子	下田・松屋	大神田・大平
	松木三枝子	遠田マチ子		
8部	山田ミヨ子	山下善子	青木・谷	竹内・前田
	秋元みや子	太田知江子		
1部	樋口寛子	栗野美智子	土屋展子	
	荻山麻依	上山ひろ子	高井今日子	
2部	多田慶子	豊泉久美子	野口朱美	
	堤真由美	渡辺澄世	森真由美	
3部	谷垣ゆう子	遠江久美子	城戸真知子	
	佐々木裕子	中津恵美	樋田由美子	
4部	佐藤裕美子	川畑裕美	国府田春美	
	梯栄子	佐野玲子	清水ゆかり	
5部	井戸宣子	原田恵以子	堀口廣美	
	矢代信子	斉藤くに江	阿部智恵	
6部	宮本容子	藤條禎子	酒井喜久子	
	米口順子	桑山栄子	岡田敬子	
7部	鈴木八重子	小守一枝	村田真砂子	
	松木三枝子	池田公子	横渡千鶴子	
8部	野本泉	青柳久美子	山田ミヨ子	
	栗山トミエ	水田恵子	秋元みや子	
1部	土屋展子	小坂志保	志村貴子	
	荻山麻衣	今井早由里	上山さやか	
2部	森真由美	岩井直子	斉藤晶子	
	野口朱美	土橋朝生	豊泉久美子	
3部	平兮章子	上田佳代子	谷垣ゆう子	
	工藤なおみ	藤本雅子	小庭洋子	
4部	国府田春美	佐野玲子	有賀みどり	
	清水ゆかり	川畑裕美	佐藤裕美子	
5部	宮崎美江子	木伏千鶴子	斉藤くに江	
	田倉テイ子	梯栄子	原田恵以子	
6部	宮本容子	堀口廣美	小守一枝	
	米口順子	阿部智恵	篠原まさ子	
7部	鈴木八重子	竹内富実枝	下田睦子	
	松木三枝子	稲村満智子	松屋美智子	
8部	大神田みね子	秋元みや子	崎山行子	
	野本泉	山田ミヨ子	平野孝子	
1部	大塚寛子	土屋展子	今井早由里	
	百丸和香子	荻山麻依	小坂志保	
2部	森真由美	千葉昌恵	石原美香子	
	野口朱美	杉谷真里	高橋明子	
3部	平兮章子	中津恵美	堤弘子	
	工藤なおみ	宮本美絵	多田慶子	
4部	上田佳代子	石井笙子	川畑裕美	
	谷垣ゆう子	吉川さとみ	佐野玲子	

■ 東京都ダブルス選手権大会

（男子）

年	種目	優勝	準優勝	第３位	
(17)	５部	有賀一秀	川村啓三	山村徳太郎	
		池田隆治	古明地正邦	中津不二雄	
	６部	松井秋男	殿川宣勝	新田英夫	
		中村行男	千葉健夫	前田洋	
	７部	堀越進	簀栄三	加藤徳重	
		内田淳吉	神至	登那木明雄	
	８部	亀田武志	杉田光男	久野貞夫	
		小池克彦	石松清史	賀田昭夫	
18	１部	三上紘由	舟木康司	竹鼻拓也	
		下川裕一	會澤真之介	太田慎二	
	２部	清水保則	佐久間誠二	小宮山聖文	岡村真一
		吉田貞雄	佐藤隆昭	鈴木祥	本田誠
	３部	宗形一志	笹林義春	石田純	村上知也
		白木耕太郎	宮本道雄	貫井智一	小川裕介
	４部	礒孝男	岡本和夫	松倉邦雄	内田直志
		後藤智彦	原章智	青山勝弘	山崎孝
	５部	有賀一秀	浅見初男	高橋栄一	
		池田隆治	小林静男	山村徳太郎	
	６部	川村啓三	新田英夫	阿佐野康	
		古明地正邦	前田洋	倉田章	
	７部	中村行男	島田稔	堀越進	
		松井秋男	松崎正門	内田淳吉	
	８部	石松清史	亀田武志	久野貞夫	
		花岡牧夫	小池克彦	賀田昭夫	
19	１部	會澤真之介	藤本ホセマリ	佐藤憲策	
		仲澤悟史	下川裕一	近藤隆司	
	30才	山口英一	土屋憲法	見市武史	陶山敏樹
		石川竜太	荒木伸義	藤森隆	佐藤大信
	40才	貫井智一	白木耕太郎	豊泉輝彦	石田世一
		宗形一志	近藤盾	田辺豊	手島明彦
	45才	小林賢治	大和田勉	内田直志	落合康夫
		小池博幸	石田純	山崎孝	手塚浩志
	50才	清水正紀	倉田章	浅見初男	佐藤広行
		柳敬三	佐々木昭孝	小林静男	山崎清一
	55才	高橋栄一	川村啓三	松井秋男	
		山村徳太郎	古明地正邦	菊池泰次郎	
	60才	島田稔	殿川宣勝	堀越進	
		松崎正門	千葉健夫	内田淳吉	
	65才	神至	岩本道雄	富田豊	
		簀栄三	高木実	竹中将晃	
	70才	石松清史	大沼悌一		
		花岡牧夫	大沢勢一		
20	１部	柴原啓紀	會澤真之介	小椋正樹	
		仲澤悟史	細野泰弘	市野貴康	
	30才	簀浩之	富田岳彦	福田学	
		平山卓哉	佐藤憲策	斉藤尚之	
	35才	久保田雄三	笠原徹	加藤孝	
		藤森隆	渡辺祐一	藤瀬一郎	
	40才	白木耕太郎	清水保則	豊泉輝彦	
		近藤盾	谷地舘渉	田辺豊	
	45才	大和田勉	草場律	澤田好和	
		石田純	福田守弘	村上勝	
	50才	樅木敏郎	有賀一秀	森泉康俊	
		石原泰造	池田隆治	浪岡久志	
	55才	高橋栄一	川村啓三	町田秀和	
		山村徳太郎	古明地正邦	小野伸夫	
	60才	内田淳吉	殿川宣勝	島田稔	
		松井秋男	千葉健夫	松崎正門	

（女子）

種目	優勝	準優勝	第３位	
５部	大野明美	木伏千鶴子	矢代信子	
	大久保かよ子	梯栄子	有賀みどり	
６部	岡田敬子	宮本容子	三刀良子	
	堀内ゆき子	米口順子	平林由美子	
７部	小守一枝	森本浩子	遠藤靖子	
	篠原まさ子	村田和子	岡本順子	
８部	秋元みや子	大神田みね子	小林多寿子	
	山田ミヨ子	野本泉	稲村満智子	
１部	野島律子	奥村加恵	土屋展子	
	西城真理子	上山さやか	荻山麻依	
２部	大塚寛子	野口朱美	山田真由美	栗野美智子
	百丸和香子	森眞由美	大島実穂	梅澤峰子
３部	上田晴世	平兮章子	中津恵美	石原美香子
	千葉昌恵	工藤なおみ	宮本美絵	手塚ひとみ
４部	石井笙子	佐野玲子	安倍美貴	久保田千鶴
	吉川さとみ	香川昌子	宮加谷亮子	木城桂子
５部	藤本雅子	田倉テイ子	大野明美	
	市田礼子	矢代信子	大久保かよ子	
６部	宮本容子	岡田敬子	中谷祥子	
	米口順子	堀内ゆき子	米望幸子	
７部	小守一枝	遠藤靖子	森本浩子	
	篠原まさ子	岡本順子	村田和子	
８部	鈴木八重子	佐々木洋子	賀田久貴子	
	松木三枝子	山下善子	渡辺洋子	
１部	野島律子	西城真理子	奥村加恵	
	渡辺夕子	深澤友恵	上山さやか	
30才	土屋展子	高堂早由里	冨田ゆかり	野口朱美
	岩井直子	木薮三枝	梅澤峰子	森眞由美
40才	工藤なおみ	石原美香子	中津恵美	上田晴世
	平兮章子	手塚ひとみ	宮本美絵	千葉昌恵
45才	福島伊津子	清水ゆかり	若山文子	松村美智子
	山田芳香	谷垣ゆう子	立原深雪	香川昌子
50才	佐野玲子	松本眞佐美	大野明美	
	佐藤利子	板倉美知恵	大久保かよ子	
55才	河内鈴香	中谷祥子	堀口廣美	
	宮崎美江子	米望幸子	大野冨美子	
60才	宮本容子	遠藤靖子	小守一枝	
	米口順子	岡本順子	篠原まさ子	
65才	鈴木八重子	大平ヒサ	賀田久貴子	
	松木三枝子	篠光子	渡辺洋子	
70才	大神田みね子	秋元みや子		
	野本泉	山田ミヨ子		
１部	滝内由香里	西城真理子	野島律子	
	大熊倫子	深澤友恵	渡辺夕子	
30才	山田裕美	鈴木理恵	谷澤由美子	
	樋口寛子	柴田真理子	羽鳥めぐみ	
35才	土屋展子	森眞由美	大島実穂	
	岩井直子	豊泉久美子	高崎朋子	
40才	小堂順子	増田智恵	道端容子	
	高橋玖未	原田貴子	大川由美子	
45才	清水ゆかり	中津恵美	小庭洋子	
	谷垣ゆう子	佐々木裕子	宮内千鶴子	
50才	藤本雅子	大野明美	国府田春美	
	松村美智子	大久保かよ子	長谷詔子	
55才	田倉テイ子	西田和子	松林則子	
	矢代信子	阿部良子	向笠澄子	
60才	宮本容子	遠藤靖子	木村笑美子	
	米口順子	岡本順子	矢野節子	

■ 東京都ダブルス選手権大会

（男子）

年	種目	優勝	準優勝	第３位	
(20)	65才	秋山友行	本間正志	鏑木興司	
		倉田繕箕	富田豊	加藤徳重	
	70才	石松清史	亀田武志	久野貞夫	
		花岡牧夫	斉郷秀一	賀田昭夫	
21	1部	三上紘由	藤本ホセマリ	富田岳彦	
		下川裕一	金子翔悟	佐藤憲策	
	30才	中島真実	久保田雄三	簔浩之	
		大貫勝	竹鼻拓也	平山卓哉	
	35才	佐藤由喜夫	佐久間誠二	滝川宏之	
		田中健司	土屋憲法	異弘樹	
	40才	白木耕太郎	清水保則	加藤孝	
		近藤盾	谷地舘渉	荒木康伸	
	45才	貫井智一	笹林義春	北村喬樹	
		宗形一志	宮本道雄	菊池雄二	
	50才	落合久夫	小林賢治	柳敬三	
		落合康夫	小池博幸	遠藤誠司	
	55才	高橋栄一	小宮山清志	近藤良二	
		山村徳太郎	有賀一秀	佐藤正	
	60才	川村啓三	松井秋男	彦田勇	
		古明地正邦	水上英二	小西敬介	
	65才	島田稔	堀越進	本間正志	
		松崎正門	内田淳吉	神至	
	70才	石松清史	亀田武志	久野貞夫	
		高橋幸治郎	斉郷秀一	賀田昭夫	
22	1部	藤本ホセマリ	牛島俊和	佐藤憲策	
		下川裕一	下島怜	冨田岳彦	
	30才	若松広明	中澤伸人	坂本康市朗	
		大塚龍義	藤城武久	近藤隆司	
	35才	吉田貞雄	佐久間誠二	福田学	
		藤瀬一郎	土屋憲法	斉藤尚之	
	40才	村上勝	清水保則	横澤隆行	
		深尾昇	谷地舘渉	五十嵐健太	
	45才	白木耕太郎	貫井智一	厚川勇	
		近藤盾	宗形一志	江川博康	
	50才	落合久夫	小林賢治	奥山順一	
		落合康夫	小池博幸	中島正雄	
	55才	有賀一秀	高橋栄一	加藤伊佐武	
		池田隆治	山村徳太郎	佐々木昭孝	
	60才	川村啓三	内田淳吉	殿川宣勝	
		古明地正邦	松井秋男	千葉健夫	
	70才	土佐泰一	久野貞夫	石松清史	
		鏑木興司	賀田昭夫	斉郷秀一	
23	1部	小椋正樹	豊将大	中島真実	藤本ホセマリ
		市野貴康	福島友朗	大貫勝	金子翔悟
	30才	高麗清	陶山敏樹	齋藤悠輔	
		吉開亮介	鈴木利之	大河原正晴	
	35才	大越岳	舟木康司	門井誠	若松広明
		鈴木祥	秋元宏之	増田朋之	大塚龍義
	40才	加藤孝	貫井智一	村上勝	阪野誠司
		荒木康伸	江連秀敏	青木勇児	嘉村浩
	45才	白木耕太郎	吉田悟	辻澤康弘	
		近藤盾	塚野英樹	後藤隆史	
	50才	小林賢治	奥山順一	岡本和夫	
		小池博幸	中島正雄	原章智	
	55才	佐藤衛	菊池泰次郎	浅見初男	
		酒井昌男	山城譲治	山村徳太郎	
	60才	川村啓三	北守進		
		古明地正邦	松田修一		

（女子）

種目	優勝	準優勝	第３位	
65才	小守一枝	竜至晶子	小田中栄子	
	遠田マチ子	河西悦子	下田睦子	
70才	佐々木洋子	大神田みね子	栗山トミ江	
	山田ミヨ子	野本泉	平野孝子	
1部	山田裕美	浦川佳子	小坂志保	
	佐々木亜美	鈴木亜弥子	滝内由香里	
30才	田制杏佐子	内藤智佐	鈴木里恵	
	浅野加奈子	高山絵美子	柴田真理子	
35才	土屋展子	笠原朋美	渡辺澄世	
	岩井直子	上田彰子	豊泉久美子	
40才	上田晴世	若月美智子	野口朱美	
	千葉昌恵	福島美紀子	森眞由美	
45才	工藤なおみ	佐藤正恵	小庭洋子	
	平兮章子	持田めぐみ	須田美由喜	
50才	藤本雅子	市田礼子	松本眞佐美	
	松村美智子	東瑠美子	板倉美智恵	
55才	矢代信子	松林則子	木伏千鶴子	
	大野明美	向笠澄子	梯栄子	
60才	宮本容子	三住登喜子	阿部智恵	
	米口順子	服部花子	赤木千佳子	
65才	松屋美智子	大平ヒサ	小田中栄子	
	村田眞砂子	遠田マチ子	下田睦子	
70才	野本泉	佐々木洋子	平野孝子	
	栗山トミ江	山田ミヨ子	神恵子	
1部	野島律子	西山久美子	樋口寛子	
	比留川夕子	小見山咲枝	謝☒☒	
30才	今井早由里	田制杏佐子	一戸和美	
	川井麻沙子	浅野加奈子	木薮玉枝	
35才	土屋展子	田中亜希子	高木朋子	
	冨田ゆかり	高倉あゆみ	鈴木理恵	
40才	野口朱美	上田晴世	山本泉	
	森眞由美	千葉昌恵	榊登司子	
45才	工藤なおみ	佐藤正恵	小庭洋子	
	平兮章子	持田めぐみ	須田美由喜	
50才	遠江久美子	藤本雅子	清水ゆかり	
	上田佳代子	松村美智子	谷垣ゆう子	
55才	矢代信子	松林則子	田倉テイ子	
	大野明美	向笠澄子	国府田春美	
60才	光中博美	米口順子	三住登喜子	
	米望幸子	堀口廣美	服部花子	
65才	森本浩子	松尾美智子	篠光子	
	村田和子	村田眞砂子	伊藤昌子	
1部	亀田楓	岡田彩菜	遠藤紗菜	明田由佳
	関川容子	白井千都	手塚陽菜	仲丸雪乃
30才	田制杏佐子	今井早由里	岡本麻貴子	
	浅野加奈子	守尾麻沙子	笹田麻耶	
35才	土屋展子	山田希巳江	倉重友美	
	冨田ゆかり	平本友美	福田弓子	
40才	大島実穂	石原美香子	野口朱美	
	高崎朋子	佐々木静子	森眞由美	
45才	上田晴世	岡村敦子	佐藤正恵	
	千葉昌恵	村岡稔子	持田めぐみ	
50才	藤本雅子	菊池葉子	渡辺恵子	
	松村美智子	花岡久仁子	遠江久美子	
55才	矢代信子	小林裕子	市田礼子	
	大野明美	秋山昭子	山田ひとみ	
60才	寺本秋子	木暮美千子	米口順子	
	横倉民子	直井むつ子	堀口廣美	

■ 東京都ダブルス選手権大会

（男子）

年	種目	優勝	準優勝	第３位	
(23)	65才	島田　稔	殿川宣勝		
		松崎正門	千葉健夫		
24	1部	三上紘由	小博正樹	藤本ホセマリ	井手和宏
		下川裕一	市野貴康	金子翔悟	細野泰弘
	30才	伴野仁郎	松尾邦正	高麗　清	坂本康市朗
		三宅悠介	多田崇史	吉開亮介	坂本茂行
	35才	柳川正紀	合田洋平	秋元宏之	深尾　昇
		石川竜太	末次　司	藤城武久	大塚龍義
	40才	吉田貞雄	多田信之	大和田　勉	加藤　孝
		藤瀬一郎	光永暢宏	青木勇児	武田　享
	45才	貫井智一	白木耕太郎	若月滋人	
		江連秀敏	近藤　盾	内村　実	
	50才	厚川　勇	小林賢治	岡本和夫	
		江川博康	小池博幸	原　章智	
	55才	清水正紀	佐藤　衛	有賀一秀	
		柳　敬三	酒井昌男	池田隆治	
	60才	高橋栄一	阿佐野　康	山本義正	
		山村徳太郎	佐藤　正	渡辺敏夫	
	65才	内田淳吉	殿川宣勝		
		松井秋男	小西敬介		
25	一般	石川佳樹	三上紘由	市野貴康	平川大貴
		小池直樹	下川裕一	西村昭彦	池亀哲哉
	30才	斎藤悠輔	坂本康市朗	高麗　清	
		大河原正晴	坂本茂行	吉開亮介	
	35才	秋元宏之	合田洋平	大塚龍義	門井　誠
		田中精一	山口智史	大越　岳	増田朋之
	40才	佐藤隆昭	坂崎真一	多田信之	奥出裕充
		茜ヶ久保拓生	塚田忠伸	光永暢宏	巽　弘樹
	45才	清水保則	宗形一志	白木耕太郎	貫井智一
		谷地舘　渉	宮本道雄	近藤　盾	江連秀敏
	50才	岩井昭治	山崎　孝	村上　勝	
		佐藤次郎	辻澤康弘	後藤隆史	
	55才	阿佐野　康	岡本和夫	加藤伊佐武	
		池田隆治	原　章智	佐々木昭孝	
	60才	高橋栄一	倉田　章		
		山村徳太郎	中津不二雄		
	65才	松井秋男	小西敬介		
		菊池泰次郎	磯部庄三		
26	一般	小池直樹	山田雄一	井上知也	西村昭彦
		中木広大	石川佳樹	池亀哲哉	竹内雅明
	30才	斎藤悠輔	坂本康市朗	吉永正太郎	白坂正輝
		大河原正晴	坂本茂行	国島正義	小野正善
	35才	赤嶺隼人	秋元宏之	中澤伸人	
		田中精一	加藤　譲	藤城武久	
	40才	榎本堅一	加藤　孝	多田信之	笠原　徹
		舟木康司	武田　享	光永暢宏	佐藤由喜夫
	45才	清水保則	下野博栄	正田章二	白石　悟
		谷地舘　渉	石田　満	木下昌幸	中村昌彦
	50才	山崎　孝	落合久夫	花岡嗣夫	
		白木耕太郎	神谷敏幸	佐藤次郎	
	55才	奥山順一	石原泰造	森泉康俊	
		中島正雄	渡辺　透	浪岡久志	
	60才	阿佐野　康	倉田　章	山城譲治	
		山村徳太郎	佐藤　正	有賀一秀	
	65才	松井秋男	川村啓三		
		菊池泰次郎	古明地正邦		

（女子）

種目	優勝	準優勝	第３位	
65才	森本浩子	篠　光子	河本和枝	
	村田和子	伊藤昌子	田中洋子	
1部	石橋律子	和田しおり	上山さやか	西山久美子
	金森裕子	梅澤友里	中井川美奈	小見山咲枝
30才	田制杏佐子	野辺加恵	木蔵三枝	
	浅野加奈子	甲斐千鶴子	守尾麻沙子	
35才	野中栄子	田中亜希子	松本洋子	
	豊泉久美子	高倉あゆみ	谷　順子	
40才	大島実穂	石原美香子	野口朱美	堀池由紀子
	高崎朋子	佐々木静子	土屋展子	鈴木理恵
45才	工藤なおみ	笹林朋子	増田智恵	
	平兮章子	宮本美絵	中野貴子	
50才	小庭洋子	菊池葉子	藤本雅子	久保田千賀
	須田美由喜	花岡久仁子	中津恵美	丸茂みどり
55才	大野明美	小谷章子		
	国府田春美	松本眞佐美		
60才	田倉テイ子	井戸宣子		
	矢代信子	宮崎美江子		
65才	宮本容子	森本浩子		
	米口順子	村田和子		
一般	神田織恵	山田多恵	明田由佳	上村苑子
	石関彩乃	西山久美子	小見山咲枝	岩岡真由美
30才	山崎志保	民野ゆきえ	竹内英子	
	甲斐千鶴子	石田麻依	三上容子	
35才	樋口寛子	田制杏佐子	大島晶子	
	田中泰子	浅野加奈子	鬼頭美緒	
40才	大島実穂	土屋展子	笠原朋美	石原美香子
	高崎朋子	岩井直子	今井早由里	佐々木静子
45才	上田佳代子	多田慶子	綾野志穂	上田晴世
	工藤なおみ	山田眞由美	原田貴子	千葉昌恵
50才	福島伊津子	菊池葉子	中村恒子	田中洋子
	木城桂子	花岡久仁子	佐々木裕子	佐藤正恵
55才	有賀みどり	小谷章子		
	河野仁美	松本眞佐美		
60才	宮崎美江子	朴　初恵	関口陽子	
	宮川美恵子	木伏千鶴子	福田聡子	
70才	龍至晶子	松屋美智子		
	篠　光子	村田眞砂子		
一般	神　ゆかり	明田由佳	神田織恵	荒木久世
	馬上愛実	小見山咲枝	山本架奈子	岡田彩菜
30才	野辺加恵	菅原智子	柴田展子	
	坂口千鶴子	力丸英子	山崎志保	
35才	竹内　郁	田中泰子	田制杏佐子	
	笹田麻耶	高麗直子	加藤加奈子	
40才	今井早由里	渡辺澄世	梅澤峰子	島崎朋子
	石橋律子	豊泉久美子	内藤智佐	深見妙子
45才	上田彰子	野口朱美	上田晴世	若月美智子
	佐々木静子	森　眞由美	千葉昌恵	福島美記子
50才	菊池葉子	佐藤正恵	中村恒子	工藤なおみ
	上田佳代子	持田めぐみ	佐々木裕子	平兮章子
55才	香川昌子	小谷章子	土谷優美	
	渡辺恵子	松本眞佐美	菅谷尚子	
60才	田倉テイ子	大野富美子	宮崎美江子	
	矢代信子	大野明美	宮川美恵子	
65才	木下澄子	上方良江		
	市川典子	高橋久子		

■ 東京都ダブルス選手権大会

(男子)

年	種目	優勝	準優勝	第３位
27	一般	小池直樹	西村昭彦	山田雄一
		中木広大	福嶋友朗	石川佳樹
	30才	力丸和宏	越智大介	後藤浩一
		辻田嘉章	赤堀豊	西平工
	35才	合田洋平	平子将太	齋藤悠輔
		山口智史	中岡晃啓	大河原正晴
	40才	榎本堅一	塚田忠伸	佐藤隆昭
		舟木康司	福田学	佐藤由喜夫
	45才	白石悟	飯塚弘人	清水保則
		中村昌彦	谷口泰教	谷地舘渉
	50才	吉田浩和	宗形一志	白木耕太郎
		石村協弥	宮本道雄	近藤盾
	55才	小池博幸	奥山順一	小林静男
		神谷敏幸	中島正雄	落合久夫
	60才	森泉康俊	有賀一秀	倉田章
		浪岡久志	佐々木昭孝	佐藤正
	65才	松井秋男	内田淳吉	安藤功
		菊池泰次郎	殿川宣勝	阿部正行
28	一般	青木天将	平川大貴	西村昭彦
		小池直樹	上原幸也	福島友朗
	30才	牛島俊和	石崎渉	多田崇史
		下島怜	森川政人	熊本英治
	35才	浅野記生	高麗清	齋藤悠輔
		中岡晃啓	吉開亮介	大河原正晴
	40才	榎本堅一	佐藤隆昭	武田享
		舟木康司	佐藤由喜夫	中島真実
	45才	若月滋人	下野博栄	飯塚弘人
		豊泉輝彦	石田満	谷口泰教
	50才	宗形一志	吉田浩和	佐藤次郎
		宮本道雄	石村協弥	石田世一
	55才	星野芳博	小林賢治	田勢隆
		山崎孝	大和田勉	古木智之
	60才	清水正紀	倉田章	森泉康俊
		柳敬三	山村徳太郎	浪岡久志
	65才	北守進	殿川宣勝	安藤功
		松田修一	松井秋男	阿部正行

(女子)

種目	優勝	準優勝	第３位
一般	荒木久世	明田由佳	神田織恵
	岡田彩菜	小見山咲枝	山本梨奈子
30才	石橋律子	打越弥生	荒真喜子
	比留川夕子	浅井陽子	藤岡奈津美
35才	藤城和香子	竹内郁	木暁三枝
	西城真理子	笹田麻耶	田制杏佐子
40才	渡辺澄世	斉尾泰子	熊澤恵里
	豊泉久美子	藤森美恵	竹内志麻
45才	大島実穂	多田慶子	島崎朋子
	高崎朋子	山田眞由美	深見妙子
50才	工藤なおみ	山下博子	中村恒子
	平兮章子	持田めぐみ	佐々木裕子
55才	菊池葉子	香川昌子	藤平智子
	上田佳代子	渡辺恵子	大平操
60才	梯栄子	宮崎美江子	大野富美子
	市田礼子	宮川美恵子	大野明美
65才	直井むつ子	藤條禎子	三住登喜子
	寺本秋子	桑山栄子	服部花子
一般	甲斐夏美	西村由佳	遠山祐紀
	川崎幸優	佐藤咲枝	小野寺香菜
30才	柴田展子	山崎志保	力丸英子
	大渕真紀	磯部静	菅原智子
35才	田制杏佐子	大森美菜子	藤原由里
	石田麻依	齋藤久美子	民野ゆきえ
40才	今井早由里	関根奈津子	渡辺澄世
	多田寛子	土屋藍子	豊泉久美子
45才	大島実穂	野田慶子	斉尾泰子
	高崎朋子	土屋展子	藤森美恵
50才	上田晴世	小堂順子	山下博子
	千葉昌恵	柏谷晴美	持田めぐみ
55才	福島伊津子	花岡久仁子	菊池葉子
	木城桂子	中津恵美	上田佳代子
60才	宮崎美江子	小林裕子	平田京子
	宮川美恵子	秋山昭子	有賀みどり
65才	直井むつ子	横倉民子	浜田久恵
	寺本秋子	田倉テイ子	塩澤はるみ

東京都混合ダブルス選手権大会

年	種目	優勝	準優勝	第３位
平成9	１部	戸祭／岩田	野口／菅野	荒木／千葉
	２部	千葉／大村	小池／井上	石田／菊地
	３部	佐藤／上田	倉田／佐々木	小宮山／前田
	４部	松井／小守	殿川／三住	千葉／宮本
	５部	高田／大平	花岡／池田	上田／根岸
10	１部	貫井智一	峰岸康史	荒木康伸
		城戸真知子	椿　理恵	千葉昌恵
	２部	小池博幸	奥山勝実	佐瀬明彦
		井上敦子	下野由美子	佐々木裕子
	３部	小宮山清志	春日秀夫	倉田　章
		宮崎綾子	春日純子	佐々木美知子
	４部	久富一義	美川雅寛	村田俊夫
		岡田啓子	美川久子	矢野節子
	５部	久野貞夫	上田益弘	斉郷秀一
		大神田みね子	根岸知子	前田規子
11	１部	渡辺清一	村上　勝	曽根大勝
		今川　静	土屋展子	千葉昌恵
	２部	磯　孝男	小川裕介	後藤　勝
		磯　美和	白土久美子	重松まゆみ
	３部	佐藤　正	中島正雄	小宮山清志
		土田美加	太田京子	宮崎綾子
	４部	北本清行	川村啓三	内田淳吉
		村田和子	横田陽子	堀内廣美
	５部	石松清史	久野貞夫	
		山田ミヨ子	大神田みね子	
12	１部	峰岸康史	土屋憲法	石川竜太
		椿　理恵	土屋藍子	毛利亜希子
	２部	笹林義春	石田世一	平兮　忍
		笹林朋子	菊地朋子	平兮章子
	３部	清水正紀	落合康夫	吉岡英二
		清水ゆかり	佐藤裕美子	安藤まゆみ
	４部	北本清行	前田　洋	川村啓三
		村田和子	米望幸子	横田陽子
	５部	高田秀直	小川　弘	石松清史
		大神田みね子	池田公子	山田ミヨ子
13	１部	藤城武久	富田岳彦	野口　聡
		千葉昌恵	橋本ゆかり	菅野純世
	２部	笹林義春	多田信之	渡辺春男
		笹林朋子	多田慶子	国府田春美
	３部	中津不二雄	山村徳太郎	清水正紀
		中津恵美	佐藤利子	清水ゆかり
	４部	古明地正邦	千葉健夫	島田　稔
		中谷祥子	織田啓子	田倉テイ子
	５部	岩本道雄	鏑木興司	高田秀道
		渡辺洋子	山田ミヨ子	大神田みね子
14	１部	深尾　昇	大塚龍義	平山卓哉
		深尾亮子	樋口寛子	竹内　郁
	２部	貫井智一	吉田貞雄	多田信之
		城戸真知子	長澤理江子	多田慶子
	３部	山村徳太郎	後藤　勝	中津不二雄
		佐藤利子	重松まゆみ	中津恵美
	４部	倉田　章	加藤　渡	小沢一寿
		佐々木美和子	梯　栄子	小沢京子
	５部	島田　稔	古明地正邦	小野伸夫
		田倉テイ子	中谷祥子	宮崎美江子
	７部	久野貞夫	鏑木興司	岩本道雄
		大平ヒサ	山田ミヨ子	渡辺洋子

年	種目	優勝	準優勝	第３位
15	１部	平山卓哉	村上　勝	深尾　昇
		竹内　郁	土屋展子	深尾亮子
	２部	佐藤次郎	宮本道雄	貫井智一
		岩井直子	宮本美絵	城戸真知子
	３部	神谷敏幸	磯　孝男	小宮山清史
		佐々木裕子	磯　美和	安田由香
	４部	倉田　章	原　章智	小林静男
		佐々木美和子	松本眞佐美	有賀みどり
	５部	島田　稔	古明地正邦	小野伸夫
		田倉テイ子	中谷祥子	宮崎美江子
	６部	松井秋男	村田俊夫	伊藤孝志
		岡田敬子	矢野節子	吉見重子
	７部	簑　栄三	加藤徳重	徳保　勝
		小守一枝	横田陽子	村田眞砂子
16	１部	下川裕一	武田　享	斉藤尚之
		謝　婷婷	上山さやか	大塚寛子
	２部	貫井智一	佐藤次郎	山田武也
		城戸真知子	岩井直子	山田真由美
	３部	白木耕太郎	北村喬樹	神谷敏幸
		工藤なおみ	持田めぐみ	佐々木裕子
	４部	原　章智	小林静男	柳　敬三
		松本眞佐美	有賀みどり	国府田春美
	５部	倉田　章	小野伸夫	阿佐野　康
		佐々木美知子	宮崎美江子	宮崎綾子
	６部	古明地正邦	北本清行	千葉健夫
		中谷祥子	村田和子	織田啓子
	７部	星野義昭	秋山友行	鏑木興司
		大平ヒサ	稲村満智子	山田ミヨ子
17	１部	下川裕一	簑　浩之	富田岳彦
		謝　婷婷	西城真理子	森　眞由美
	２部	貫井智一	宮本道雄	渡部　聡
		城戸真知子	宮本美絵	手塚ひとみ
	３部	笹林義春	柳　敬三	白木耕太郎
		笹林朋子	佐藤利子	工藤なおみ
	４部	原　章智	清水正紀	小沢一寿
		松本眞佐美	清水ゆかり	小沢京子
	５部	加藤伊佐武	阿佐野　康	小宮山清志
		梯　栄子	木伏千鶴子	鈴木あい子
	６部	古明地正邦	川村啓三	渡辺義行
		中谷祥子	米望幸子	光中博美
	７部	殿川宣勝	秋山友行	倉田繕箕
		篠原まさ子	木村笑美子	稲村満智子
	８部	亀田武志	鏑木興司	斉郷秀一
		矢頭佐代子	山田ミヨ子	永田紀代枝
18	１部	下川裕一	會澤真之介	舟木康司
		神　ゆかり	荻山麻依	渡辺夕子
	２部	石田　純	多田信之	下野博栄
		山田裕美	多田慶子	野口朱美
	３部	白木耕太郎	柳　敬三	辻沢康弘
		工藤なおみ	佐藤利子	岡村敦子
	４部	山崎　孝	中津不二雄	原　章智
		松村美智子	中津恵美	松本眞佐美
	５部	山村徳太郎	加藤伊佐武	小宮山清志
		国府田春美	梯　栄子	宮崎綾子
	６部	阿佐野　康	川村啓三	古明地正邦
		田倉テイ子	米望幸子	中谷祥子
	７部	千葉健夫	松井秋男	中村三男
		織田啓子	横渡千鶴子	岡本順子
	８部	亀田武志	鏑木興司	賀田昭夫
		矢頭佐代子	山田ミヨ子	渡辺洋子

■ 東京都混合ダブルス選手権大会

年	種目	優勝	準優勝	第３位	
19	１部	下川裕一	井出和宏	會澤真之介	
		神ゆかり	千葉昌恵	佐々木亜美	
	30才	冨田岳彦	野辺将司	中島真実	
		森眞由美	百丸和香子	樋口寛子	
	35才	藤森隆	笠原徹	下野博栄	
		土屋展子	笠原朋美	野口朱美	
	40才	長谷見正明	佐竹利夫	篠原良友	
		石原美香子	持田めぐみ	城戸真知子	
	45才	手塚浩志	森泉康俊	谷堂繁利	
		谷垣ゆう子	石井昌美	木城桂子	
	50才	山村徳太郎	加藤伊佐武	小林静男	
		国府田春美	梯栄子	藤本雅子	
	55才	阿佐野康	小野伸夫	佐藤正	
		田倉テイ子	宮崎美江子	土田美加	
	60才	松井秋男	殿川宣勝	千葉健夫	
		米口順子	篠原まさ子	織田啓子	
	65才	鏑木興司	賀田昭夫		
		大平ヒサ	渡辺洋子		
	70才	石松清史	須田和臣	斉郷秀一	
		山田ミヨ子	青木芳子	谷絢子	
20	１部	下川裕一	柴原啓紀	中島真実	山崎高広
		西城真理子	松田奈穂	樋口寛子	仲丸雪乃
	30才	石田純	舟木康司	近藤盾	斉藤尚之
		山田裕美	木藪三枝	柴田真理子	高山絵美子
	35才	藤森隆	豊泉輝彦	古谷恵一	佐久間誠二
		土屋展子	豊泉久美子	大島実穂	野中栄子
	40才	塚野英樹	多田信之	神谷敏幸	加藤孝
		佐々木裕子	多田慶子	持田めぐみ	堤弘子
	45才	柳敬三	手塚浩志	佐藤次郎	中島正雄
		佐藤利子	谷垣ゆう子	城戸真知子	東瑠美子
	50才	落合久夫	原章智	岩崎修二	酒井昌男
		国府田春美	松本眞佐美	有賀みどり	松村美智子
	55才	山村徳太郎	小野伸夫	高橋栄一	北守進
		土田美加	宮崎美江子	阿部良子	村田章子
	60才	松井秋男	千葉健夫	内田淳吉	殿川宣勝
		米口順子	織田啓子	矢野節子	篠原まさ子
	65才	島田稔	鏑木興司	賀田昭夫	長内武道
		小守一枝	大平ヒサ	渡辺洋子	加藤敏子
	70才	石松清史	上田益弘	遠藤正市	大沼悌一
		山田ミヨ子	大神田みね子	絵面保子	橋村和子
21	一般	市野貴康	垰畑亮太	白藤翔	山崎高広
		鈴木知佳	菅野友	小野悠奈	仲丸雪乃
	30才	深尾昇	石田純	福田学	小笠原圭吾
		深尾亮子	山田裕美	福田弓子	笹田麻耶
	35才	藤森隆	吉田貞雄	佐藤隆昭	豊泉輝彦
		土屋展子	長澤理江子	今井早由里	豊泉久美子
	40才	塚野英樹	多田信之	石田満	荒木康伸
		佐々木裕子	多田慶子	森眞由美	福島美記子
	45才	白木耕太郎	佐藤次郎	野口清	谷堂繁利
		工藤なおみ	城戸真知子	今仲由香里	木城桂子
	50才	小池博幸	酒井昌男	中島正雄	加藤伊佐武
		藤本雅子	松村美智子	東留美子	梯栄子
	55才	山村徳太郎	阿佐野康	倉田章	平山政吉
		土田美加	宮崎綾子	佐々木美知子	平山きみ枝
	60才	北本清行	北守進	殿川宣勝	清水則幸
		村田和子	村田章子	織田啓子	塚田敦子
	65才	島田稔	倉田禮貴	長内武道	鏑木興司
		小守一枝	松屋美智子	加藤敏子	大平ヒサ
	70才	齋郷秀一	大澤勢一	石松清史	上田益弘
		太田知江子	玉井紀子	絵面保子	大神田みね子

年	種目	優勝	準優勝	第３位	
22	１部	宮本大地	小博正樹	中島真実	
		樋口寛子	西山久美子	濱道明日香	
	30才	舟木康司	深尾昇	中澤伸人	
		木藪三枝	深尾亮子	藤城和香子	
	35才	台田洋平	武田享	斉藤尚之	
		永春玲子	相澤峰子	今井早由里	
	40才	野村幸一	多田信之	下野博栄	
		上田彰子	多田慶子	石原美香子	
	45才	佐藤次朗	近藤盾	白木耕太郎	
		城戸真知子	持田めぐみ	工藤なおみ	
	50才	小池博之	落合久夫	酒井昌男	
		藤本雅子	神千恵美	松村美智子	
	55才	浪岡久志	山村徳太郎	阿佐野康	
		国府田春美	土田美加	田倉テイ子	
	60才	松井秋男	千葉健夫	北本清行	
		米口順子	浜田久恵	堀口廣美	
	65才	殿川宣勝	内田淳吉	中村三男	
		篠原まさ子	村田和子	岡本順子	
	70才	鏑木興司	石松清史		
		大神田みね子	絵面保子		
23	１部	藤田真生	中島真実	西村昭彦	小博正樹
		堀川実穂	濱道明日香	明田由佳	西山久美子
	30才	鈴木利之	山口智史	大河原正晴	吉開亮介
		石田麻依	笹田麻耶	田制香佐子	山崎志保
	35才	深尾昇	藤森隆	台田洋平	豊泉輝彦
		深尾亮子	土屋展子	永春玲子	豊泉久美子
	40才	光永暢宏	峰岸康史	荒木康伸	吉谷恵一
		野口朱美	千葉昌恵	山田眞由美	大島実穂
	45才	白木耕太郎	佐藤次郎	近藤盾	森下明
		工藤なおみ	城戸真知子	土田佳代子	千葉美奈子
	50才	神谷敏幸	大和田勉	落合久夫	奥山順一
		佐藤正恵	中津恵美	菊池葉子	田中洋子
	55才	倉田章	浪岡久志	山村徳太郎	
		佐々木美智子	国府田春美	土田美加	
	60才	阿佐野康	松井秋男	千葉健夫	
		田倉テイ子	米口順子	浜田久恵	
	65才	殿川宣勝	内田淳吉		
		篠原まさ子	木村笑美子		
	70才	鏑木興司	石松清史		
		青木芳子	絵面保子		
24	１部	福島友朗	小池直樹	藤本ホセマリ	浦井唯行
		鈴木温子	神田織恵	石橋律子	武末彩花
	30才	鈴木利之	吉永正太郎	石原信之	三宅悠介
		石田麻依	市橋理恵	松澤香奈子	守尾麻沙子
	35才	富田岳彦	舟木康司	台田洋平	若松広明
		富田ゆかり	木藪三枝	梅澤峰子	高崎朋子
	40才	正田章二	荒木康伸	村上勝	多田信之
		上田彰子	山田眞由美	土屋展子	多田慶子
	45才	関羽永康	佐藤次郎	横澤隆行	
		持田めぐみ	佐藤真知子	柏谷晴美	
	50才	中津不二雄	原章智	山崎孝	
		中津恵美	松本眞佐美	松村美智子	
	55才	浪岡久志	倉田章	小宮山清志	
		国府田春美	佐々木美知子	前田春美	
	60才	山村徳太郎	佐藤正	渡辺敏夫	
		土田美加	矢代順子	阿部良子	
25	１部	小池直樹	小博正樹	白藤翔	藤本ホセマリ
		神田織恵	西山久美子	関申由美	石橋律子
	30才	平子将大	吉永正太郎	三宅悠介	
		比留川夕子	市橋理恵	守尾麻沙子	

■ 東京都混合ダブルス選手権大会

年	種目	優勝		準優勝		第３位	
(25)	35 才	中澤	伸人	舟木	康司	藤城	武久	佐藤	憲策
		藤城	和香子	田制	杏佐子	高井	今日子	佐藤	美帆子
	40 才	藤森	隆	下谷	健夫	古谷	恵一	光永	鵬宏
		今井	早由里	上田	彰子	大島	実穂	鈴木	理恵
	45 才	多田	信之	石田	世一	鈴木	慎也	下野	博栄
		多田	慶子	中村	恒子	斎藤	晶子	春名	亜紀子
	50 才	佐藤	次郎	中島	正雄	山崎	孝	神谷	敏幸
		佐藤	真知子	須田	美由喜	小庭	洋子	佐藤	正恵
	55 才	落合	久夫	加藤	伊佐武	小宮山	清志		
		松村	美智子	梯	栄子	前田	春美		
	60 才	浅見	初男	阿佐野	康	小野	伸夫		
		藤本	雅子	田倉	テイ子	宮崎	美江子		
	65 才	松井	秋男	殿川	宣勝				
		米口	順子	篠原	まさ子				
26	一般	西村	昭彦	小椋	正樹	竹内	雅明	中木	広大
		明田	由佳	小見山	咲枝	山本	架奈子	小野	悠奈
	30 才	平子	将太	三宅	悠介	鈴木	利之	坂本	康市朗
		比留川	夕子	守尾	麻沙子	石田	麻依	山崎	志保
	35 才	中澤	伸人	舟木	康司	福田	学		
		藤城	和香子	木蔽	三枝	田制	杏佐子		
	40 才	荒木	康伸	関根	崇	合田	洋平	藤森	隆
		松本	洋子	鈴木	理恵	梅澤	峰子	今井	早由里
	45 才	正田	章二	多田	信之	中村	昌彦	峯岸	康史
		上田	彰子	多田	慶子	佐々木	静子	千葉	昌恵
	50 才	佐藤	次郎	柳	敬三	大和田	勉	中島	正雄
		佐藤	真知子	佐藤	利子	中津	恵美	須田	美由喜
	55 才	森泉	康俊	酒井	昌男	岩崎	修二		
		石井	昌美	清水	ゆかり	東	瑠美子		
	60 才	倉田	章	山村	徳太郎	村上	英紀		
		佐々木	美知子	土田	美加	濱	よしこ		
27	一般	小池	直樹	福嶋	友朗	西村	昭彦		
		神田	織恵	石関	彩乃	明田	由佳		
	30 才	力丸	和宏	鈴木	利之	多田	崇史		
		菅原	智子	石田	麻依	樋口	寛子		
	35 才	大河原	正晴	舟木	康司	松尾	邦正		
		西城	真理子	木蔽	三枝	岡本	麻貴子		
	40 才	藤森	隆	豊泉	輝彦	関根	崇		
		今井	早由里	豊泉	久美子	鈴木	理恵		
	45 才	貫井	智一	鈴木	慎也	篠原	良友		
		堀池	由紀子	斎藤	晶子	篠原	尚子		
	50 才	宗形	一志	佐藤	次郎	白木	耕太郎		
		平兮	章子	佐藤	真知子	工藤	なおみ		
	55 才	神谷	敏幸	落合	康夫	原	章智		
		上田	佳代子	香川	昌子	松本	眞佐美		
	60 才	倉田	章	松口	金彦	阿部	伸一		
		佐々木	美和子	市田	礼子	鈴木	節子		
28	一般	福嶋	友朗	小池	直樹	西村	昭彦		
		石関	彩乃	小池	織恵	西村	由佳		
	30 才	牛島	俊和	縄田	浩幸	力丸	和宏		
		馬詰	由美子	山浦	沙織	菅原	智子		
	35 才	鈴木	利之	舟木	康司	大河原	正晴		
		石田	麻依	木蔽	三枝	西城	真理子		
	40 才	中島	真実	榎本	堅一	大貫	勝		
		永春	玲子	高崎	朋子	土屋	藍子		
	45 才	正田	章二	村上	勝	高山	治己		
		鈴木	十美子	土屋	展子	川崎	美以		
	50 才	宮本	道雄	佐藤	次郎	村上	知也		
		宮本	美絵	佐藤	真知子	千葉	美奈子		
	55 才	大和田	勉	落合	久夫	原	章智		
		中津	恵美	松村	美智子	松本	眞佐美		

年	種目	優勝		準優勝		第３位	
(28)	60 才	小林	静男	松口	金彦	加藤	伊佐武
		藤本	雅子	市田	礼子	梯	栄子

東京都民大会成績（男子の部）

年度	回数	1 位	2 位	3 位	4 位	ベ ス ト 8	参加地区数
S 30	8	北　区	中央区	練馬区	杉並区	(千代田区・港区・台東区・中野区)	10
31	9						
32	10						
33	11	大田区					
34	12	千代田区	目黒区	渋谷区	台東区	(中野区・世田谷区・中央区・練馬区)	18
35	13	中央区	千代田区	中野区	台東区	(大田区・目黒区・豊島区・渋谷区)	20
36	14	中央区	千代田区	豊島区	杉並区	(世田谷区・目黒区・台東区・渋谷区)	23
37	15	千代田区	豊島区	練馬区	大田区	(葛飾区・足立区・港区・渋谷区)	20
38	16	中央区	港　区	江東区	台東区	(武蔵野市・新宿区・目黒区・豊島区)	23
39	17	東京オリンピックのため中止					
40	18	大田区	豊島区	目黒区	北　区	(葛飾区・品川区・板橋区・荒川区)	25
41	19	千代田区	大田区	新宿区	港　区	(文京区・墨田区・目黒区・台東区)	28
42	20	千代田区	大田区	練馬区	江東区	(台東区・墨田区・国分寺市・文京区)	29
43	21	目黒区	台東区	千代田区	大田区	(文京区・江東区・練馬区・国分寺市)	35
44	22	台東区	葛飾区	大田区	練馬区	(文京区・江東区・新宿区・国分寺市)	33
45	23	台東区	目黒区	北　区	豊島区	(千代田区・大田区・葛飾区・調布市)	33
46	24	目黒区	台東区	千代田区	大田区	(豊島区・北区・葛飾区・調布市)	37
47	25	目黒区	練馬区	台東区	荒川区	(豊島区・大田区・江東区・調布市)	38
48	26	目黒区	葛飾区	千代田区	品川区	(豊島区・文京区・杉並区・北区)	39
49	27	台東区	目黒区	港　区	品川区	(千代田区・葛飾区・杉並区・北区)	43
50	28	台東区	目黒区	品川区	小平市	(千代田区・港区・豊島区・江戸川区)	43
51	29	台東区	目黒区	(練馬区・品川区)		(大田区・港区・杉並区・小平市)	44
52	30	台東区	目黒区	品川区	中野区	(千代田区・文京区・練馬区・江戸川区)	44
53	31	台東区	目黒区	品川区	千代田区	(町田市・文京区・中野区・大田区)	43
54	32	台東区	江戸川区	品川区	中央区	(大田区・千代田区・調布市・目黒区)	40
55	33	台東区	大田区	目黒区	品川区	(練馬区・中央区・府中市・文京区)	42
56	34	台東区	大田区	品川区	練馬区	(新宿区・杉並区・江戸川区・町田市)	46
57	35	台東区	目黒区	江戸川区	国立市	(文京区・江東区・品川区・渋谷区)	44
58	36	台東区	目黒区	(大田区・江戸川区)		(渋谷区・千代田区・江東区・文京区)	41
59	37	(台東区・目黒区)		(大田区・江戸川区)		(文京区・江東区・渋谷区・豊島区)	45
60	38	(大田区・江戸川区)		(品川区・目黒区)		(江東区・渋谷区・練馬区・小平市)	47
61	39	文京区	江戸川区	(品川区・目黒区)		(台東区・江東区・練馬区・八王子市)	46
62	40	文京区	江戸川区	(台東区・八王子市)		(江東区・武蔵野市・東村山市・多摩市)	45
63	41	江戸川区	足立区	(港　区・台東区)		(杉並区・大田区・中野区・小平市)	42
H1	42	台東区	文京区	(渋谷区・杉並区)		(港区・江東区・目黒区・江戸川区)	39
2	43	練馬区	渋谷区	(大田区・文京区)		(八王子市・江東区・足立区・調布市)	44
3	44	港　区	世田谷区	(目黒区・足立区)		(渋谷区・中野区・江戸川区・調布市)	46
4	45	港　区	練馬区	(台東区・世田谷区)		(品川区・足立区・江戸川区・八王子市)	48
5	46	台東区	江戸川区	(八王子市・足立区)		(港区・世田谷区・品川区・練馬区)	47
6	47	江東区	台東区	(杉並区・目黒区)		(練馬区・墨田区・武蔵野市・品川区)	46
7	48	台東区	江東区	(練馬区・江戸川区)		(品川区・杉並区・町田市・武蔵野市)	46
8	49	台東区	練馬区	(品川区・武蔵野市)		(杉並区・板橋区・町田市・足立区)	46
9	50	練馬区	台東区	(目黒区・杉並区)		(足立区・府中市・品川区・武蔵野市)	46
10	51	武蔵野市	町田市	(練馬区・江東区)		(杉並区・台東区・足立区・品川区)	45
11	52	練馬区	目黒区	(町田市・品川区)		(台東区・渋谷区・杉並区・武蔵野市)	45
12	53	練馬区	台東区	(文京区・武蔵野市)		(三鷹市・杉並区・町田市・調布市)	45
13	54	町田市	小平市	(港　区・調布市)		(目黒区・練馬区・台東区・足立区)	43
14	55	練馬区	足立区	板橋区	江東区	(港区・目黒区・台東区・八王子市)	43
15	56	練馬区	杉並区	(西東京市・八王子市)		(調布市・墨田区・町田市・葛飾区)	42
16	57	練馬区	台東区	(文京区・江東区)		(三鷹市・武蔵野市・八王子市・調布市)	47
17	58	台東区	練馬区	(町田市・八王子市)		(文京区・調布市・立川市・葛飾区)	45
18	59	台東区	練馬区	(調布市・中野区)		(足立区・町田市・港区・葛飾区)	45
19	60	台東区	足立区	(世田谷区・調布市)		(港区・葛飾区・町田市・練馬区)	44
20	61	台東区	江戸川区	(江東区・中野区)		(練馬区・葛飾区・調布市・日野市)	46
21	62	江東区	調布市	(西東京市・町田市)		(台東区・立川市・あきる野市・練馬区)	45
22	63	台東区	品川区	(西東京市・調布市)		(江東区・墨田区・練馬区・北区)	47
23	64	台東区	西東京市	(練馬区・八王子市)		(港区・江東区・北区・足立区)	46
24	65	台東区	八王子市	(足立区・調布市)		(練馬区・大田区・町田市・品川区)	46
25	66	八王子市	足立区	(練馬区・台東区)		(文京区・町田市・調布市・品川区)	44
26	67	江東区	調布市	(練馬区・町田市)		(八王子市・武蔵野市・中央区・台東区)	48
27	68	北　区	八王子市	(江東区・調布市)		(目黒区・練馬区・町田市・台東区)	48
28	69	足立区	台東区	(八王子市・豊島区)		(北区・調布市・大田区・江東区)	46
29	70	江東区	台東区	(練馬区・八王子市)		(港区・足立区・中野区・調布市)	47

東京都民大会成績（女子の部）

年度	回数	1 位	2 位	3 位	4 位	ベ ス ト 8	参加地区数
S 30	8	台 東 区	世田谷区	北　区	中 央 区	（港区・中野区・豊島区）（千代田区）	11
31	9					（杉 並 区）	
32	10					（練 馬 区）	
33	11	大 田 区					
34	12	北　区	千代田区	中 野 区	大 田 区	（文京区・墨田区・中央区・港区）	16
35	13	千代田区	台 東 区	練 馬 区	大 田 区	（文京区・三鷹市・品川区・港区）	17
36	14	千代田区	港　区	大 田 区	台 東 区	（豊島区・中央区・世田谷区・葛飾区）	18
37	15	千代田区	豊 島 区	大 田 区	葛 飾 区	（台東区・新宿区・世田谷区・三鷹市）	15
38	16	千代田区	新 宿 区	杉 並 区	港　区	（板橋区・葛飾区・世田谷区・大田区）	15
39	17	東 京 オ リ ン ピ ッ ク の た め 中 止					
40	18	葛 飾 区	台 東 区	中 野 区	目 黒 区	（大田区・足立区・中央区・杉並区）	16
41	19	千代田区	文 京 区	練 馬 区	豊 島 区	（板橋区・台東区・中央区・杉並区）	19
42	20	千代田区	文 京 区	練 馬 区	新 宿 区	（江東区・台東区・葛飾区・新宿区）	17
43	21	目 黒 区	大 田 区	台 東 区	江 東 区	（中央区・新宿区・文京区・中野区）	23
44	22	大 田 区	江 東 区	中 央 区	台 東 区	（千代田区・新宿区・文京区・足立区）	22
45	23	大 田 区	文 京 区	千代田区	練 馬 区	（中央区・新宿区・台東区・世田谷区）	23
46	24	千代田区	台 東 区	大 田 区	世田谷区	（文京区・江東区・目黒区・足立区）	27
47	25	大 田 区	千代田区	台 東 区	世田谷区	（港区・江東区・中野区・杉並区）	29
48	26	台 東 区	大 田 区	千代田区	世田谷区	（文京区・江東区・中野区・目黒区）	32
49	27	台 東 区	江 東 区	港　区	新 宿 区	（千代田区・文京区・中野区・目黒区）	33
50	28	文 京 区	港　区	台 東 区	江 東 区	（千代田区・杉並区・町田市・目黒区）	34
51	29	杉 並 区	文 京 区	（目 黒 区・町 田 市）		（千代田区・港区・台東区・江東区）	36
52	30	台 東 区	文 京 区	港　区	杉 並 区	（目黒区・中野区・町田市・江東区）	40
53	31	台 東 区	練 馬 区	杉 並 区	文 京 区	（目黒区・中野区・港区・品川区）	42
54	32	台 東 区	世田谷区	文 京 区	中 央 区	（中野区・目黒区・足立区・調布市）	38
55	33	台 東 区	世田谷区	文 京 区	墨 田 区	（中野区・練馬区・渋谷区・調布市）	41
56	34	台 東 区	世田谷区	文 京 区	中 野 区	（墨田区・渋谷区・杉並区・調布市）	42
57	35	台 東 区	文 京 区	目 黒 区	昭 島 市	（墨田区・葛飾区・江戸川区・町田市）	40
58	36	文 京 区	台 東 区	（立 川 市・中 野 区）		（葛飾区・三鷹市・福生市・大田区）	40
59	37	台 東 区	文 京 区	（中 野 区・昭 島 市）		（大田区・練馬区・三鷹市・秋川市）	45
60	38	文 京 区	練 馬 区	（台 東 区・中 野 区）		（中央区・大田区・葛飾区・江戸川区）	44
61	39	文 京 区	中 野 区	（台 東 区・江戸川区）		（目黒区・大田区・世田谷区・葛飾区）	45
62	40	文 京 区	葛 飾 区	（台 東 区・江戸川区）		（新宿区・中野区・練馬区・小平市）	45
63	41	文 京 区	葛 飾 区	（昭 島 市・世田谷区）		（練馬区・港区・杉並区・立川市）	45
H1	42	葛 飾 区	文 京 区	（杉 並 区・昭 島 市）		（新宿区・江戸川区・八王子市・調布市）	42
2	43	文 京 区	足 立 区	（杉 並 区・多 摩 市）		（葛飾区・目黒区・府中市・青梅市）	42
3	44	文 京 区	中 野 区	（足 立 区・葛 飾 区）		（目黒区・八王子市・調布市・日野市）	44
4	45	文 京 区	三 鷹 市	（杉 並 区・立 川 市）		（目黒区・大田区・青梅市・日野市）	44
5	46	文 京 区	三 鷹 市	（立 川 市・世田谷区）		（葛飾区・青梅市・八王子市・国分寺市）	44
6	47	文 京 区	調 布 市	（葛 飾 区・府 中 市）		（八王子市・東村山市・台東区・町田市）	45
7	48	文 京 区	立 川 市	（三 鷹 市・大 田 区）		（杉並区・江東区・葛飾区・調布市）	46
8	49	文 京 区	杉 並 区	（三 鷹 市・大 田 区）		（調布市・葛飾区・江東区・立川市）	46
9	50	文 京 区	三 鷹 市	（調 布 市・杉 並 区）		（江東区・練馬区・八王子市・国分寺市）	46
10	51	調 布 市	文 京 区	（中 野 区・小 平 市）		（目黒区・葛飾区・千代田区・杉並区）	44
11	52	小 平 市	八王子市	（調 布 市・青 梅 市）		（目黒区・文京区・杉並区・葛飾区）	44
12	53	小 平 市	文 京 区	（葛 飾 区・八王子市）		（杉並区・青梅市・調布市・江戸川区）	44
13	54	文 京 区	小 平 市	（杉 並 区・八王子市）		（調布市・葛飾区・江戸川区・青梅市）	43
14	55	調 布 市	国分寺市	江戸川区	杉 並 区	（江東区・青梅市・港区・墨田区）	43
15	56	国分寺市	小 平 市	（台 東 区・府 中 市）		（調布市・江戸川区・杉並区・三鷹市）	43
16	57	八王子市	調 布 市	（小 平 市・青 梅 市）		（東村山市・杉並区・渋谷区・西東京市）	43
17	58	文 京 区	八王子市	（板 橋 区・青 梅 市）		（台東区・千代田区・小平市・杉並区）	43
18	59	台 東 区	八王子市	（青 梅 市・板 橋 区）		（文京区・千代田区・小平市・杉並区）	45
19	60	台 東 区	八王子市	（町 田 市・武蔵野市）		（港区・千代田区・江戸川区・杉並区）	43
20	61	武蔵野市	台 東 区	（町 田 市・東大和市）		（墨田区・江東区・杉並区・八王子市）	43
21	62	杉 並 区	武蔵野市	（目 黒 区・台 東 区）		（八王子市・町田市・西東京市・小平市）	44
22	63	調 布 市	武蔵野市	（葛 飾 区・文 京 区）		（青梅市・小平市・江東区・台東区）	45
23	64	調 布 市	武蔵野市	（江 東 区・国分寺市）		（台東区・杉並区・豊島区・小平市）	45
24	65	江 東 区	台 東 区	（港　区・武蔵野市）		（江戸川区・豊島区・八王子市・調布市）	44
25	66	板 橋 区	練 馬 区	（目 黒 区・武蔵野市）		（千代田区・文京区・青梅市・板橋区）	44
26	67	台 東 区	板 橋 区	（三 鷹 市・杉 並 区）		（葛飾区・渋谷区・武蔵野市・足立区）	44
27	68	調 布 市	練 馬 区	（台 東 区・板 橋 区）		（江戸川区・三鷹市・港区・豊島区）	44
28	69	西東京市	渋 谷 区	（江 東 区・国分寺市）		（豊島区・調布市・稲城市・八王子市）	43
29	70	渋 谷 区	台 東 区	（練 馬 区・板 橋 区）		（葛飾区・江東区・西東京市・国分寺市）	43

東京都支部対抗戦成績

年度（前期・後期）	クラス	参加数	優　勝	準優勝	第３位	開催会場
昭和 44 年度 後期	１部	参加チーム：練馬区・中央区・港区・新宿区・江東区・文京区・千代田区・調布市				文京区
	２部	11	港区	品川区	新宿区・練馬区	
昭和 45 年度 前期	１部	6	港区・練馬区		新宿区・大田区	板橋区
	２部	10	港区・新宿区・練馬区・文京区			文京区
昭和 45 年度 後期	１部		大田区	練馬区	千代田区	文京区
	２部		文京区	文京区	練馬区	
昭和 46 年度 前期	１部	7	大田区	練馬区	豊島区	板橋区
	２部	10	練馬区	品川区	港区・千代田区	
昭和 46 年度 後期	１部					目黒区
	２部	9	品川区	大田区	文京区・目黒区	
昭和 47 年度 前期	１部	参加チーム：大田区・文京区・目黒区・千代田区				文京区
	２部	参加チーム：世田谷区・千代田区・港区・板橋区・文京区・三鷹市				
昭和 47 年度 後期	１部					千代田区
	２部	参加チーム：大田区・文京区・千代田区・港区・品川区・小金井市・八王子市				
昭和 48 年度 前期	１部					
	２部	13	港区	品川区	文京区・葛飾区	
昭和 48 年度 後期	１部	4	港区	文京区	小金井市・豊島区	豊島区
	２部	8	品川区	港区	文京区	
昭和 49 年度 前期	１部	7	品川区	江戸川区	港区	文京区
	２部	11	文京区	板橋区	練馬区	
昭和 49 年度 後期	１部	7	港区	千代田区	江戸川区	台東区
	２部	12	千代田区	文京区	板橋区	
昭和 50 年度 前期	１部	3	三鷹市	千代田区	文京区	文京区
	２部	6	新宿区	世田谷区	千代田区	
昭和 50 年度 後期	１部	6	品川区	豊島区	文京区	千代田区
	２部	9	千代田区	板橋区	世田谷区	
昭和 51 年度 前期	１部	4	千代田区	台東区	江東区	台東区
	２部	10	千代田区	台東区	板橋区	
昭和 51 年度 後期	１部	6	台東区	墨田区	江戸川区	豊島区
	２部	13	中野区	豊島区	台東区Ａ	
昭和 52 年度 前期	１部	9	江戸川区	台東区	文京区	目黒区
	２部	19	文京区	台東区Ｂ	江戸川区	
昭和 52 年度 後期	１部	11	江戸川区	台東区	文京区	葛飾区
	２部	9	台東区Ａ	台東区Ｂ	文京区	
昭和 53 年度 前期	１部	5	台東区Ａ	千代田区Ａ	品川区Ａ	板橋区
	２部	10	台東区Ｂ	品川区Ｂ	千代田区Ｂ	
昭和 53 年度 後期	１部	6	台東区Ａ	葛飾区	練馬区	葛飾区
	２部	11	台東区Ｂ	江戸川区	板橋区	
昭和 54 年度 前期	１部	4	千代田区	調布市		文京区
	２部	12	台東区Ｂ	世田谷区	文京区	
昭和 54 年度 後期	１部	9	台東区	葛飾区Ａ	調布市	葛飾区
	２部	13	文京区	台東区Ａ	台東区Ｂ	
昭和 55 年度 前期	１部	8	江戸川区	千代田区	杉並区	中央区
	２部	13	目黒区	台東区	文京区	
昭和 55 年度 後期	１部	7	江戸川区	千代田区	練馬区・目黒区	葛飾区
	２部	12	台東区Ａ	台東区Ｂ	杉並区・千代田区	
	３部	13	文京区	調布市	目黒区・台東区Ａ	
昭和 56 年度 前期	１部	6	墨田区	新宿区	千代田区	板橋区
	２部	18	台東区Ａ	台東区Ｂ	渋谷区	
	３部	9	台東区Ｂ	台東区Ａ	文京区Ａ	
昭和 56 年度 後期	１部	7	墨田区	新宿区	渋谷区・足立区	葛飾区
	２部	16	台東区Ａ	台東区Ｂ	調布市・江戸川区	
	３部	10	文京区	台東区Ｂ	台東区Ａ・新宿区	
昭和 57 年度 前期	１部	9	目黒区	江戸川区	墨田区	江戸川区
	２部	16	文京区Ａ	台東区	練馬区Ａ	
	３部	10	台東区Ａ	台東区Ｂ	文京区	
昭和 57 年度 後期	１部	6	目黒区	渋谷区		葛飾区
	２部	12	台東区	杉並区	練馬区	
	３部	9	文京区	台東区	千代田区	

■ 東京都支部対抗戦成績

年度（前期・後期）	クラス	参加数	優　勝	準優勝	第３位	開催会場
昭和58年度 前期	1部	9	江東区	渋谷区	新宿区	府中市
	2部	24	中野区A	杉並区	品川区	健康センター
	3部	15	武蔵野市	杉並区	目黒区	
	4部	10	台東区	福生市	練馬区	
昭和58年度 後期	1部	9	江戸川区A	江戸川区B	目黒区	江戸川区
	2部	14	杉並区	調布市	台東区	
	3部	11	武蔵野市	台東区	千代田区	
	4部	11	台東区	杉並区	練馬区	
昭和59年度 前期	1部	3	江戸川区	足立区		府中市
	2部	15	台東区	杉並区	府中市B	健康センター
	3部	7	台東区	品川区	杉並区	
	4部	10	江戸川区	台東区	杉並区	
昭和59年度 後期	1部	4	渋谷区	足立区	昭島市	立川市
	2部	15	台東区	新宿区	調布市	泉市民体育館
	3部	9	八王子市	調布市	文京区	
	4部	13	八王子市	目黒区	台東区	
昭和60年度 前期	1部	5	足立区	墨田区	渋谷区	荒川区
	2部	16	江東区	板橋区	荒川区	総合体育館
	3部	9	台東区	品川区	杉並区	
	4部	12	台東区	多摩市	秋川市	
昭和60年度 後期	1部	4	江戸川区	豊島区		江戸川区
	2部	11	調布市	荒川区	板橋区	スポーツセンター
	3部	10	調布市	杉並区	台東区	
	4部	15	多摩市	文京区	台東区	
昭和61年度 前期	1部	3	足立区	杉並区		葛飾区
	2部	10	台東区	千代田区	練馬区・新宿区	総合スポーツセンター
	3部	9	台東区	杉並区	江東区・荒川区	
	4部	7	台東区	多摩市	杉並区・江東区	
昭和61年度 後期	1部					多摩市
	2部	10	台東区	荒川区	調布市	総合体育館
	3部	7	調布市	国立市	板橋区	
	4部	11	多摩市	台東区	秋川市	
昭和62年度 前期	1部	5	足立区	新宿区	台東区	葛飾区
	2部	13	渋谷区	国立市	千代田区	総合スポーツセンター
	3部	10	台東区	板橋区	江東区	
	4部	9	多摩市	台東区	江東区	
昭和62年度 後期	1部	5	足立区	新宿区	江戸川区	江戸川区
	2部	13	調布市	国立市	立川市	スポーツセンター
	3部	11	江戸川区	杉並区	国立市	
	4部	8	多摩市	台東区	杉並区	
昭和63年度 前期	1部	6	足立区	台東区	調布市	江戸川区
	2部	12	千代田区	豊島区	新宿区	スポーツセンター
	3部	12	江戸川区	板橋区	調布市	
	4部	8	台東区	杉並区	千代田区	
昭和63年度 後期	1部	6	調布市	台東区	杉並区	台東区
	2部	9	荒川区	新宿区	千代田区	リバーサイド
	3部	10	台東区	調布市	新宿区	スポーツセンター
	4部	8	台東区A	台東区B	調布市	
平成元年度 前期	1部	7	足立区	杉並区	台東区	葛飾区
	2部	10	千代田区	練馬区	板橋区	総合スポーツセンター
	3部	10	台東区	新宿区	千代田区	
	4部	5	台東区	千代田区	豊島区	
平成元年度 後期	1部	6	杉並区	調布市	渋谷区	多摩市
	2部	8	立川市	千代田区	日野市	総合体育館
	3部	10	台東区	新宿区	板橋区	
	4部	10	台東区	多摩市	調布市	
平成2年度 前期	1部	6	調布市	杉並区	練馬区	葛飾区
	2部	8	豊島区	台東区	杉並区	総合スポーツセンター
	3部	11	台東区	江東区	板橋区	
	4部	10	多摩市	目黒区	台東区	

■ 東京都支部対抗戦成績

年度（前期・後期）	クラス	参加数	優　勝	準優勝	第３位	開催会場
平成２年度 後期	１部	6	台東区	調布市	渋谷区	府中市総合体育館
	２部	12	立川市	豊島区	渋谷区	
	３部	11	台東区	調布市	目黒区	
	４部	10	台東区	目黒区	杉並区	
平成３年度 前期	１部	7	調布市	練馬区	中野区	葛飾区総合スポーツセンター
	２部	10	台東区	千代田区	杉並区	
	３部	12	渋谷区	台東区	調布市	
	４部	12	文京区	台東区	調布市	
平成３年度 後期	１部	5	調布市	国分寺市	渋谷区	多摩市総合体育館
	２部	10	杉並区	渋谷区	新宿区	
	３部	11	台東区	杉並区	調布市	
	４部	10	多摩市	青梅市	台東区	
平成４年度 前期	１部	10	調布市	新宿区	練馬区	葛飾区総合スポーツセンター
	２部	11	杉並区	荒川区	千代田区	
	３部	12	台東区	東村山市	立川市	
	４部	13	目黒区	青梅市	調布市	
平成４年度 後期	１部	5	調布市	中央区	新宿区	多摩市総合体育館
	２部	10	杉並区	荒川区	千代田区	
	３部	9	調布市	東村山市	三鷹市	
	４部	12	多摩市	台東区	目黒区	
平成５年度 前期	１部	4	杉並区	調布市	足立区	葛飾区総合スポーツセンター
	２部	11	台東区	千代田区	墨田区	
	３部	9	台東区	江東区	墨田区	
	４部	12	練馬区	台東区	目黒区	
平成５年度 後期	１部	7	練馬区	台東区	調布市	立川市泉市民体育館
	２部	11	台東区	墨田区	国分寺市	
	３部	14	台東区	調布市	東村山市	
	４部	13	調布市	日野市	青梅市	
平成６年度 前期	１部	11	練馬区	台東区	文京区	葛飾区総合スポーツセンター
	２部	12	千代田区	調布市	墨田区	
	３部	9	調布市	江東区	武蔵野市	
	４部	11	文京区	日野市	調布市	
平成６年度 後期	１部	9	台東区	練馬区	国分寺市	小平市市民総合体育館
	２部	8	台東区	立川市	小平市	
	３部	9	江東区	三鷹市	練馬区	
	４部	17	文京区	練馬区	板橋区	
平成７年度 前期	１部	12	台東区	練馬区	調布市	葛飾区総合スポーツセンター
	２部	13	台東区	国分寺市	調布市	
	３部	13	豊島区	調布市	小平市	
	４部	16	調布市	江戸川区	青梅市	
平成７年度 後期	１部	9	台東区	練馬区	国分寺市	小平市市民総合体育館
	２部	8	台東区	立川市	小平市	
	３部	9	江東区	三鷹市	練馬区	
	４部	17	文京区	練馬区	板橋区	
平成８年度 前期	１部	4	杉並区	台東区	練馬区	葛飾区総合スポーツセンター
	２部	8	渋谷区	杉並区	墨田区	
	３部	11	台東区	豊島区	墨田区	
	４部	15	文京区	台東区	品川区	
平成８年度 後期	１部	13	練馬区	立川市	杉並区	立川市泉市民体育館
	２部	4	渋谷区	新宿区	杉並区	
	３部	11	小平市	墨田区	調布市	
	４部	15	青梅市	調布市	東村山市	
平成９年度 前期	１部	8	調布市	国分寺市	台東区	葛飾区総合スポーツセンター
	２部	11	杉並区	国分寺市	葛飾区	
	３部	11	豊島区	台東区	墨田区	
	４部	16	調布市	練馬区	東村山市	
平成９年度 後期	１部	10	国分寺市	練馬区	八王子市	立川市泉市民体育館
	２部	6	渋谷区	板橋区	杉並区	
	３部	7	調布市	台東区	新宿区	
	４部	19	調布市	品川区	青梅市	

■ 東京都支部対抗戦成績

年度（前期・後期）	クラス	参加数	優　勝	準優勝	第３位	開催会場
平成 10 年度	1 部	9	台東区	調布市	小平市	立川市
	2 部	15	調布市	品川区	青梅市	泉市民体育館
	3 部	3	調布市	品川区	練馬区	
	4 部	0				
平成 11 年度	1 部	5	台東区	調布市	足立区	葛飾区
	2 部	7	国分寺市	調布市	台東区	総合スポーツセンター
	3 部	8	台東区	杉並区	小平市	
	4 部	13	台東区	文京区	調布市	
	5 部	4	品川区	台東区	豊島区	
平成 12 年度	1 部	8	練馬区	杉並区	渋谷区	葛飾区
	2 部	6	国分寺市	渋谷区	墨田区	総合スポーツセンター
	3 部	9	足立区	文京区	千代田区	
	4 部	10	豊島区	文京区	江戸川区	
	5 部	8	文京区	品川区	練馬区	
平成 13 年度	1 部	13	国分寺市	江東区	調布市	葛飾区
	2 部	5	台東区	江東区	墨田区	総合スポーツセンター
	3 部	10	台東区	足立区	渋谷区	
	4 部	11	文京区	豊島区	渋谷区	
	5 部	5	練馬区	江戸川区	台東区	
平成 14 年度	1 部	10	台東区	練馬区	杉並区・墨田区	葛飾区
	2 部	9	葛飾区	渋谷区	豊島区・墨田区	総合スポーツセンター
	3 部	9	台東区	墨田区	三鷹市・葛飾区	
	4 部	13	豊島区	大田区	渋谷区・三鷹市	
	5 部	7	青梅市	調布市	台東区・品川区	
平成 15 年度	1 部	10	江東区	練馬区	渋谷区	葛飾区
	2 部	9	台東区	墨田区	渋谷区	総合スポーツセンター
	3 部	8	台東区	千代田区	中野区	
	4 部	8	千代田区	豊島区	台東区	
	5 部	7	青梅市	江東区	品川区	
平成 16 年度	1 部	13	台東区	渋谷区	江東区	葛飾区
	2 部	6	豊島区	台東区	渋谷区	総合スポーツセンター
	3 部	7	台東区	千代田区	杉並区	
	4 部	12	調布市	大田区	台東区	
	5 部	10	品川区	江東区	豊島区	
平成 17 年度	1 部	12	板橋区	葛飾区	江東区	葛飾区
	2 部	5	調布市	江東区	台東区	総合スポーツセンター
	3 部	7	足立区	台東区	渋谷区	
	4 部	12	調布市	台東区	大田区	
	5 部	6	調布市	江東区	品川区	
平成 18 年度	1 部	13	江東区	足立区	台東区	葛飾区
	2 部	5	江東区	葛飾区	台東区	総合スポーツセンター
	3 部	11	台東区	練馬区	足立区	
	4 部	15	台東区	豊島区	杉並区	
	5 部	7	青梅市	品川区	調布市	
平成 19 年度	1 部	15	豊島区	葛飾区	渋谷区	葛飾区
	2 部	7	豊島区	杉並区	台東区	総合スポーツセンター
	3 部	9	台東区	千代田区	豊島区	
	4 部	12	台東区	品川区	調布市	
	5 部	8	江東区	台東区	青梅市	
平成 20 年度	1 部	14	台東区	調布市	江東区	葛飾区
	2 部	8	台東区	江東区	葛飾区	総合スポーツセンター
	3 部	12	墨田区	千代田区	国分寺市	
	4 部	16	調布市	台東区	江東区	
	5 部	10	調布市	台東区	青梅市	
平成 21 年度	1 部	12	調布市	足立区	墨田区	葛飾区
	2 部	8	調布市	渋谷区	台東区	総合スポーツセンター
	3 部	14	台東区	江東区	墨田区	
	4 部	15	台東区	調布市	豊島区	
	5 部	12	江東区	調布市	文京区	

■ 東京都支部対抗戦成績

年度（前期・後期）	クラス	参加数	優　勝	準優勝	第３位	開催会場
平成22年度	1部	東日本大震災のため中止				葛飾区総合スポーツセンター
	2部					
	3部					
	4部					
	5部					
平成23年度	1部	8	台東区	足立区	練馬区	葛飾区総合スポーツセンター
	2部	7	台東区	北区	墨田区	
	3部	11	渋谷区	国分寺市	大田区	
	4部	12	台東区	調布市	大田区	
	5部	9	台東区	豊島区	文京区	
平成24年度	1部	12	大雪のため、競技途中で中止			葛飾区総合スポーツセンター
	2部	8				
	3部	14				
	4部	15				
	5部	13				
平成25年度	1部	10	調布市	板橋区	目黒区	葛飾区総合スポーツセンター
	2部	9	江東区	新宿区	江戸川区	
	3部	10	渋谷区	国分寺市	江東区	
	4部	13	墨田区	台東区	八王子市	
	5部	11	台東区	豊島区	大田区	
平成26年度	1部	12	江東区	杉並区	台東区	葛飾区総合スポーツセンター
	2部	7	江東区	新宿区	大田区	
	3部	9	渋谷区	国分寺市	豊島区	
	4部	13	江戸川区	台東区	渋谷区	
	5部	11	台東区	豊島区	文京区	
	6部	4	台東区	江東区	品川区	
平成27年度	1部	14	台東区	江東区	豊島区	葛飾区総合スポーツセンター
	2部	6	新宿区	江東区	大田区	
	3部	9	江東区	渋谷区	豊島区	
	4部	16	江東区	国分寺市	豊島区	
	5部	15	足立区	台東区	大田区	
	6部	4	台東区	品川区	江東区	
平成28年度	1部	15	豊島区	台東区	中央区	葛飾区総合スポーツセンター
	2部	9	国分寺市	豊島区	調布市	
	3部	9	渋谷区	豊島区	板橋区	
	4部	18	板橋区	江東区	渋谷区	
	5部	15	台東区	足立区	品川区	
	6部	7	調布市	江東区	品川区	

支部紹介

千代田区バドミントン協会

沿革・歴史

＜歴代会長と在任期間＞

初代会長　林　鹿之助　1952年4月～1959年5月
2代会長　井上慎一郎　1959年6月～1970年5月
3代会長　玉手　庸　1970年6月～1998年5月
4代会長　山崎　博光　1998年6月～2002年5月
5代会長　杉山　郁郎　2002年6月～2004年5月
6代会長　鈴木　利雄　2004年6月～現在

当協会は、昭和27年2月28日に創立した。今日まで70年余りの長きにわたり、発展をつづけてきた。

現会長の鈴木利雄氏は、2004年6月より杉山郁朗会長の後を受け会長職となった。

組織の改正にあたり、それまでの区が主催してきた各種大会、講習会を体協主催事業に移行し、現在の体制となった。

他区と比較し企業が多く、実業団に登録しているチーム数も多いことから、日本バドミントン協会の公認審判員、を多数育成し、ジャパンオープンや全日本総合選手権大会などに多数の役員、審判員を派遣している。



平成29年　秋季大会

役　員



会長	鈴木　利雄	
副会長	南島　恭代	大湯　賢子
理事長	前川　正	
副理事長	山中　達雄	金田　靖宏
総務部長	中川　明文	
総務部	鈴木　忠史	高橋　賢明
財務部長	長崎　秀樹	
財務部	小林とし子	田畑美和子
競技部長	波多江真之	
競技部	伊藤　麻美	宮原　美保
審判部長	山本　幸恵	
指導部長	目黒　仁一	
審判指導部	斉藤　晶子	
監事	原　秀昇	
監事	石川　孝	

創　　立　◎ 昭和 27 年 2 月 28 日
住　　所　◎ 〒101-0021　千代田区外神田 2-14-3
事務担当　◎ 前川　　正　　電話　090-7715-4339

大会・成績

＜区内の大会＞
春季大会（ダブルス）
中高生Ⅰ・Ⅱ部大会
男子チーム戦大会（年２回）
女子チーム戦大会（年２回）
秋季大会（シングルス・ダブルス・混合ダブルス）
中高生チーム大会
ジュニアバドミントン強化練習会
京浜６区親善大会

＜都大会＞
都民体育大会
京浜六区大会
東京都生涯スポーツ大会
東京都支部対抗戦

＜国内大会＞
関東シニア選手権大会
全日本社会人選手権大会
全日本シニア選手権大会

◎大会成績
都民体育大会
昭和 33 年・37 年・41 年：男子優勝
昭和 34 年～ 37 年：女子優勝
昭和 41 年・42 年：女子優勝
昭和 46 年：女子優勝

◎表彰
平成 22 年：文部科学大臣表彰（団体の部）
本協会は来年で 70 周年を迎える。
現在会員登録は 1,000 名を超え、日本バドミントン協会登録者も 250 名と加盟団体の中でもトップクラスである。年間の試合数もさることながら、協会として、京浜地区６区の大会への参加や新年の役員懇親大会、数年ごとの国内（秋田県、福島県、島根県、新潟県、等）や海外（台湾、シンガポール、マレイシア）での研修旅行なども行っている。
2020 年東京オリンピック・パラリンピックのために、都心の当協会として一層奮起、次世代の育成・活動に力を注ぎ、更なるバドミントン界の普及・発展に努力をしていく。


H29　ジュニア育成強化練習会


海外研修（台湾）

中央区バドミントン協会

沿革・歴史

＜歴代会長＞

初代会長	森友徳兵衛
2代会長	氏家三千助
3代会長	露木　重夫
4代会長	鷲塚　圭司
5代会長	小川　　弘
6代会長	石川　常昌
7代会長	小濱　正道
8代会長	小川　　弘
9代会長	安西　敏明
10代会長	佐藤　　隆

中央区バドミントン協会は、終戦後間もない1947年（昭和22年）に、初代会長の森友徳兵衛氏が中心となり、神田美土代町の東京YMCA体育館を活動基盤として発足しました。当時は都内でもバドミントン協会として活動している団体は少なく、同好会的な活動がほとんどであったそうです。

1952年（昭和27年）、第2代会長の氏家三千助氏の在任中に、中央区体育会（現中央区体育協会）に加盟し、現在に至っています。

役　員



会　　長	佐藤　　隆	
顧　　問	安西　敏明	
理 事 長	岩崎　修二	
理　　事	佐々木　誠	川崎　裕一
	佐々木　哲	岡崎　　剛
	糸　　敬生	笈川美詠子
	川崎　美以	佐藤　亜佑
	向　紀代美	竹田　都子
	岩崎　和実	
事 務 局	笈川美詠子	



創　　立　◎ 昭和 22 年 4 月 1 日
住　　所　◎ 〒103-0015　中央区日本橋箱崎町44-5-B-1204
連 絡 者　◎ 笈川　美詠子

活動及び将来の展望

1977 年（昭和 52 年）に始まった中央区バドミントン協会会員登録制度は、平成 29 年 3 月末で登録会員は 768 名となり、より多くの方々が大会に参加してくださっています。大会は春秋の区民大会に加え、協会独自の大会もあり、各大会においては最低 2 試合ができるようにとの基本運営をしてきました。参加者多数のため、やむを得ず試合方法の変更を余儀なくされることもあり、参加者の理解を得ながらの運営をしています。

代表選手、強化選手を中心に、都民大会、支部対抗戦、生涯スポーツ大会等に参加するとともに、選手各々が上部大会に積極的に参加しています。

また、ジュニア育成の青果が上がりつつあり、大変喜ばしいことと思っています。少年少女大会は 40 回を迎え、月に 1 回のジュニア教室も盛況です。これらの活動が区立中学のレベルアップにつながり、ここ数年、関東、日本に手の届く中学生が出てきました。

このような活動から、区内バドミントンの発展が世代を超えて継続していくことを願っています。





平成 29 年 10 月 9 日。中央区区民スポーツデー「バドミントンクリニック」に協力。池田信太郎さん、小椋久美子さんを迎えて、中央区のジュニアたちと。

港区バドミントン連盟

沿　革

田町駅札の辻付近の郵政省分室、及び芝浜中学校体育館に於いて簡易保険局、沖電気、安立電気、防衛庁などの企業団体 愛好者に中央区の故小川弘氏（元都協会常務理事）、鈴木利雄氏（現都協会副会長）など有志を迎え活動していた。昭和47年5月芝浦に港区スポーツセンターが竣工。港区体育協会がその中に移ると共に港区バドミントン連盟もその拠点をスポーツセンター内に構える事となった。

2014年の東京国体なぎなた競技開催に向け、新たなスポーツセンター建設を進めるも、2011年の東日本大震災に伴う資材調達が滞り、2014年12月に漸く竣工し、港南支所、男女参画センター、保育園などと共に港区スポーツセンター、港区体育協会、港区バドミントン連盟を内包した複合施設は、現在、都内随一の威容を誇る。

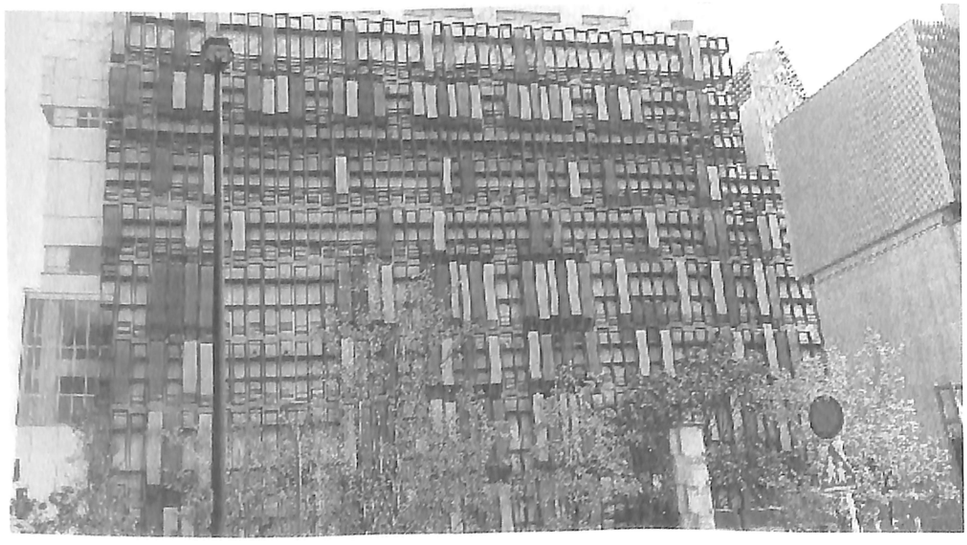
港区バドミントン連盟は港区スポーツセンターと共に活動・発展し続け現在に至る、と言って過言ではない。

役　員

昭和62年に2代目会長・蔵之内信昭氏より現・古明地正邦会長に引き継がれ、現在に至っている。



会　　長　古明地正邦
副 会 長　尾池　清明
理 事 長　尾池　清明



港区スポーツセンター　外観

創　　立　◎ 昭和２５年10月1日
住　　所　◎ 〒105-0023　港区芝浦1丁目16番1号　港区スポーツセンター内
事務担当　◎ 尾池　清明　　電話　03-3454-8717

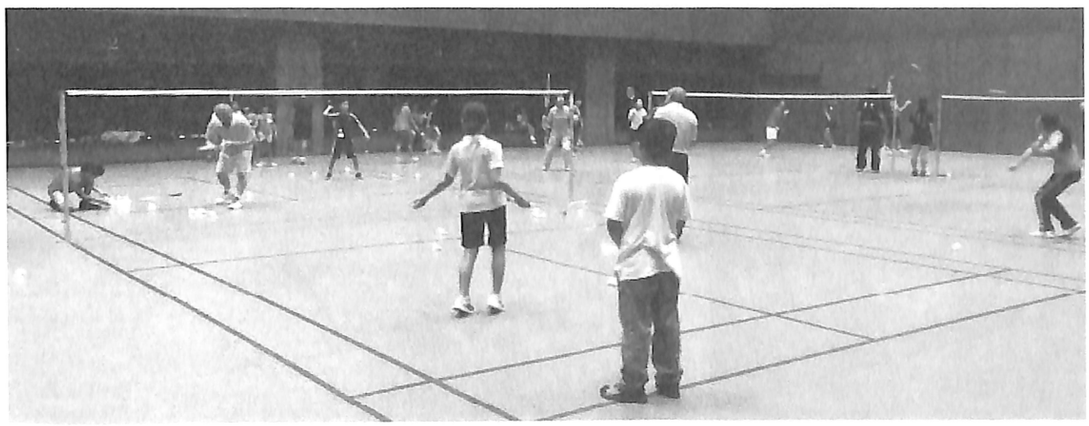
活動内容

港区春季バドミントン選手権大会
港区秋季バドミントン選手権大会（港区体育祭参加）
港区バドミントン混合ダブルス選手権大会
港区レディーススポーツ大会　バドミントン大会
港区バドミントン団体戦
都民大会港区選考会
都民生涯スポーツ大会港区選考会
京浜６区対抗戦　港区チーム派遣
都民大会　港区チーム派遣
都民生涯スポーツ大会　港区チーム派遣
各東京都選手権大会・各東京都予選会　派遣
各関東選手権大会（関東総合選手権・関東シニア選手権）　派遣
各全日本選手権大会（全日本社会人選手権・全日本シニア選手権・全日本実業団選手権）　派遣
ジュニアバドミントン教室　運営
ジュニアバドミントン大会　運営

ジュニア教室　参加者



ジュニア教室　指導講習



新宿区バドミントン連盟

沿革・歴史

＜歴代会長と在任期間＞

初代会長　折　　笠　（昭和34 年～35 年）
２代会長　三田村恭三　（昭和36年～平成5年）
３代会長　望月　政男　（平成６年～平成23年）
４代会長　湯橋　　健　（平成24年～平成26年）
５代会長　佐藤　真男　（平成27年～平成29年）
６代会長　渡辺　敏夫　（平成29年～現在に至る）

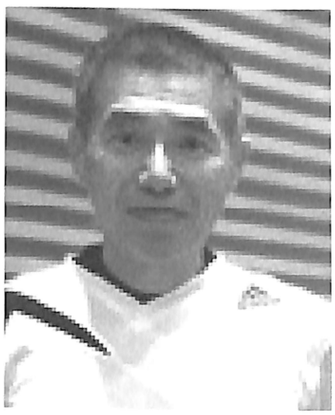
当連盟は、昭和 34 年創立から 60 年を迎えようとしています。設立当初は数十名の登録者でスタートし、バドミントンの普及と会員相互の技術向上という目的に添った活動で基盤を築いていき、現在では登録者数 1,100 余名となり、永きにわたり多くの会員にバドミントンを楽しんでいただけるようになりました。

毎週木曜日の練習会、年６回の当連盟が運営する大会、年１回（５日間）の教室、週６回のワンポイントレッスン、年１ 回の親子交流大会などを行ないました。平成 11 年には北京市東城区への友好交流訪問団派遣。また、長野県高遠町（平成 18 年に伊那市に合併）と新宿区は友好提携をしており、長きにわたりバドミントン交流を続けています。新宿区には多くの外国籍の方が在住在勤しており、マレーシア大使館交流大会、中国企業交流大会などを開催しました。この他、東京都バドミントン協会など上部団体の主催する大会などにも積極的に参加しています。

平成 22 年７月には 50 周年記念行事を行ない、多くの会員たちによる交流大会と、親睦パーティを開催しました。

現在の６代会長 渡辺敏夫氏は今期中より会長に就任し、自身もプレーヤーであり、第 30 回全日本シニアバドミントン選手権大会（60 歳以上男子ダブルス）優勝などの功績を残し、バドミントンプレーヤーの育成に力を注いでいます。

役　　員



会	長	渡辺　敏夫
競	技	鈴木　英昭
	部	岩崎　英明
		古山　太一
審	判	中根恵美子
	部	望月　久美
強	化	田中　洋子
	部	御所窪　光
普	及	丁　　豊熙
	部	藤塚　米子
		村上千恵子
広	報	西本　　誉
経	理	馬場　陽子
	部	糸井　裕子

創　　立　◎ 昭和 34 年
住　　所　◎ 〒162-0052　新宿区戸山1-17-8
連 絡 者　◎ 馬場　陽子　　電話　090-1732-5319

Shinjuku

活　　動

＜区内大会と活動＞
４月：春季男女別ダブルス、
　　春季三田村杯混合ダブルス
６月：前期男女別団体戦
１１月：秋季区民大会男女別ダブルス、
　　秋季区民大会混合ダブルス
２月：後期男女別団体戦

毎週木曜日練習会、週６回ワンポイントレッスン、年１回（５日間）教室、新宿区スポーツレクリエーション（親子交流大会）
＜都大会＞
都民体育大会、全国青年大会、東京都生涯スポーツ大会
＜国内大会＞
全日本社会人大会、全日本シニア大会、関東シニア選手権各大会に選手派遣



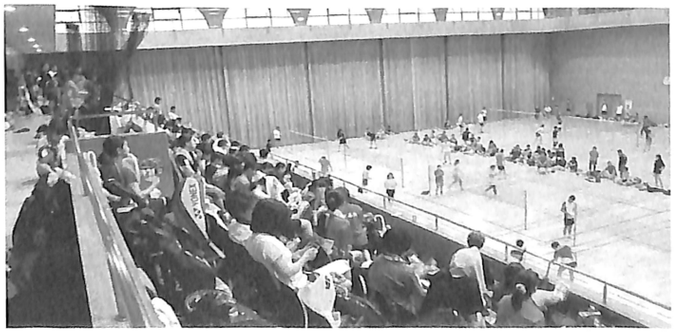
スポーツレクリエーション（親子交流大会）↑↓



スポーツレクリエーション　廣瀬栄理子さんをお迎えし講習会



区内大会



マレーシアとの
交流大会



文京区バドミントン協会

沿革・歴史

＜歴代会長と在任期間＞

初代会長　谷川　　進　昭和42年
2代会長　市橋　信明　昭和43年～昭和61年
3代会長　永井　邦夫　昭和62年～平成5年
4代会長　市橋　弘司　平成6年～平成15年
5代会長　小林　健二　平成16年～現在

本協会を創立し活動を開始したのは昭和42年（1967年）である。それ以前の十数年間も何回か協会はできていたようだが、正式な活動はなかった。先輩達からは「文京区はバドミントンの不毛の地だ」と言われていた。この言葉を糧にして、創立以降本協会は発展・充実の一途をたどることができた。その陰には文京区に本社を置くヨネックス（株）の支援・協力と三信靴下工業（株）の援助が大きな支えとなった。

本協会はこれまでの都民大会で男子４回、女子16回の優勝を果たした。50周年を迎える今年、会員数903名を数える大きな森となった。

役　員

名誉会長　市橋　弘司
顧　　問　米山　宏作



会　　長　小林　健二
副 会 長　竹内ヒロ子
　　米山　　勉
理 事 長　内村　　実
副理事長　小守　一枝
　　安住　明也
常務理事　土田　　隆
　　照井　良雄
　　土屋　展子
　　千葉　秀信（会計）
　　橋本　良和
　　沖　まなみ
　　兼坂　省一
　　塚本　咲翔
監　　事　生方　伸弥
　　石川　寿美

創　　立　◎ 昭和 42 年 4 月 1 日
住　　所　◎ 〒113-0034　文京区湯島3-37-9
連 絡 者　◎ 内山　　実

活動と展望

現在、文京区バドミントン協会では
1.ヨネックスカップダブルス大会
2.シングルス大会
3.ミックスダブルス大会
4.夏季団体戦
5.冬季団体戦
6.文京区オープン大会
7.文京区民大会

以上の大会を行っているほか、シニア・ジュニアの講習会を行っている。また、都民大会・京浜六区大会などに選手を派遣している。さらに新潟市とは毎年、上越新幹線沿線交流会を設けて会員・役員の憩えるひと時にもなっている。

文京区は東京大学をはじめ多くの大学があり、その学生達の参加が大きな刺激となっている。20 歳前後の若者達の成長は非常に早く、大会のレベル向上に繋がっていることはとても喜ばしいことである。ジュニアクラスでも、大会に参加することによって技術の吸収に大いに役立っているようである。そしてシニアクラスに人達にとっては、年齢を重ねるごとに引退していくのは世の常ながら、生涯スポーツとして 1 人でも多くの人達に楽しく参加していただけるように努めている。





台東区バドミントン協会

沿革・歴史

初代会長　高野　昭嗣
２代会長　春木　　實
３代会長　谷澤　　薫　平成21年2月～現在

当協会は、昭和 33 年５月に台東区体育館バドミントン部で発足し、昭和 39 年４月に台東区バドミントン協会結成。

今日まで 60 年間の永きにわたり困難や試練を乗り越えて輝かし発展を遂げました。

都民大会においては、男子は昭和 49 年からの 11 連覇、平成 17 年からの４連覇、平成 22 年からの３連覇。女子は昭和 52 年からの６連覇、平成 18 年からの２連覇という偉業を成し遂げました。

役　員



会　　長	谷澤　　薫
副 会 長	仲條　厚二
副 会 長	佐々木一秀
理 事 長	近藤　清司
副理事長	神谷　敏幸
競技部長	神谷　敏幸
審判部長	菅野　宏潔
指導部長	仲條　厚二
総務部長	高橋千恵子
レディース連盟	大場　康子



台東区バドミントン協会役員

創　　立　◎ 昭和 33 年 5 月
住　　所　◎ 〒110-0003　東京都台東区根岸3-24-2
連 絡 者　◎ 近藤　清司（理事長）　電話　090-5316-0321

創立当時

当協会は、昭和 30 年代初期に既にバドミントンの先覚者がいて区体協にも加盟していた。新興のスポーツだけに体協では末席をけがしていたようです。

この団体に体協理事や多くの人たちが励ましてくれた。また、河崎ラケットの福井正康氏が初代会長の高野昭嗣氏とともに区内単体団体を系統化し、バドミントンの正しい競技のありかたや技術の向上・振興に努められ、地元台東区の指導・普及に尽力した。設立当時は、社会人を対象とした体育館は無く、練習も小・中学校の講堂という恵まれない環境の中で行っていた。台東区が都民大会にかける執念は伝統的であり、この伝統の源流は、歴代の区長の熱意をもってスポーツ行政に取り組んできたことは間違いのない事実です。設立当時には、旧浅草公会堂での試合前の激励会、大会後には祝勝会が度々行われて、これは現在でも続いており、多分他区には真似が出来ないことと思われる。

都民大会 11 連覇は、河崎ラケットの優秀な選手達が中核となったことは事実であるが、これに台東区で育った 30 歳以上の青年層の頑張りや役員のチームワークの結果である。この青年層や PTA で活躍したお子さんが平成の 4 連覇、3 連覇と伝統を引き継いだ。これが台東区バドミントン協会です。

活動と経過

○区民の大会

春季大会兼都民大会選考会 / レディース大会（春）/ 混合ダブルス大会 / クラブ対抗団体戦 / ジュニア大会 / 区民体育祭 / 秋季選手権大会 / レディース大会（秋）/ 初心者教室講習会 / バドミントン強化練習など開催。

○都大会

都民体育大会 / 東京都市部対抗戦 / 都民生涯スポーツ青年大会 / 京浜親善大会など。

○全国大会

関東シニア選手権大会 / 全日本シニア選手権大会など。

平成 26 年度都民大会女子優勝
平成 27 年度都民大会女子 3 位
平成 28 年度都民大会男子準優勝
平成 29 年度都民大会男女準優勝
都民大会において男子はこの 10 年 5 位以上の成績を挙げている。

将来の展望

本協会は、2018 年に 60 年を迎える。加盟クラブの会員の協力をいただき、各大会の充実を徹底し生涯スポーツを目指します。特に PTA 活動の支援やジュニアの育成・活動に更に力を注いでいき、バドミントン人口の底辺の拡大を図るとともに、台東区バドミントンの普及および発展に努力を致します。

墨田区バドミントン連盟

歴史・活動

東京都バドミントン協会創立70周年誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

昭和35年5月に墨田区バドミントン連盟は東京都バドミントン協会の傘下で競技力向上と普及発展を目的に結成されました。

かつては、石灰を水で溶きコート書きから始まり、夕方には終了するというマイナースポーツで参加者も少なくて学校、会社でのクラブ活動経験者がほとんどでありました。時代を追う毎に愛好家が増えて来た歩みです。

特に平成22年4月に区内に総合体育館が完成し、サブアリーナ6コート合わせて最大18コートがとれる施設となっています。老若男女が一体となって楽しむ事が出来る生涯スポーツとしての位置付けで墨田区にも多大なるご理解とご協力を頂き、定期的に各種大会を主管し、区内におけるバドミントン競技の普及に日々力を入れております。

今後も、上記のような体育館を拠点として、更なるバドミントンムーブメントを起こしていくべく努力を重ねて参ります。

役　員



会　　長　川松真一朗

創　　立　◎ 昭和35年4月1日
住　　所　◎ 〒130-0003　墨田区横川5-4-3-311　森光子方
事務担当　◎ 黒谷　眞美

上・墨田区総合体育館　下・スカイツリーを望む隅田川の風景
写真提供　稲石　一雄氏





江東区バドミントン協会

沿革・歴史

＜歴代会長と在任期間＞

初代会長　町田　正吾　　S34年4月～H5年4月
2代会長　中沢　正夫　　H5年5月～H25年3月
3代会長　山本香代子　　H25年4月～現在

江東区バドミントン協会は昭和 34 年発足、半世紀以上に亘りバドミントンの普及・発展に務めてまいりました。発足当時 10 クラブ程度の規模でしたが、現在 32 クラブ、1000 名を超える会員を有します。協会運営におきましては、江東区校 PTA の応援事業、理事役割の確立、大会運営及び区内 6 か所のスポーツセンター指導員を登録クラブの当番制とし、会員全員参加の組織体制を築きました。

選手強化及びジュニア育成にも力を注ぎ、更なる発展・普及を目指しています。東京都バドミントン協会の事業に際しましては、都民大会、支部対抗、個人戦など各種大会に積極的に参加しています。また日本バドミントン協会の公認審判資格取得者を各種大会へ審判派遣をしています。

役　員



会　長	山本香代子	
副会長	本間　正志	小堀　修一
理事長	木村　昭儀	
副理事長	平山きみ枝	斎藤　利之
	原嶋　健一	
総務部長	北村　恵子	
副部長	小林多恵子	
競技部長	大塚　真弓	
副部長	木村　恭之	
審判部長	柳沢小夜子	
副部長	安藤　研二	
指導育成部長	加藤　規泰	
副部長	緒方　哲郎	
会　計	野杁　代子	清水　直之
事務局	阿部　香織	赤木　賢一

創　　立　◎ 昭和 34 年 4 月
住　　所　◎ 〒135-0041　江東区冬木22-26-302
事務担当　◎ 赤木　賢一　　電話　03-3521-1156

大会・成績

＜区内の大会＞

区民大会 / 前期ダブルス大会 / シニアダブルス大会 / レディース大会 / ミックス大会 / オープンシングルス大会 / 前期クラブ対抗戦 / 後期ダブルス大会 / シニアミックス大会 / 後期クラブ対抗戦 / オープンダブルス大会 / 教室受講生大会 / 小学生シングルス大会

他、強化練習会、区が主催する各館の教室の指導員、各館センター杯、小中学校 PTA バドミントン大会

＜東京都大会＆全国大会＞

都民大会 / 墨東五区大会 / 生涯スポーツ大会 / 青年大会 / 支部対抗戦 / 関東シニア選手権大会 / 全日本シニア選手権大

平成 29 年度におきましては、

都民大会男子優勝
墨東五区大会総合優勝 4 連覇
東京都生涯スポーツ大会入賞
東京都青年大会準優勝

と輝かしい成績をあげました。また、東京都大会、全国大会の個人戦においても多くの選手が活躍し、成績を残しています。

江東区バドミントン協会は 2019 年で創立 60 年を迎えます。この伝統を大切に守り、全員が参加する協会を繋げていき、なお一層の発展と普及を努めます。



墨東五区大会優勝 4 連覇！



都民男子優勝・墨東五区 4 連覇祝賀会

品川区バドミントン協会

沿革・歴史

＜歴代会長と在任期間＞

初代会長　館山　健一　昭和34年～
2代会長　萩村　博治　昭和39年～
3代会長　遠藤　重男　昭和45年～
4代会長　藤本　　賢　昭和62年～
5代会長　殿川　宣勝　平成26年～

当協会は昭和30年から活動を開始し、昭和35年に品川区体育協会に加盟しました。

1964年の東京オリンピックを機にスポーツ振興が叫ばれ、体育館、総合体育館、地域センター、小中学校体育館の開放など、施設の拡充が行われ、それを利用したバドミントン教室を開いて当協会役員も指導に当たりました。その甲斐あって1980年頃から地域のクラブチームが結成され、会員が増加しました。そこで協会の充実をはかるべく、部内に総務、会計、競技審判、指導部を設け、組織の強化を図りました。

20年前の会員数は500名前後でしたが、会員の皆様が多数参加できるよう試合種目や実施方法を吟味した結果、現在は800名を超えました。

さらに、上部大会（東京都、関東、全日本等）にも20代から70代まで多数の会員が出場し、毎年優秀な成績を収めています。当協会会長は東京都バドミントン協会の副会長を務められている中、会員も各種大会審判員を派遣し活躍しています。また公認審判員数、公認スポーツ指導者資格獲得者も増加し、今後、ますます協会の責任は重要視されています。

役　員



会　長	殿川　宣勝
相談役	小泉　紘
副会長	上田　孔
副会長（会計部長）	三住登喜子
理事長（総　括）	児玉　章夫
副理事長（総務部長）	木伏千鶴子
副理事長（競技審判部長）	但野　江治
副理事長（総務副部長）	田口　幸子
常任理事（指導部長）	野田　慶子
（指導副部長）	藤森　隆
（会計副部長）	岸田　初枝
（競技審判副部長）	増田　智恵
（総務部）	高橋千代子
（会計部）	吉田三代子
（指導部）	桐生　義宏

創　　立　◎ 昭和 35 年 11 月
住　　所　◎ 〒141-0022　品川区東五反田2-11-2
　　品川区スポーツ協会内

活動と経過

＜ 2010 年の節目に＞

平成 22 年５月「品川区バドミントン協会創立 50 周年記念式典」を関係各位のご協力の下、盛大に開催いたしました。50 年という大きな節目を迎え、協会の更なる発展に努めるとともに「生涯スポーツ」「競技スポーツ」として区民の皆様に愛好していただけますよう普及活動と組織の充実に努めてまいります。



品川区バドミントン協会創立 50 周年記念式典

＜ばと.. みんとんからバドミントン..... まで＞

水曜や金曜の一般開放では管理技術指導を行い初めての方や一人で利用された方にも対応し、ジュニア教室も開催しています。また、技術の向上や、会員の親睦を図るため、バドミントン教室や一日研修会も行っています。各大会については、レベルや年齢に応じて楽しく充実した試合ができることを第一に考え、クラス別や年齢別にしたり、団体戦、ミックス大会、マスターズ大会等バラエティに富んだ内容で開催しています。８月には、故藤本賢前会長を偲んで「藤本賢メモリアル杯」としてトリプルス戦を含む団体戦も行い好評です。今後も皆様に喜んで参加していただけるよう、協会の事業を一層充実させたいと思います。

＜ジュニア世代＞

「ジュニアスポーツアジア交流大会観戦ツアー(写真上)」に参加した中学生たちは、同世代が粘り強く戦う姿を目の当たりにし、感動しました。

協会では年間を通してジュニア教室を開催しています。当会員が指導する「すまいる」バドミントン教室にも毎月多くの児童が参加しています。また、個人主催のジュニアクラブでも真剣に練習しているジュニア選手がいます。協会として、これらの子供たちの心身の向上に役立つよう支援し、将来活躍できるような選手育成にも取り組んでいきたいと思います。

＜主な事業＞

４月　区民春季バドミントン大会・マスターズ大会
６月　第１回大会（ミックスダブルス戦）
７月　第２回大会（シングルス戦・年齢別ダブルス戦）
８月　藤本賢メモリアル大会（トリプルス戦）
　　京浜地区親善バドミントン大会
10月　初級・中級バドミントン教室（全５回）
　　区民秋季バドミントン大会
11月　一日研修会
12月　第３回大会（団体戦）
１月　バドミントン教室（全３回）
２月　第４回大会（クラス別ダブルス戦）
３月　バドミントン教室
４～８月　前期ジュニアバドミントン教室
９～２月　後期ジュニアバドミントン教室



目黒区バドミントン協会

沿革・歴史

＜歴代会長と理事長＞

初代会長　岡田　幸吉　昭和30年～昭和39年
2代会長　金野　好治　昭和40年～昭和48年
3代会長　鈴木嶺五郎　昭和49年～昭和56年
4代会長　杉田　安雄　昭和57年～平成18年
5代会長　兒嶋　昇　平成18年～

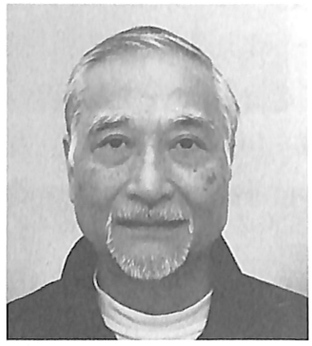
初代理事長 杉田　安雄　昭和30年～昭和54年
2代理事長 関　敏夫　昭和55年～昭和56年
3代理事長 兒嶋　昇　昭和57年～平成24年
4代理事長 落合　康夫　平成25年～

目黒区バドミントン協会は、故杉田安雄氏が、60年前 未だ日本にバドミントン競技が紹介されて間もなくの頃先陣を切ってこの目黒区にバドミントン協会を設立し、自ら小学校などの学校開放の施設を駆け巡り熱真に競技を普及指導されて来られました。

その意思を、引き継いでいます。

役　員

顧　問　橋本　欣一
参　与　吉良　一嘉
　　山本　昭治
　　大木　貞夫



会　長　兒嶋　昇
副会長　後藤　啓子
理事長　落合　康夫
副理事長　野村　幸一（会計）
　　天野　聡士（総務）
　　中野　健太（競技・審判）
常任理事
総　務　久保田祥久　杉田　昭博
会　計　森谷　静江　酒井喜久子
　　浅野　照代
競　技　小松崎貴美枝　竹内　学
　　田中　進一
審判・強化・指導　落合　久夫

創　　立　　◎ 1956 年吉日 (創立 60 周年)
住　　所　　◎ 〒152-0022　目黒区柿の木坂1-32-22
連絡担当　　◎ 落合　康夫　　電話　03-3760-0220

大会・成績

＜区内の大会＞
クラブ対抗団体戦／春季秋季区民大会／目黒オープン大会／協会後期大会／初打ち大会／ジュニア育成講習会・強化練習会／協会登録者対象バドミントン講習会

＜都大会＞
都民体育大会／東京都生涯スポーツ大会／東京都支部対抗戦

＜国内大会＞
関東シニア選手権大会／全日本シニア選手権大会

将来の展望

本協会は、2016 年で 60 周年を迎え、更なる協会の発展と、協会会員の技術力向上、区民への普及活動を進めて行く努力をしていきたいと思います。



2009 年　都民大会 女子の部　第3位



2016 年　東京都生涯スポーツ大会　ブロック優勝



2013 年　都民大会 女子の部　第3位



目黒区バドミントン協会　創立 60 周年記念式典

大田区バドミントン協会

沿革・歴史

＜歴代会長と在任期間＞

初代会長　石井　資郎　昭27年4月～昭33年3月
2代会長　湯本　重敏　昭33年4月～昭49年3月
3代会長　権田　正一　昭49年4月～昭55年3月
4代会長　古岡　　勝　昭55年4月～平6年3月
5代会長　小泉　直坦　平6年4月～平9年3月
6代会長　新井　初枝　平9年4月～平14年3月
7代会長　永井　敬臣　平14年4月～現在

＜昭和 27 年 協会設立にあたって＞

バドミントンという種目そのものが未開発で、そのうえ社会人と学生、都内各区の間の情報が少ない中、当時バドミントンについては何一つとして耳にする事がなく、大田区内では、帝国石油、東京計器、宮田製作所くらいで、個人として少々やっている程度であった。

そこで帝国石油の石井資郎氏を会長に東京計器および宮田製作所のバドミントン愛好家による、区教育委員会ならびに区体育協会への申請活動の努力が実り、協会が誕生した。昭和 30 年 4 月にシングルスコート 2 面が取れる体育館が完成、合同練習会、初心者講習会等が定例開催できるようになり、協会の『年間事業計画』がしばらく軌道に乗った。(故、湯本重敏氏の「おめでとう 40 周年」記念誌より抜粋)

その後、昭和 39 年に大田区総合体育館（平成 24 年 3 月建替 14 面) 及び平成 9 年に大森スポーツセンター（8 面）等の施設が次々新設となり、本格的な大会運営が出来る環境となった。

平成 14 年永井会長が就任し、新たな環境下での大会運営、組織の改革にあたり現在の体制に至っている。

役　員



会　　長　永井　敬臣
副 会 長　渡司みゆき　長洲　弘文
　　菅原　幸雄
理 事 長　厚川　　勇
副理事長　塚田　敦子
会計部長　森谷　満佳
総務部長　桜井　邦光
競技部長　石井　幸男
審判部長　村石　洋一
強化部長　門井　　誠
ジュニア育成部長　鈴木　千秋

創　　立　◎ 昭和 27 年4月1日
住　　所　◎ 〒143-0012　大田区大森東4-19-20
事務担当　◎ 厚川　勇　　電話　03-3755-6561

活動・経過

＜区内の大会＞

区民スポーツ大会（春季個人戦：一般、中学）/ 混合ダブルス大会（協会主催）/ 区民スポーツ大会（秋季個人戦:一般、中学）/ 区民スポーツ大会（秋季団体戦）/ ジュニアシングルス・ダブルス大会 / 総合選手権大会（個人戦:一般、中学）/ 強化練習会（毎月）/ 区各種行事（スポーツまつり、バドミントン教室など）の開催

＜都大会＞

都民体育大会 / 東京都生涯スポーツ大会 / 東京都支部対抗戦

＜国内大会＞

関東シニア選手権大会 / 全日本シニア選手権大会 / 全日本レディース大会　など

将来の展望

本協会は、区からの依頼により年３回の大会を主管し、一般の部に合わせて、中学の部も開催している。特に中学の部は、中学校との連携や役員の強化・指導への協力により、毎回多くの中学校から、約 300 名近い選手の参加をいただき、盛大な大会となっている。

そのベースとなるのは、ジュニア世代の育成であることから、平成 28 年度からジュニア育成部を立ち上げ、ジュニア（小学生）の育成・活動ならびにジュニア大会の充実などを地道に進めていくことにより、将来を見据えたバドミントンのさらなる普及・発展に努めていきます。



平成 29 年度　大田区ジュニアバドミントン大会



平成 28 年度　ジュニアバドミントン大会における講習

世田谷区バドミントン協会

沿革・歴史

＜歴代会長と在任期間＞

初代会長　大野　　有　昭30年4月～昭38年3月
2代会長　佐久間孝信　昭38年4月～昭42年3月
3代会長　横井　正雄　昭42年4月～平18年3月
4代会長　猪又　秀雄　平18年4月～現在

昭和29年に世田谷区教育委員会より、初心者教室に参加していた企業を主体とした区内のバドミントン組織の設立要請があり、それを受け、昭和30年4月に当協会が創立されました。

創立初期は、普及事業を一年中開催していましたが、何分施設が不足していたため、他のスポーツ団体と競合したり、区内企業や大学の体育館を間借りしたりして開催していました。

大会の参加者は、昭和40年代までは企業・大学・高校・教職員等が大半でしたが、昭和50年代以降は一般の方々への普及が高まり、企業のクラブ所属者より一般の方々の参加が増えました。中学生大会は、昭和32年より開催しており、近年は参加者が増加傾向で大会も盛況です。

役　員



会　　長	猪又　秀雄		
理 事 長	安藤　武夫		
事業部長	小島鴻太郎		
事業部員	高橋　　誠	小沼　勇次	
	高野　弘美		
指導普及部長	猪又　秀雄		
指導普及部員	山田　芳香	三保　純子	
	芳賀　道子	徳井　清仁	
総務企画部長	古川　　洋		
総務企画部員	松浦　玲子	西村さおり	
	門真　陽香		
監　　査	武川　富雄	横山　　登	

創　　立　◎ 昭和 30 年4月1日
住　　所　◎ 〒158-0094　世田谷区玉川4-20-28
連 絡 者　◎ 安藤　武夫　　電話　03-3415-0692

活動・経過

＜大会等の開催＞

協会杯争奪戦（年２回）、区民大会（前期・後期）、区民体育大会、年齢別混合ダブルス大会、初心者・初級者教室、地域体育館スポーツ教室等の開催

＜都・関東・国内大会等への選手派遣＞

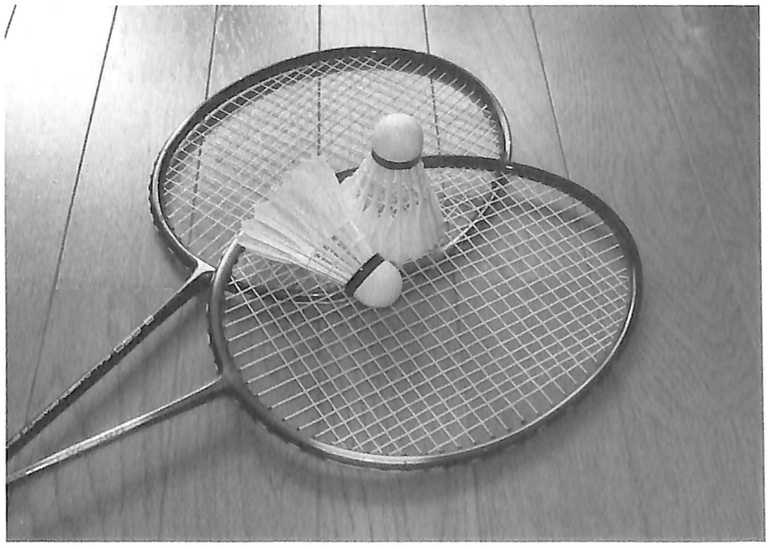
都民体育大会、山の手地域大会、関東シニア選手権大会、全日本シニア選手権大会、全日本社会人選手権大会等への派遣

＜各種大会等への役員・審判員の派遣＞

ジャパンオープン、全日本総合選手権大会、東京都ジュニアスポーツアジア交流大会等への派遣

将来の展望

当協会としては、近年のトップ選手の各種大会での活躍により、バドミントン熱の高まりを受け、今後とも競技人口の拡大やジュニア育成のための取組みなどを進めていくとともに、生涯スポーツとしてのバドミントンの普及振興にも努めてまいります。



渋谷区バドミントン協会

沿革・歴史

＜歴代会長と在任期間＞

初代会長	和田　元親	1960年～
2代会長	五十嵐恤生	1961年～
3代会長	五十嵐有爾	1972年～
4代会長	清水　善一	1992年～
5代会長	石田　昭訓	2005年～
6代会長	畑　　俊次	2016年～現在

渋谷区におけるバドミントンの歴史を振り返ってみると、1950年（昭和25年）4月3日に開催となった「バドミントン講習会」にまでさかのぼることができます。1955年(昭和30年)3月に第一回の区民大会が広尾小学校で開催されました。それから5年後の1960年(昭和35年)3月に【渋谷区バドミントン協会】（以下協会とする）を設立することができました。同年4月に渋谷区体育協会に加盟しました。

当時、渋谷区には専用の体育館がありませんでした。大会は小学校の体育館を借りて実施していました。バドミントンコートの設備はなく、運営には多くの苦労がありました。その後、1985年に渋谷区スポーツセンター、1989年にはひがし健康プラザも完成し、大会を運営しやすくなりました。

現在では、初心者教室を始め、ジュニア育成教室の運営、シニア講習会の開催。そして数多くの大会も開催しています。

役　員



会　　長	畑　俊次		
副 会 長	近岡　昭	杉山　保	
理 事 長	神崎　晃		
副理事長	太田　学	東原ひとみ	
理　　事	村田　香	宮本一二三	
	藤沼　重人	鬢櫛　太郎	
	早川るみ子	田村　勝	
	鎌田　勇一	村山　健二	
	池田　昌泰		
監　　事	関川　雄一	茂庭　弘子	

創　　立　◎ 1960 年 (昭和 35 年)
住　　所　◎ 〒151-0066　渋谷区西原1-40-18
連 絡 者　◎ 東原ひとみ

活動・経過

＜区内の大会の開催＞

春季区民大会、ダブルス選手権大会、前期団体戦、秋季区民大会（レディース＆メンズ)、秋季区民大会、シングルス大会、中学生シングルス選手権大会、後期団体戦、混合ダブルス大会、中学生シングルス大会

＜東京都大会への選手派遣＞

都民大会、東京都生涯スポーツ大会、東京都シングルス選手権大会、東京都支部対抗戦、東京都混合ダブルス選手権大会

＜国内大会への選手派遣＞

全日本社会人大会、関東シニア選手権大会、全国青年大会

＜大会での成績＞

1999 年　都民大会男子　5 位入賞
2014 年　都民大会女子　8 位入賞
2016 年　都民大会女子　準優勝
2017 年　都民大会女子　優勝

その他各種の大会で入賞しています。

将来の展望

近年、オリンピックでの日本人選手の活躍もあり、バドミントン競技のレベルも向上し、参加者も多くなっています。競技レベルの向上についてはジュニア期からの指導が重要ですが、協会でも 2000 年から育成教室を開催しています。現在は週 2 回の教室やそれ以外にも強化練習を行っています。各種大会への参加や年 2 回の合宿を実施し全国大会レベルの選手も出てきています。

競技の裾野を広げる生涯スポーツへの取り組みとしては、2013 年からシニア（55 歳以上）の教室を開催しています。

このような活動を通じてスポーツの基本である心身ともに健康なバドミントンを目指すことによって、これからも東京都協会の活動に貢献したいと考えています。



第 70 回　都民体育大会 女子優勝



山の手地域バドミントン大会

中野区バドミントン協会

沿革・歴史

＜歴代会長と在任期間＞

初代会長　山崎　喜作　S27年～S46年
2代会長　川田　喜一　S47年～S49年
3代会長　笠井　知吉　S50年～S51年
4代会長　佐賀　武兵　S52年～S63年
5代会長　川田　喜一　S63年～H6年
6代会長　堺　栄一　H7年～

バドミントン競技が、日本でもようやく普及し始めた昭和25年頃、区内では鷺宮高校を中心に行われていた。一方、競技団体の組織化を進めていた区教育委員会主催の初講習会が昭和27年1月開催された。4月には都民大会の予選会も開かれて、協会設立の気運も高まり鍬森武麿先生（鷺ノ宮高校経論）を中心に中野区バドミントン協会が結成された。協会設立から暫くは、都民大会への参加と年2回の大会開催が主行事であった。

バドミントン愛好者の増加に伴って、昭和50年に新しい規約を基に区内全域から役員を選出、全員登録制の実施、指導員の増強、協会自主事業を増やし年4回の大会開催等、今日の協会の基礎が出来上がった。東京都バドミントン協会への加盟もこの年実現した。

昭和45年に落成した区立体育館は普及、指導、強化の面で協会の発展に大きな力となった。昭和47年に鍋横クラブが誕生して以来、愛好者クラブの活動が盛んになり、現在では17のクラブがあり大会参加等活発な活動をしている。

平成になってからの協会の運営は安定しているが、更なる充実と発展のために会員登録者の増加と大会参加者の増大に努めている。又、多くのクラブから役員を選出し、幅広い分野の方々に協会運営に協力していただいている。

その結果、平成14年に行われた創立50周年記念大会には430名を超える参加者があった。会員登録は、平成18年には500名を超えて、昨年度は750名を超える多くの方々に登録していただいた。

役　員



会　長	堺　栄一	
理事長	若月　滋人	
理　事		
（競技担当）	柳　敬三	長谷　詔子
	村田　弘美	小林　秀子
	榛村　隆伸	大坂砂絵子
	船木美加子	森尻　裕夫
	高橋　廣明	伊木　文枝
	工藤　哲也	
（総務担当）	岡田　智子	近藤志津子
	吉原さと子	粕谷　晴美
（登録担当）	飯島　ゆき	伊藤　康江
（会計担当）	中本百合江	成田沙耶子
（事務局）	鶴田　雅子	

創　　立　◎ 昭和 27 年11月
住　　所　◎ 〒164-0012　東京都中野区本町2-35-2　堺栄一気付
事務担当　◎ 鶴田　雅子　　電話　03-3825-9019

活動・経過

＜区内大会の開催＞
春季大会・団体戦・ジュニア講習会＆大会・秋季大会・新春大会
混合大会

＜外部大会への参加＞
都民大会・都民生涯スポーツ大会・青年大会・支部対抗・山の手地区大会

＜ジュニア・初心者教室への講師・指導員の派遣＞

＜区立体育館・区立中学校体育館の一般開放への指導員の派遣＞

＜パラスポーツ教室への指導員の派遣＞

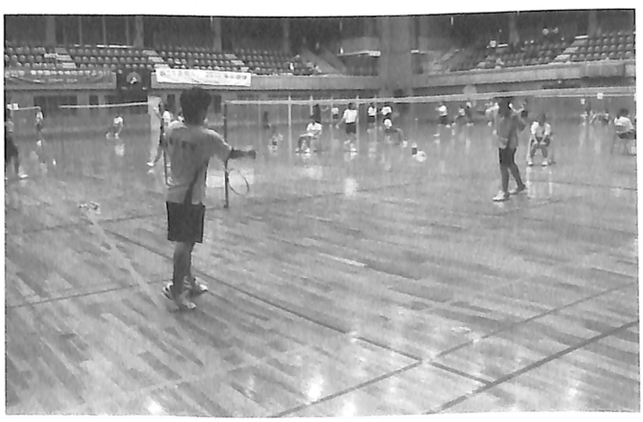
＜都民大会の戦績＞
男子
3位：S35 年・H18 年・H20 年
4位：S52 年
女子
準優勝：S61 年・H3 年
3　位：S34 年・S54 年・S58 年・S59 年・S60 年・H10 年
4　位：S56 年

将来の展望

当協会は少子高齢化が急速に進む中で、平成 20 年ジュニア大会、平成 21 年シニア大会（団体戦）をスタートさせた。

平成 31 年度中に念願の新体育館が完成（予定）するのを機会に、これからの大会をより一層充実させ、従来の大会と併せてバドミントンの楽しさ、面白さを味わって頂ける様に努力したい。又、区内バドミントン愛好者の統括機関として、バドミントンの健全な普及、発展を図り併せて区民体育、レクリエーションにも寄与できるように活動していきたい。





杉並区バドミントン連盟

沿革・歴史

＜歴代会長と在任期間＞
初代会長　村山　幸雄　昭28年～昭56年
2代会長　吉田　格磨　昭57年～平7年
3代会長　小形　彰次　平8年～現在

昭和 28 年 2 月 15 日、日本バドミントン協会の専務理事を務められた村山幸雄氏（名誉会長）が、区のバド仲間に呼び掛け、本連盟が結成され、65 年目を迎えました。

昭和 30 年代の半ばから 40 年代にかけて、区内に相次いで 4 ヶ所の地域体育館が新築された勢いと先駆者達のバドへの熱意とが相俟って、家庭婦人を核としたバドのグループが続々と誕生し、それが元始となり、バド熱が一気に醸成され、40 年代の盛況となり、競技だけでなく審判員を含め、中央の仲間入りの切っ掛けをいただくようになりました。

この間、何度か連盟運営の危機に遭いましたが、特に女性首脳陣の頑張りで乗り切り、区民が安心してスポーツの楽しさを満喫できる環境整備が出来たと自負しています。

役　員



会　長	小形　彰次
理事長	山口由記子
総務部	秋山　昭子（部長）
	山本　昌枝（会計）
	須見ひとみ
競技部	家串　友治（部長）
	尾崎　恵子
	石塚　英之
審判部	村本ひろみ（部長）
強化指導部	草場　　律（部長）
	菅原千恵子
理　事	上田　晴世
	多田　幸利　ほか 31 名
中体連	今村　吾朗
監　事	服部　　磯貝
名誉会長	村山　幸雄
顧　問	石原　伸晃　吉田　格磨
	藤本　直也　真砂野
	大和田　伸

創　　立　◎ 昭和 28 年 2 月 15 日
住　　所　◎ 〒168-0073　杉並区下高井戸3-33-2
連 絡 者　◎ 山口由記子　　電話・FAX　03-5374-6543

活動・経過

＜区の大会＞

区民体育祭（小学生・中学生・高校生・一般・レディース・混合・団体 - 男女一般、PTA）／混合ダブルス戦／レディース大会／オープン大会／中学生新人大会

＜都の大会＞

都民体育大会／都民生涯スポーツ大会／青年大会／都支部対抗戦／山の手地域大会（世田谷・渋谷・中野・杉並）

＜会議、講習会など＞

評議委員会（年 2 回）／常任理事会／ジュニア・審判講習会／初心者・中級者バド教室

＜成果など＞

都民大会で、平成 21 年女子優勝など優勝は 2 回、準優勝 1 回。男子も準優勝 1 回。全国青年大会では、都代表として数回の全国優勝の実績。また、山の手大会では、その大半を優勝で占めています。

会員個人としても、全日本シニアやレディース、教職員、関東シニア、都シングルス・ダブルス大会など、多くの成績優秀者には、枚挙に遑がありません。

更に、日バド協・都バド協の大会への審判員の派遣では、年間で 180 名を超す成果を上げています。

将来の展望

この数年での大会などの参加者は、年間で 4,500 名以上となりましたが、施設の不足を痛感し、総合運動場公園を切望しています。更に、内省的にはスポーツ理論の徹底を図ることなどが大きな目標です。

オリンピック大会などでは、地域でのスポーツ熱を一層、高揚させることが、ボランティア活動と同じ比率で重要なことだと想います。

高齢者などの生涯スポーツへ配慮した企画も期したいと考えていますが、それも行政だとの願いを持って、次世代への引き継ぎを新たにしています。



平成 27 年　山の手地域大会杉並チームの面々


平成 21 年　都民体育大会で女子優勝



平成 29 年　区民祭の熱戦

豊島区バドミントン協会

沿革・歴史

＜歴代会長と在任期間＞

初代会長　中山　昇治　昭33年4月～昭42年3月
2代会長　相原　　勇　昭42年4月～昭48年3月
3代会長　田中　春夫　昭48年4月～昭61年3月
4代会長　相原　　勇　昭61年4月～平18年3月
5代会長　千葉　健夫　平18年4月～現在

当協会は、昭和33年3月4日に創立した。今日まで60年の長きにわたり、営々と発展を続けて来た。現会長の千葉健夫氏は理事長として昭和45年より本会の発展に努めてきたが前相原勇会長の後を受けて会長職となった。組織の改革にあたり現在の体制となり、日本バドミントン協会の中枢とも言える日本体育協会の公認指導員、日本バドミントン協会の公認審判員を多数育成し、ジャパンオープンや全日本総合選手権大会などに、多数の役員、審判員を派遣している。近年は、第11回となる東京都ジュニアスポーツアジア交流大会に役員、審判、選手（淑徳巣鴨中）も派遣している。

役　員



会　　長	千葉　健夫	
副 会 長	近藤　敏彦	橋本　道子
	佐藤　勇治	
理 事 長	中島　正雄	
副理事長	矢野　かよ	井上つや子
	本吉　裕子	高麗　　清
総務部長	大橋　智美	
普及部長	松野　　茂	
強化部長	中村　恒子	
審判部長	西山　智音	
ジュニア育成部長	有賀　雅子	
経理部長	大堀　明美	
競技部長	大図　　実	
レデイース部長	大澤　恵子	



平成28年　秩父親善交流大会

創　　立　◎ 昭和 33 年 3 月 4 日
住　　所　◎ 〒170-0005　豊島区南大塚 2-42-3-1105
事務担当　◎ 中島　正雄　　電話　03-5395-7224

Toshimaku Badminton Association

大会・成績

＜区内の大会＞

クラブ対抗団体戦 / 春季区民体育大会 / 初心者大会 / レデイース・スポレク大会 / 秋季レデイース大会 / 秋季区民大会 / 会長杯 / 地域対抗団体戦 / 混合ダブルス大会 / ダブルス大会 / ジュニアシングルス・ダブルス大会 / グランドシニア大会。バドミントン強化練習会 / ジュニア教室など開催

＜都大会＞

都民体育大会 / 城北五区大会 / 東京都生涯スポーツ大会 / 秩父親善交流大会 / 東京都支分対抗戦。


生涯スポーツ大会


第 31 回 城北五区大会優勝

＜国内大会＞

関東シニア選手権大会 / 全日本シニア選手権大会 / 日本レデイース大会 / 東京都ジュニアスポーツアジア交流大会に 11 年連続で淑徳巣鴨中学の生徒を派遣 / 平成 26 年度都民体育大会女子・5 位入賞 / 平成 27 年度 / 都民体育大会男子・第 3 位 / 女子・第 5 位入賞・平成 28 年度城北五区大会優勝 / 等々各種の大会で入賞を遂げている。

豊島区バドミントン協会では、毎年、恒例のバドミントン強化合宿を開催しています。


平成 29 年 10 月 22 日・合宿写真

また、上部大会の入賞者として、豊島区バドミントン協会登録選手が下記のとおり表彰されました。(敬称略)

・日本スポーツマスターズ 2016
　秋田大会女子団体
　東京代表チーム：準優勝…中村恒子
・全日本シニア 2016 大会
　混合ダブルス・35 歳以上：優勝…石田麻衣
　混合ダブルス・60 歳以上：3 位…加藤伊佐武

最後に、来年度、平成 30 年度に、豊島区バドミントン協会は“創設 60 周年”を迎えることとなります。その周年記念祝賀会としては、平成 30 年 11 月 25 日開催を予定しています。



会長の文部科学大臣賞表彰 祝賀会

北区バドミントン協会

沿革・歴史

＜歴代会長と在任期間＞
初代会長　榎本　　守　昭29年7月～平7年3月
2代会長　麻生　了輔　平7年4月～平26年1月
3代会長　秀　　敏明　平26年1月～現在

当協会創立前より、北区の企業・事務所が東京都実業団連盟に加盟し活躍していた。

愛好会の増加に伴い、協会創立を要望する声が高まり、また一般区民にも最適なスポーツであるとの認識から昭和 29 年、初代会長の榎本氏らが中心となり創立した。

創立当初は、体育館の確保に苦労し、学校・企業の体育館をお借りして大会を開催していた。第 1 回大会 (S29.11) は、2 面の体育館でシングルス大会（学生・社会人）を行い、第 2 回大会 (S30.2) は、3 面の体育館を確保し、シングルス・ダブルス大会を行った。第 3 回大会は (S30.11) は、参加者も増え、3 日間をかけての開催となった。その後は、シングルス・ダブルス・混合ダブルス・会社対抗団体戦を定期的に開催した。

昭和 41 年 1 月に待望の区民体育館 (桐ヶ丘体育館) が落成し、6 面のコートで競技できるようになり、今まで数日を要していた大会が 1 日で消化できるようになり関係者一同、大きな喜びであった。

社会人中心の協会であったが、昭和 40 年後半に事務所の移転が相次ぎ、チーム数が減り、衰退した時期もあった。しかし、昭和 50 年代に家庭婦人の競技人口が増え、協会を支える中心となり、現在に至っている。

役　　員



会　　長	秀　敏明	
理 事 長	渡邊　春男	
副 事 長	伏間　誠志	（兼競技部長）
	森　暁美	（兼競技普及部長）
常任理事	井上　裕子	（財務部長）
	野原真奈美	（レディース部長）
	青木　薫	（総務部長（体協））
	真弓佳世子	（総務部長（東バド））
	香川　昌子	（強化部長）
	秀　真理子	（審判部長）
執行理事	国府田春美	小谷　章子
	磯野加代子	松永　明子
	小林　弘美	貫井　智一
	原　啓介	斉藤武一郎
	高島　聡	石井　巖
	福島　次郎	川名部洋子
	荒木　史恵	
監　　事	若井　悟	岡島ちり子
参　　与	高橋　公子	
顧　　問	半谷　要一	
名誉顧問	佐々木洋子	

創　　立　◎ 昭和 29 年 7 月 15 日
住　　所　◎ 〒114-0002　北区王子4-26-4-1103
事務担当　◎ 渡邊　春男　　電話　03-5390-4459

活動・経過

＜北区大会の開催＞

レディース団体戦（1 部～ 3 部）（春・秋）/ 麻生杯団体戦（夏・冬）/ 混合ダブルス選手権大会 / 区民体育大会（バドミントン競技）/ 新春区民バドミントン大会 / 都民大会代表選手選考会兼北区バドミントン選手権大会 / シニアオープン大会【新設】/ ジュニア選手権大会【新設】

＜練習会・教室・講習会・イベント＞

・体協主催　初心初級者教室に指導員派遣
・北区バドミントンデーを年 10 回開催
　初心・初級者教室補習授業
　キダッチョ君クラブ（中級者教室）
　キダッチョ君ジュニア（小学生）
　中上級者交流会（練習会）
・強化練習会を適宜開催
・都民大会テストマッチ大会の開催
・桐ヶ丘体育館開放指導者派遣
・審判講習大会開催
・東京都障害者総合スポーツセンターに講師派遣
　みんなでバドミントン（初・中級者）
　はじめようバドミントン（初心者）

＜北区代表　団体戦参加＞

都民体育大会 / 城北五区大会 / 都民生涯スポーツ大会 / 東京都支部対抗戦 / 川口市都市交歓交流大会

＜審判派遣＞

東京都協会主催主管大会に審判派遣 / 東京都障害者総合スポーツセンター主催　はばたきバドミントン大会の審判派遣 / 北区PTA大会に審判派遣

将来の展望

老若男女問わず、気軽に参加できるように、大会や練習会を開催して行きます。

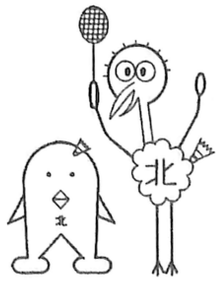
また、ジュニアの健全育成に力を入れ、正しいルールと技術の指導を行い、バドミントンの普及発展に努力して行きます。



第 78 回都民体育大会（男子）優勝



第 26 回城北五区大会 優勝



キダリーナちゃんとキダッチョ君

エンブレム

北区協会バドミントン非公認キャラクター

荒川区バドミントン協会

沿革・歴史

＜歴代会長と在任期間＞

初代会長 小嶋　　駸　昭38年11月～昭44年3月
2代会長　久木　留広　昭44年4月～昭53年3月
3代会長　三矢　　勲　昭53年4月～平8年3月
4代会長　久保田忠宣　平8年4月～平18年3月
5代会長　岡村　英男　平18年4月～平26年3月
6代会長　久保田　剛　平26年4月～現在

当協会は、昭和38年11月15日に創立しました。創立当初は荒川区バドミントン連盟として設立し、昭和63年4月、現在の荒川区バドミントン協会に名称変更しました。現会長の久保田剛氏は平成18年より理事長として前岡村英男会長と共に組織の改革とバドミントン競技の普及、発展に努め前会長勇退後も志を受け継ぎ現在に至っています。

日本バドミントン協会の公認審判員の育成にも力を注ぎ、ジャパンオープンや全日本総合選手権大会へも多数の審判員を派遣させて頂くことで、バドミントン競技の振興にも微力ながらお力添えさせて頂いています。

役　員

名誉会長　西川太一郎
顧　　問　岡村　英男



会　　長　久保田　剛
副 会 長　吉見　圭一　緒方　　清
　　福田　克雅
理 事 長　久保田　剛
副理事長　金子　貞子　藤井　史郎
　　金井　正彦
総務部長　石田ひろ子
審判部長　米山千鶴子
競技部長　打越　弥生
指導部長　猪口　真人
総務担当　山中美恵子　中條　博美

創　　立　◎ 昭和 38 年 11 月 15 日
住　　所　◎ 〒116-0013　荒川区西日暮里2-31-4
事務担当　◎ 金子　貞子　　電話　03-3891-2613

活動・経過

＜区内大会・練習会等＞

混合ダブルス大会 / クラブ対抗団体戦 / ダブルス大会 / 秋季区民大会 / レディース親睦団体戦 / 新春始球会団体戦 & 親睦会 / レディース講習会荒川オープン。スポーツ広場活動 / 荒川ジュニア練習会 / 体育の日スポーツ教室等を開催

＜都大会＞

都民体育大会 / 城北五区大会 / 青年大会 / 生涯スポーツ大会へ選手派遣

＜国内大会＞

全日本社会人 / 全日本シニア選手権大会 / 日本レディース

生涯スポーツフェスティバル事業



荒川区体育協会のスポーツ振興活動『生涯スポ ーツフェスティバル』のバドミントン教室の一コマ。
荒川スポーツセンターが持つコートマットを敷き、一般の区民の方々に世界大会等テレビで見る環境を少しでも体験して頂こうという企画でした。

折角コートマットだが貸出しの機会少ないらしい…ジュニア育成や区代表の練習会、大会等で是非させて頂こうと考えていいる。イベントでもすごく人気があり、参加者の皆さんは喜んでくれました。

第 67 回　区民体育大会



秋季区民体育大会表彰式終了後の集合写真。
当協会役員、協会員ならびに入賞した選手です。
入賞された選手の方々の笑顔が印象的です。

おわりに

本協会は平成 25 年に創立 50 周年を迎え、60 周年に向けて一致団結してバドミントン競技の普及、振興に邁進していくつもりです。2020 年には東京にてオリンピック・パラリンピックが開催されます。我が協会は東京都バドミントン協会と心をひとつにして、この『スポーツの祭典』を最高のものにすべくジュニア選手の育成、組織の更なる強化等できうる限りの活動をしていきます。

今後の 10 年はバドミントンを取り巻く環境が激変することも考えられますが、しっかり未来を見つめ高い志を持ってバドミントンの普及と発展に努力していきたいと思います。

東京都バドミントン協会創立 70 周年、本当におめでとうございます。

板橋区バドミントン協会

沿革・歴史

＜歴代会長と在任期間＞

初代会長　三浦　安雄　昭36年～昭40年
2代会長　上原　豊繁　昭48年～昭51年
3代会長　清水　篤　昭52年～平04年
4代会長　尾科　正誼　平05年～平09年
5代会長　根岸　知子　平10年～平21年
6代会長　原　正人　平22年～

当協会は昭和36年に板橋区内の山之内製薬、大日本インキ、板橋区役所、富士紙工等の12クラブの企業クラブにより設立されました。会員数は130名程度であり大会会場は区内中学校の体育館をお借りして開催していました。当時は企業を主体とした団体として活動をしてきましたが、現在は地域・社会人クラブのみの登録となり、設立当初とは様相を一変しています。加盟クラブ数38クラブ、会員数800名の団体となっております。大会数も増加し、オープン大会では都内はもちろん、近県からの多数の参加を頂くまでになっています。

役　員

名誉会長　根岸　知子



会長　原　正人
副会長　島田　稔
理事長　千葉　明
副理事長　関　昭
常務理事　佐野　法道　根岸　昭好
吉田　浩和　森川　豪
大曽根一郎　鈴木　康
中村　満高　小野　裕美
小林　恵子　浅倉　文子
上田　彰子
監査　高橋　均

日本バドミントン協会
公認審判員資格審査認定委員
原　正人　関　昭
東京都バドミントン協会
理事　原　正人（審判部 部長）
評議員　島田　稔
板橋区役体育協会
評議員　原　正人
理事　関　昭　浅倉　文子
代表委員　小林　恵子

1級公認審判員　5名　　2級公認審判員　6名
3級公認審判員　99名

創　　立　◎ 昭和 36 年 7 月 15 日
住　　所　◎ 〒174-0063　板橋区前野町1-21-5-114 浅倉文子方
事務担当　◎ 浅倉　文子　　電話　03-6789-7561

大会・成績

＜区大会＞

春季クラブリーグ戦（団体戦）/ 春季大会（ダブルス個人戦）/ ミックス大会（個人戦）/ 夏季大会（混合団体戦）/ 秋季大会（シングルス個人戦）/ 秋季クラブリーグ戦（団体戦）/ 区民体育大会（ダブルス個人戦）/ オープン大会（団体戦）/ 冬季大会（ダブルス個人戦）/ レディースオープン大会（団体戦）/ 年齢別大会（ダブルス個人戦）

＜都大会＞

都民体育大会 / 城北五区大会 / 東京都支部対抗戦

＜国内大会＞

全日本シニア選手権大会 / 全国青年大会

東京都民体育大会女子チームが平成 25 年の優勝を皮切りに、準優勝、3 位と健闘してきており、平成 29 年度も 3 位に入賞を果たしました。

将来の展望

当協会は 50 周年を過ぎ、次の 10 年に向けて様々な取り組みを行っています。

オリンピックや世界大会での日本選手の活躍もあり当協会でも 800 人以上という大きな会員数を保持しており、ジュニア育成事業でも、全日本総合選手権シングルス優勝経験者の長谷川博幸氏を講師に強化に努めています。

また、審判員の育成にも注力していて、全日本総合選手権大会の主審を務める人材を複数輩出しています。

2020 年東京オリンピック・パラリンピックの成功のためにもバドミントンの普及・発展に尽力する所存です。



H29年度ミックス大会


H29年度都民体育大会

練馬区バドミントン協会

沿革・歴史

＜歴代会長と在任期間＞

初代会長　鍬守　尊邦　昭39年～昭41年
2代会長　小口　政雄　昭42年～昭59年
3代会長　貫井　武夫　昭60年～平11年
4代会長　下田　迪雄　平12年～平17年
5代会長　今来　サキ　平18年～現在

当協会は昭和39年(1964年)、東京オリンピックの年に鍬守尊邦氏が初代会長となって発足し、平成26年に創立50周年を迎えました。

また、平成24年には長年のスポーツ振興に貢献した生涯スポーツ優良団体として、文部科学大臣賞を授与される栄誉に浴することができしました。

当協会は多数の会員によって支えられており、今年度の登録数は76団体1,150余名に上っております。

また、年間12大会21日間の競技会を実施しており、小学生からシニアまで多くの選手が大会に参加しています。 中でも毎年1月に3日間行われる団体戦は100チーム以上約800名が参加する熱気あふれる大会となっています。

高校生大会は練馬区外の高校生も参加できるオープン大会となっており、今年は練馬区独立70周年記念大会としてNTT東日本の町田氏や松本氏など8名のコーチを招き、模範試合やチャレンジゲーム、高校生試合へのアドバイスなどを行いました。

役　員



会長	今来　サキ	
副会長	髙山　文雄	
理事長	佐藤　光明	
副理事長	大平　ヒサ	吉野　宏
理事	中村　永	毛利満里子
	本山　浩	塩澤はるみ
	鈴木眞知子	瀧澤　香代
	菅家佐智子	正田　章二
	岩本　豊	平田　京子
	矢野　圭典	峯岸　康史
	米山　孝二	小林　恭子
	関口　早苗	仲田　雅俊
	正田　好子	
監事	渥美　重光	片岡　勉

創　　立　◎ 昭和 39 年 9 月 29 日
住　　所　◎ 〒177-0041　東京都練馬区石神井町1-23-13
連 絡 者　◎ 大平　ヒサ　　電話　03-3997-5730

活動・経過

＜区内大会（平成 29 年度）＞

4 月　会長杯争奪戦
5 月　女性スポーツ大会
6 月　23区部ジュニアシングルス大会
7 月　MIXオープン大会
　　スポーツ少年団大会
8 月　区民体育大会（中学生）
　　高校生大会
10 月 区民体育大会
12 月 女性シニア大会
1 月　都民体育大会選考会団体戦
2 月　都民体育大会選考会個人戦
3 月　練馬オープン個人戦大会
　　練馬オープン団体戦大会

＜区内教室（平成 29 年度）＞

5 月 初心者教室第 1 期、第 2 期
2 月 中上級教室

＜都民体育大会成績（平成 10 年～ 29 年）＞

男子	優勝	5 回
	準優勝	2 回
	3 位	5 回
	ベスト 8	7 回
女子	準優勝	2 回
	3 位	1 回



創立 50 周年記念式典・祝賀会



練馬区独立 70 周年記念高校生大会

将来の展望

日本のバドミントンが世界でもトップレベルになり、2020 東京オリンピックパラリンピックへの期待が高まる中、当協会は練馬区バドミントンの更なる発展に努力するとともに、東京都協会への協力を通じて日本のバドミントンへの貢献を果たしていく所存です。

足立区バドミントン協会

沿革・歴史

＜歴代会長と在任期間＞
初代会長　児玉　正次
2代会長　竹内　唯雄
3代会長　巽　　昭
4代会長　下川　弘明
5代会長　鳥羽　信哉

昭和34年、第14回国体東京都大会バドミントン会場として、前年開館した足立区体育館が使用されたのを機会に「足立区バドミントン連盟」が発足し、その年の第12回区民大会から初参加。昭和50年10月に足立区バドミントン連盟を「足立区バドミントン協会」と改名したのを契機に役員を一新し、現役選手を主体と致しました。また「育成会」も設置されました。

育成会での成果を試すために、都大会さらには全国大会に挑むようになり、平成元年、第30回墨東五区記念大会において、念願の総合優勝に輝き、以後四連覇をはたし、その間都民大会においても、男女準優勝を含めBEST4に入賞しました。そして平成28年度稲城市総合体育館で行われた都民大会男子の部において念願の初優勝を果たしました。

役　員

顧　　問　下川　弘明



会　　長	鳥羽　信哉	
副 会 長	馬場　猛夫	寺田　章子
	笹林　義春	
理 事 長	鵜澤　敏信	
副理事長	大和田　勉	宮本　道雄
	古澤　慎一	
会　　計	長門　忠雄	
婦人部長	大平　　操	
理　　事	村上　　勝	青木　勇児
	榊原　勝憲	梅野　光一

創　　立　◎ 昭和 34 年
住　　所　◎ 〒120-0025　足立区千住東1-10-11
事務担当　◎ 鵜澤　敏信　　電話　03-3881-5789

足立区バドミントン協会創立 50 周年記念式典



葛飾区バドミントン協会

沿革・歴史

＜歴代会長と在任期間＞

初代会長　竹中　　実　昭和31年～昭和60年
2代会長　吉岡　　健　昭和61年～平成16年
3代会長　浅岡　　武　平成17年～現在

当協会は、故吉岡前会長が昭和 27 年区内都立南葛飾高校に奉職、区民へのバドミントンの普及活動や区内企業への働きかけにより、昭和 29 年 1 月に葛飾区バドミントン連盟として創立し、昭和 31 年に葛飾区体育協会へ加盟、昭和 33 年に現協会へ改称し、東京都バドミントン協会へ加入した。平成 27 年には 60 周年行事を実施し、その後も発展を続けて来た。現会長の浅岡武氏は協会理事長・副会長の他、東京都協会理事長～会長として活躍、故吉岡健前会長の後を受けて会長職となった。これまで、東京都バドミントン協会及び日本バドミントン協会の中枢ともいえる選手・役員・審判員を派遣している。



60 周年記念行事

役　　員



会　　長　浅岡　　武
副 会 長　稲村　　昇　　稲石　一雄
　　西野　仁子
理 事 長　中野　正一
総 務 部 長　望月清治郎（副理事長）
　　香取由美子（副）
会　　計　加藤　浩之（副理事長）
　　戸坂　恵美子
審 判 部 長　木谷　雅子
競 技 部 長　村上　知也（副理事長）
　　山口　　肇（副）
　　坂本康市朗（副）
指 導 部 長　山本　義正
　　渡邊　宣之（副）
その他顧問、参与　若干名

創　　立　◎ 昭和 29 年1月
住　　所　◎ 〒124-0011 葛飾区四ツ木1-33-19
事務担当　◎ 中野　正一　　電話　03-5876-7441

活動・経過

区内の活動は、区民（春・秋季）、エンジョイスポーツ（ジュニア・シルバー）、マスターズ、会長杯、ミックス、オープン、団体戦（前･後期）、連合葛飾、初打ちの年間 12 大会の他、ジュニア教室、区民健康促進講習を実施している他、月１回強化練習を行っている。

また奥戸・水元の２拠点となり、従来の枠に捉われず、年齢別や時期変更など模索し、都大会では、都民大会男子ベスト 16・女子ベスト８、墨東五区大会男子３位・女子１位と強化練習の成果も徐々に出ており、生涯スポーツ大会（優良賞）、青年大会、支部対抗にも選手を派遣している。

上部大会では、全日本社会人・全日本シニア大会等への出場も増え、全日本総合選手権出場者も出た。

また、ジュニアでは区内チームが全国大会若葉カップへ出場。個人では全国、関東小学生大会で入賞し区体協スポーツ賞を受賞している。

将来の展望

2020 年東京オリンピック・パラリンピックの開催ももうすぐです。

当協会としてもこれを機にジュニア育成、一般・シニアの選手強化を図ることは元より、指導者・審判・運営役員のレベルアップを図ることにより、総合的にバドミントン界の普及発展に繋がるよう一層努力して行きます。



H28 年度　ジュニア教室



第 56 回墨東五区大会

江戸川区バドミントン連盟

沿革・歴史

＜歴代会長と在任期間＞
初代会長　片桐　昭三　昭33年4月～平4年3月
2代会長　後藤　善八　平6年4月～平24年3月
3代会長　簑　　栄三　平24年4月～現在

東京都バドミントン協会の創立70周年、誠におめでとうございます。心からお慶び申し上げます。初代会長 片桐昭三先生の熱意と斉藤健太郎氏の情熱的な指導と役員スタッフの献身的な努力により、昭和33年に創立。先輩 諸氏が多くの困難を乗り越え、普及・発展の基礎を築いてくれました。

昭和45年に総合体育館、昭和56年に西葛西スポーツセンターのオープンを契機に、ママさんの参加が急速に増加。スポーツ振興課のお力添えで年間を通して教室が開催できるようになり、体力と技術が飛躍的に向上し、レディース大会を盛り上げています。

また、青少年の育成を目的に立ち上げたジュニアバドミントンクラブ「ピクシー葛西」は20年を迎え、「ソレイユB.C」ジュニアクラブも続いて結成され、地域の中学校のレベルを確実に向上させている。

現在45クラブ800名の会員を擁する連盟に成長し、都民大会男子優勝2回、準優勝5回、女子3位3回。墨東五区大会総合優勝11回等、素晴らしい成績を残しています。

これからも会員に愛される連盟として精一杯努力していく所存でございます。そして2020年パラバドミンの日本の強化拠点が江戸川区に出来、行政と一体となりサポートしていきたいと思います。

役　員



会　　長	簑　　栄三	
理 事 長	高崎　勇吉	
総務部長	矢木　義則	鈴木みどり
強化部長	土屋　雄一	
審判部長	畠山　高一	
競技部長	中山　昌彦	
経理部長	宮本はるみ	松木　玲子
レディース部長	桑山　栄子	大木　純子

創　　立　◎ 昭和 33 年 3 月
住　　所　◎ 〒132-0021　江戸川区中央2-24-8
事務担当　◎ 簑　　妙子　　電話　03-3652-1505

活動・経過

＜区内の大会＞

●春季区民大会

シングルス / ダブルス / 混合ダブルス / クラブ対抗団体戦

男女 1 部 / 2 部 / 3 部 / 4 部 / 5 部

●秋季区民大会

シングルス / ダブルス / 混合ダブルス / クラブ対抗団体戦

男女 1 部 / 2 部 / 3 部 / 4 部 / 5 部

●会長杯・連盟杯

ダブルス

男女 1 部 / 2 部 / オープン / 3 部 / 4 部 / 5 部

初心者教室 / 中級教室 / ジュニア講習会 / 中学生審判講習及び合同練習会

＜都大会＞

都民体育大会 / 墨東五区大会 / 東京都生涯スポーツ大会 / 東京都支部対抗戦 / 全国青年大会

＜国内大会＞

関東シニア選手権大会 / 全日本シニア選手権大会 / 日本レディース大会



佐藤翔治さんと学ぶバドミントン教室


パラリンピック選手の強化練習



役員選手

八王子市バドミントン連盟

沿革・歴史

＜歴代会長＞

初代会長	井上　金治	昭和 46 年 4 月～
2 代会長	町田　照良	平成 12 年 4 月～

本連盟は前身の「八王子バドミントン協会」から 50 年ほど経ている。2019（平 29）年 4 月の本連盟の総会にて、加盟 26 団体、会員 629 名が、さらに昨年度実績で東京都協会登録者 265 名、派遣審判員総数延べ 235 名が報告された。

これまで、その創成期から八王子のバドミントンに献身的に携わってきた人たちが今なお現役の役員として会を牽引しながらも、加盟している各クラブチームから派遣された理事さんとの共に、協同作業をもって営々と築き上げたのが現在の八王子のバドミントンである。そして東京都バドミントン協会創立 70 年を迎えるこの年、今や都協会最大の組織となった。

「八王子バドミントン協会」が始まり

1971（昭 46）年 4 月、八王子中野地域を中心とした八王子第九小体育館に集うバドミントン愛好者が中心となって、一人 500 円の設立準備金を募り、「八王子バドミントン協会」を立ち上げたのである。

直ちに市体育協会、はじめバドミントンの上部団体への加盟登録、講習会や研修会などを創設し組織拡大を図り、現在の本連盟の原型を作った。

八王子のバドミントン競技体制の確立へ

組織の拡大・充実そしてバドミントンのレベルアップには大会開催が一番として、1976（昭 51）年から 1980（昭 55）年にかけて様々な趣向を凝らしたバドミントン大会を矢継ぎ早に立ち上げた。

バドミントン愛好者の新年の顔合わせ大会「新春大会」、女性たちの大会「家庭婦人大会」、ランク別年代別での「シングルスミックス大会」、八王子の各年齢別でトップを決める「オールダブルス大会」、そして「八王子オープンダブルス大会」など、また地域や事業所での練習仲間、登録チームなどで自由にグループを組んでの団体戦「グループ対抗戦」（年 2 回）と、初級者から上級者そしてベテランまでが楽しめる大会、また他地域にはないオープンシングルス大会など 12 大会であり、現在も継続されている。

大会運営では、すべての役員・理事にそれぞれの業務を分担し、組織内の交流と結束を図ってきたのである。この体制は現在も変わらず、こうして八王子におけるバドミントン組織ができあがってきた。

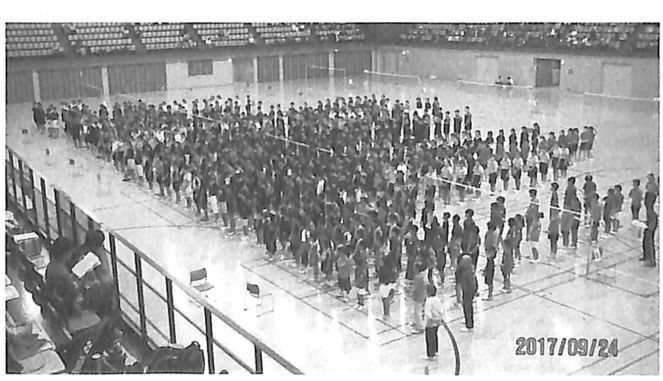
役　員

会　長	町田　照良
副会長	小笹　勝司
	水上　英二
顧　問	近藤　充
	水野　淳
理事長	鳥越　俊秀
副理事長	天沼　稔
	平山　孝志
	池端美知代
事務局長	木村　敏子（レディース連盟会長）
総務部長	後藤　裕邑
競技部長	石井　暢
審判部長	青木　康敏
スポ少ジュニア分団長	浜口　登
八王子レディース連盟理事	小室ひとみ



会長：町田　照良

このほかに、各部クラブから派遣された理事が会計および会計監査や各部署に配属されており、さらにラケットショップ 2 店、医療法人 1 社に賛助会員をお願いしている。



第 22 回 八王子ジュニアバドミントン大会 開会式

創　　立　◎ 昭和 46 年 4 月
住　　所　◎ 〒192-0071
　　八王子市八日町6-4 ライオンズマンション八王子第7-1004
事務担当　◎ 木村　敏子　　電話　042-624-1486

「八王子市バドミントン連盟」へ

1982（昭 57）年、個人加入の組織から加盟 26 団体の連合体として改組。運営に必要な様々な部署を設け、名称を「八王子バドミントン連盟」とする（のちに「八王子市バドミントン連盟」に改称している）。

連盟理事会

理事会は、加盟団体派遣理事のほか、会長推薦の役員を加え、40 名近い理事・役員で構成されている。月 1 の第 2 土曜を定例化していり会議では、副理事長司会により午後 7 時から開始され、木村敏子事務局長編集の 5 ～ 6 ページに及ぶ会議議事録をもとに、八王子連盟本体に加え八王子スポ少ジュニア、レディース連盟などの加盟団体、三多摩協会、東京都協会、日本協会、市体育協会などの関連団体も含め、様々な事項について報告･審議を行うことになっている。

八王子レディース連盟

八王子のもう一本の柱は旧「家庭婦人連盟」現在「八王子レディースバドミントン連盟」である。

1974（昭 49）年、女性のみのバドミントンサークル「八王子クラブ」が誕生。その後八王子市教委が主催した「初心者バドミントン教室」の卒業生たちが順次バドミントンサークルを立ち上げた。こうしたクラブが集まり「八王子家庭婦人合同クラブ委員会」を組織し独自の活動を始めた。1974（昭 62）年「八王子家庭婦人バドミントン連盟」を発足させ、規約や役員などを決め、加盟 13 団体 300 余名の実質的な連盟組織として、八王子における女性たちだけのバドミントンが一気に開花した。その後、2001（平 13）年「八王子レディースバドミントン連盟」に改称している。月の第一月曜が定例の役員会、主催大会 8 大会。本体のバドミントン連盟に理事を派遣し、様々な事業は違わくことなく活動を展開している。

八王子のジュニア育成

ジュニアの活動は、これまで「スポーツ少年団バドミントン分団」が中心となって進められてきた。創立は 1971（昭 46）年。本連盟の育成団体として、連盟指導員が指導を担当しており、連盟の一組織としても活動を行っている。スポーツ少年団として様々な行事や競技会に積極的に参加しながら、「スポ少八王子ジュニア」の名称で東京都ジュニア連盟にも登録し、都の大会等にも参加している。練習会は、初級者クラスと上級者クラスに分かれて、市内の小学校体育館にて土日の周 2 日行っている。

本連盟主催の市内のジュニアバドミントン大会は、「八王子ジュニア大会」、「八王子市民体育大会中学生・小学生の部」、「スポ少八王子ジュニア交流大会」の 3 大会。年々大会参加者も増え、特徴的なのは本年で 22 回を迎えた参加者 624 名の八王子ジュニア大会である。市内在住在学者小中学生でバドミントンを志す者はだれでも参加しやすいように小・中別、学年別、男・女別、単・複と分け、種目を工夫している大会である。子供たちの体調と進行を考慮して決勝まで 6 試合を超えないよう、参加数が多い種目はブロック別に分割して実施した。その結果 21 種目、賞状枚数は 104 枚となった。

そのほかの組織的に目立って活動しているクラブチームには、「八王子コメット」、「夕やけジュニア」「TEAM ISHIBA JAPAN」、などがある。

“根気！元気！本気！” が　合言葉



エスフォルタアリーナ八王子落成記念
日本リーグ八王子大会　八王子役員・審判団

立川市バドミントン協会

紹　介

立川市バドミントン協会は昭和31年4月に創立し、立川市におけるバドミントンの健全なる普及・発展と技術の向上を図り、会員相互の親睦・融和と市民の体力増進に寄与することを目的として活動をおこなっています。

技術向上及び親睦のため毎週の練習会や合宿を行っています。

大会では、会員登録者対象の団体戦・個人戦のほか、昭和60年より立川オープンダブルス選手権大会を開催。レベルによる3部制のほか平成28年度より45歳・55歳という年齢別を導入し、多くの地域から幅広い年齢層の選手が参加できるよう取り組みを行っています。

また、2020年の東京オリンピックに向けて立川市で取り組んでいるところですが、当協会としても市民体育館での教室に指導者を派遣する等協力を行っています。

役　員



会　　長	馬場　克久
理 事 長	奥村　　優
総務部長	秋元　公貴
競技部長	野村　貴広
指導部長	吉田　　彩
審判部長	川島　　保



泉市民体育館　昭和55年（1980年）3月完成

創　　立　◎ 昭和 31 年 4 月
住　　所　◎ 〒190-0031　立川市砂川町2-63-5
事務担当　◎ 秋元　公貴　　電話　050-5277-1698

活動・経過

＜大会（主催、協力）＞
混合ダブルス大会
ダブルス大会（年 2 回）
クラブ対抗戦
市民体育大会地区対抗戦・クラブ対抗戦
スポレクフェスタ
立川オープンダブルス選手権大会
日本リーグチャレンジリーグ・入替戦

＜各種大会へ選手派遣＞
都民体育大会
都民生涯スポーツ大会
市町村総合体育大会
三多摩地域対抗戦
昭島近郊対抗戦

＜講習会・練習会（派遣・協力等）＞
練習会（毎週 1 回）
合宿（年 1 回）
ジュニア講習会
市民体育館バドミントンアスリート教室主管
市民体育館障がい者バドミントン教室
指導員派遣
市民体育館ワンポイント指導員派遣



武蔵野市バドミントン連盟

沿革・歴史

＜歴代理事長と在任期間＞

初代理事長　南条　　尚 昭 35年 4月～ 41年 3月
2 代理事長　渡辺　金造 昭 41年 4月～ 53年 3月
3 代理事長　水野　達男 昭53年4月～平20年3月
4 代理事長　沼尻　洋子 平 20 年 4 月～現在

当連盟は 1960 年に創立し、以来市を代表するバドミントン競技団体として 57 年の長きにわたり活動を続けています。創立当初は愛好者のクラブ的な性格でしたが、現在は団体登録主体で 10 団体 304 名が登録しています。

現沼尻洋子は理事長として 2008 年より任を務めていますが、前水野達男理事長は 30 年の長期にわたり務められ、当市バドミントン連盟として盤石な体制を整えられました。

今では市主催の体育振興事業はもとより、都協会主催事業・都レディース連盟主催事業についても会場提供の形で協力しています。

連盟活動として春秋市民体育大会・技術講習会・新年コート開き・武蔵野市混合ダブルス大会・武蔵野市グループ対抗戦大会・毎月 2 回の強化練習会・ジュニア土曜教室等　活動運営に当たっています。とりわけ 1989 年から始めた武蔵野オープン選手権大会は毎年多数参加者で好評を得ています。

また、2001 年創立 40 周年・2011 年 50 周年事業としてバドミントン日本リーグ武蔵野大会を主催しました。

役　　員

顧　　問　水野　達男



理　事　長	沼尻　洋子	
副 理 事 長	深澤　勝彦	森本　章稔
理　　事	横川　明弘	山本　　泉
	加藤　峻一	山上　宏尚
	寺井　直美	金子　聡子
	堀切園むつみ	池田　寛之
	萬田　好子	細川　裕芝
	鈴木　未野	木村　充希
	田木胡都奈	小室　尚樹

創　　立　◎ 昭和 35 年 4 月
住　　所　◎ 〒180-0001
　　武蔵野市吉祥寺北町5-11-20 武蔵野市体育協会内
事務担当　◎ 山本　　泉　　電話　070-5029-1348

活動・経過

＜大会成績＞
1998 年　都民体育大会男子優勝
2000 年　都民体育大会男子３位
2007 年　都民体育大会女子３位
　　市町村総合体育大会女子準優勝
2008 年　都民体育大会女子優勝
　　市町村総合体育大会女子準優勝
2009 年　都民体育大会女子準優勝
　等々各種大会で好成績を遂げています。

将来の展望

　当連盟は東京オリンピック・パラリンピック 2020 年に 60 周年を迎えます。
　今後もなお一層バドミントン競技普及発展に努めていく所存です。





三鷹市バドミントン協会

沿革・歴史

＜歴代会長と在任期間＞

初代会長　伊藤　隆一　昭和 33 年
２代会長　辻　　輝彦　昭和 34 年
３代会長　海保　　保　昭和 35 年～ 36 年
４代会長　足立武二郎　昭和 37 年～ 39 年
５代会長　組村　　明　昭和 40 年～ 53 年
６代会長　五味　　宏　昭和 54 年～平成 7 年
７代会長　吉田　　繁　平成 8 年～平成 22 年
８代会長　児玉　清彦　平成 23 年～現在に至る

昭和 33 年 2 月に市内 4 団体が三鷹市バドミントン連盟として結成。4 月、三鷹市体育協会に加盟、結成記念大会を武蔵野第 2 中学校で開催。10 月には三多摩バドミントン協会創立に参画し加盟。翌年、第 2 回東京都地区対抗バドミントン大会が三鷹 1 中体育館にて開催された。

当時、日本におけるバドミントンの草分けともいえる、オリエンタル（バード印）の伊藤氏、旧 NBI（CM）の村上氏が三鷹に住み、工場を持っておられたことも幸いして、その後の当協会（当初は連盟として発足）の発展は目覚ましく、三多摩協会の設立（33 年 10 月 1 日）をうながし、東京都協会の支部制度移行への積極的参加（35 年）、第 1 回全日本総合大会（36 年武蔵野市）への協力等常に中心的な役割を果たし、また三鷹市体育協会の加盟団体の中にあってもいち早く指導員制度の導入をはかりました。

その地位を確立し得ての今日の姿があるのは歴代会長はじめ当時の役員の方々の指導性が協会を盛り立て、バドミントンの普及のため努力し、それに関係者の皆様のご協力があってのことと思います。

特に設立当時に奔走した松野良一氏（富士重工）、組村明氏（元電電公社）、五味宏氏（日本無線）の企業クラブを代表する方々の尽力によるところが大きい。その後、重責を長期にわたって引き継いだのが吉田繁会長（日本無線）、そして初めて市民クラブから児玉清彦会長（鷹友会）が誕生し現在に至る。

現在、11 登録団体（会員数 400 名）。

平成 29 年 4 月に念願の新体育館「SUBARU 総合スポーツセンター」がオープン、新しい幕開けが始まったばかりです。

役　員



会　　長　児玉　清彦
副 会 長　神　　恵子
理 事 長　小野　伸夫
バード会計　青柳　智博
顧　　問　組村　　明　五味　　宏
　　吉田　　繁
競技部長　山田　和夫
指導部長　新井　翔太
総務部長　須谷　記和

創　　立　◎ 昭和 33 年
住　　所　◎ 〒181-0011　三鷹市井口 3-11-41
事務担当　◎ 岡村　敦子　　電話　0422-41-7504

大会成績

＜市内大会＆行事＞

ミックス大会／MBA 杯／市民大会／種目別少年スポーツ大会／総合選手権／中学生総合選手権／前期団体戦／後期団体戦／中学生団体戦／初心者技術講習会／合宿／金曜練習会／強化練習会

＜大会参加＞

都民大会／市町村大会／全日本社会人バドミントン選手権／全日本シニアバドミントン選手権大会／都ダブルス選手権／支部対抗戦／都混合ダブルス選手権／三多摩バドミントン協会主催年間開催大会

＜最近の大会成績＞

平成 26 年度	都民大会女子	3 位
平成 27 年度	市町村大会女子	3 位
平成 28 年度	市町村大会女子	3 位

当協会は 2018 年に 60 周年を迎えます。これを機にジュニア育成強化等競技力向上の事業推進と、2020 年東京オリンピック・パラリンピックへの関心度を一層高めていきます。また、加盟団体である国際基督教大学の国際感覚、杏林大学の看護・医学との双方の特性をいかしたスポーツ愛好の新しい環境づくりを目指していきたい。



中学生大会



平成 29 年 4 月オープン
SUBARU 総合スポーツセンター（女子団体戦）



初心者講習会



男子団体戦

青梅市バドミントン協会

沿革・歴史

＜歴代会長と在任期間＞
初代会長　原島　英雄　昭42年4月～昭45年3月
２代会長　鈴木　育雄　昭45年4月～平14年3月
３代会長　髙橋　照昌　平14年4月～平22年3月
４代会長　川杉　通昌　平22年4月～現在

創立当時の悩みは、正規のバドミントンコートが無いことでした。市立四小の子供会の指導をしていたので、学校にお願いして２面分の正規コートを設置していただき、活動の拠点としていました。

昭和 47 年以降市民センターにバドコート３面の体育館が 11 館建設され、市主催の初心者教室が行われそこを活動拠点とするサークルが多く誕生し、バドミントンの普及の上で大きな力となりました。

昭和 55 年に 12 面の総合体育館が建設され、３会場で大会を開催して役員配置に苦労していたのが解消されました。

昭和 42 年に市体育協会と三多摩バドミントン協会に登録し、昭和 43 年に東京都バドミントン協会に登録して上部団体との連携を図りながら、市民スポーツとしてのバドミントンの復興に努めて参りました。

役　員



会長	川杉　通昌	
副会長	小椋美沙子	
会計	森山　麗子	
	築地　洋美	
理事長	市川　芳幸	
副理事長	坂田　真吾	
常任理事	藤原　治子	小野　角蔵
	河邉　登宣	
理事	高木　淳	遠藤　元希
	宮澤　洋亮	関　史子
	木村　美紀	佐藤伊勢子
	京谷　康子	原島　綾
	飯田　裕美	
顧問	髙橋　照昌	
会計監査	林　生子	望月美智子

創　　立　◎ 昭和 42 年4月1日
住　　所　◎ 〒198-0036　青梅市河辺町3-1099-3
事務担当　◎ 藤原　治子

活動と経過

＜主催大会＞

・昭和 42 年に第８回市民体育大会バド大会を初主管し現在に至る。
・昭和 47 年に第１回春季市民バドミントンダブルス大会を主催し現在に至る。
・昭和 53 年に第１回団体戦を主催し現在に至る。
・青梅市近郊バド大会を昭和５７年から平成 25 年まで開催する。
・平成 26 年に第１回青梅オープン大会を開催し現在に至る。



第 58 回青梅市民体育大会バドミントン競技

＜派遣大会＞

・都民体育大会
・東京都市町村総合体育大会
・西多摩広域行政圏体育大会
・三多摩地域対抗戦
・東京都支部対抗戦

＜小・中学生バドミントン教室＞

・昭和 62 年に初開催し現在に至る。



小中学生バドミントン教室

＜技術講習会・審判講習会＞

・昭和 46 年に技術講習会を平成２年に審判講習会を開催し、以降随時開催している。

将来の展望

本協会は 2017 年で 50 年を迎えたので、50 周年記念誌の発行を予定している。

当協会の加盟団体である青梅ジュニアクラブが小学生全国大会団体戦優勝・男子シングルス三連覇を達成した選手等を多数輩出しているので、今後ともジュニアの育成・活動に力を注いでいくとともにシニアの強化に努めバドミントンのなお一層の普及発展に努力をしていく。

府中市バドミントン連盟

沿革・歴史

＜歴代会長と在任期間＞

初代会長　玉川　　久　昭44年6月1日～昭50年3月31日
２代会長　皆木　辰雄　昭50年4月1日～昭59年3月31日
３代会長　峰岸　千尋　昭59年4月1日～昭61年3月31日
４代会長　笠原　孝一　昭61年4月1日～平13年3月31日
５代会長　堀之内明男　平13年4月1日～平22年5月17日
６代会長　岩波　道昭　平22年5月18日～現在

＜連盟の歩み＞

昭和 44 年 6 月 1 日
　府中市バドミントン連盟 創立
昭和 45 年 9 月 22 日
　府中市体育協会仮加盟（会員 80 名　3 団体）
昭和 46 年 10 月 10 日
　第 14 回市民大会　バドミントン競技初参加
　（体協加盟 19 番目）
昭和 47 年 6 月 1 日
　府中市体育協会正式加盟
昭和 51 年度
　東京都バドミントン協会および
　日本バドミントン協会に登録
平成 28 年度
　連盟登録人員
　（一般：194 名　高校生：99 名　9 団体）

＜表彰等＞

昭和 54 年
　都民大会にて「社会体育優良団体」の受賞
平成 18 年
　都民大会にて「生涯スポーツ優良団体」の受賞
平成 27 年
　都民大会にて「生涯スポーツ功労者」坂口理事長受賞
平成 27 年
　東京都庁にて「東京都スポーツ功労賞スポーツ功労団体」の受賞

役　員



会　　長　岩波　道昭
副 会 長　坂口　千年
理 事 長　坂口　千年
指導部長　穴田　成人
競技部長　向井　晴久
総務部長　渡邉　雅子
会計部長　末藤みゆき
会計監査　小林　茂樹
広報部長　中島　紀子
常任理事　備　　邦彦　　吉海　典子
　　野島佐知子

創　　立　◎ 昭和 44 年 6 月 1 日
住　　所　◎ 〒183-0013　府中市小柳町4-18-62 (渡邊宅)
事務担当　◎ 渡邊　雅子 (総務部長)　　電話　090-4704-6457

活動と経過

当連盟は昭和 44 年に発足し、昭和 47 年府中市体育協会に 19 番目の競技団体として加盟しました。一般 194 名、高校生 99 名、9 団体の登録人数で活動しています。

今年度の最初の活動として 4 月 16 日に第 29 回府中オープン混合ダブルス大会を開催しました。東京、神奈川、埼玉、群馬等の近隣の県からも参加して頂いています。

年間を通じては市民体育大会、市民スポーツレクレーション大会、連盟主催の総合選手権大会 (高校生の部を含む) はじめ三多摩市町村大会、都民大会等があり、8 月と 12 月を除き各月に大会があります。

オープン大会としては前述の混合ダブルス大会以外に 5 月に近郊レディースオープン団体戦を主催しています。

最近の戦績では平成 26 年三多摩市町村大会 (女子) 3 位、平成 28 年平成 29 年と続けて三多摩市町村大会 (男子) 準優勝があります。

また、平成 27 年には東京都から「東京都スポーツ功労賞 スポーツ功労団体」を頂きました。

最近はバドミントンの試合をテレビで見る機会が増えてきました。国際試合での日本チームの男子、女子両方の活躍を追風として、バドミントン競技者、愛好者の底辺拡大を目指し活動していきたいと思います。

府中市には大國魂神社 (おおくにたまじんじゃ) と云う由緒ある神社があり、毎年秋の「市民体育大会」ではこの神社から聖火の日を頂き、各競技団体旗も神社から開会式場である「市民球場」まで行進します。

また、今年度は「バドミントン連盟」が選手宣誓を行いました。



ジュニア (小・中学生) 大会 開会式 (2017.10.08)



市民球場 開会式 (2017.10.01)



選手宣誓 (2017.10.01)



大國魂神社 (2017.10.01)

昭島市バドミントン協会

沿革・歴史

＜歴代会長と在任期間＞

初代会長　染谷　島吉　昭39年4月～昭54年3月
２代会長　中川　昭二　昭54年4月～平元年3月
３代会長　八島　　正　平元年4月～平21年3月
４代会長　北本　清行　平21年4月～現在

東京都バドミントン協会創立70周年おめでとうございます。

当協会は、昭和39年4月に創立し、平成26年に創立50周年を迎えることができました。

主に市内３か所の小学校体育館を借用して、週１～２回定期練習会を開催しています。

2020年第２回目の東京オリンピックも間近になってきました。少子高齢化が進む中、ジュニア世代～シニア世代まで生涯スポーツとしてのバドミントン競技の普及、発展を目指し、特にジュニアの育成に力を入れていきたいと考えています。

役　員



会　　長	北本　清行	
副 会 長	村田　和子	
理 事 長	浪岡　久志	
副理事長	露木　博保	
	（東京都バドミントン協会理事）	
	平兮　章子	
会　　計	阪上　直美	石渡　弘美
会計監査	後藤　瑞政	幅上　武次
理　　事	森山　　稔	小笠原三枝子
	原　　秀喜	中川　伸一
	和田　哲哉	池永　尚史

創　　立　◎ 昭和 39 年4月1日
住　　所　◎ 〒 196-0014　昭島市中町 1-13-5　浪岡久志方
事務担当　◎ 露木　博保

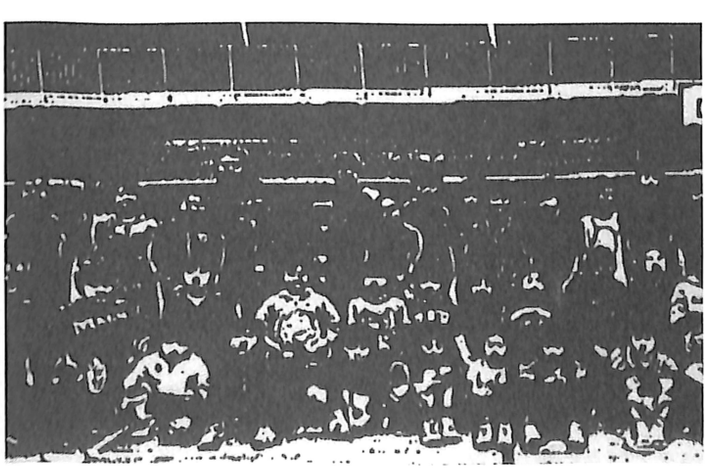
活動と経過

＜主な主催 / 主管事業＞

青梅線近隣の昭島近郊団体戦大会 (8 市 3 町)
昭島協会団体戦大会
昭島市民体育大会（小・中学校、一般）
東京都ジュニア育成地域推進事業
（ジュニア教室）
昭島市スポーツ力向上事業（強化練習会）
昭島市初心者教室（小学生、一般）

＜主な派遣事業＞

都民体育大会
東京都市町村総合体育大会
東京都バドミントン協会審判員
三多摩各種大会
近郊市町大会



昭島ジュニア教室集合写真



練習会場の集合写真

調布市バドミントン連盟

沿革・歴史

＜歴代会長と在任期間＞

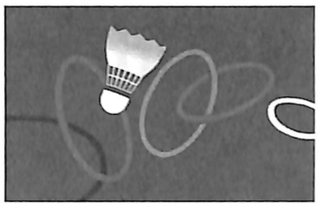
初代会長　小林栄次郎　昭34年～
２代会長　蔦　　勇
３代会長　松崎　　勲
４代会長　宗澤　孝司　平３年４月～平18年３月
５代会長　斎郷　秀一　平18年４月～平29年３月
６代会長　漁　　郡司　平29年４月～現在

当協会は、昭和34年に創立され平成30年に60周年を迎える。平成29年度現在の連盟加盟は22クラブ561人。創立当時は、調布市には体育館も学校体育館開放もなく、実業団クラブが中心だった。その後、昭和47年に調布駅前の公民館ホールで開かれたバドミントン教室をきっかけに、家庭婦人クラブや社会人クラブが次々と結成され、バドミントン人口が広がっていった。昭和50年に８クラブ180人だった登録は、平成４年には33クラブ758人へと拡大。その後、景気の低迷に伴い漸減傾向となっていたが、平成12年以降、増加傾向となり現在に至っている。

役　員



会長	漁　郡司	
副会長	石井　美穂	
理事長	加藤　孝	
副理事長	清水ゆかり	酒井　昌男
総務部長	宮澤　裕美	
同副部長	鈴木　康祥	加藤　理和
	峯村　涼子	金子　聡
	増田　諒	
競技部長	中村真理子	
同副部長	山田　優子	
	只木美佐代	
指導部長	井手　和宏	
同副部長	高瀬　文子	上村　苑子
	井手野悠一	
会計	松原さゆり	近藤　博美
会計監査	小林八千代	宮川美恵子



創　　立　◎ 昭和 34 年 4 月
住　　所　◎ 〒182-0023　調布市染地2-35-4-601 漁方
事務担当　◎ 宮澤　裕美

活動と経過

連盟の事業としては、年４回の個人戦（春季D、S＆XD、市民体育祭、冬季D）、年２回の団体戦（市民体育祭、冬季リーグ戦）、シニア大会・男女ごちゃまぜ団体戦といった２つの親睦大会を行っている。また、連盟練習や強化練習を定期的に行い、年１回代表選手やトップアスリートを招いて連盟登録者向けの講習会を実施している。その他、調布市体育協会と連携し、大人向け初心者バドミントンレッスン（年 30 日）と小中学生セミナー（春・夏・冬休み）を開催している。

20 年以上前から代表選手が小・中学生を教える場をつくってきた。その子供たちが成人し、現在の代表選手となり都民大会や三多摩市町村大会、青年大会等で好成績を上げるようになっている。

将来の展望

３年後の 2020 年東京オリンピックでは、我が調布市でバドミントン大会の開催されるうえ、実業団トップチーム登録などの話もあるため、今後とも多くの子供たちにバドミントンに接する機会をつくり、ジュニア育成や指導者育成などに力を入れ、調布のバドミントンのレベルアップと共にバドミントン人口を伸ばしていきたいと考えている。



平成 29 年 10 月の市民体育祭の参加者全員集合写真

町田市バドミントン連盟

沿革・歴史

＜歴代会長と在任期間＞
初代会長　森町三之助　昭41年4月～平元年4月
2代会長　河合秀二郎　平元年5月～平26年4月
3代会長　長村　敏明　平26年5月～現在

＜歴史＞

当連盟は昭和41年4月に創立し、昨年平成28年に創立50周年を迎えた。現会長の長村敏明氏は、平成8年から副会長として本連盟の発展につくし、平成26年から前河合秀二郎会長の後を受けて会長となった。

当連盟は、町田市において、バドミントンの健全な普及発展を図り、バドミントン競技を通じ心身共に健康で明るい文化都市の建設に寄与することを目的として活動している。

2013年に第68回国民体育大会・第13回障がい者スポーツ大会、2014年に第33回全日本シニアバドミントン大会にけるバドミントン競技会場になった。2015年に日本リーグ1部大会を町田市で開催、2016年に第32回関東シニア大会を開催した。

更に、都民体育大会、市町村総合体育大会に参加し、入賞するなどしている。

役　員



会　長	長村　敏明	
副会長	佐藤　和彦	
理事長	山城　譲治	
副理事長	荒木　康伸	巌　節子
総務部長	脊黒　勝也	
会計部長	菅原　健二	
広報部長	花岡久仁子	
競技部長	荒木　康伸	
審判部長	彦田　勇	
強化部長	中島　真実	
レディース部長	関　節子	
普及育成部長	中澤　悦子	

創　　立　◎ 昭和 41 年 4 月
住　　所　◎ 〒194-0005　町田市南町田2-13-1
事務担当　◎ 山城　譲治　　電話　090-1209-7004

大会・成績

＜町田市大会＞

春季市民大会 / ミックスダブルス大会 / レディース親睦大会 / 市民団体戦 / ジュニアシングルス大会 / レディース近郊大会 / シングルス大会、指導者講習会 / レディース団体戦 / 総合ダブルス大会 / 勤労者教室 / 初心者教室 / レディース講習会 / 青少年の日大会 / 市民体育祭 / シニアスポーツ大会 / 小中高学校へ訪問指導するキャラバン

＜都大会＞

都民体育大会 / 市町村総合体育大会 / 三多摩地区対抗戦

＜国内大会＞

関東シニア大会 / 全日本シニア選手権大会 / ジュニアオープンシングルス大会 / 花岡杯町田オープンダブルス大会、

＜最近の成績＞

都民体育大会男子
　平成 26 年度 3 位
　平成 27 年度 5 位入賞
市町村総合体育大会男子
　平成 26 年度 5 位入賞
　平成 27 年度準優勝
　平成 28 年度優勝
同大会女子
　平成 26 年度 /27 年度 /28 年度 5 位入賞

将来の展望

本連盟は 50 年を迎え、更なる 50 年先を見据えた活動を目指します。まず、ジュニアの育成活動、シニアへの普及活動を展開していき、町田市をバドミントンで有名にさせたいと思います。2020 年の東京オリンピック・パラリンピック大会に町田の代表が出るような強化活動にも力を注いでいきたいと思います。



連盟創立 50 周年を祝う会



ジュニアオープンシングルス大会

小金井市バドミントン協会

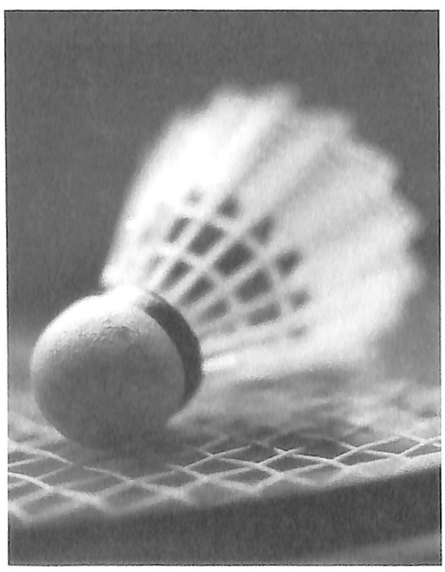
沿革・歴史

＜歴代会長と在任期間＞

初代会長　保立　　晃　昭和 38 年～昭和 50 年
2 代会長　田中　　剛　昭和 50 年～平成 3 年
3 代会長　小川　和彦　平成 3 年～現在

昭和 38 年 12 月 8 日の連盟結成記念第 1 回選手権大会を開催。

昨年、平成 28 年 7 月には第 100 回記念選手権大会を開催しました。



役　員



会長	小川　和彦	
副会長	田中　隆司	
理事長	佐々木　勇	
副理事長	阪本　一	
副理事長	今野　秀樹	
常任理事	大八木祐雅	
常任幹事	前田　紘一	
常任理事	善如寺日雄	
理事	植草　恵美	原田　純二
	岡田　愛子	阿部　正行
	根岸　和美	木全　純樹
	丸山　学	能登美知子
	水野加奈子	
参与	細江　政雄	
監事	小牧　元昭	

創　　立　◎ 昭和 38 年 10 月 11 日
住　　所　◎ 〒184-0013　小金井市前原町3-22-22
事務担当　◎ 善如寺日雄（都バド理事）　　電話　042-384-9444

活動と経過

年間に３回の一般、学生ランク別選手権大会の開催。

年２回の中学、高校生大会の開催。

６月にはシニア大会の開催。

各大会共年々参加者数が増えて盛大です。

中学１・２年生対象の夏期ジュニア育成バドミントン教室の開催。

主に家庭婦人を対象にした春季、秋季のバドミントン教室の開催を実施して底辺の拡充から会員の親睦と技術と体力の向上を目指しています。



小平市バドミントン協会

沿革・歴史

＜歴代会長と在任期間＞
初代会長　田村　博昭　1966年11月～1976年3月
2代会長　西村　嘉信　1976年4月～1984年3月
3代会長　前田　雅尚　1984年～現在

当協会は、1966年11月に創立。創立に当たっては三多摩バドミントン協会松野様、当時の小平市体育協会会長中村様に指導、助言を頂き、2代目会長西村様他の方々により発足。当初は自衛隊、日立武蔵、ブリヂストンを母体として成り立っていた。年月を重ね家庭婦人（現レディース）や、1977年には小学生のクラブ小平ジュニアクラブが加盟し、その後理事長増田英男様、後任の森田満様その他理事皆様の尽力で組織が固まっていった。現在は小学生、中学生、高校生、大学生、企業、一般、レディースと子供から大人までの団体、個人が登録し、1000人余りの会員となっている。小平市内のみの活動が主であった会員も近年では外にも目を向け審判資格を取り、外部大会の審判協力をする等徐々にではあるが、広い視野でバドミントンを意識するようになった。又、小平ジュニアクラブを巣立った米倉加奈子さんがシドニー、アテネオリンピックの2大会、佐藤翔治さんがアテネ、北京、ロンドンオリンピックの3大会に選手として出場し活躍されたことは、小平協会としても誇りであり大きな喜びである。

役　員



会　長	前田　雅尚	
副会長	加藤　正則	
監　査	小野寺昭彦	
顧　問	森田　満	
理事長	久家富美子	
副理事長	井上　清明	
理　事	佐藤　正	土田　証雄
	小倉　久和	肥沼　博英
	西山　博司	鶴田　誠
	田口　誠司	白木耕太郎
	山中志津子	金澤　弘子
	西島　和子	大河原佑美



協会理事

創　　立　◎ 昭和 41 年 11 月
住　　所　◎ 〒187-0025　小平市津田町1-1-1 小平市民総合体育館内
事務担当　◎ 久家富美子　　電話　042-342-7837

活動と経過

＜市内大会＞

年間を通して小学生から大人を対象にダブルス大会、シングルス大会、混合ダブルス大会、レディース大会を春、秋と各大会２回、団体戦１回を開催。その他東京都ジュニアダブルス大会を２月に、多摩地区中学生・高校生大会を１２月の冬休み期間中にダブルス大会、３月の春休みにシングルス大会主催。当大会には約 3000 人の中学生、高校生がエントリーする。

＜都大会他＞

都民大会、市町村大会、三多摩地域対抗、各大会に選手を派遣し男女とも複数回優勝の実績を残している。特に市町村大会は 2017 年にも女子が優勝し三連覇中である。又近年は若い会員が声を掛け合い青年大会予選、支部対抗にも参加し徐々に成績も上げてきている。

＜国内大会等＞

関東シニア選手権大会、全日本シニア選手権大会、実業団対抗にエントリーしている。小学生の全国大会では、小平ジュニアクラブの選手が創立当初から団体、個人共に上位成績を収めてきた。直近では若葉カップ全国小学生大会に於いて、2016 年大会男子優勝、2017 年大会では女子が準優勝と好成績を残している。

将来の展望

創立 51 年目を迎え、近年ではジュニアクラブ卒業生が小平に戻りつつあり、地元でプレーする姿が見られるようになった。市町村大会女子の三連覇中もその結果である。今後も若い会員を増やし市内大会のレベルアップをはかると共に、シニア世代には出来るだけ長く楽しんでもらえるよう、大会運営、組織作りに努めていく。同時に 2020 年東京オリンピック・パラリンピックをきっかけに、ジュニア育成に力を注ぎ、「バドミントンを生涯スポーツに !!」をスローガンにバドミントンの普及、発展に寄与していく。



祝勝会



2017 年 市町村大会優勝

日野市バドミントン連盟

沿革・歴史

＜歴代会長と在任期間＞
初代会長　花岡　利和　昭47年4月～昭53年5月
2代会長　田中　　徹　昭53年6月～平元年4月
3代会長　上野　幸吉　平元年4月～

当連盟は発足以来、設立の精神を忘れず、地域住民と共に会員の育成、普及活動と時代のニーズに応える改革を重ね、今日迄進めて参りました。また、関係団体等の協力も多岐に渡り、選手の派遣、審判員の派遣、大会運営、指導員の派遣等々、随時行い組織の拡充に努めています。

＜創立当時＞
創立昭和47年4月当時、各企業中心のクラブ、市民愛好会の有志に依る体力づくりの一助として認知されました。公共の体育施設に乏しく、大会を開くには小・中学校の体育館、企業の施設を借りての大会でした。昭和54年、南平体育館の建設により、愛好者が急激に増加し、「見るスポーツ」から「参加する、行動するスポーツ」に変貌して参りました。教室を開くと常に満員の状態でした。バドミントンというスポーツ熱が、一段と高く盛上った時期でもありました。

役　員



会　長	上野　幸吉
副会長	下田　睦子
理事長	大塚　敏之
副理事長	中村　三男
レディース部長	前田　勝代
事務連絡係	寺本　秋子



創　　立　◎ 昭和 47 年 4 月
住　　所　◎ 〒191-0011　東京都日野市日野本町7-12-1
　　日野市体育協会内
事務担当　◎ 寺本　秋子

HINO
HINO CITY
BADMINTON LEAGUE
SINCE 1972

活動と経緯

今は市民参加の行事として、年間 10 回の大会開催、ふれあい (新体育館) 建設に伴い日野オープン大会年４回等開催し、交流に努めております。また育成事業として、ジュニア教室、一般社会人講習会、技術講習会等、社会に根ざした行事を継続しております。

将来の展望

待望の体育館 (ふれあい) が建設され、スポーツの環境が一段と良くなり、会員の拡充・技術の向上、ジュニアの育成等の底辺の充実を計り、社会の一員として成長する様を見守っていきたいと思います。



日野大会運営委員



H29 日野オープンレディース優勝メンバー

東村山市バドミントン連盟

沿革・歴史

＜歴代会長と在任期間＞

初代会長　海野　弘行　昭和 46 年～ 47 年
２代会長　草地　恒太　昭和 48 年～ 51 年
３代会長　佐藤　俊治　昭和 52 年～ 53 年
４代会長　楠神　俊造　昭和 54 年～ 55 年
５代会長　吉中　康展　昭和 56 年～ 57 年
６代会長　樋地　正秀　昭和 58 年～

当連盟は、昭和 46 年３月 23 日に創立された。日本のバドミントンが盛んになり、国際的に活躍し注目されるようになった頃、有志がバドミントン教室を開き、これを母体として、初代理事長海野氏の努力で創立された。その後の発展には２代目草地氏の日夜を分かたぬ献身が特筆される。

当時は、小中学校の体育館で、その都度コートを設営し、練習会をして、市民大会も何日間かにわけて行わざるを得なかった。仕事を終えてかけつけた当時の役員の努力は大変なものだった。

競技環境は、昭和 57 年の市民スポーツセンターのオープンで飛躍的にとなった。

運営体制も、市内行事の充実とともに、役員、審判員を都、日本、三多摩の各大会に多数派遣し、バドミントン界にささやかながら貢献している。

役　員

理　事　長	樋地　正秀
副 理 事 長	坂本　直人
副 理 事 長	柴田真理子
会　　計	早川　尋美
監　　査	今井さとみ
理　　事	小泉　俊一
	渡辺　美鈴
	鈴木すみ子
	中谷　敦子
	宮下　貴志



創　　立　◎ 昭和 46 年 3 月 23 日
住　　所　◎ 〒189-0023　東村山市美住町1-4-11 グリーンタウン2-4-305
事務担当　◎ 樋地　正秀　　電話　042-394-0419

経過と活動

スポーツセンター開設時より、毎年当連盟主管で三多摩地域対抗戦（男子３複２単、女子２複１単の団体戦）を３月に開催し、三多摩地域競技力の向上に寄与している。

都民大会５位、市町村大会３位、三多摩地域対抗戦３位入賞等上位に入賞しており、個人戦では全日本シニア優勝等の成績を収めた、近藤盾選手の活躍がある。

また、全日本レディースクラブ対抗で当市のジェディチームがたびたび都代表で出場し元気なプレーを展開している。

＜事業（活動状況）＞

・市内
　春季市民大会（3 日間）
　秋季市民大会（3 日間）
　会員大会　　年 2 回
　合同練習会　毎月 1 回
　審判研修会
　初心者講習会
・東京都
　都民体育大会　　参加
　生涯スポーツ大会　　参加
・三多摩地区
　市町村総合体育大会　参加
　地域対抗戦　　参加
　男女混合対抗戦　　参加
　西東京近郊戦　　参加
・指導
　中学校の部活コートとして、週 2､3 回行っている。

今後に向けて

近年の日本選手の国際的な活躍のおかげで、当市でも若年層、特に中高生の競技人口が目に見えて増加している。下支えとして、小学生（4～６年生）の市民大会中学生の部への参加を認めるようにしたところ、上位入賞し、新風を吹きこんだ。

ご多分にもれず、当連盟でも中高年齢化がすすんでいるが、最近少しずつ若い人が増えてきている。

都実業団リーグ戦も２回当市で開催されたが、今後も機会があれば、開催され、市民、連盟のバドミントン競技の人口拡大につなげたい。

連盟としては更に競技力、組織力をアップして、バドミントン界発展に寄与したい。



秋の市民大会

国分寺市バドミントン協会

沿革・歴史

＜歴代会長と在任期間＞

初代会長　三澤泰太郎　昭38年～昭48年
2代会長　平川　卓弘　昭49年～昭58年
3代会長　松野　良一　昭59年～平5年
4代会長　金子文一郎　平6年～平7年
5代会長　平川　卓弘　平8年～平9年
6代会長　松田　智男　平10年～平15年
7代会長　須田　孝夫　平16年～平26年
8代会長　武内　彰　平27年～現在

本協会は、昭和38年に当時の三多摩バドミントン協会理事長の松野良一氏と株式会社リオンの平川卓弘氏によって設立された。同年10月に開催された記念大会には、リオン、恋ヶ窪、鉄道学園、日立中研、日立武蔵の５チームが参加した。以来、さまざまな活動を経て、平成24年には創立50周年を迎えた。現在では会員数も400名を超え、主催する大会への参加者数も増えた。国分寺から巣立った著名な実業団プレーヤーも複数存在し、ジュニア選手たちの励みとなっている。

役　員



会　長　武内　彰
副会長　田村　文男　長谷島妙子
理事長　平山　義幸
副理事長　大島　俊也
事業部長　岡元　俊
技術部長　原田　純二
普及指導部長　須賀澤　茂
ジュニア育成部長　木村笑美子
会計部長　川口久美子
東京都理事　木村笑美子
三多摩理事　滝野　保子
体育協会理事　田村　文男
事務局　吉野知寿子

創　　立　◎ 昭和 38 年 10 月 30 日
住　　所　◎ 〒185-0035　国分寺市西町5-13-16 (会長自宅)
事務担当　◎ 吉野知寿子　　電話　042-326-0017

大会・成績

毎年度、主催・主管する大会は以下のとおり。

4月　春季団体戦（男女）
5月　男子シングルス大会
　　女子トリプルス大会
　　レディース団体戦
6月　男子ダブルス大会
　　女子ダブルス大会
9月　市民体育大会
10月　小学生シングルス大会
　　レディース個人戦
11月　秋季団体戦（男子）
12月　秋季団体戦（女子）
1月　レディース初打ち
　　少年少女大会
2月　混合ダブルス大会
3月　親睦団体戦

このほかにも、都民大会、市町村大会、青年大会、西東京近郊大会などへも選手を派遣しており、毎年入賞実績がある。

平 28 年　都民大会女子第 3 位
平 29 年　青年大会優勝



創立 50 周年記念式典の様子

将来の展望

これまでさまざまな方々のご尽力のおかげで、創立以来 55 年間にわたり、本協会の活動が活性化されてきた。本協会が、地域に暮らす幅広い年代の会員にバドミントンに親しんでいただくことを通して、心豊かな人生の一翼を担ってきたとも言える。また、ジュニアの育成も順調に進んでおり、全国大会で入賞する選手も育ってきている現状もある。

日本のトッププレーヤーが世界で活躍する姿を見て、憧れをもって練習に励む子供たちがいるのは心強い。オリンピック・パラリンピックを控え、更なるバドミントンンの発展と活性化に向けて、地域での地道な活動を継続・発展させていきたいと考えている。


秋季団体戦の様子

国立市バドミントン連盟

沿革・歴史

初代会長　橋本　孝義
2代会長　高橋　裕次
3代会長　小宮　正俊
4代会長　石森　泰治
5代会長　丹野　和男

国立市のバドミントン連盟は、市役所内から初代理事長橋本孝義氏を中心とした連盟づくりから始まっている。

現在は地域やPTAの父兄の親睦会としてスタートしたクラブなど5団体と高校生、大学生のサークル各1団体及び個人で加盟している総数約130名で構成されている。日ごろの練習は各団体ごとに小学校の体育館や市民総合体育館を使用して行っている。連盟では、年2回のダブルス大会や審判講習会、技術講習会、交流会などを開催し、また各種大会に代表選手を派遣している。春休み、夏休み、年末年始には市主催の小中学生のバドミントン無料開放に連盟員の派遣も行っている。

各種大会としては昭和59年には市町村大会で男女アベック優勝、男子は昭和58年及び昭和60年～62年、平成3年に準優勝など好成績を残してきたが、最近の傾向としては学生を除くと経験者や若い方々の新規加入が少なく、多摩地域や東京都の大会に代表を派遣するのに苦労する状況もある。若い人たちを中心に連盟員を増やしてレベルアップを図っていくことが課題となっている。

役　員



理事長	丹野　和男	
副理事長	遠田マチ子	
会計	明田加代子	
会計監査	高橋　悦子	村上　幸恵
東京都協会理事	横田　和長	
東京都協会評議員	遠田マチ子	
三多摩協会理事	明田　城利	
国立市体協理事	富田　正美	
国立市体協広報部	村上　幸恵	
国立市体協総務部	宮部　正志	
国立市体協事業部	高橋　悦子	
国立市体協会監査	富田　明美	
国立市体協評議員	石森　京子	下山真由美

創　　立　◎ 昭和 51 年 2 月 1 日
住　　所　◎ 〒186-0004　国立市中2-20-69
事務担当　◎ 丹野　和男　　電話　042-576-8852

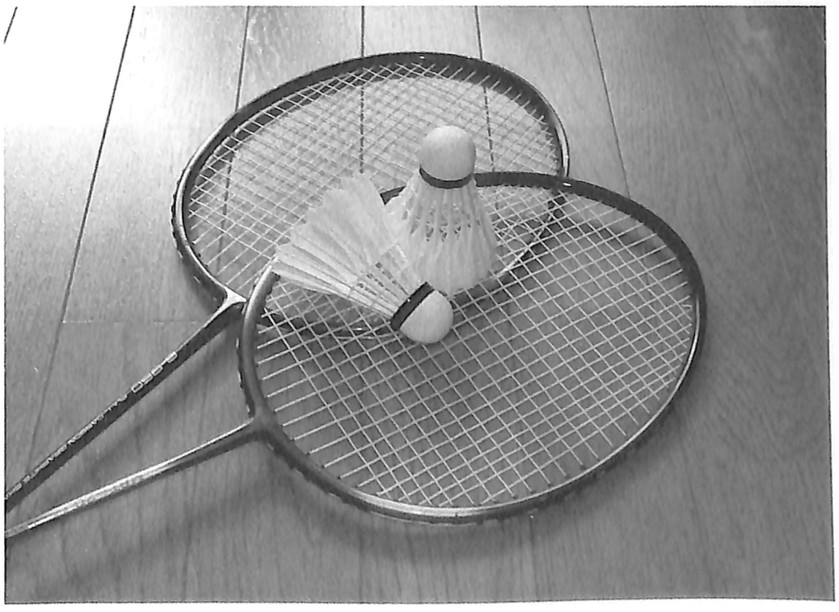
活動と経過

＜連盟年間予定事業＞

5月　オープンレディース大会
6月　春季ダブルス大会
9月　審判・技術講習会
10月　市民大会
1月　連盟交流会

＜代表選手の派遣＞

5月　東京都民大会
7月　市町村総合体育大会
9月　東京都生涯スポーツ大会
1月　三多摩男女混合団体戦
3月　三多摩地域対抗戦



福生市バドミントン連盟

沿革・歴史

＜歴代会長と在任期間＞

初代会長　石川彌八郎　昭56年4月～昭61年3月
2代会長　沖山　和男　昭61年4月～平10年3月
3代会長　森　　泉　平10年4月～平18年3月
4代会長　西條　一郎　平18年4月～平24年3月
5代会長　目黒　克彦　平24年4月～現在

当連盟は、昭和46年に創立し、今日まで46年間地域で活動を続けております。

昭和46年から昭和56年4月までは会長不在で2代目沖山会長が理事長として連盟の基盤を固めていきました。

連盟の活動としては、昭和47年に福生市体育協会に加盟、昭和50年には東京都バドミントン協会へ加盟しました。



役　員



会　　長	目黒　克彦	
理 事 長	奥村　雄二	
副理事長	野方　　孝	
理事・総務	福士めい子	澤田　雅子
理事・会計	石上　千世	
理事・競技	大村　久雄	清水　義朋
	相原　哲治	木村　英樹
	鳥羽　恒康	石川　勇一
	二見　邦子	松田かおる
	田村美枝子	田村　啓子
	森　眞由美	
会計監査	村井　基樹	

創　　立　◎ 昭和４６年4月1日
住　　所　◎ 〒197-0011　福生市福生2231-20
事務担当　◎ 奥村　雄二　　電話　042-552-0940

活動と経過

連盟主催の大会としては、連盟ダブルス大会、福生近郊ダブルス大会、連盟主管の大会としては、福生市民総合体育大会のバドミントン競技を毎年実施し、東京都市町村大会、西多摩地域広域行政圏大会の主管も度々行っております。

また、全国スポーツレクリエーション大会には、平成６年第７回大会（北九州市）、平成16年第17回大会（福井県武生市）、平成18年第19回大会（鳥取県倉吉市）の３回、東京都代表として出場しました。

平成７年には福生市国際交流市民海外派遣事業（北京市大興県）に選手を派遣しました。

近年は、都民大会、市町村大会、西多摩地域広域行政圏大会、全日本シニア選手権大会等各種の大会に選手を派遣しております。

将来の展望

将来へ向けての活動としては、平成32年度に東京オリンピック・パラリンピックが開催され、バドミントンはメダルが有望視される種目になってきております。この機会をとらえ、将来に向けてジュニアの育成に注力するため、平成24年よりジュニアバドミントン教室をスタートし、今年で６年目となりました。ジュニア育成事業の１つとして、ジュニア指導者講習会を４年渡って行い、ジュニア選手の育成と併せて連盟の発展とバドミントンの普及発展につなげてまいります。



平成 29 年度福生市民総合体育大会

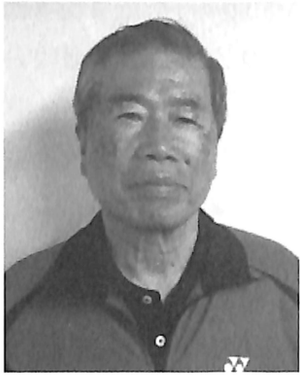

平成 28 年度ジュニア育成事業

狛江市バドミントン協会

沿革・歴史

昭和41年
・狛江町バドミントン協会発足
・堀内長之会長就任
・第1回大会(現 市民大会)開催
昭和42年
・春季大会を開始
昭和43年
・狛江町体育協会に加盟
昭和45年
・市制施行により狛江市バドミントン協会へ改称
昭和53年
・春季大会を会長杯に改称
・年3回程度大会を開催
・都民体育大会に参加
・東京都市町村総合体育大会に参加
・都民生涯スポーツ大会参加
平成元年
・東京都体育協会から優良団体表彰
平成5年
・新春初打ち大会開始
平成9年
・狛江市家庭婦人バドミントン親睦交流大会
(現 レディース大会)を開始
平成13年
・香林幹雄会長就任
平成19年
・津田道夫会長就任
平成23年
・狛江市体育協会ホームページに
バドミントン協会情報を掲載開始
平成27年
・小椋久美子氏バドミントンクリニック協力
平成28年
・陣内貴美子氏
スキルアップバドミントン教室協力
・創立50周年祝賀会開催

役　員



会　　長　津田　道夫
副　会　長　冨永　茂和
(三多摩バドミントン協会評議委員)
狛江市体育協会理事　松沼志真子
総　務　班　大久保千夏
(東京都バドミントン協会連絡員・狛江市体育協会社員)
池田由芽子
(三多摩バドミントン協会理事)
阿部　真理　安積　智子
競　技　班　滝川　洋実
(三多摩バドミントン協会評議委員)
伊東　惣子
(東京都バドミントン協会評議委員)
村田　真紀　西村　浩生
岩松　俊哉

創　　立　◎ 昭和 41 年 8 月 5 日
住　　所　◎
事務担当　◎

活動と経過

当協会は狛江市が市制施行前、狛江町時代の昭和 41 年 8 月に設立されました。

設立以来、狛江市のバドミントン普及のための講習会や練習会を積極的に開催し、競技人口の拡大に努めております。現在では、大会を年 3 回（会長杯、市民大会、レディース大会）主催しており、各大会にはいつも 100 名を越える方のご参加をいただいております。また、都民体育大会、市町村総合体育大会、都民生涯スポーツ大会にも積極的に参加するとともに、狛江市周辺のバドミントン愛好者の皆様との相互交流にも努めております。平成元年には東京都バドミントン協会様より優良団体として表彰いただきました。近年では、元オリンピックバドミントン代表の陣内貴美子氏、小椋久美子氏による市民向けバドミントン教室の開催に協力させていただきました。昨年、当協会は創立 50 周年の輝かしい記念の年を迎えました。当協会の発展に深いご理解、ご指導、ご協力頂きました全ての皆様に厚く御礼申し上げます。

今後ともバドミントンの普及・発展に努め市民の健康増進と愛好者の交流の場づくりを行ない、東京都におけるバドミントンのさらなる発展へと寄与していく所存です。2020 年の東京オリンピック・パラリンピックに向けたバドミントンに対する機運の高まりにも寄り添っていけるよう努めてまいります。引き続き、皆様の温かいご支援とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。







東大和市バドミントン連盟

沿革・歴史

＜歴代会長と在任期間＞
初代会長　堤　　健次　昭和50年5月～平成26年3月
2代会長　尾﨑　菊治　平成26年4月～現在

当連盟は、昭和50年5月1日に創立した。創立より前に、市の体育館でスポーツ教室として開催され、当時の体育指導員の地道な活動によってクラブができて連盟となり、昭和50年10月に東大和市体育協会に加盟した。

しかし、市民体育大会等の開催では利用可能な体育施設が、小・中学校の体育館のみであったため、一校での会場では支障が生じ、また、1日で消化できずそのため2ヶ所に会場を分けて行う状態が続いた。参加者の増は嬉しい悲鳴であったが、大会運営には苦慮した。

市民体育館が建設され開館してからは解消され大会運営はスムーズになったが、時代が進み、地域スポーツの宿命なのか中心で活躍していた成人の方々が、所属する企業そのものが他地域への移転や企業内での異動などでも煩雑な部署に付くことで、連盟との関わりが次第に遠のき危ぶまれたが、代わって女性の活躍が盛んになり牽引役をはたした。

レディースの活躍によって、各種大会への出場も盛んになり「全日本レディースバドミントン選手権大会」の東京都大会で連続優勝し、東京都代表として全国大会に出場し好成績を残した。

その後、「東大和レディース杯」として近隣団体に呼びかけ地域との交流を図る交流戦として毎年開催し地域スポーツ振興の役割に寄与している。

また、当連盟が加入している東大和市体育協会は平成29年7月20日に念願の特定非営利活動法人となった。

役　員



顧　　問　堤　　健次
会　　長　尾﨑　菊治
副 会 長　安藤　哲男
理 事 長　安藤　哲男(兼任)
会　　計　関下真由美
会計監査　坂本　留男

創　　立　◎ 昭和 50 年 5 月 1 日
住　　所　◎ 〒207-0005　東大和市高木3-279-2
事務担当　◎ 山地　陸彦　　電話　042-562-7397

活動と経過

バドミントンの普及・技術の向上を図るための講習会・練習会を開催、また、都・市町村等での対抗試合に参加、上部団体への役員派遣などの事業を行っている。

連盟としての大会は春季大会、市民大会、秋季大会、新春大会などで各大会、男女のダブルス戦、団体戦、シングルス戦、ミックスダブルス戦など多彩で、それぞれベテラン・中堅・初心者と区別けしている。また、数年前より女子のみであるがトリプルス大会を行っている。

練習は各クラブ毎に学校体育館や市民体育館を利用している。また、連盟全体の合同練習会を開催し相互の親睦・交流を図っている。

近年はジュニア育成でのバドミントン教室やシニア交流大会を開催、特にジュニア育成バドミントン教室では、ハイレベルの指導者と直接打ち合う指導や、指導者による模範試合で日頃の練習では見られない高い技術のプレーを目の前にしてやる気の刺激を与えており、クラブ活動での実践を通して技術力も向上し成果を得ている。

この教室の受講生には進学しても競技を続けていて、当教室の補助指導者としても関わり、今後の活躍に期待している。

健康で明るい社会生活を営められるようにと生涯スポーツへの関心をたかめ、市民のスポーツへの志向を一段と高めるという社会情勢の要給に応えてスポーツ振興に奮闘してきたかつての若人がシニア時代に入り、さらなる健康の維持・増進に努める一環として、古い仲間と旧交をあたため、競技を行う「シニアバドミントン交流会」の開催は、100 歳を生きられる時代の中、スポーツを通して健康寿命を延ばすためにも有益な事業ととらえている。

当連盟はスポーツを愛好する団体として、ジュニア育成を始め一人でも多くの市民にバドミントンを生涯のスポーツにして、健康増進を目的にさらなる活動に努め連盟の発展に努力していく。





清瀬市バドミントン連盟

沿革・歴史

＜歴代会長と在任期間＞
初代会長　秋廣　勝道
現 会 長　平塚　信敏(2008年～現在)

1975年12月に清瀬市バドミントン連盟（清瀬バドミントンクラブ）発足
現在は3クラブが連盟に加盟

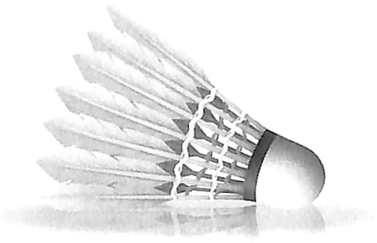
＜創立当時＞
清瀬市バドミントン連盟は1975年12月にバドミントン愛好者により設立され体育協会に登録されました。
清瀬市第八小学校の体育館2面での練習が始まりましたが、当初よりインターハイ出場経験者から、それこそ初心者まで年代も10代から60代まで毎週日曜日10時～13時までの3時間の練習でした。
毎年、春と秋の市民大会を開催し、その後経験者も増え、東京都市町村体育大会にも参加し最高3位に入賞しました。また経験者のつながりで保谷市との和気あいあいとした練習試合なども実施しました。
経験者はまだ少なく、クラブは1つしかない状態で、その後いくつかクラブも出来ましたが連盟加盟までは至らない状態が長く続きました。

役　員

理　事　長　川口　浩



会　　長　平塚　信敏
副　会　長　雨宮　祐介
会　　計　日下部　文
理　　事　村野　秀和　三浦　猛
　　平塚　佳成　岩田　直久



創　　立　◎ 昭和 50 年 12 月 15 日
住　　所　◎ 〒204-0021　清瀬市元町1-14-7
事務担当　◎ 平塚　信敏　　電話　042-492-3952

活動と経過

毎年春季市民大会、秋季市民大会を開催し、東京都市町村体育大会や三多摩バドミントン連盟にも加盟し三多摩協会主催の各大会、関東シニア選手権大会、全日本シニア選手権大会にも参加しています。

最近は市内中学校のクラブ活動も盛んになり、年２回の市民大会にも多くの中学生が参加し、市内在校の高校生も多数の参加があります。しかしながら市民体育館が１つしかなくコートも４面しか取れないため、上限 70 組程の制限を設けています。

現在、中学・高校の部活のコーチ、小学校のサタデースクールでの指導、各クラブで中高生を受け入れ、指導を行っています。

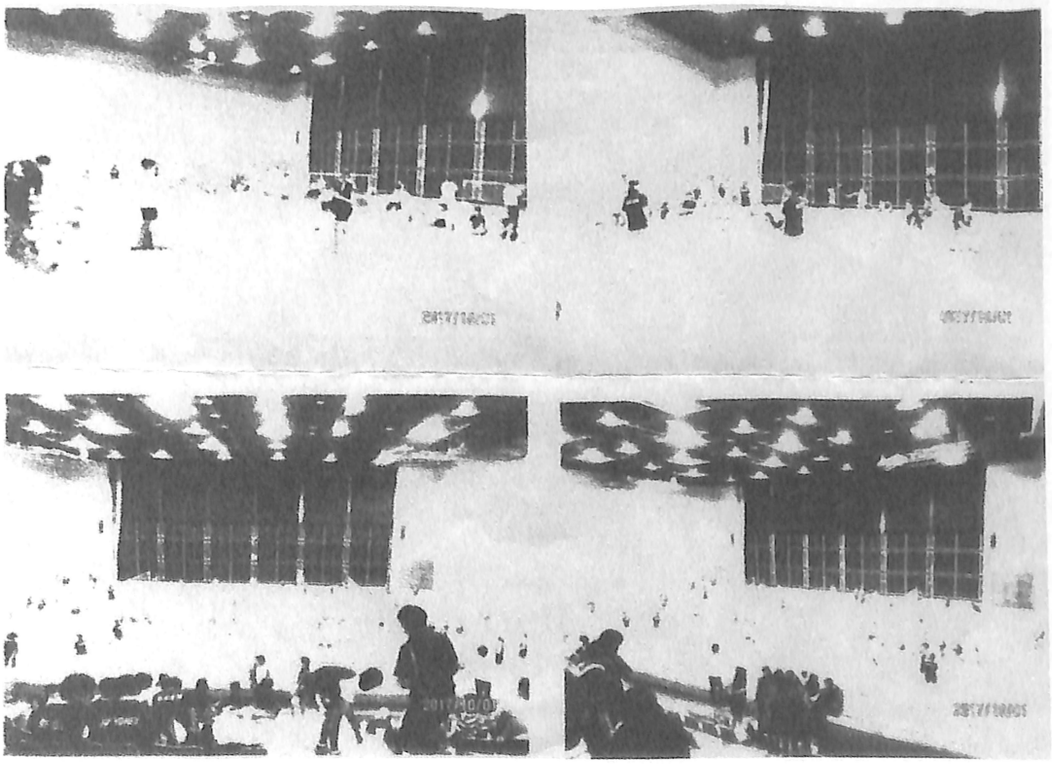
公認審判員も増加しています。

将来の展望

当市においては、以前よりもバドミントン人口は確実に増加しており、連盟会員数を増やすことにより、連盟運営強化を図り、それに伴いジュニア育成をメインとし更なるバドミントン人口の増加と連盟の発展を推進していきたい。

2017 年 10 月現在

平成 29 年 10 月秋季市民大会の様子



多摩市バドミントン連盟

役　員

会　　長	石井　芳文	
副 会 長	熊倉　光男	
理 事 長	増田　　修	
財務部長	大佛　一毅	
総務部長	堀　　雅之	
競技部長	倉田　　武	
指導部長	宮山　義浩	
理　　事	相原　万里	秋元みや子
	飯干　慶郎	大下奈帆子
	影山由美子	川村　広大
	岸　　昭子	後藤　　進
	高橋　久子	
相談役	鎌内　　豊	

活動と経過

当連盟では、市民参加を中心とした各種大会（春季・秋季ダブルス大会、ダブルス選手権、シングルス大会、混合ダブルス大会、中学生シングルス・ダブルス大会、前期・後期クラブ対抗団体戦）やレディースを対象としたオープンダブルス大会の開催に加え、初心者講習会や全体的なレベルアップを図るため一流コーチによるステップアップ講習会、技術講習会を定期的に開催しています。

東京都の中では小さな支部ですが、毎年、全国社会人、全国シニア、全日本レディースといった全国大会に選手を派遣し、好成績を出している会員もおります。（全国シニア女子シングルスでは５年連続で優勝）

この様な活動を行っていますが、高齢化問題の影響が出てきている実態があります。多摩市は多摩ニュータウン構想化の元、昭和40年代（1960年代）から人口は急激な増加が見られましたが、平成７年（1995年）をピークにその後は横ばいで推移しています。一方、老年者（65歳以上）人口は増加傾向が続いており、高齢化によるバドミントン競技人口への影響が顕在化してきました。選手の強化だけではなく、多くの会員がより健康的に、より安全に、バドミントンを楽しめる工夫やイベントを検討していきます。

創　　立　◎ 昭和 45 年
住　　所　◎
事務担当　◎



2017 年度 秋季ダブルス大会 各クラス優勝者

稲城市バドミントン連盟

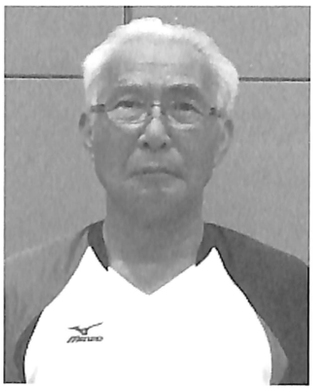
沿革・歴史

＜歴代会長と在任期間＞
初代会長　清水　善一　昭49年4月～昭52年3月
2代会長　向後　　陟　昭52年4月～昭59年3月
3代会長　星野　勝雄　昭59年4月～現在

＜沿革＞
1966 年（昭和 41 年）11 月 20 日
稲城町バドミントン連盟
民間企業（かんばら電気㈱）後の富士通機電㈱が設立したが人事異動で解散する旨通達があり、初代・2 代会長が引き継ぎ立ち直し現在に至る。
昭和 43 年　稲城町体育協会に加盟し補助を仰ぎ運営参加となる。
昭和 46 年（1971）11 月 1 日･市制度により「稲城市バドミントン連盟」の名称となる。

当連盟は、平成 4 年稲城市総合体育館完成と同時に、バドミントン教室を開催し 25 年の歴史を数えました。
そこで培った技術をもとに、（公財）日本体育協会の公認指導員、日本バドミントン協会の公認審判員を多数育成し、その技術を現在も育成しています。

役　員



会　長	星野　勝雄
副会長	石森　敏夫　斎藤　博
副会長兼理事長	斎藤　博（競技部）
副理事長兼事務局	南　彰（総務部）
副理事長	今野　雄悟（審判部）
会　計	軍司　洋子
書　記	北川知可子 （市委託事業バドミントン教室責任者）
会計監査	大野　行男
常任理事	千葉　真一　末岡　幸子 瀬戸　京子　竹林　恵美

創　　立　◎ 昭和 41 年 11 月 20 日
住　　所　◎ 〒206-0811　東京都稲城市押立511-6
事務担当　◎ 南　　彰　　電話　090-9955-7588

活動と経過

第 49 回東京都民大会　女子 5 位入賞

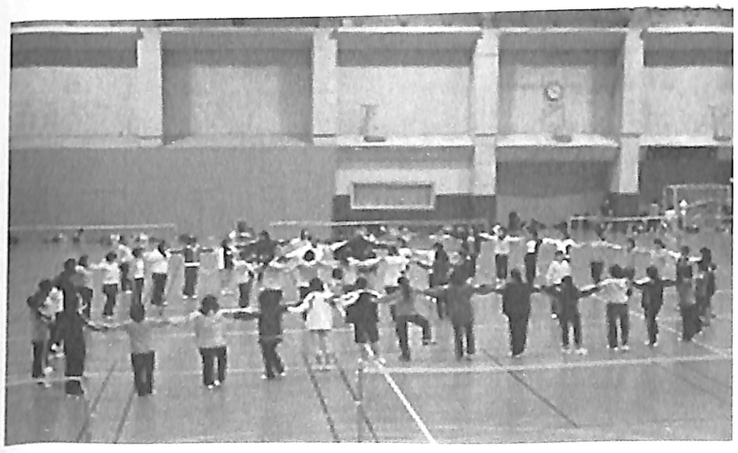


＜バドミントン教室「平成 4 年～現在」＞

平成 4 年稲城市総合体育館開館以来、教育委員会と即教室を開催し、25 年の経過とともに、バドミントン人口が急増し「稲城市バドミントン連盟」の発展に寄与しています。







＜ジュニア育成＞







将来の展望

本連盟も（公財）日本体育協会の公認指導員・日本バドミントン協会の公認審判員を多数育成し、上部大会に派遣・協力できるよう体制を整えている。

2017 年に 50 周年をむかえ、尚一層、本連盟が 2020 東京オリンピック・パラリンピック運営に協力ができるような連盟にしたいと思う。当連盟役員総体制で力を注ぎ尚一層、バドミントンの普及・発展に寄与してまいります。

羽村市バドミントン連盟

沿革・歴史

昭和52年４月１日、企業内クラブ及び市民有志のクラブ合わせて４クラブ（登録81名）にて発足。同年４月の体育協会総会で体育協会加盟の承認を得て加盟しました。

＜加盟団体＞

現在４団体あります。団体名は下記の通りです。

①市民クラブ：

小作台クラブ　松林クラブ　清流クラブ

②企業クラブ：

カシオ計算機

活動内容

スポーツセンター、小学校の体育館でクラブ毎に練習をしています。技術の向上及び会員相互のコミュニケーションを図りながら、各種競技（ダブルス・団体戦等）を開催しています。

また、近郊連盟及び上部団体主催の大会にも参加しています。

＜練習日等＞

◎松林クラブ　火曜日　松林小学校　19：30～

◎小作台クラブ　水曜日　小作台小学校　19：30～

※練習参加費は、各クラブ・年齢等で異なります。（200～400円／1回）

※運動のできる服装で、ラケット・室内履き（運動靴）を持参し、直接練習会場にお越しください。



スポーツセンター

創　　立　◎ 昭和 52 年 4 月 1 日
住　　所　◎ 〒205-0013　羽村市富士見平1-18-6-105
事務担当　◎ 河内　準治（会長）　電話　042-554-2830

入会について

①入会資格：

羽村市に在住・在勤・在学し、「会員相互の親睦と技術向上、体力維持増進、心身の健全な発達を図ること」に賛同し、理事会において認められた者。（小学生以上。）

②会費：

入会金　不要

年会費（登録料）一般：500 円
大学・高校生：300 円
中学生以下：無料

③入会方法：

上記の加盟団体を通して、申込みしてください。（個人登録は受け付けていません）

④問合せ先：

バドミントン連盟会長
（河内：042-554-2830）まで。



あきる野市バドミントン連盟

沿革・歴史

＜歴代会長と在任期間＞
初代会長　浜中　正吉　平8年4月1日～平24年3月
2代会長　坂口　一道　平24年4月～

あきる野市は平成７年９月１日に旧秋川市と旧五日市町が合併し誕生した。その翌年、あきる野市体育協会が旧秋川市体育協会と旧五日市町体育協会が合併し、同日旧秋川市バドミントン連盟と旧五日市町バドミントン連盟が合併し、あきる野市バドミントン連盟が発足した。

役　員



会長	坂口　一道	
副会長	内山　建夫	
理事長	野呂　順正	
副理事長	奥山　勝実	
会計	増田　里恵	雨宮　裕子
会計監査	永田　太郎	樗木真智子
理事		
対外試合担当	成毛　章容	成毛美紀子
都協会担当	山崎　孝	
三多摩協会担当	溝口　大	
体育協会担当	望月　隆司	
秋川クラブ担当	浅利美津子	
ファインプラザ担当	中村　志保	
理事	長谷見正明	枝　暁
	山崎美恵子	永田　早苗
	杉田　直人	杉田　桂子
	鈴木　友人	小峰　和城
相談役	浜中　正吉	堀　登美夫

創　　立　◎ 平成８年４月１日
住　　所　◎ 〒197-0814
あきる野市二宮683 秋川体育館内　NPO 法人あきる野市体育協会内
事務担当　◎ 野呂　順正（理事長）　電話　042-559-6312

活動と経過

当連盟では、毎週金曜日の五日市ファインプラザ、土曜日の秋川体育館での練習のほかに初心者講習会、市民大会・近郊大会の開催、ジュニアの育成、東京都市町村総合体育大会、西多摩地域広域行政圏大会、三多摩バドミントン協会等が主催する大会に積極的に参加し平成 26 年には東京都市町村総合体育大会において男子が優勝を果たすなど多摩地域でもあきる野市の評価が高まっている。全日本総合や各種大会に審判員を派遣している。

将来の展望

連盟の加入者は 100 名余とここ数年あまり変化はない。若年層の加入が少ないので初心者講習会の実施、ジュニアの育成等を通じて加入者増をはかる。70 歳以上の元気な高齢者を含め多くの方が楽しく１年でも永くバドミントンを続けることができるよう環境を整備したい。



市民大会小学生の部



市民大会開会式

西東京市バドミントン協会

沿革・歴史

＜歴代会長と在任期間＞
初代会長　楯　　篤志　平成13年4月13日～現在

西東京市バドミントン協会は、平成13年1月、旧田無市と旧保谷市が合併、創立の未だ新しい協会です。旧田無市の元中山寛子会長が小学生のバドミントン競技の育成に力を注いだ経過があり、合併後も市内では子供から大人まで、高齢者は生涯スポーツとしてバドミントンを多くの愛好者が楽しんでいます。

平成29年西東京市の人口も20万人を超え、今後はバドミントン人口が増えるのを期待しているところです。

ジュニア育成の成果も出ており、中学生の競技者もここ数年増え続けており、大会は盛況です。

楯会長の元、協会員300名を有し、上部団体への役員の派遣、日本バドミントン協会公認審判員取得者は83名を数えジャパンオープン、全日本総合選手権大会等多数の東京都主管大会に審判員を派遣協力しています。

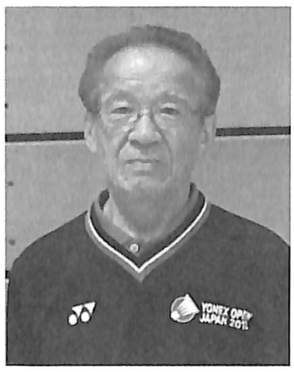
傘下のジュニア（小学生）も東京都の代表、更には全国でも好成績を残し更に上を目指し外部で活躍中です。

平成28年度、念願であった、都民大会で女子チームが初優勝という快挙を成し遂げました。

第33回全日本シニアバドミント選手権大会が多摩地区で、全国より約3,600名の選手を迎え開催されました。当市の会場では「30歳以上混合ダブルス」を実施、当協会が関われたことは、今後の大会運営にとり貴重な体験でした。

役　　員

顧　　問　中山　寛子　　野村美智子



会　　長	楯　　篤志	
副 会 長	和田　法夫	
理 事 長	姉松かつ代	
副理事長	遠藤　誠司	布施真一郎
総務部長	小倉トシ子	
会計部長	山本ふみ代	
渉 外 部	宗形　一志	福島美記子
強化・育成	佐藤　和代	野崎　智厚
監　　事	福島美記子	野口　　聡



理事の集合写真

創　　立　◎ 平成 13 年4月 15 日
住　　所　◎ 〒188-0014　西東京市芝久保町2-5-20
事務担当　◎ 姉松　かつ代　　電話　090-1401-3325

大会・成績

◎市内の大会・講習会

春季ダブルス大会／シングルス大会／団体戦／市民総合体育大会（小学生大会・中学生大会・高校一般大会）／混合ダブルス大会／新春会長杯／クラブ対抗団体戦／技術講習会／年齢別ダブルスオープン大会／西東京近郊市（８市）団体戦／東京都ジュニア育成（教室・強化練習会）／東京都シニア推進事業（交流会）

◎東京都・三多摩地区大会

都民大会／市町村体育大会／三多摩地域対抗団体戦／三多摩男女混合団体戦／生涯スポーツ大会

◎国内大会

関東シニア選手権大会／全日本シニア選手権大会／全日本社会人選手権大会／関東レディースクラブ対抗／全日本レディース大会／全国小学生選手権大会／若葉カップ全国小学生大会／全国小学生ＡＢＣ大会

◎主な大会の成績

・市町村大会

男子（１位）平成 13, 21, 27 年
（２位）平成 14 年
（３位）平成 15, 17, 18, 19, 20, 23, 28 年
（５位入賞）平成 29 年
女子（２位）平成 13, 18, 26, 27 年
（３位）平成 17, 19, 20, 21, 28, 29 年

・都民大会

男子（２位）平成 23 年
（３位）平成 21 年
（５位）平成 29 年
女子（１位）平成 28 年
（５位入賞）平成 16, 22, 29 年

・三多摩地域対抗戦

男子（１位）平成 21, 23, 27, 28 年
（２位）平成 13, 14, 15, 16, 20, 22 年
（３位）平成 18, 19 年
女子（２位）平成 17, 22 年
（３位）平成 24 年



平成 28 年度都民大会で女子初優勝

将来の展望

今後はジュニアの育成強化を更に進めたい。小学生では全国レベルの選手を多数輩出しているが、中学、高校へと進むにつれ活躍の場を求めて他県に流出する選手が多い。地元で育成する環境を整えて、またより良い指導者の確保と併せて、引き続き地元からの日本代表選手の輩出、サポートを行っていきたい。

瑞穂町バドミントン連盟

沿革・歴史

＜歴代会長と在任期間＞
初代会長　小川　峰義　昭和 50 年～ 54 年
2代会長　鈴木　勝政　昭和 55 年～ 58 年
3代会長　小川　峰義　昭和 59 年～現在

瑞穂町でのバドミントンの始まりは、昭和 49 年頃に瑞穂町教育委員会が社会体育教育の一環として、バドミントン教室を開催したのが始まりでした。

当時はバドミントンに精通した指導員がいなかったため、教室は羽村町（現在の羽村市）より派遣された体育指導員のもとで行われました。教室には青少年、主婦と幅広い年齢層の参加者が集まりました。それぞれ体力が異なる集まりなので、指導者の方は苦労しながら教えていた思い出があります。初めて体験するバドミントンなのでコートの中を右往左往しながら一生懸命に練習やゲームに励んでいました。

教室の日程が終了した後、継続してバドミントンを楽しむため、有志でバドミントン愛好会を発足させたのが、瑞穂町でのバドミントン活動の始まりです。

役　員



会　　長　小川　峰義
副 会 長　西村　和宏
理　　事　吉澤　　徹
ジュニア育成担当　柳澤　博幸
事 務 局　西村　和宏



創　　立　◎ 昭和 49 年 4 月 1 日
住　　所　◎ 〒190-1221　東京都西多摩郡瑞穂町箱根ヶ崎2254
事務担当　◎ 西村　和弘　　電話　042-557-0078

活動と経過

主な行事としては、近郊バドミントン大会、瑞穂町開催の総合体育大会の主管を行っています。

現在では近郊の連盟、協会が主催する大会等に選手派遣を行っています。

最近では、東京都のジュニア育成事業の一環として、毎週土曜日の午前中にジュニアバドミントン教室を行っています。また、外部講師を招いてジュニア講習会を行いました。

講習会では、元シドニーオリンピック出場選手の井川里美さんも参加されてジュニアの指導を熱心にしてくれました。

将来の展望

今後、瑞穂町バドミントン連盟ではジュニア育成に力を入れて取り組み、底辺の拡大及びバドミントンを生涯スポーツとして定着させるための活動を行う予定です。



近郊大会風景



ジュニア教室風景



ジュニア講習会風景

東京都実業団バドミントン連盟

沿革・歴史

＜歴代会長と在任期間＞

初代会長　戸川　正悟　昭和48年度～昭和53年度
2代会長　上島　　保　昭和54年度～昭和57年度
3代会長　廣田　俊秀　昭和58年度～昭和61年度
4代会長　宮永　武司　昭和62年度～平成18年度
5代会長　大野　憲弘　平成19年度～平成22年度
6代会長　今井　茂満　平成23年度～現在

＜歴代理事長と在任期間＞

初代理事長　宮永　武司　昭和48年度～昭和57年度
2代理事長　松浪鋭四郎　昭和58年度～昭和61年度
3代理事長　森谷喜久男　昭和62年度～昭和63年度
4代理事長　今井　茂満　昭和63年度～平成18年度
5代理事長　吉田　　繁　平成19年度～現在

＜全日本実業団バドミントン選手権大会の開催＞

第 28 回大会
駒沢体育館他、昭和 53 年 6 月 13 日～ 18 日
第 32 回大会
立川市民体育館、昭和 57 年 6 月 16 日～ 20 日
第 46 回大会
東京体育館他、平成 8 年 7 月 3 日～ 7 日
第 50 回大会
東京体育館他、平成 12 年 7 月 6 日～ 9 日
第 56 回大会
東京体育館他、平成 18 年 6 月 28 日～ 7 月 2 日
第 69 回大会
平成 31 年度（東京都、埼玉県共同開催予定）

役　員



会　長	今井　茂満	
副会長	近岡　昭	笹林　義春
理事長	吉田　繁	
副理事長	目黒　仁一	横山　登
	多田　晃一	
総務委員長	長門　忠雄	
総務担当	菅沼　法英	小林　三男
	山縣　義文	
財務企画委員長	山内　勉	
競技委員長	江連　秀敏	
競技担当	横川　明弘	中村　憲尚
	有村　英泰	橋村　竜彦
	後藤　愛	藤田　樹生
審判委員長	村上　知也	
審判委員	高田　浩	大島　俊也
	伏間　誠志	
監　事	若林　孝子	露木　保敏

創　　立　◎ 昭和 48 年 7 月 1 日
住　　所　◎ 〒160-0023
　　新宿区西新宿7-22-37　ストーク西新宿福星ビル401 号
事務担当　◎ 長門　忠雄　　電話　03-3365-2785

活動と経過

当連盟は、都内の企業、官公庁の事業所の実業団チームで構成され、上部団体として東京都バドミントン協会のほか、日本実業団バドミントン連盟に属しています。

毎年、全国各地で開催される「全日本実業団バドミントン選手権大会」への参加を頂点として、年次大会を次のように開催しています。

1．全日本実業団大会東京都予選会（4 月）
2．春季リーグ戦大会（5 月～ 6 月）
3．秋季リーグ戦大会（10 月～ 11 月）
4．個人戦大会（1 月～ 2 月）
5．関東地区実業団大会（3 月）≪協力≫

＜平成29年厚生労働大臣杯第67回全日本実業団＞
秋田大会の当連盟チームの主な成績

【男子の部】
優勝
日本ユニシス



【女子の部】
優勝
日本ユニシス



【女子の部】
第３位
ＮＴＴ東日本



＜東京都実業団リーグランキング（平成29年度秋季）＞

（男子の部）

		1位	2位	3位	4位	5位	6位
1部		旭工芸A	ウエンブレーリオン	日本ユニシスA	東京消防庁A	足立区役所A	
2部		JP日本郵政A	コニカミノルタA	NTTデータA	日立ソリューションズA	NTT Communications A	NTT東日本
3部	A	国立印刷局	明治安田生命	ブリヂストン	東京トヨペット	コニカミノルタB	ウインザーA
	B	東京メトロ	警視庁A	日立本社	三菱東京UFJ銀行	東京都庁	東京国税局A
	C	ヨネックス	キヤノンAR	ICOH	横河電機A	NTTデータB	旭工芸B
4部	A	NTT通研A	NTTコムウェアA	セイコーインスツル	東京消防庁B	大日精化	鼎林水産省
	B	世田谷区役所	JP日本郵政B	足立区役所B	Ko-o	三井住友銀行	東京海上日動
	C	日本ユニシスB	JR東日本東京	MS&ADシステムズ	HITACHI TOKYO	ANA-A	ちかなり
5部	A	旭硝子	東京大学	オリンパスA	日本HP	LION	京浜急行電鉄
	B	みずほ	森永	協和エクシオ	日立中研	コニカミノルタC	男友会
	C	NIKON	東京国税局B	防衛省	ウインザーB	キヤノンB	東京工業大学
6部	A	C-COMO	J	インフォメーションクリエーティブ	富士電機東京	日立ソリューションズB	三菱ガス化学
	B	ルネサス武蔵	協和発酵キリン	大田区役所	横河電機B	日本化薬	日本電気B
	C	岩崎通信機	日本光電	NTTデータC	日本電気A	日本製紙	電通
7部	A	武蔵野市役所	NTT Communications B	NTTコムウェアB	損保ジャパン	鹿島	-
	B	警視庁B	シチズン	オリンパスB	日本ユニシスC	菱洋エレクトロ	-
	C	航空技研	キヤノンC	メディアシークA	ANA-B	内田洋行	-

（女子の部）

		1位	2位	3位	4位	5位	6位
1部		NTT東日本	JP日本郵政	ヨネックス	日本ユニシス	NTTデータ	みずほ
2部		三菱東京UFJ銀行	東京都庁	警視庁A	キヤノン	横河電機	ヨネックスA
3部	A	大日精化	ちかなり	NIKON	RICOH	警視庁B	日立ソリューションズ
		日本電気	鹿島	-	-	-	-
	B	東京消防庁	三井住友銀行	JR東日本	JP日本郵政B	足立区役所	東京海上日動
		ANA	-	-	-	-	-

その他活動して、毎年開催されるバドミントンS/Jリーグ（旧バドミントン日本リーグ）東京大会（最終戦）を主管として開催しています。

また、ジャパンオープン、全日本総合選手権大会等の運営協力として役員派遣を行っています。

将来の展望

平成 31 年度の第 69 回全日本実業団バドミントン選手権大会は、会場を埼玉県内として、当連盟と埼玉県実業団連盟との共同開催にて開催します。

全日本クラス大会の運営を重ね、役員の経験を積み、大会を成功できるように努力して行きます。

当連盟の役員は、登録各チームからの代表者で構成しており、和気あいあいのにぎやかなメンバーです。

よろしくお願いいたします。

東京都レディース連盟

70周年を祝う

東京都バドミントン協会が創立70周年を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

今日までの長い間、関係各位の御尽力、御熱意により沢山の実績を残され、成長発展されてこられましたことに敬意を表するものでございます。

小連盟も昭和48年正式に貴協会の傘下に加えていただきました。70年という長い歳月の間には、バドミントンをとりまく社会環境は大きく変わってまいりました。最近の出来事では

リオオリンピックの金メダル獲得は歴史的快挙と捉えられ、バドミントン競技が広く周知され、メディアの取り扱いにも隔世の感があります。そして若年層の競技人口の底上げに加速度が増したように見受けられます。

一方、長寿化により「100年人生」という考え方が注目され、ライフサイクルが大きくシフトしようとしている昨今、健康意識の高い人々から生涯スポーツとしてのバドミントンが大きくクローズアップされています。

東京都レディースバドミントン連盟においてもその活動の3つの柱である「全日本レディース選手権大会（都道府県対抗およびクラブ対抗)、「全日本レディースバドミントン競技大会個人戦」そして「ヨネックス杯国際親善レディースバドミントン大会」があります。これらの大会をみても60才台以上の多くのプレーヤーが年を追うごとに参加数を伸ばし、特に首都圏ではその活躍が顕著であるように思います。また「大江戸オープン大会」も回を重ねる事15回、日本全国から多くのプレーヤーが憧れの会場である東京体育館を目指して切磋琢磨しています。

貴協会におかれましても、このように変動する時代の中で常に一歩先を見据える取り組みを推進し、多くの事業の充実を図りご尽力下さる関係者の皆様に感謝を表するとともに、

この70周年を契機として、東京都バドミントン協会のますますのご発展を心からお祈り申し上げて、お祝いの言葉とさせていただきます。



創　　立　◎
住　　所　◎
連 絡 先　◎



東京都教職員バドミントン連盟

沿革・歴史

＜歴代会長と在任期間＞

初代会長　小林富次郎　昭33年4月～
2代会長　大島　　昭　昭45年4月～
3代会長　小口　正雄　昭56年4月～
4代会長　伊藤　久雄　昭57年4月～
5代会長　高橋　幸三　平3年4月～
6代会長　平田登志郎　平7年4月～
7代会長　水上　英二　平22年4月～

＜教職員連盟の先駆け＞

1954（昭29）年当時、聖学院中高等学校で部活指導にあたっていた今井先先生（昭和26年都協会理事長に就任）が中学生大会開催の呼びかけを行った。これに応え、台東区立竜泉中（平田登志郎先生、後の初代都中体連バドミントン部長）、麻布中（安楽末男先生、後の初代都高体連バドミントン部専門委員長）、女子聖学院中（佐野美代子先生）、十文字中（大塚直先生）など数校がこの大会に参加した。以後指導を担当している先生方のバドミントンを通した交流が始まった。この時の会の名称がBFC（Bird Friends' Club）であった。

＜東京都教職員バドミントン連盟の誕生＞

1958年（昭33）年、東京における教職員の組織づくりが本格的に開始された。教員の指導力向上とバドミントンの更なる普及を目的とし、「東京都教職員バドミントン連盟」（略称TEF）を新たに発足させた。初代会長に当時ライオンはみがき社長小林富次郎氏、理事長に平田先生が就任した。

これを機に、学校クラブにおけるバドミントンが急速に広がりを見せ、教職員のバドミントンの指導組織化」に向けた第一歩を刻んだ。東京都バドミントン協会への加盟はこの頃であり、役員として小泉伸担、磯野安雄両氏を派遣した。

＜以後の主なできごと＞

1961年日本教職員バドミントン連盟（通称JEF）結成。会長　栗本義彦（元日体大学長）、理事長に平田登志郎（元文京第二中学教諭）が就任する。

1962年第1回全日本教職員バドミントン大会を文京二中にて開催する。1965年第1回全関東教育系大学学生選手権大会が東京にて開催する。1971年第10回全日本教職員大会（岡山市）で一般女子団体初優勝する。1973年本連盟主催の東京都学校対抗大会（文京区茗荷谷中）が始まる。1976年第15回全日本教職員東京大会、駒沢体育館にて開催する。1985年第24回全日本教職員大会（福井市）にて一般男子団体初優勝する。1986年東京都教職員選手権大会兼親睦大会始まる。（ダブルス個人戦）。1991年第30回全日本教職員大会（豊橋市）にて一般男子、女子団体ダブル優勝する。1993年第32回全日本教職員大会（平塚市）で一般男子、女子団体複優勝する。1997年新潟県教職員連盟との交流・研修会が湯沢市で始まる。

※TEF：The Tokyo Educator's Badminton Federation
※JEF：Japan Educator's Badminton Federation



全日本教職員長野大会　都道府県対抗総合優勝

創　　立　◎ 昭和 33 年
住　　所　◎ 〒161-8522
新宿区中落合4-31-1　目白研心中学校・高等学校
事務担当　◎ 森本　俊彦

2001 年第 40 回全日本教職員大会から都道県対抗総合優勝制度が発足。東京都一回目の総合優勝を飾る。2009 年東京都教職員シングルス選手権を創設。2011 年日本教職員連盟創立 50 周年記念式典開かれる。関東教育系大学学生大会が全日本教育系大学学生大会として新たに発足する。

2012 年関東教職員バドミントン大会始まる。

2014 年第 53 回全日本教職員東京大会を墨田、葛飾、江東、台東の 4 区の協力を得て開催する。

2017 年第 56 回全日本教職員大会（郡山市）にて**東京都総合優勝（８連覇）13 回目となる。**

役　　員

名 誉 会 長　　平田登志郎



会　　長	水上　英二		
副 会 長	本間　研一	稲石　一雄	
理 事 長	須田　和裕		
副 理 事 長	森本　俊彦	石井　陽一	
常 任 理 事	横田　和長	瀧井　洋一	
	伊藤　貴章	上岡　　学	
	前田　正志	江澤　曜子	
	谷口　紀夫	津田　弘毅	

活動と経過

4月　東京都教職員連盟年次総会
5月　全日本教職員大会団体戦東京選手選考会
6月　東京都教職員シングルス選手権大会（8回）
8月　全日本教職員選手権大会および総会
12月　新潟県教職員連盟との交流・研修会、東京都教職員学校対抗大会（38 回）
3月　東京都教職員ダブルス選手権大会
兼親睦大会（30 回）

○教職員連盟定例練習会毎月第 2 月曜日
滝野川女子学園体育館



結びにかえて

近年の国際大会における日本選手の活躍は目覚ましいものがあり、こうした選手たちの育成指導を担う人たちには、地域やクラブチームの指導に当たっている人たちは無論のことではあるが、小・中・高・大学の部活指導者＝教職員が圧倒的に多い。しかも自らバドミントンに励みながら、小体連、中体連、高体連をはじめ都道府県各支部でその組織の中枢を献身的に担っている人も多い。教職員連盟はそのような人たちの集まりでもある。こうした人たちは、日本のバドミントン界の歴史を振り返り、教職員諸先輩の教えに従って、旺盛なる研究心と強い熱意をもって実践的に引き継ぎ、学び・習いで培ったことを後世につなげる役目も必要と考えている。今現在様々なバドミントン組織で、これまでの役員、指導者の年齢が高まり、世代交代が急務の課題となっているのではないか。

東京都学生バドミントン連盟

沿革・歴史

2009年（平成21年）発足
【発足時メンバー】
名誉会長：関場　武
会　長：兒嶋　昇
副会長：峯岸　康史　佐藤　健一郎
委員長：白鳥　卓　他学生役員６名
2011年（平成23年）
副会長：平井　克英
監　事：久保田　義典
が加わりそれぞれ任に当たる。

＜歴代委員長＞
初代会長　白鳥　卓（明治大学）
2代会長　佐々木祐太（成蹊大学）
3代会長　榊木　莉紗（東京女子体育大学）
4代会長　田村　浩之（成蹊大学）
5代会長　石井　宏和（帝京大学）
6代会長　足川　萌（日本女子体育大学）
7代会長　相馬真優奈（東京女子体育大学）

我々、東京都学生バドミントン連盟では学生バドミントン界の更なる発展・向上を目指して平成21年に発足しました。業務は主に登録作業、審判員育成事業、東京都協会主管大会への審判および役員派遣や、東京都学生選手権大会・東京都大学対抗選手権大会の運営など多岐に渡ります。

発足当時から学連業務に携わっていただいている関場名誉会長、兒嶋会長、佐藤・平井・峯岸副会長、久保田監事のお力添えをいただきながら学生主体となって日々活動しております。

現在、学生役員は８名と極めて少ない人数での活動ではありますが、学生の本業である勉学を疎かにしないよう文武両道をモットーにしております。

役　員



名誉会長：関場　武



会長：兒嶋　昇

名誉会長　関場　武
会　長　兒嶋　昇
副会長　平井　克英　峯岸　康史
佐藤健一郎
監　事　久保田義典
佐藤友里子（國學院大学）
委員長　相馬真優奈（東京女子体育大学）
副委員長　阪口　真琴（日本女子体育大学）
嶋田　菜乃（帝京大学）
会　計　安部菜美子（日本大学）
常任委員　足川　萌（日本女子体育大学）
瀧田　祐希（成蹊大学）
安齋　綾夏（東京女子体育大学）



創　　立　◎ 平成 21 年
住　　所　◎ 〒160-0023
　　新宿区西新宿7-22-37 ストーク西新宿福星ビル401 号
事務担当　◎ 相馬　真優奈

大会・成績

毎年７月に東京都大学対抗選手権大会、12 月に東京都学生選手権大会を行っています。 インカレ・全日本総合などの全国大会に毎年、日本大学や早稲田大学他多くの所属大学の学生が出場し、入賞も遂げています。

＜本年度主な大会成績＞
平成 29 年度日本ランキングサーキット大会
男子単ベスト８：古賀　穂（早稲田大学）
平成 29 年度
全日本学生ミックスダブルス選手権大会
優　　勝：古賀　穂・中西 貴映（早稲田大学）
ベスト４：仁平 澄也・上杉 夏美（明治大学）
　　西川　裕次郎・宮浦　玲奈（法政大学）
第 29 回ユニバーシアード競技大会@台北 団体・個人で過去最多のメダル獲得に貢献。
五十嵐　優・大関　修平・川端　祥（中央大学）、
三橋　健也（日本大学）、
宮浦　玲奈・勝俣　莉里香（法政大学）
…など、その他数多くの大会において結果を残しています。

将来の展望

本連盟は来年で発足 10 年目を迎えます。ご承知のように、その翌年の 2020 年は東京オリンピック・パラリンピック開催となります。

同大会、またその先に向けて将来の日本のバドミントン界の中心的存在になるであろう学生の更なる向上に寄与して参ります。



2017 年３月総会後懇親会の様子

都高体連バドミントン専門部

沿革・歴史

＜歴代部長と在任期間＞

初代部長	柳	一夫	昭24年～昭25年
2代部長	今井	先	昭26年～昭26年
3代部長	安楽	末夫	昭27年～昭40年
4代部長	井上	敬一	昭41年～昭50年
5代部長	有馬	敏行	昭51年～昭52年
6代部長	南條	眩	昭53年～昭55年
7代部長	桜井	良昭	昭56年～昭63年
8代部長	武田	昭二	平元年～平12年
9代部長	中川	武夫	平13年～平20年
10代部長	實吉	幹夫	平21年～平27年
11代部長	武内	彰	平28年～

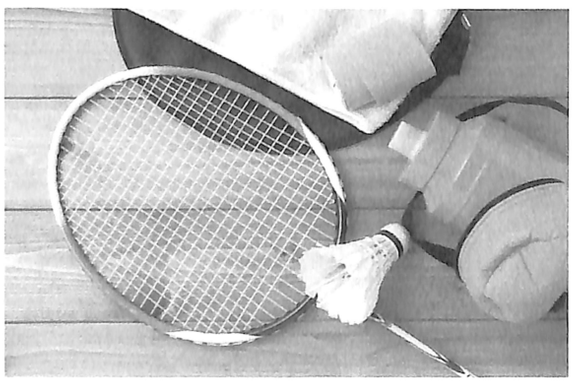
昭和25年第一回インターハイ、昭和30年第一回関東大会に出場して以来、各大会へ東京都で勝ち上がった選手を出場させている。現在では加盟600校を超え、登録選手も10,000名を超える団体となった。

平成29年度より東西2ブロック制となり、インターハイ出場校も2校ずつとなり、ますますの活躍が期待される。

役　員



部長	武内　彰
専門委員長	小野寺昭彦
総務部長	髙橋　智朗
競技部長	藤井　弘行
強化部長	堀越　義広
審判部長	野本　剛
研究部長	阿部　一臣
東ブロック長	石原　純
西ブロック長	冨永　俊充



創　　立　◎ 昭和 24 年 4 月 1 日
住　　所　◎ 〒100-0014　千代田区永田町2-16-1 (都立日比谷高等学校)
事務担当　◎ 髙橋　智朗（都立上野高等学校）

大会・成績

毎年度、主催・主管する大会は以下のとおり。

４月 春季大会兼関東大会予選（団体）
５月 都総合体育大会兼全国総合体育大会
　　都予選大会兼国体選考会予選（個人）
６月 都総合体育大会兼全国総合体育大会
　　都予選（団体）
８月 都選手権大会（個人・複）
　　新人戦Ⅰ部大会兼関東選抜都予選(個人･副)
　　都選手権大会兼全日本ジュニア都予選(個人)
１０月 新人戦Ⅰ部大会兼関東選抜都予選(個人･単)
１１月 新人大会兼全国選抜都予選（団体）
１月 冬季ブロック大会（団体）
３月 新人戦Ⅱ部大会（個人）

平 28 年
全国総合体育大会都予選（団体）決勝大会
　男子１位　淑徳巣鴨
　女子１位　日本ウエルネス
平 29 年
全国総合体育大会都予選（団体）決勝大会
　東ブロック男子１位　関東第一
　東ブロック女子１位　関東第一
　西ブロック男子１位　淑徳巣鴨
　西ブロック女子１位　日本ウエルネス

将来の展望

これまでさまざまな関係者のご尽力のおかげで、長年にわたり、本部会の活動が保証されてきた。本部会が、東京都の高校生の競技力の向上、豊かな人間性の育成に取り組んできたことは確実に成果となって表れてきた。各校の顧問の献身的な努力と本部会による強化活動や大会運営によって、全国の中でも十分に戦える選手たちを輩出してきたことも間違いない。日本のトッププレーヤーたちが世界で活躍する姿を見て、憧れをもって日常の練習に励む高校生たちがいることも明るい材料である。2020 年のオリンピック・パラリンピックを控え、更なるバドミントンの発展と活性化に向けて、活動を継続・発展させていきたいと考えている。



平成 29 年度　新人大会（団体戦）

東京都中体連バドミントン部

沿革・歴史

昭和 22 年　都中体連結成、発足
昭和 30 年　都中体連バドミントン部発足
昭和 30 年　第１回選手権大会開催
昭和 33 年　第１回新人大会開催
昭和 46 年　関東大会東京開催（駒沢）
昭和 47 年　平田登志郎氏部長就任
昭和 54 年　関東大会東京開催（足立区）
昭和 57 年　椙山松良氏部長就任
昭和 59 年　現在の規約を発効
昭和 59 年　第１回春季大会開催
昭和 62 年　関東大会東京開催（八王子市）
平成 ６ 年　島朝樹氏部長就任
平成 ７ 年　関東大会東京開催（府中市）
平成 11 年　第１回冬季大会開催
平成 12 年　現在のブロックで予選を実施
平成 15 年　公式ホームページ開設
平成 15 年　関東大会東京開催（葛飾区）
平成 19 年　第１回ジュニアスポーツアジア交流大会
平成 23 年　関東大会東京開催（墨田区）
平成 24 年　渡辺英俊氏部長就任
平成 25 年　協会加盟３７５４人
平成 26 年　協会加盟４１３７人
平成 27 年　協会加盟４６４２人
平成 28 年　協会加盟５２２９人
平成 29 年　千葉俊信氏部長就任

役　員

顧　問	田極政一郎	島　朝樹
	渡辺　英俊	
部　長	千葉　俊信	
副部長	中居　光仁	
	原　善哉	
	溝口　千里	
	横田　和長	
会計監査委員	遠藤　淳	
総務委員会		
委員長	難波　裕司	
副委員長	石原　春彦	
委　員	植松　雄樹	大島　彩香
競技委員会		
委員長	新井　博幸	
副委員長	鈴木　寛	
委　員	芝田　靖孝	今川　美香
	青森　一博	井上　幸治
	中條　洋一	飯田　到
強化普及委員会		
委員長	板橋　佳希	
副委員長	氏井　聡	横田　和長
委　員	今村　吾朗	天間　薫
	清水　正人	柳井　香里
	合田　洋平	
審判委員会		
委員長	中尾　佳彦	
副委員長	小林　義和	
委　員	吉田　篤郎	洲鎌　修
	磯貝　友美	下川　勝久
会計委員会		
委員長	髙寺　徹	


部長：千葉　俊信

創　　立　◎ 昭和 22 年
住　　所　◎ 〒124-0006　葛飾区堀切1-36-1
　　葛飾区立堀切中学校内　千葉俊信気付
事務担当　◎ 千葉　俊信　　電話　03-3693-0206

TOKYO

活動と経過

東京都内には公立、私立等合わせて 818 校が東京都中体連に加盟している。そのうちバドミントン部に加盟しているのは 533 校である。

下の表のように春季大会、選手権大会、新人大会を主管している。都大会への出場は都内をＡ～Ｆの６つのブロックから選出された代表校（選手）が出場できる形をとっている。また、協会主催の各大会について予選会を実施し、選手決定・派遣を行っている。

各大会の成績上位者を強化指定選手としている。関東・全国クラスの大会前に強化練習会を行い選手の強化を図っている。３月には河口湖において強化合宿も行っている。

2018 年 12 月には関東オープン大会。2019 年８月には関東大会。2020 年３月には全日本中学生選手権大会の東京開催が予定されている。東京の地で東京の中学生たちが活躍できるように強化を図っていきたい。

＜課題等＞

関東や全国の大会で上位の成績を収めた小学生が、他県の中学校に進学する現状がある。

東京の中学校の体育館事情や通学時間の制約・指導体制の問題など様々なことが理由としてあげられる。小中高の連携をとり、強い選手が東京に残って更に活躍できる環境を整えていかなければならない。

近年、部活動は中学教員の長時間労働の原因として問題視されている。その解決策として部活動指導員の協力がスポーツ庁から提言され、平成 29 年度には都中体連に 210 人の外部指導者が登録した。

中学生の競技レベルの向上のために多くの方が協力してくださっていることの証明である。協会の各支部の方々とも連携をとりながら更に充実させたい。



平成 29 年度関東大会女子団体優勝
小平市立小平第二中学校（神奈川県小田原アリーナ）

※白抜き文字は協会主催

月	ブロック予選・都大会	関東・全国	強化会
4			
5			
6	春季大会		
7	選手権大会		
8	全日本ジュニアバドミントン大会東京都予選会 ステップアップトーナメント大会	関東大会・全国大会・ ジュニアスポーツアジア交流大会	強化会
9		全日本ジュニアバドミントン大会	
10			
11	新人大会	ジュニアグランプリバドミントン大会	
12		関東オープンバドミントン大会	強化会
1	冬季大会		強化会
2			
3		全日本中学生バドミントン選手権大会	強化会・合宿

東京都小学生バドミントン連盟

沿革・歴史

＜歴代会長と在任期間＞

初代会長　小澤　　潔　昭和58年～平成14年
2代会長　花岡　牧夫　平成15年～平成21年
2代会長代行　平川　卓弘　平成21年～平成22年
3代会長　兒嶋　　昇　平成23年～現在

昭和 58 年 7 月 15 日東京都ジュニアバドミントン連盟として設立

平成 29 年 4 月 16 日東京都小学生バドミントン連盟に名称変更

＜主催行事＞

ダブルス大会（昭和 52 年～）
シングルス大会（昭和 52 年～）
クラブ対抗（昭和 56 年～）
若葉カップ東京都予選（昭和 59 年～）
全国小学生大会東京都予選（平成 12 年～）
全国小学生ＡＢＣ大会東京都予選（平成 4 年～）
チャレンジトーナメント（平成 29 年～）
中学生ダブルス大会（昭和 59 年～平成 28 年）
中学生シングルス大会（昭和 59 年～平成 28 年）
中学生クラブ対抗（昭和 63 年～平成 6 年）
全国小学生選手権大会（平成 30 年予定）

＜加盟登録数＞

昭和 58 年 21 クラブで多いときは 40 クラブ。ほぼ平行線をたどっていて、平成 28 年は 37 クラブ。

役　員

会　長	兒嶋　昇	
副会長	椙山　松良	野方　孝
	平川　卓弘	
顧　問	平田登志郎	増田　英男
指導特別顧問	米倉加奈子	
理事長	上田　敏之	
副理事長	城戸　友行	野口　聡
	道上　正幸	
総　務	木村笑美子	
常任理事	荒木　隆英	田代　蘭瑞
	千葉　明	福本　満夫
	松村美智子	山田　武也
	横山　靖	中川　敬子
	平山きみ枝	城戸　康子
会計監査	久家富美子	野本　邦人

創　　立　◎ 昭和 58 年 7 月 15 日
住　　所　◎ 〒185-0021　東京都国分寺市南町 3-28-7　ラケットショップフジ本部
理 事 長　◎ 上田　敏之　　電話　090-4096-4776

大会・成績

全国大会優勝者

＜若葉カップ＞
男子：小平ジュニア（H20、H21、H22、H28）、
　　青梅ジュニア（H24）
女子：小平ジュニア女子（H25）

＜全国小学生ＡＢＣ大会＞
大森悠馬（Ⓐ H17）、武井凜生（Ⓐ H27）
郡司莉子（Ⓒ H22、Ⓑ H24、Ⓐ H26）

＜全国小学生選手権大会＞
男子団体（H10、H21、H22、H27）
女子団体（H26）
佐藤翔治（⑥ H6）、青山天将（⑤ H8）、
大森悠馬（⑥ H17）
武井凜生（④ H25、⑤ H26、⑥ H27）、
柴田拓実（⑤ H25）
仲井由希乃（⑥ H21）、
郡司莉子（④ H24、⑤ H25、⑥ H26）
藤田真生・刀弥俊介（⑤ H8）、
佐々木公一・森川政人（⑥ H8）
野口翔平・小原輝（④ H25、⑤ H26、⑥ H27）
岩西真那・藤田美咲（④ H26、⑤ H27、⑥ H28）
野口駿平・柳川瑠生（⑤ H28）

米倉加奈子、佐藤翔治、上田拓馬、鈴木温子、
渡辺勇太などのトッププレーヤーを輩出



東京都バドミントン協会 70 周年記念誌

平成 30 年 2 月　1 日 印刷
平成 30 年 2 月 11 日 発行

編集者　東京都バドミントン協会
創立 70 周年 記念誌編集委員会
委員長　千葉　健夫　　殿川　宣勝
笹林　義春　　山城　譲治
須田　和裕　　彌永　正信

発行者　東京都バドミントン協会
東京都新宿区西新宿 7-22-37
ストーク西新宿福星ビル 401

印刷　株式会社ブレインズ・ネットワーク